

令和4年度

兵庫県立美術館 年報



目次

沿革	4
事業	
A. 展覧会	8
B. 教育・普及活動及びイベント	58
C. 保存・修復	80
D. 美術情報センター	81
E. 国際交流	84
F. 出版	85
G. 施設貸出	87
H. その他の活動	90
業務一覧	94
利用統計	111
所蔵資料	
A. 令和4年度収蔵作品	116
B. 令和4年度美術品館外貸出状況	139
C. 令和4年度美術品修復状況	142
D. 令和4年度収蔵図書資料	148
美術情報システムの構築と運用	150
兵庫県立美術館西宮分館について	152
関係法規	
A. 兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例	156
B. 兵庫県立美術館管理規則	161
C. 兵庫県立美術館の管理に関する規定	165
D. 兵庫県立美術館の運営にかかる有識者会議開催要綱	166
E. 兵庫県立美術館作品収集会議開催要綱	166
F. 兵庫県立美術館美術品取扱要綱	167
G. 美術情報システム運用管理規定	168
H. 美術品等取得基金条例	172
委員及び職員名簿	173
建築概要	174



沿革

昭和40年 6月7日	県政100年記念事業計画協議会において県立美術館の建設を決定
昭和41年 5月25日	兵庫県立美術館建設委員会設置
7月20日	建設委員会より「県立美術館建設に関する報告」を知事あて提出
昭和42年12月8日	「兵庫県立美術館の基本計画」まとめる
昭和44年 1月7日	兵庫県立美術館の起工式挙行
6月12日	兵庫県立美術館開館準備委員会設置
昭和45年 3月31日	兵庫県立美術館の工事完了
4月1日	兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例公布（昭和45年兵庫県条例第15号） 同条一部施行。総務課、事業課設置
6月20日	兵庫県立近代美術館管理規則（昭和45年兵庫県教育委員会規則第18号）一部施行
6月27日	西尾正博館長職務代理者ほか関係職員任命
10月10日	阪本勝館長就任
11月28日	兵庫県立近代美術館の設置及び管理に関する条例全面施行 兵庫県立近代美術館管理規則全面施行 美友会総会
昭和46年 3月25日	兵庫県立近代美術館の設置及び管理に関する条例一部改正（兵庫県条例第11号）
4月1日	美術品取得基金条例（昭和46年兵庫県条例第16号）公布施行
4月14日	「美術博物館」登録
9月10日	兵庫県立近代美術館管理規則一部改正（教育委員会規則第16号）老人料金設定
昭和48年 4月1日	兵庫県立近代美術館管理規則一部改正（教育委員会規則第9号）普及課設置
昭和50年 3月22日	阪本勝館長死去・退任
7月1日	坂井時忠兵庫県知事名誉館長就任
8月1日	兵庫県立近代美術館管理規則一部改正（教育委員会規則第16号）
昭和51年 6月3日	坂井時忠兵庫県知事名誉館長退任
6月4日	榑崎四郎館長就任
昭和52年 4月1日	兵庫県立近代美術館の設置及び管理に関する条例一部改正（兵庫県条例第18号）使用料改正
昭和53年 4月1日	兵庫県立近代美術館の設置及び管理に関する条例一部改正（兵庫県条例第27号）現状回復の義務、 使用料改正 兵庫県立近代美術館管理規則一部改正（教育委員会規則第9号）事業課を学芸課に課名変更、 休館日の一部変更
昭和54年 3月21日	スペイン国立現代美術館と友好姉妹提携盟約調印
昭和55年 4月1日	兵庫県立近代美術館の設置及び管理に関する条例一部改正（兵庫県条例第5号）実技講座の受講料徴収 兵庫県立近代美術館管理規則一部改正（教育委員会規則第12号）受講料額の決定、実技講座受講申請書の 様式等制定
昭和56年 3月13日	新館（西館）建設着工
4月1日	兵庫県立近代美術館の設置及び管理に関する条例一部改正（兵庫県条例第11号）観覧料改正
6月1日	障害者に対する観覧料一部免除
昭和57年 3月27日	新館（西館）建設竣工
9月1日	新館（西館）開館
昭和58年 3月31日	榑崎四郎館長退任
4月1日	井野辰男教育長館長兼務就任 兵庫県立近代美術館管理規則一部改正（教育委員会規則第8号）実技教室の受講料改定、諸規定整備
7月31日	井野辰男館長兼務退任
8月1日	金井元彦館長就任
11月1日	常設展示室無料開放をはじめて実施（～3日）
昭和62年 2月24日	郷土出身芸術家記念館（東館）着工
昭和63年 3月31日	郷土出身芸術家記念館（東館）竣工
4月1日	新館を西館、郷土出身芸術家記念館を東館と名称変更
8月27日	東館開館
平成3年 8月6日	金井元彦館長死去・退任
平成4年 4月1日	貝原俊民兵庫県知事名誉館長就任 兵庫県立近代美術館の設置及び管理に関する条例一部改正（兵庫県条例第7号）観覧料改正
平成5年11月1日	兵庫県立近代美術館管理規則一部改正（教育委員会規則第19号）特別観覧料許可申請書等押印廃止

平成6年4月28日	兵庫県立美術館基本構想検討委員会を設置
平成7年1月17日	阪神・淡路大震災により被災
1月18日	長期臨時休館（～8月14日）
4月24日	震災復旧工事着工
6月	兵庫県立美術館基本構想を決定
8月15日	東館・西館開館
11月11日	本館開館
11月20日	兵庫県立美術館基本計画検討委員会を設置
12月10日	震災復旧工事完了
平成8年10月	県立美術館基本計画を決定
平成9年3月17日	国際公募型プロポーザル実施、設計者を安藤忠雄建築研究所に決定
9月	基本設計完了
平成10年3月	実施設計完了
3月31日	貝原俊民名誉館長退任
4月1日	木村重信館長就任
平成11年3月	建築工事着工
平成13年9月	建築工事竣工
9月25日	兵庫県立美術館－「芸術の館」－（仮称）へ移転準備のため休館
平成14年3月27日	兵庫県立近代美術館の設置及び管理に関する条例一部改正（兵庫県条例第32号）美術館新設移転に伴う 条項整備
平成14年4月4日	兵庫県立美術館閉館記念式典
平成14年4月6日	兵庫県立美術館閉館
平成18年4月1日	木村重信名誉館長就任 中原佑介館長就任
平成22年4月1日	中原佑介名誉館長就任 蓑豊館長就任
	兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例一部改正（兵庫県条例第6号） 利便施設使用許可
平成23年3月3日	中原佑介名誉館長死去・退任
平成24年3月21日	兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例一部改正（兵庫県条例第8号） 横尾現代美術館閉館に伴う 条項整備
平成26年3月20日	兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例一部改正（兵庫県条例第8号） 使用料改正
平成29年1月30日	木村重信名誉館長死去・退任
平成29年3月23日	兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例一部改正（兵庫県条例第7号） 使用料改正
平成30年8月31日	第2展示棟竣工
令和元年5月23日	第2展示棟（Ando Gallery）開館
令和元年10月1日	（公財）颯川美術館の解散に伴い、土地、建物、美術品等を県が受贈
令和3年3月5日	兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例等一部改正（兵庫県条例第6号）
令和3年4月1日	貸館として西宮分館を開設
令和5年3月1日	兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例等一部改正（兵庫県条例第6号）
令和5年3月31日	西宮分館閉館
令和5年4月1日	蓑豊名誉館長就任 林洋子館長就任



事業

- A. 展覧会
- B. 教育・普及活動及びイベント
- C. 保存・修復
- D. 美術情報センター
- E. 国際交流
- F. 出版
- G. 施設貸出
- H. その他の活動

A 展覧会

a. 常設展

1. コレクション展Ⅰ

(1) た・び・て・ん

(2) 小企画 生誕100年 元永定正展 一伊賀上野から神戸、そしてニューヨークへー

2. コレクション展Ⅱ

(1) 特集1 リ・フレッシューズー新収蔵品紹介展

(2) 特集2 没後50年 吉原治良の小宇宙

(3) 小企画 美術の中のかたち一手で見る造形 彫刻の中のかからだ

※令和5年1月21日～7月23日開催のコレクション展Ⅰの事業内容については、令和5年度年報（令和6年度発行予定）に掲載する。ただし同展関連の教育普及活動や利用統計のうち令和4年度分については、本年報で報告する。

b. 特別展

1. 兵庫県立美術館開館20周年記念 関西の80年代

2. 2022県展

3. ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵ー武者たちの物語

4. 注目作家紹介プログラム チャンネル13 吉村宗浩 画家とアトリエーメチエの修行場

5. 兵庫県立美術館開館20周年記念 「李禹煥」展

6. 恐竜図鑑ー失われた世界の想像／創造

c. Ando Gallery

d. 共催特別展

みみをすますように 酒井駒子展

a. 常設展

1. コレクション展 I

(1) た・び・て・ん

令和4年1月22日(土)～7月3日(日)
休室：4月11日(月)～4月22日(金)

主 催：兵庫県立美術館

協 賛：公益財団法人伊藤文化財団、サンシティタワー神戸（株式会社ハーフ・センチュリー・モア）

企画を考えはじめた令和3年秋、「コロナ」は夏の大流行を過ぎて感染者の数は減っていったが、その出口のあり方を具体的に思い描くことはまだできなかった。移動の制限はもちろん、美術館の入場にもいろいろな決まり事があった。当時書いた企画書には「めっきり、外を出歩くのが少なくなっていた昨今（あと少しの辛抱かもしれませんが）。この現状についてあれこれ悩む前に、われわれには「美術館がある」「美術がある」「作品がある」ということで、作品とともに、あるいは作品の中へと旅に出たいと思います」とある。今思えば、「辛抱」「悩み」という言葉に、本展のきっかけがよく出ているだろう。同時に、借用品等を展示し関係者との調整の多い特別展とは異なる、美術館の収蔵品を使う「常設展示」に、美術館の基本と変わらぬ姿を見出したいという気持ちも滲んでいる。いずれにせよ、何か「慰め」が欲しいと思って企画したものである。つまり、企画者自身が観覧者となって、職場で癒されたいと思っていたわけである。そうであってみれば、「旅」や「移動」のテーマも個々の作品を見るきっかけ、考えるきっかけにすぎないかもしれない。構成としては、パートⅠ「旅への誘い」パートⅡ「出発、道中、滞在、遁走」パートⅢ「みんなで行こうー名所の旅」パートⅣ「作者の旅」の4つパートを設け、パートⅣ「作者の旅」には、主に彫刻を展示する展示室5の一部と小磯・金山の両記念室をあてた。小企画「生誕100年元永定正展」についても、伊賀上野、神戸、ニューヨークという土地の間の移動に焦点をあてることで、本企画と一連になるようにした。

関連事業 ※参加者数等は令和3年度年報p.85および本年報p.69参照
学芸員による解説会

1月29日(土)、3月5日(土)、4月2日(土)、6月18日(土)

いずれも15：00～15：45

印刷物

[チラシ] A4 両面カラー ※小企画と共通

[鑑賞ガイド] B6 観音折り8頁 両面カラー ※小企画と共通



チラシ



鑑賞ガイド

出品目録

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考	展示期間
パートI 旅への誘い[常設展示室1]							
1	河口 龍夫	DARK BOX 2007	2007	鉄、闇	37×60×35	平成20年度作者寄贈	
2	児玉 靖枝	深韻一水の系譜(霧雨)五	2013	油彩・布	130.3×162	平成29年度美術館にアートを贈る会寄贈	
3	児玉 靖枝	深韻一水の系譜(霧雨)十二	2013	油彩・布	130.3×162	平成29年度美術館にアートを贈る会寄贈	
4	訖摩 昭人	逃走の線 1	2004	油彩・布	210×480	平成16年度購入	
5	正木 隆	造形 00-7	2000	油彩・布	100×140	平成20年度正木建治氏寄贈	
6	正木 隆	Shot 02-3	2002	油彩・布	33×53	平成20年度正木建治氏寄贈	
7	正木 隆	DIVING work 02-1	2002	油彩・綿布	61×73	平成28年度田下啓子氏寄贈	
8	正木 隆	from DRIVING to DIVING 03-6	2003	油彩・布	41×53	平成20年度正木建治氏寄贈	
9	林 勇気	another world ーalternative	2017	ビデオインスタレーション(FHDビデオ、プロジェクター)8分ループ、ステレオサウンド 音楽FourColor		令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	
パートII 出発、道中、滞在、遁走[常設展示室3] 前期 1月22日-4月10日 後期 4月23日-7月3日							
1	北村 四海	橘媛	1915	ブロンズ	170×260×30	平成21年度野村殖産株式会社寄贈	
2	上永井 正	無題	1975	油彩・布	50×61	平成21年度リカルド・タケシ・赤川氏寄贈(赤川コレクション)	
3	田中 ヴァルテル	重人 タバチンゲラ	1969	油彩・布	54.5×65	平成21年度リカルド・タケシ・赤川氏寄贈(赤川コレクション)	
4	玉木 勇次	無題		油彩・布	50×60	平成21年度リカルド・タケシ・赤川氏寄贈(赤川コレクション)	
5	八木 一夫	出発	1974	陶	28.3×28×23.5	昭和61年度購入(山村コレクション)	
6	中馬 泰文	エアポートにて	1977	ローラー、カラーインク、エッチングインク、アクリル、水彩、シルクスクリーン・布	182.4×116.9	平成29年度作者寄贈	
7	中馬 泰文	シネマにて	1977	ローラー、カラーインク、エッチングインク、アクリル、水彩、シルクスクリーン・布	182.1×116.6	平成29年度作者寄贈	
8	中馬 泰文	カフェにて	1977	ローラー、カラーインク、エッチングインク、アクリル、水彩、シルクスクリーン・布	181.3×116.7	平成29年度作者寄贈	
9	中馬 泰文	スタジアムにて	1977	ローラー、カラーインク、エッチングインク、アクリル、水彩、シルクスクリーン・布	182.4×116.9	平成29年度作者寄贈	
10	田中 一好	記憶の回遊	1986	油彩・布、ほか	130×97	平成24年度山口勝子氏寄贈	後期
11	田中 一好	風色その1	1990	油彩・布、ほか	118.5×232.5	平成24年度山口勝子氏寄贈	
12	福島 隆	リオ・テッラ(運河を埋め立てた道)	1981	油彩・布	99.8×120	平成21年度リカルド・タケシ・赤川氏寄贈(赤川コレクション)	
13	秋岡 美帆	ゆるるかげ	1992	NECOプリント・紙	218×275.5	令和元年度秋岡ソノ氏寄贈	後期
14	榎山 孝	港	2008	油彩・鉛、インクジェットフィルム	61.5×77	平成24年度山口勝子氏寄贈	前期
15	山口 啓介	水路-王の方舟	1990	エッチング・紙	162×291	平成25年度西村昌三氏寄贈	前期
16	大岩 オスカル	www.com	2003	油彩・布	227×441.8	平成21年度リカルド・タケシ・赤川氏寄贈(赤川コレクション)	
17	大岩 オスカル	ぶらじる丸	2015	油彩・布	137.7×273.1		
パートIII みんなで行こうー名所のたび[常設展示室4]							
1	歌川 国員	浪花百景 南粋亭芳雪 里の家芳瀧	江戸時代(19世紀)	木版・紙	中判	額川コレクション	
-1 目録一(作者不詳) -2 柴島晒堤 -3 江口君堂 -4 三大橋 -5 二軒茶や風景 -6 筋鐘御門 -7 北之大融寺 -8 浜村鬼子母神 -9 川崎御宮(以上、国員) -10 川崎ノ渡シ月見景色 -11 下安治川隋見山 -12 西照庵月見景 -13 茶白山雲水(以上、芳雪) -14 川口雑喉場つきじ -15 浅沢の弁才天 -16 寿法寺 -17 住よし五大力(以上、芳瀧)							1月22日~ 2月13日
-18 三嶋江 -19 天満ばし風景 -20 安治川ばし -21 大江ばしより鍋しま風景 -22 北瓢亭 -23 三井呉服店 -24 四天王寺伽藍 -25 宗禅寺場々(以上、国員) -26 毛馬 -27 京橋 -28 吉助牡丹盛り -29 鉄眼寺夕景(以上、芳雪) -30 長町裏遠見難波蔵 -31 住吉岸姫松 -32 新町廓中九軒夜桜 -33 あみだ池 -34 住吉反橋(芳瀧)							2月15日~ 3月13日
-35 長柄三頭 -36 あみ嶋風景 -37 玉江橋景 -38 道頓堀角芝居 -39 戎嶋天満宮御旅所 -40 住吉本社 -41 両本願寺(以上、国員) -42 佐太村天満宮 -43 天満樋の口 -44 産湯味原池 -45 御勝山(以上、芳雪) -46 住よし大和橋 -47 永代浜 -48 天下茶やぜさい -49 野中観音桃華盛り -40 天王寺増井 -51 舍利寺(以上、芳瀧)							3月15日~ 4月10日
-52 目録二(作者不詳) -53 源八渡し口 -54 蛸の松夜の景 -55 北妙けん堤 -56 さくらの宮景 -57 真言坂(以上、国員) -58 十三中道 -59 道頓堀太左衛門橋雨中 -60 堀川備前陣家 -61 覚満寺之夕景 -62 四天王寺合法辻 -63 茶白山 -64 安居天神社(以上、芳雪) -65 雑喉場 -66 増井浮瀬夜の雪 -67 松屋呉服店 -68 今宮蛸子宮(以上、芳瀧)							4月23日~ 5月15日

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考	展示期間
		-69 八軒屋夕景 -70 今橋つきぢの風景 -71 天満市場 -72 解舟町 -73 新町店つき -74 天神祭り夕景(以上、国員) -75 天保山 -76 うらえ杜若 -77 しりなし漆づつみ甚兵衛の小家 -78 生玉弁天池夜景 -79 広田星カ池稲荷(以上、芳雪) -80 四ツ橋 -81 梅やしき -82 野田藤 -83 福しま逆樽松 -84 高津 -85 広田社(以上、芳瀧)					5月17日～ 6月12日
		-86 松のはな -87 浪花橋夕涼 -88 堂じま米市 -89 錦城の馬場 -90 住吉高とうろう -91 生玉絵馬堂(以上、国員) -92 木津川口千本松 -93 河堀口 -94 四天王寺 -95 勝曼院愛染堂 -96 新清水紅葉坂瀧(以上、芳雪) -97 長堀石浜 -98 長堀財木市 -99 天満天神地車宮入 -100 茨住吉 -101 佐奈田山三光宮(以上、芳瀧)					6月14日～ 7月3日
2	小林 清 親	亀戸梅屋敷	1879	木版・紙	20.6×31.7	昭和48年度購入	1月22日～ 2月27日
3	小林 清 親	大川岸一之橋遠景	1880	木版・紙	20.2×30.5	昭和48年度購入	1月22日～ 2月27日
4	小林 清 親	浅草寺年乃市	1881	木版・紙	20.5×31.4	昭和48年度購入	1月22日～ 2月27日
5	小林 清 親	高輪牛町朧月景	1879	木版・紙	21.0×32.2	昭和48年度購入	3月1日～4 月10日
6	小林 清 親	川口銅釜製造図	1879	木版・紙	20.3×32.1	昭和48年度購入	3月1日～4 月10日
7	小林 清 親	千ほんくい両国橋	1880	木版・紙	20.2×31.4	昭和48年度購入	3月1日～4 月10日
8	小林 清 親	堀切花菖蒲	1879	木版・紙	20.7×31.9	昭和48年度購入	4月23日～ 5月29日
9	小林 清 親	天王寺下衣川	1880	木版・紙	20.0×31.6	昭和48年度購入	4月23日～ 5月29日
10	小林 清 親	第二回内国勸業博覧会内美術館噴水	1881	木版・紙	20.6×31.4	昭和48年度購入	4月23日～ 5月29日
11	小林 清 親	大森朝乃海	1880	木版・紙	20.8×32.1	昭和48年度購入	5月31日～ 7月3日
12	小林 清 親	御城内釣橋之図		木版・紙	21.9×32.0	昭和48年度購入	5月31日～ 7月3日
13	小林 清 親	両国花火之図	1880	木版・紙	20.8×32.2	昭和48年度購入	5月31日～ 7月3日
14	井上 安 治	東京名所百景	1881-1882	木版・紙	小判	昭和51年度別車千代子氏寄贈	
		-1 浅草広小路 -2 亀井戸藤 -3 赤羽根橋景 -4 湯島台白聖堂ノ月 -5 亀井戸梅屋敷 -6 本所割下水 -7 永代橋際日本銀行の雪 -8 鑑橋夜 -9 鑑橋風景 -10 浜丁川岸ヨリ本所一ノ橋 -11 九段坂 -12 靖国神社 -13 百本杭ノ三日月 -14 銀座通夜景 -15 高縄鉄道 -16 新橋ステーション夜 -17 両国百本杭の景 -18 愛宕山 -19 今戸有明楼 -20 厩橋 -21 上野三橋 -22 上野新阪 -23 上野公園地 -24 上野御霊屋 -25 四日市 -26 堀切 -27 谷中天王寺 -28 天王寺下衣川 -29 虎ノ門工部大学校 -30 隅田川堤 -31 待乳山夕景 -32 赤坂紀伊国坂 -33 梅若神社ノ雨 -34 新吉原の景 -35 本丸三重橋 -36 吹上釣橋 -37 佃島 -38 大森海 -39 築地海軍省 -40 紙幣局					1月22日～ 2月27日
15	織田 一 磨	東京風景 愛宕山	1916	リトグラフ・紙	40.4×25.7	昭和47年度購入	1月22日～ 4月10日
16	織田 一 磨	東京風景 目白阪下	1916	リトグラフ・紙	45.5×24.7	昭和47年度購入	1月22日～ 4月10日
17	織田 一 磨	東京風景 小日向大日堂	1916	リトグラフ・紙	29.0×43.7	昭和47年度購入	1月22日～ 4月10日
18	織田 一 磨	東京風景 待乳山から隅田川	1916	リトグラフ・紙	28.0×41.5	昭和47年度購入	4月23日～ 7月3日
19	織田 一 磨	東京風景 築地河岸	1916	リトグラフ・紙	29.5×40.2	昭和47年度購入	4月23日～ 7月3日
20	織田 一 磨	東京風景 品川の雨	1916	リトグラフ・紙	25.4×42.5	昭和47年度購入	4月23日～ 7月3日
21	織田 一 磨	大阪風景 中之島	1918	リトグラフ・紙	26.7×40.2	昭和47年度購入	1月22日～ 4月10日
22	織田 一 磨	大阪風景 安治川	1918	リトグラフ・紙	44.5×28.2	昭和47年度購入	1月22日～ 4月10日
23	織田 一 磨	大阪風景 天神橋遠望	1918	リトグラフ・紙	29.5×44.3	昭和47年度購入	1月22日～ 4月10日
24	織田 一 磨	大阪風景 茶白山	1918	リトグラフ・紙	29.0×42.5	昭和47年度購入	4月23日～ 7月3日
25	織田 一 磨	大阪風景 住吉	1918	リトグラフ・紙	43.5×28.2	昭和47年度購入	4月23日～ 7月3日
26	織田 一 磨	大阪風景 四ツ橋雨景	1918	リトグラフ・紙	29.5×44.5	昭和47年度購入	4月23日～ 7月3日

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考	展示期間
27	織田 一磨	大阪風景 四天王寺東門	1918	リトグラフ・紙	29.2×38.5	昭和47年度購入	4月23日～7月3日
28	織田 一磨	大阪風景 浮世小路	1918	リトグラフ・紙	43.0×27.7	昭和47年度購入	4月23日～7月3日
29	織田 一磨	大阪風景 京町橋	1919	リトグラフ・紙	42.5×28.5	昭和47年度購入	1月22日～4月10日
30	織田 一磨	大阪風景 新淀川附近	1919	リトグラフ・紙	29.3×45.7	昭和47年度購入	1月22日～4月10日
31	川瀬 巴水	別府の朝	1922	木版・紙	28.4×20.7	昭和47年度購入	5月31日～7月3日
32	川瀬 巴水	大坂天王寺	1927	木版・紙	36.0×23.6	昭和47年度購入	5月31日～7月3日
33	川瀬 巴水	潮来の夕	1930	木版・紙	37.6×26.9	昭和47年度購入	3月1日～4月10日
34	川瀬 巴水	雪乃向島	1931	木版・紙	36.2×24.2	昭和47年度購入	1月22日～2月27日
35	川瀬 巴水	山中湖の暁	1931	木版・紙	36.5×23.7	昭和47年度購入	4月23日～5月29日
36	川瀬 巴水	相州前川の雨	1932	木版・紙	36.2×24.0	昭和47年度購入	3月1日～4月10日
37	川瀬 巴水	上州法師温泉	1933	木版・紙	36.2×24.2	昭和47年度購入	1月22日～2月27日
38	川瀬 巴水	朝鮮智異山泉隠寺	1940	木版・紙	36.0×24.2	昭和47年度購入	4月23日～5月29日
39	横尾 忠則	日本原景旅行 大沼と駒ヶ丘	1973	アクリル・布	50.0×60.5	平成24年度作者寄贈	
40	横尾 忠則	日本原景旅行 昭和新山よ洞爺湖を望む	1973	アクリル・布	50.0×60.5	平成25年度作者寄贈	
41	横尾 忠則	日本原景旅行 松島	1973	アクリル・布	41.0×32.0	平成13年度購入	
42	横尾 忠則	日本原景旅行 富士山	1973	アクリル・布	31.7×40.8	平成24年度作者寄贈	
43	横尾 忠則	日本原景旅行 伊良湖岬	1973	アクリル・布	40.8×31.7	平成24年度作者寄贈	
44	横尾 忠則	日本原景旅行 南紀海岸 獅子岩 三段壁 千畳敷 橋杭岩	1973	アクリル・布	60.5×73.0	平成13年度購入	
45	横尾 忠則	日本原景旅行 高千穂峰I	1974	アクリル・布	41.0×32.0	平成13年度購入	
46	横尾 忠則	日本原景旅行 日南海岸I	1974	アクリル・布	50.0×60.5	平成13年度購入	

パートⅣ 作者の旅

[常設展示室5]

1	ロッソ, メダルド	新聞を読む男	1894	ワックス、石膏	28.7×32×33	平成3年度購入	
2	デスピオ, シャルル	アッシア	1937	ブロンズ	87.5×25×20	昭和54年度購入	
3	ガボ, ナウム	構成された頭部 No.2	1966	コールテン鋼、着色	178.0×121.9×121.9	平成14年度購入	
4	マリーニ, マリノ	少女	1938	ブロンズ	152.0×43.5×36.5	昭和54年度購入	
5	イサム ノグチ	小さなイド	1970	大理石、ステンレススチール	60×27×44	平成30年度購入	
6	クロチェッティ, ヴェナンツォ	マグダラのマリア	1955	ブロンズ	107.5×26×70	昭和48年度購入	
7	シーガル, ジョージ	ラッシュ・アワー	1983	石膏・着色	183×244×244	平成13年度購入	
8	高橋 清	ひと No.4	1967	ブロンズ	31.5×18×20	昭和48年度作者寄贈	
9	吾妻 兼治郎	MU711, MU722, MU726	1973	ブロンズ	149×36×34, 114×19×34, 57×39×42	昭和49年度購入	
10	福田 繁雄	SAMPLE	1977	ホワイト・ブロンズ	45.5×12×39.5	昭和52年度購入	
11	河口 龍夫	24の部分からなる円筒体	1972	鉛	直径10×10×10	平成22年度購入	
12	山本 正道	帽子をかぶった肖像	1987	ブロンズ	32×26×30	昭和62年度購入	
13	金子 潤	無題	2007	ブロンズ	240×129×130	令和3年度株式会社カサハラ画廊寄贈	
14	榎 忠	薬莖	1991	ミクストメディア	61.5×36.5×15	平成17年度岡田一郎氏寄贈	
15	宮崎 豊治	シンベンモデル・ユウシカイステーション	1979	鉄	80×120×60	平成7年度購入	前期
16	小林 且典	静物学	2001	ブロンズ、木	170×120×45	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	後期

[常設展示室6]

1	西山 翠嶂	短夜	1917	絹本着彩	各181×380	平成21年度河津剛志氏寄贈	後期
2	新井 完	御手洗風景	1923	油彩・紙	71.7×89.7	昭和45年度教育委員会管理換	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考	展示期間
3	新井 完	大野寺弥勒石仏	1932	油彩・紙	211×106	平成24年度岡崎真雄氏寄贈	
4	新井 完	平湯風景	1940	油彩・布	59.7×72.5	昭和45年度教育委員会管理換	
5	青山 熊治	早春	1930	油彩・布	41×53	平成27年度岡田一夫氏寄贈	
6	青山 熊治	上野原の新緑	1932頃	油彩・布	53.3×65.3	昭和46年度購入	
7	国枝 金三	魚見櫓の立つ丘	1919	油彩・布	60.6×72.9	昭和47年度国枝ぬい氏寄贈	
8	国枝 金三	醒ヶ井風景	1929	油彩・布	73×90.8	昭和47年度国枝ぬい氏寄贈	
9	大野 麦風	三宅八幡馬市図		紙本着彩	179.5×351.8	平成5年度購入	前期
10	辻 愛造	武生風景	1941	油彩・布	73×117	昭和45年度購入	
11	辻 愛造	古光山	1943	油彩・布	90.7×116.3	昭和45年度購入	
13	古家 新	海岸の石灰山	1930	油彩・布	72.7×91.7	平成16年度松岡博幸氏寄贈	
14	古家 新	早春の丘	1939	油彩・布	111×162	平成29年度武陽会寄贈	
12	古家 新	熊野街道	1940-41	油彩・布	42.5×71	昭和54年度古家玲子氏寄贈	
15	加納 三楽	南島女人	1931	紙本着彩	212.5×242.8	昭和58年度加納文子氏寄贈	前期
16	加納 三楽	海の市日	1932	紙本着彩	213.3×243.5	昭和58年度加納文子氏寄贈	前期
17	加納 三楽	浜節句	1933	紙本着彩	227×258	昭和58年度加納文子氏寄贈	後期
18	直原 玉青	漓江雨収		紙本淡彩	175.7×376.2	昭和57年度作者寄贈	前期
19	直原 玉青	雪解水(マツホーン)		紙本淡彩	178×375.8	昭和57年度作者寄贈	後期
20	東山 魁夷	古き町にて	1964	リトグラフ・紙		平成13年度東山すみ氏寄贈	

[小磯良平記念室]

1	小磯 良平	着物婦人像	1925	油彩・布	52.7×52.3	昭和55年度武田繁子氏寄贈	
2	小磯 良平	T嬢の像	1926	油彩・布	116.8×91	昭和55年度武田繁子氏寄贈	
3	小磯 良平	高野山普門院台所	1927	コンテ、水彩・紙	24×32.2	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	後期
4	小磯 良平	スペインの女	1928	油彩・布	99.1×80.2	昭和55年度武田繁子氏寄贈	
5	小磯 良平	風景其ノ三	1928頃	油彩・布	60.2×73	平成3年度購入	
6	小磯 良平	娘	1935	油彩・布	59×41.5	平成30年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	
7	小磯 良平	静物	1935	油彩・布	73×60.8	平成14年度購入	
8	小磯 良平	中禅寺湖	1935頃	油彩・布	50×72.7	平成28年度購入	
9	小磯 良平	踊り子	1938	油彩・布	100.3×73.2	平成29年度武陽会寄贈	
10	小磯 良平	踊り子群像	1939	油彩・布	50.5×72.5		
11	小磯 良平	斉唱	1941	油彩・布	100.3×80.8	昭和55年度武田繁子氏寄贈	
12	小磯 良平	外人肖像	1942	油彩・布	65.7×91	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	
13	小磯 良平	会談の前	1942	油彩・布	65.5×91	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	
14	小磯 良平	寺	1950	コンテ、水彩・紙	24×32.2	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	前期
15	小磯 良平	逗子のヨット	1956	鉛筆、水彩・紙	36.3×27.2	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	前期
16	小磯 良平	ヨットハーバー	1960頃	油彩・布	60.7×72.7	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	
17	小磯 良平	船(デッキ)	1960	チョーク、クレヨン、鉛筆・紙	27.2×39.5	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	前期
18	小磯 良平	船(デッキ)	1960	鉛筆・紙	27.6×39.7	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	後期
19	小磯 良平	ヨットハーバー(逗子)	1960	クレヨン、鉛筆・紙	27.2×36.4	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	後期
20	小磯 良平	風景(天城)	1960	鉛筆・紙	27.8×35.2	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	前期
21	小磯 良平	風景(天城)	1960	鉛筆・紙	28.7×35.2	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	後期
22	小磯 良平	風景〔二階建て〕(天城)	1960	鉛筆・紙	27.8×35.2	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	後期
23	小磯 良平	風景〔古井戸〕(天城)	1960	鉛筆・紙	27.7×35.2	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	前期
24	小磯 良平	風景	1962	水彩、鉛筆・紙	44.7×56	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	後期
25	小磯 良平	風景(二本の木)	1962	インク・紙	32×50	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	後期
26	小磯 良平	風景(淡路島)	1962	鉛筆・紙	44.8×56	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	前期
27	小磯 良平	風景(漁港)	1962	インク・紙	36.5×46.7	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	前期
28	小磯 良平	ペランダの静物	1963	水彩、鉛筆・紙	38.5×55.7	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	前期
29	小磯 良平	風景(材木置場)	1967	墨・紙	37.7×56.2	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	後期
30	小磯 良平	海	1967	水彩・紙	38×55.5	平成3年度岡本育子氏寄贈	前期
31	小磯 良平	風景		水彩・紙	44×62.4	平成3年度岡本育子氏寄贈	後期

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考	展示期間
[金山平三記念室]							
1	金山平三	無題(セーヌ下流)	1912頃	油彩・布	60.8×72.8	昭和45年度金山らく氏寄贈	
2	金山平三	無題(雪の教会)	1912頃	油彩・布	73×91.2	昭和45年度金山らく氏寄贈	
3	金山平三	雨のプラス・ピガール	1915	油彩・布	61.4×73.2	金山らく氏寄贈	
4	金山平三	林檎の下(プルターニュー)	1915	油彩・布	88×72.6	金山らく氏寄贈	
5	金山平三	京城	1917頃	油彩・布	60.5×72.8	昭和45年度金山らく氏寄贈	
6	金山平三	習作(蘇州の街)	1924	油彩・布	32×27.8	昭和45年度金山らく氏寄贈	
7	金山平三	塩尻峠	1933頃	油彩・布	60.8×80.4	金山らく氏寄贈	
8	金山平三	山手(神戸)	1935頃	油彩・布	33.9×53	金山らく氏寄贈	
9	金山平三	梅林(下曾我)	1935-1945	油彩・板	30.3×40.8	金山らく氏寄贈	
10	金山平三	洞爺湖	1939頃	油彩・布	60.8×91.5	平成10年度購入	
11	金山平三	櫓	1945-1946	油彩・布	60.6×80.2	金山らく氏寄贈	
12	金山平三	一時に新芽ふく	1945-1956	油彩・布	60.5×80.2	金山らく氏寄贈	
13	金山平三	青嶺屏風崖下の桂	1945-1956	油彩・布	45.5×65	金山らく氏寄贈	
14	金山平三	滞船	1945-1956	油彩・布	33.5×53.2	金山らく氏寄贈	
15	金山平三	日本海	1945-1956	油彩・布	53.3×72.9	金山らく氏寄贈	
16	金山平三	四月の紫明仙	1950頃	油彩・布	24.3×33.3	金山らく氏寄贈	
17	金山平三	鮑の浦御堂(長崎)	1957-1960	油彩・板	33.2×23.9	金山らく氏寄贈	
18	金山平三	無題(シャトゥ)	1961	油彩・布	37.7×45.2	昭和45年度金山らく氏寄贈	

*前期：1月22日(土)～4月10日(日)

後期：4月23日(土)～7月3日(日)

(2) 小企画 生誕100年 元永定正展 ―伊賀上野から神戸、そしてニューヨークへ―

令和4年1月22日(土)～7月3日(日)

前期：1月22日(土)～4月10日(日)

後期：4月23日(土)～7月3日(日)

常設展示室2

主 催：兵庫県立美術館

協 賛：公益財団法人伊藤文化財団、サンシティタワー神戸（株式会社ハーフ・センチュリー・モア）

特別協力：モトナガ資料研究室

2022年、元永の生誕100年の節目に、故郷の伊賀上野から神戸へと移住した元永が抽象と衝撃的な出会いをはたした阪神間で生み出した初期の作品から、具体美術協会を経てニューヨークへ渡り新たな表現へと踏み出すまでの初期の15年間に着目し、3つの章に分けて紹介した。

第1章「伊賀上野から神戸へ ―抽象との出会い―」では、1952年に神戸に移住した元永が自らの表現を模索する姿を紹介。対象が持つ色に囚われず自由に表現しようとする元永の瑞々しい感性が伺えた。

第2章「阪神間 ―具体美術協会に入会して―」では、1953年芦屋市展で抽象と出会い、「具体美術協会」に参加した頃の作品を展示。平面・立体の区別なく誰も見たことがない作品を生み出そうとする元永の豊かな創造力に触れた。会期中に、展示中の新出の絵画が初個展の出品作であることが判明した。

第3章「ニューヨーク―流れ、そして新たな表現へ―」では、キャンバスに絵具を流すようになった1957年以降の作品と、1966年にニューヨークへと渡った元永が現地で描いた貴重なスケッチを紹介。展覧会の最後はエアブラシによる最初の作品《作品 N.Y. No.1》で締め括った。

元永最大の特徴である「いろ」と「かたち」は、「未知」のものを見たいという欲求から生み出されたものであり、ダイナミックな様式の変化の中にあっても不変であることを改めて確認した。



チラシ



鑑賞ガイド

関連事業 ※参加者数等はpp.59、69参照

(1) 講演会「も～やんとのおもい出を語る」

中辻悦子（美術家、元永定正夫人）

5月14日(土) 14:00～15:30

(2) こどものイベント

「も～やんのおもい絵をみる会」

6月26日(日) 13:30～15:00

印刷物

[チラシ] A4 両面カラー ※「た・び・て・ん」と共通

[鑑賞ガイド] B6 観音折り8頁 両面カラー ※「た・び・て・ん」と共通

[リーフレット] 148mm×148mm 蛇腹折り8頁 両面カラー

関連記事

産経新聞	(夕刊)	4.1.28	探求続けた変遷たどる (T生)
朝日新聞	(夕刊)	4.2.22	元永定正 抽象との出会いたどる (西田理人)
読売新聞	(夕刊)	4.2.24	元永定正 前衛美への足跡 (淵上えり子)
神戸新聞	(朝刊)	4.4.1	生誕100年 本永定正展—伊賀上野から神戸、そしてニューヨークへ—
神戸新聞	(朝刊)	4.6.17	生命宿す「かたち」の源流 神戸で「生誕100年 元永定正展」 (小林伸哉)

出品目録

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵	備考
1章 伊賀上野から神戸へ—抽象との出会い—						
1	緑色の裸婦	1953	油彩・板	72.5×60.5	個人蔵	
2	神戸・下山手の交差点	1953頃	油彩・布	22×27.2	個人蔵	
3	(不詳)	1953頃	油彩・板	24×33	個人蔵	
4	(不詳)	1953頃	油彩・板	24×33	個人蔵	
5	(不詳)	1953頃	油彩・板	24×33	個人蔵	
2章 阪神間—具体美術協会に入会して—						
6	ざるから	1954	ざる、針金、木	20×20×55	個人蔵	
7	めばえ	1954	コルク、板	5×16×17	個人蔵	
8	寶がある	1954頃	油彩・布	65×80.2	個人蔵(三重県立美術館寄託)	
9	とんでいる	1954頃	油彩・布	60.4×72.5	個人蔵(三重県立美術館寄託)	
10	作品	1955	油彩・布	91.2×116	個人蔵(三重県立美術館寄託)	
11	作品	1955	油彩・布	65×80	個人蔵(三重県立美術館寄託)	
12	作品	1955	油彩・布	60.5×73	個人蔵(三重県立美術館寄託)	
13	作品	1955	油彩・布	65.5×82	個人蔵(三重県立美術館寄託)	
14	作品	1956	油彩・布	159×112	三重県立美術館	
15	作品	1957	油彩・布	53.5×45.5	個人蔵	
16	煙発生器	1956(1999再制作)	木、布、針金	115.7×90.5×120.5	個人蔵(三重県立美術館寄託)	
3章 ニューヨーク—流れ、そして新たな表現へ—						
17	作品4	1959	油性合成樹脂塗料・布	92×42.4	昭和60年度購入	
18	作品5	1960	油性合成樹脂塗料・布	142×108	昭和60年度購入	
19	作品6	1960	油性合成樹脂塗料・布	181.8×133.5	昭和60年度購入	
20	作品8	1960	油性合成樹脂塗料・布	91.4×73.1	昭和60年度購入	
21	作品10	1960	油性合成樹脂塗料・布	118.2×91.3	昭和60年度購入	
22	作品11	1960	油性合成樹脂塗料・布	91×119	昭和60年度購入	
23	作品13	1961	油性合成樹脂塗料・布	66.2×91.9	昭和60年度購入	
24	作品16	1961	油性合成樹脂塗料・布	91×31.4	昭和60年度購入	
25	作品18	1961	油性合成樹脂塗料・布	183.4×137.5	昭和60年度購入	
26	作品	1961	油性合成樹脂塗料・布、板	182.2×229.7	昭和61年度購入(山村コレクション)	
27	作品	1962	油性合成樹脂塗料・布、板	136.6×182	昭和61年度購入(山村コレクション)	
28	作品 63-17	1965	油性合成樹脂塗料・布	240.6×126	昭和60年度購入	
29	作品	1966	アクリル・布、板	25.2×20.2	個人蔵	
30	作品	1966	アクリル・布、板	20.2×25.2	個人蔵	
31	作品 N.Y No.1	1967	アクリル・布	275.2×213.5	昭和62年度購入	
32	あおといろいろ	1995	アクリル・布	200×300	平成24年度元永悦子氏寄贈	
33~35	スケッチブック(3冊)	1953頃			個人蔵	※6期に分けて展示替え
36~47	スケッチ(12枚)	1966-67			個人蔵	※6期に分けて展示替え

2. コレクション展Ⅱ

(1) 特集1 リ・フレッシューズ—新収蔵品紹介展

令和4年7月30日(土)～12月18日(日)

前期：7月30日(土)～9月25日(日)

後期：10月8日(土)～12月18日(日)

主催：兵庫県立美術館

協賛：公益財団法人伊藤文化財団、サンシティタワー神戸（株式会社ハーフ・センチュリー・モア）

令和3年度、およそ70点の作品が当館に収蔵された。その過半数が、篤志家の故・大和卓司氏の遺贈金を活用して収集されたものである。現代絵画や映像作品など当館には手薄であったジャンル、兵庫や関西ゆかりの中堅・若手作家の作品など、既存のコレクションを補完する作品が多数加わった。この「大和卓司氏遺贈記念収蔵」をはじめとする新収蔵品群を、美術館に新鮮味を与える存在として、また企業の新入社員になぞらえて「リ・フレッシューズ」と称して展示することにした。

本展では、各作品の持つ性格に沿って3つのキーワードを設定し、章立てした。パート1「リフレイン (refrain) —くり返しのリズム」、パート2「リフレクト (reflect) —映し出されているものは、何?」、パート3「リフレッシュ (refresh) —未来へのまなざし」と区分し、展示室1～4を会場に作品を紹介した。また、新旧の収蔵品を比較することで、既存のコレクションや過去に当館で開催した展覧会を振り返る機会ともした。

同時期に展示室6では、おなじくお披露目展示として、伊藤文化財団の寄贈作品を中心とする特集2「没後50年 吉原治良の小宇宙」を開催。展示室4の前期には、毎年恒例の小企画「美術の中のかたち—手で見る造形」として人物の身体表現をテーマにした彫刻作品、後期には特集1の展示の延長として映像インスタレーションを1点展示した。展示室5では前回のコレクション展Ⅰに引き続き、新収蔵作品を含むコレクションの優品を出品。小磯良平記念室では、作家の画風の変遷に着目した展示を行い、金山平三記念室では軽妙な筆致が表れた風景画やミニアチュールを紹介した。

関連事業 ※参加者数等はpp.59、69参照

(1) 学芸員による解説会

9月24日(土)、10月29日(土)、11月26日(土)

いずれも15:00～15:45

(2) こどものイベント

「けんびの新しい仲間を見てみよう！」

8月27日(土) 10:30～12:00

「きいて音楽 みて美術」

出演者：アンサンブルくれよん

10月9日(日) 11:00～12:30 (コレクション展Ⅱ特集1・2の関連事業として開催)

印刷物

[チラシ] A4 両面カラー ※小企画・特集2と共通

[鑑賞ガイド] B6 観音折り8頁 両面カラー ※小企画・特集2と共通



チラシ



鑑賞ガイド

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考	展示期間
パート1 リフレイン(refrain)—くり返しのリズム							
1	ジョーンズ、ジャスパー	シカダ A	1979-81	シルクスクリーン・紙	44.3×33.8	昭和58年度購入	後期
2	ジョーンズ、ジャスパー	シカダ B	1979-81	シルクスクリーン・紙	44×34	昭和58年度購入	後期
3	ジョーンズ、ジャスパー	シカダ C	1979-81	シルクスクリーン・紙	44×34	昭和58年度購入	後期
4	ジョーンズ、ジャスパー	シカダ D	1979-81	シルクスクリーン・紙	44×34	昭和58年度購入	後期
5	ジョーンズ、ジャスパー	シカダ E	1979-81	シルクスクリーン・紙	44×34.2	昭和58年度購入	後期
6	ジョーンズ、ジャスパー	シカダ F	1979-81	シルクスクリーン・紙	44×34	昭和58年度購入	後期
7	吉原 英雄	一人住い(ネコ)	1970	リトグラフエッチング・紙	47.5×39.8	昭和45年度購入	後期
8	吉原 英雄	一人住い(二つの椅子)	1970	リトグラフエッチング・紙	47.5×39.8	昭和45年度購入	後期
9	吉原 英雄	一人住い(シャワー)	1970	リトグラフエッチング・紙	46.6×39.8	昭和45年度購入	後期
10	吉原 英雄	一人住い(風のカーテン)	1970	シルクスクリーン・エッチング・紙	47.6×39.8	昭和45年度購入	後期
11	鄭 相和	無題 84-8-15	1984	油彩・布	130×130	令和3年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	
12	鄭 相和	無題 84-12-5	1984	油彩・布	130×130	令和3年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	
13	松谷 武判	Divided by Two	1983	ビニール接着剤、鉛筆、和紙・布	200×145	平成30年度購入	
14	松谷 武判	二つの円	1983	ビニール接着剤、鉛筆、和紙・布	各122×122	令和3年度松本重雄氏遺贈	
15	河口 龍夫	関係-種子	1986	鉛、種子(カリフラワー)	45.6×36.5×1.1	平成22年度購入	
16	河口 龍夫	関係-種子	1987	鉛、種子(えんどう)	45.7×36.3×1.2	平成22年度購入	
17	河口 龍夫	関係-種子	1989	鉛、種子(みこま菜)	45.7×36.5×1.1	平成22年度購入	
18	井田 照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon "Blue Swan in Well - Locus Sutra No. 1" Well from Karma	1990	ソフトグラウンドエッチング、ラ45×45 インエッチング、ドライポイント、スピットバイト、シンコレ・紙		令和元年度杉田侑司氏寄贈	前期
19	井田 照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon "Blue Swan in Well - Locus Sutra No. 2" Well from Karma	1990	ソフトグラウンドエッチング、ラ45×45 インエッチング、ドライポイント、スピットバイト、シンコレ・紙		令和元年度杉田侑司氏寄贈	前期
20	井田 照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon "Blue Swan in Well - Locus Sutra No. 3" Well from Karma	1990	ソフトグラウンドエッチング、ラ45×45 インエッチング、ドライポイント、スピットバイト、シンコレ・紙		令和元年度杉田侑司氏寄贈	前期
21	井田 照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon "Blue Swan in Well - Locus Sutra No. 4" Well from Karma	1990	ソフトグラウンドエッチング、ラ45×45 インエッチング、ドライポイント、スピットバイト、シンコレ・紙		令和元年度杉田侑司氏寄贈	前期
22	井田 照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon "Blue Swan in Well - Locus Sutra No. 5" Well from Karma	1990	ソフトグラウンドエッチング、ラ45×45 インエッチング、ドライポイント、スピットバイト、シンコレ・紙		令和元年度杉田侑司氏寄贈	前期
23	井田 照一	Surface is the Between - Between Vertical and Horizon "Blue Swan in Well - Locus Sutra No. 6" Well from Karma	1990	ソフトグラウンドエッチング、ラ45×45 インエッチング、ドライポイント、スピットバイト、シンコレ・紙		令和元年度杉田侑司氏寄贈	前期
24	吉田 克朗	版画集「London II」より ケンシンゲンチャーストリート	1975	フォトエッチング・紙	左9.6×13.6, 右9.6×13.2	昭和53年度購入	前期
25	吉田 克朗	版画集「London II」より イトノゲート	1975	フォトエッチング・紙	左9.7×13.6, 右9.7×13.4	昭和53年度購入	前期
26	吉田 克朗	版画集「London II」より フリトストリート	1975	フォトエッチング・紙	左9.8×13.7, 右9.8×13.7	昭和53年度購入	前期
27	吉田 克朗	版画集「London II」より セントマーティンインザフィールズ	1975	フォトエッチング・紙	左9.6×13.6, 右9.6×13.5	昭和53年度購入	後期
28	吉田 克朗	版画集「London II」より リージェントストリート	1975	フォトエッチング・紙	左9.7×13.4, 右9.7×13.4	昭和53年度購入	後期
29	吉田 克朗	版画集「London II」より ローヤーマーシュ	1975	フォトエッチング・紙	左9.7×13.6, 右9.7×13.6	昭和53年度購入	後期
30	北辻 良央	作品(ニコラド・スタール「横たわる裸婦」より)	1974	鉛筆、水彩、コピー・紙	29.7×42.2(2枚1組)	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	前期
31	北辻 良央	作品(クレール「求心的陳述」より)	1974	鉛筆、水彩、コピー・紙	29.7×42.2(2枚1組)	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	前期
32	北辻 良央	作品(ロートレック「メイ・ミルトン」より)	1974	鉛筆、水彩、コピー・紙	29.7×42.2(2枚1組)	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	前期
33	北辻 良央	作品(ノルデ「若いカップル」より)	1974	鉛筆、水彩、コピー・紙	29.7×42.2(2枚1組)	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	前期
34	中村 一美	仙丈	1987	油彩・布	400×140	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	
パート2 リフレクト(reflect)—映し出されているものは、何?							
1	伊藤 継郎	庭と女(少女)	1930	油彩・布	158×93	平成12年度味村精二氏寄贈	
2	伊藤 継郎	裸婦	1958	油彩・布	113.7×70.5	令和3年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	
3	伊藤 継郎	A裸婦(黒い人物)		油彩・布	53.5×33.5	平成24年度岡崎真雄氏寄贈	
4	東 貞美	人間の世界	1951	油彩・布	73×61	令和3年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	
5	東 貞美	作品	1959	油彩・布	33×44.7	令和3年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	
6	東 貞美	SUKIMA '83	1983	油彩・布	45.4×37.5	令和3年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考	展示期間
7	東 貞 美	ビュラン銅版画集「触視空間」① 哲学虫	1975	ビュラン・紙	8.1×9.8	昭和54年度購入	前期
8	東 貞 美	ビュラン銅版画集「触視空間」② あくびの増殖	1975	ビュラン・紙	14.2×9.8	昭和54年度購入	前期
9	東 貞 美	ビュラン銅版画集「触視空間」③ 着地あるいは離陸	1975	ビュラン・紙	15×9.7	昭和54年度購入	前期
10	東 貞 美	ビュラン銅版画集「触視空間」④ 機械仕掛けのザムザ	1975	ビュラン・紙	11×15.5	昭和54年度購入	後期
11	東 貞 美	ビュラン銅版画集「触視空間」⑤ そして翌日	1975	ビュラン・紙	15×11	昭和54年度購入	後期
12	東 貞 美	ビュラン銅版画集「触視空間」⑥ 塔の夜明け	1975	ビュラン・紙	13.3×8.9	昭和54年度購入	後期
13	郭 徳 俊	フォードと郭	1974	リトグラフ、エンボス・紙	46×33.6	令和3年度作者寄贈	前期
14	郭 徳 俊	カーターと郭	1977	シルクスクリーン・紙	54×37	令和3年度作者寄贈	前期
15	郭 徳 俊	レーガンと郭	1981	シルクスクリーン・紙	53.9×37	令和3年度作者寄贈	前期
16	郭 徳 俊	レーガンIIと郭	1985	シルクスクリーン・紙	53.5×38.3	令和3年度作者寄贈	前期
17	郭 徳 俊	ブッシュと郭	1989	シルクスクリーン・紙	54.5×41	令和3年度作者寄贈	前期
18	郭 徳 俊	クリントンと郭	1993	シルクスクリーン・紙	54.5×41	令和3年度作者寄贈	後期
19	郭 徳 俊	クリントンIIと郭	1997	シルクスクリーン・紙	51.5×37	令和3年度作者寄贈	後期
20	郭 徳 俊	ブッシュ2001と郭	2001	シルクスクリーン・紙	53.7×36	令和3年度作者寄贈	後期
21	郭 徳 俊	ブッシュ2001IIと郭	2005	シルクスクリーン・紙	52.2×36.7	令和3年度作者寄贈	後期
22	郭 徳 俊	オバマと郭	2009-10	シルクスクリーン・紙	51.5×36.5	令和3年度作者寄贈	後期
23	山 本 六 三	女とスフィンクス	1979	エッチング・紙	11.2×23	平成22年度大月亜里氏寄贈	前期
24	山 本 六 三	ノスタルジイを見つめるスフィンクス	1985	油彩・布	87×162	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	
25	山 本 六 三	ノスタルジイ	1992	エッチング・紙	20.4×28.6	平成22年度大月亜里氏寄贈	後期
26	米 田 知 子	フロイトの眼鏡-ユングのテキストを見るI	1998	ゼラチンシルバープリント	38×38	平成22年度購入	前期
27	米 田 知 子	フロイトの眼鏡-ユングのテキストを見るII	1998	ゼラチンシルバープリント	38×38	平成22年度購入	前期
28	米 田 知 子	ヘッセの眼鏡-兵士の写真を見る	1998	ゼラチンシルバープリント	38×38	平成22年度購入	後期
29	米 田 知 子	プレヒトの眼鏡-ベンヤミンからの献辞を見る	2008	ゼラチンシルバープリント	38×38	平成22年度購入	後期
30	日野田 崇	世界を肯定する	2015-17	セラミック(陶・磁)、ワイヤー	207×62×42、123×48×47、73×59×49	令和3年度作者寄贈	
31	三 宅 砂 織	Garden (Potsdam)	2019	映像(49分)	サイズ可変(49分)	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	
32	青 木 千 絵	BODY 10-1	2010	漆、麻布、スタイロフォーム	90×170×50	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	
33	谷 原 菜 摘 子	創世記	2021	油彩、アクリル、オイルバス テル、グリッター・ベルベット	227.3×291	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	

パート3 リフレッシュ(refresh)—未来へのまなざし

1	野見山 暁 治	早く決めよう	2012-18	油彩・布	112×146	令和3年度作者寄贈	
2	野見山 暁 治	目をつむれ	2012-18	油彩・布	112×146	令和3年度作者寄贈	
3	小 林 孝 亘	Sunbather 9	2004	油彩・布	220×194	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	
4	福 田 美 蘭	淡路島北淡町のハクモクレン	2004	アクリル・カラー写真・板	227.2×181.8	平成17年度作者寄贈	
5	棚 田 康 司	たちのぼる—少年の場合	2012	彩色・木、晒、絹糸	214×88×28	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	
6	棚 田 康 司	たちのぼる—少女の場合	2013	彩色・木、晒、絹糸	240×67×78	令和3年度作者寄贈	
7	大 崎 の ぶ ゆ き	Shining Mountain / Climbing the World #2	2011-12	映像インストール(3画面、サイズ可変 7分46秒、7分43秒、7分46秒)		令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	後期
8	野 依 幸 治	1+1 = 0	2018	油彩、砂・布	130.4×65.2	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	
9	柳 瀬 安 里	線を引く	2015-16	映像インストール(36分58秒、サイズ可変 2チャンネル、FHDビデオ、プロジェクター、オーティク機器、テキスト)		令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	

【常設展示室5】 近現代の彫刻

1	ロッシン、メダルド	新聞を読む男	1894	ワックス、石膏	28.7×32×33	平成3年度購入	
2	デスピオ、シャルル	アッシア	1937	ブロンズ	87.5×25×20	昭和54年度購入	
3	ガボ、ナウム	構成された頭部 No.2	1966	コールテン鋼、着色	178.0×121.9×121.9	平成14年度購入	
4	マリーニ、マリノ	少女	1938	ブロンズ	152.0×43.5×36.5	昭和54年度購入	
5	イサム ノグチ	小さなイド	1970	大理石、ステンレススチール	60×27×44	平成30年度購入	
6	クロチェッティ、ヴェナンツォ	マグダラのマリア	1955	ブロンズ	107.5×26×70	昭和48年度購入	
7	シーガル、ジョージ	ラッシュ・アワー	1983	石膏・着色	183×244×244	平成13年度購入	
8	高 橋 清	ひと No.4	1967	ブロンズ	31.5×18×20	昭和48年度作者寄贈	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考	展示期間
9	吾妻 兼治郎	MU711, MU722, MU726	1973	ブロンズ	149×36×34, 114×19×34, 57×39×42	昭和49年度購入	
10	福田 繁雄	SAMPLE	1977	ホワイト・ブロンズ	45.5×12×39.5	昭和52年度購入	
11	河口 龍夫	24の部分からなる円筒体	1972	鉛	直径10×10×10	平成22年度購入	
12	山本 正道	帽子をかぶった肖像	1987	ブロンズ	32×26×30	昭和62年度購入	
13	金子 潤	無題	2007	ブロンズ	240×129×130	令和3年度株式会社カサハラ画廊寄贈	
14	榎 忠	葉莢	1991	ミクストメディア	61.5×36.5×15	平成17年度岡田一郎氏寄贈	
15	小林 且典	静物学	2001	ブロンズ、木	170×120×45	令和3年度大和卓司氏遺贈記念収蔵	

〔小磯良平記念室〕

1	小磯 良平	風景	1923	油彩・布	44.8×52.4	昭和55年度武田繁子氏寄贈	
2	小磯 良平	着物婦人像	1925	油彩・布	52.7×52.3	昭和55年度武田繁子氏寄贈	
3	小磯 良平	T嬢の像	1926	油彩・布	116.8×91	昭和55年度武田繁子氏寄贈	
4	小磯 良平	スペインの女	1928	油彩・布	99.1×80.2	昭和55年度武田繁子氏寄贈	
5	小磯 良平	少女と猫	1931	油彩・布	60.5×72.4	昭和55年度武田繁子氏寄贈	
6	小磯 良平	静物		油彩・布	72.9×91	昭和49年度収蔵	
7	小磯 良平	横臥裸婦	1935	油彩・布	72.5×116.5	昭和55年度武田繁子氏寄贈	
8	小磯 良平	静物	1935	油彩・布	73×60.8	平成14年度購入	
9	小磯 良平	娘	1935	油彩・布	59×41.5	平成30年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	
10	小磯 良平	踊り子	1938	油彩・布	100.3×73.2	平成29年度武陽会寄贈	
11	小磯 良平	洋裁する女達	1939	油彩・布	72.5×60.5	昭和55年度武田繁子氏寄贈	
12	小磯 良平	和装婦人像	1940頃	油彩・布	72.7×40.9	昭和55年度武田繁子氏寄贈	
13	小磯 良平	静物	1940頃	油彩・布	72.6×41	平成6年度購入	
14	小磯 良平	室内(書齋にて)	1962	油彩・布	91×91	平成29年度武陽会寄贈	
15	小磯 良平	窓の静物	1963頃	油彩・布	100.5×100.5	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	
16	小磯 良平	外国婦人	1970	油彩・布	60.8×50.3	平成元年度沢村嘉子氏・嘉納邦子氏寄贈	

〔金山平三記念室〕

1	金山 平三	新芽	1935-45	油彩・布	60.8×80.5	金山らく氏寄贈	
2	金山 平三	梨花の下	1936-41	油彩・布	65.2×53.2	金山らく氏寄贈	
3	金山 平三	洞爺湖	1939頃	油彩・布	60.8×91.5	平成10年度購入	
4	金山 平三	和井内より休屋を見る	1945-56	油彩・布	45.4×64.6	金山らく氏寄贈	
5	金山 平三	漁村三瀬	1945-56	油彩・布	41×60.5	金山らく氏寄贈	
6	金山 平三	ぶなの林	1945-56	油彩・布	50.3×65	金山らく氏寄贈	
7	金山 平三	磯釣り	1945-56	油彩・布	33.5×45.5	金山らく氏寄贈	
8	金山 平三	大石田の最上川	1948頃	油彩・布	60.8×91	金山らく氏寄贈	
9	金山 平三	静(十和田湖四月)	1950頃	油彩・布	45.5×65	金山らく氏寄贈	
10	金山 平三	川崎造船所	1953頃	油彩・板	31.8×41	金山らく氏寄贈	
11	金山 平三	一番桜	1954	油彩・布	41×53.2	金山らく氏寄贈	
12	金山 平三	白布滝	1955	油彩・布	65.4×80.2	金山らく氏寄贈	
13	金山 平三	メリケン波止場(神戸)	1956-60	油彩・布	33.3×53	金山らく氏寄贈	
14	金山 平三	何事かある		油彩・布	24.2×33.7	平成8年度購入	
15	金山 平三	樹林の流れ(林)		油彩・板	9.7×14.6	昭和57年度三輪きみ氏寄贈	
16	金山 平三	山		油彩・板	11.1×15.4	昭和57年度三輪きみ氏寄贈	
17	金山 平三	滝		油彩・板	11.4×15.6	昭和57年度三輪きみ氏寄贈	
18	金山 平三	秋山		油彩・板	11.3×15.7	昭和57年度三輪きみ氏寄贈	
19	金山 平三	(松島)		油彩・布	11.5×19	令和2年度秋山正子氏寄贈	

(2) 特集2 没後50年 吉原治良の小宇宙

令和4年7月30日(土)～12月18日(日)

前期：7月30日(土)～9月25日(日)

後期：10月8日(土)～12月18日(日)

常設展示室6

主催：兵庫県立美術館

協賛：公益財団法人伊藤文化財団、サンシティタワー神戸（株式会社ハーフ・センチュリー・モア）、兵庫県立美術館「芸術の館友の会」

大阪生まれで戦前は二科九室会を中心に、戦後は前衛美術集団「具体美術協会」の牽引者としてそれぞれ活躍した吉原治良については、当館の前身となる県立近代美術館時代から具体を中心とした活動に注目し作品を収集してきたが、新たに令和2年度には、公益財団法人伊藤文化財団より素描を中心とした大量の作品群の寄贈を受けた。新収蔵品には従来当館では扱う機会の少なかった、戦前の抽象表現から戦時中に展開された当時の吉原の心情の吐露ともとらえられる沈鬱な具象画、また戦後のダイナミックな抽象画の形成をつむぎ出すさまざまな表現が見られた。

吉原の没後50年を機に開催された本展では、伊藤文化財団による寄贈作品のお披露目を兼ね、従来の当館蔵品と合わせて展示した。同時期に近隣の美術館で吉原や具体関連の展覧会が開催されたこともあって、日本における抽象絵画のパイオニア吉原の多様な表現方法を多くの来館者にご覧いただくことができた。



リーフレット

関連事業 ※参加者数等はpp.59、69参照

(1) 学芸員による解説会

8月27日(土)、12月3日(土)

いずれも15:00～16:00

(2) こどものイベント

「きいて音楽 みて美術」

出演者：アンサンブルくれよん

10月9日(日) 11:00～12:30 (コレクション展Ⅱ特集1・2の関連事業として開催)

「探検！吉原治良の小宇宙」

12月17日(土) 10:30～12:00

印刷物

[チラシ] A4 両面4色カラー ※小企画・特集1と共通

[鑑賞ガイド] B6 観音折り8頁 両面4色カラー ※小企画・特集1と共通

[リーフレット] A3二つ折り 表面1色 中面カラー

作品図版10点

吉原治良 略年譜、出品リスト

出品目録

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵	備考
1	黒地に赤い円	1965	アクリル・布	181.5×227	昭和45年度購入	
2	大阪朝日会館どん帳のための原画	1951	油彩・布	75.3×152.2	昭和54年度杉山高嗣氏寄贈	
3	廃屋とボート	1931頃	油彩・布	41.2×31.2	昭和59年度財団法人伊藤文化財団寄贈	
4	作品(二の字)	1971	油彩・布	131×162.5	昭和59年度購入	
5	群像	1946頃	油彩・布	130.5×97.1	昭和60年度財団法人伊藤文化財団寄贈	
6	牧歌	1952	油彩、コラージュ・布	130×194	昭和60年度財団法人伊藤文化財団寄贈	
7	作品	1957	油彩・布	116.7×91.1	昭和60年度財団法人伊藤文化財団寄贈	
8	作品	1970頃	油彩・布	162.2×130.2	昭和60年度財団法人伊藤文化財団寄贈	
9	作品(黒地に細い白い円)	制作年不詳	油彩・布	90.8×72.7	昭和60年度購入	
10	作品(夜の鳥)	1951	油彩・布	129.9×193.8	山村コレクション 昭和61年度購入	
11	作品・赤	1960	油彩・布	162.2×130.5	山村コレクション 昭和61年度購入	
12	作品	1960	油彩・紙、布	162.3×130.5	山村コレクション 昭和61年度購入	
13	作品	1966	アクリル、油彩・布	130.4×162	山村コレクション 昭和61年度購入	
14	窓	1934頃	油彩・布	91.5×73	平成16年度財団法人伊藤文化財団寄贈	
15	(無題)	1920年代	鉛筆・紙	37.6×26.9	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
16	(無題)	1928頃	油彩・紙	36.5×53	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
17	(無題)	1931	インク・紙	25.4×17.6	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
18	(無題)	1931-33頃	鉛筆・紙	30×18.8	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
19	(無題)	1931-33頃	インク・紙	26×19.7	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
20	(無題)	1931-33頃	インク・紙	28.2×21.9	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
21	(無題)	1931-33頃	鉛筆・紙	18.9×14.5	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
22	(無題)	1931-33頃	鉛筆・紙	25.4×20.2	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
23	(無題)	1931-33頃	鉛筆・紙	25.4×20.1	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
24	(無題)	1931-33頃	鉛筆・紙	18.9×14.5	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
25	(無題)	1931-33頃	鉛筆・紙	18.9×14.5	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
26	(無題)	1931-33頃	鉛筆・紙	18.9×14.5	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
27	(無題)	1931-33頃	鉛筆・紙	19×14.5	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
28	(無題)	1932頃	水性絵具・紙	26×21	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
29	(無題)	1932頃	水性絵具・紙	15.6×19.2	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
30	(無題)	1932頃	水性絵具・紙	15×19.8	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
31	(無題)	1932頃	水性絵具・紙	27.5×36.4	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
32	(無題)	1932頃	水性絵具・紙	27.4×36.4	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
33	(無題)	1932頃	水性絵具・紙	27.3×36.2	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
34	(無題)	1932頃	水性絵具・紙	11.9×14.7	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
35	(無題)	1932頃	水性絵具・紙	27.3×8.9	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
36	(無題)	1935	鉛筆・紙	28.5×24.9	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
37	(無題)	1935	水性絵具・紙	33.9×25.1	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
38	(無題)	1935頃	インク・紙	17.7×25.6	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
39	(無題)	1935頃	インク・紙	17.7×25.6	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
40	(無題)	1935頃	鉛筆・紙	24.3×18.5	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
41	(無題)	1936-37頃	インク・紙	12.8×18.6	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
42	(無題)	1937-38頃	コラージュ・紙	7.9×9	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
43	(無題)	1937-38頃	コラージュ・紙	23.7×32.5	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
44	(無題)	1937-40頃	コラージュ(写真)・紙	26.3×19.2	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
45	(無題)	1937-40頃	コラージュ・紙	16.3×23.3	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
46	(無題)	1937-40頃	コラージュ・紙	36.5×26.8	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
47	(無題)	1937-39年頃	鉛筆・紙	28.8×25.2	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
48	(無題)	1938-39	鉛筆・紙	14.6×10.5	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
49	(無題)	1938-39	鉛筆、オイルパステル、水性絵具・紙	16.6×20.5	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
50	(無題)	1939頃	油彩(水性絵具?)・紙	28.5×22.2	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵	備考
51	(無題)	1939頃	鉛筆・紙	25.2×28.7	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
52	(無題)	1939頃	インク・紙	9.7×17	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
53	(無題)	1939-40頃	鉛筆・紙	25.2×28.8	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
54	(無題)	1940頃	鉛筆、パステル・紙	26.2×20	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
55	(無題)	1940頃	鉛筆・紙	26.2×19.9	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
56	(無題)	1940頃	鉛筆、水性絵具・紙	26.2×19.7	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
57	(無題)	1940頃	パステル・紙	19.7×26.2	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
58	(無題)	1944	油彩・紙	53.5×45	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
59	(無題)	1944頃	油彩・紙	52.8×44.9	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
60	(無題)	1944-45頃	油彩・紙	43.7×34	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
61	(無題)	1944-45頃	油彩・紙	40.7×31.3	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
62	(無題)	1944-45頃	油彩・紙	45.5×52.2	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
63	(無題)	1944-45頃	油彩・紙	52.6×45.4	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
64	(無題)	1944-45頃	油彩・紙	45×52.5	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
65	(無題)	1944-45頃	油彩・紙	54.7×35	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
66	(無題)	1944-45頃	油彩・紙	35.1×54.1	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
67	(無題)	1944-45頃	油彩・紙	62.6×42.4	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
68	(無題)	1944-45頃	油彩・紙	53.0×45.3	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
69	(無題)	1944-45頃	油彩・紙	52.4×45.4	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
70	(無題)	1944-46頃	油彩・紙	21.1×26.8	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
71	(無題)	1944-46頃	鉛筆・紙	36.2×25.8	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
72	(無題)	1944-46頃	鉛筆・紙	33.5×25.6	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
73	(無題)	1944-46頃	油彩・紙	53.9×53.9	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
74	(無題)	1945-47頃	油彩・紙	41×31.9	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
75	(無題)	1945-51頃	鉛筆・紙	26.5×23.7	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
76	(無題)	1946頃	インク・紙	15.7×22	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
77	(無題)	1947頃	油彩・紙	25×14.9	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
78	(無題)	1947-48頃	油彩・紙	15.8×21.9	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
79	(無題)	1947-49頃	インク・紙	15.5×12.7	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
80	(無題)	1947-49頃	インク・紙	13.1×15.1	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
81	(無題)	1947-49頃	インク・紙	9.3×10.5	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
82	(無題)	1947-49頃	インク・紙	9.3×10.5	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
83	(無題)	1947-49頃	インク・紙	10.6×16.1	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
84	(無題)	1948頃	水性絵具・紙	38.1×26.8	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
85	(無題)	1948頃	インク・紙	23.7×16.3	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
86	(無題)	1948頃	水性絵具・色紙	26.8×23.8	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
87	(無題)	1948頃	インク・紙	23.3×16.1	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
88	(Tabo no Kao)	1949	鉛筆・紙	25.8×18	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
89	(無題)	1949	インク・紙	25.6×17.5	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
90	(無題)	1949頃	オイルパステル・紙	26.7×18.9	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
91	(無題)	1949頃	水性絵具・紙	22.3×26.1	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
92	(無題)	1949頃	色鉛筆、水性絵具・紙	38.4×27.4	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
93	(無題)	1949頃	インク・紙	15.6×16.4	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
94	(無題)	1949頃	鉛筆・紙	23.3×27	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
95	(無題)	1949頃	鉛筆・紙	34.3×23.8	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
96	(無題)	1949頃	インク・紙	25.5×19.1	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
97	(無題)	1949頃	インク・紙	14.7×9.7	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
98	(無題)	1949-50頃	水性絵具・紙	23.3×16.2	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
99	(無題)	1949頃	インク・紙	19.6×27.5	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
100	(無題)	1949頃	鉛筆・紙	36.3×25.6	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
101	(無題)	1949頃	インク・紙	27.3×38.4	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵	備考
102	(無題)	1949頃	インク・紙	23.4×32.2	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
103	(無題)	1949頃	水性絵具・紙	39.4×27.7	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
104	(無題)	1949-50頃	水性絵具・紙	35.8×26.1	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
105	(無題)	1949-50頃	水性絵具・紙	31×24.5	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
106	(無題)	1949-50頃	鉛筆、水性絵具・紙	24.5×31	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
107	(無題)	1949-50頃	インク・紙	20.4×19.7	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
108	(無題)	1949-50頃	水性絵具・紙	26.5×19	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
109	(無題)	1949-50頃	水性絵具・紙	19.7×16.6	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
110	(無題)	1949-50年代前半	水性絵具、コラージュ・紙	12×14	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
111	(無題)	1949-50年代前半	水性絵具・紙	34.2×23.8	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
112	(無題)	1949-50年代前半	水性絵具・紙	27.4×19.8	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
113	(無題)	1949-50年代前半	鉛筆、色鉛筆・紙	25.8×36.3	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
114	(無題)	1950	インク・紙	20×27.7	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
115	(無題)	1950-51頃	水性絵具・紙	25.5×35.5	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
116	(無題)	1950-51頃	水性絵具・紙	39.6×54.7	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
117	(無題)	1951頃	水性絵具、インク・紙	25×35.1	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
118	(無題)	1952頃	水性絵具・紙	30.2×37.8	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
119	(無題)	1950年代前半 (1952頃に近い)	水性絵具、コラージュ・紙	60.7×37.3	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
120	(無題)	1952頃	水性絵具・紙	28×20.4	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
121	(無題)	1952頃	水性絵具・紙	37.3×28.3	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
122	(無題)	1952頃	水性絵具・紙	39.2×54.8	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
123	(無題)	1953頃	水性絵具・紙	32.1×42.3	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
124	(無題)	1953頃	水性絵具・紙	21×28	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
125	(無題)	1953頃	墨、油性ペン、オイルパステル・紙	26.9×23.8	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
126	作品	1954頃	水性絵具・紙	26.3×35.5	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
127	(無題)	1950年代前半	墨・紙	30.2×37.7	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
128	(無題)	1950年代前半	インク・紙	10.8×20.9	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
129	(無題)	1950年代前半	インク・紙	13×26.5	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
130	(無題)	1950年代前半	インク・紙	14.5×26.5	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
131	(無題)	1950年代前半	鉛筆、コラージュ・紙	26.2×18.5	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
132	(無題)	1957-62	水性絵具、パルプ・紙	24.9×34.8×0.4	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
133	(無題)	1957-62	水性絵具・紙	39.4×55.1	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
134	(無題)	1957-62	油彩・紙	39.6×27.4	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
135	(無題)	1957-62	水性絵具、エナメル・紙	39.5×27.4	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
136	(無題)	1957-62	パステル・紙	40.6×32.3	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
137	(無題)	1957-62	水性絵具・紙	44.8×37.3	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
138	(無題)	1957-62	水性絵具・紙	75.7×56.4	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
139	(無題)	1961頃	水性絵具・紙	40.8×32.1	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
140	60歳像	1965	水性絵具・紙	25.8×19.5	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
141	(無題)	1965頃	水性絵具・紙	45.3×37.9	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
142	(無題)	1965頃	水性絵具・紙	40.9×31.8	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
143	(無題)	1966頃	水性絵具・紙	41×31.9	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
144	(無題)	1967頃	水性絵具・紙	45.2×38.7	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
145	(無題)	1967-68頃	水性絵具・紙	27×19.2	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
146	(無題)	1967-68頃	水性絵具・紙	32×39.9	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
147	白地に黒斜線一本	1969頃	水性絵具・紙	24×24	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
148	白地に黒斜線三本	1969頃	水性絵具・紙	15.5×26.7	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
149	東おたふく山パラボラアンテナ	1969頃	水性絵具、インク・紙	18.3×24.2	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
150	「新日鉄」新年号表紙	1971頃	鉛筆・紙	21×18.5	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
151	(無題)	1971頃	水性絵具、鉛筆・紙	37.5×44.9	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵	備考
152	(無題)	制作年不詳	水性絵具・色紙	24.1×27.2	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
153	(無題)	制作年不詳	水性絵具・紙	54.7×37	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
154	スケッチ「風景」	制作年不詳	油性顔料・紙	11.5×11.4	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期
155	(無題)	1928頃	銅版・紙	13.1×16.7	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	前期
156	(無題)	1961	グワッシュ・紙	45.2×60.9	令和2年度公益財団法人伊藤文化財団寄贈	後期

(3) 小企画 美術の中のかたち一手で見る造形 彫刻の中のかからだ

令和4年7月30日(土)～9月25日(日)
常設展示室4

主催：兵庫県立美術館
後援：兵庫県社会福祉協議会、神戸市社会福祉協議会
協賛：公益財団法人伊藤文化財団、サンシティタワー神戸（株式会社ハーフ・センチュリー・モア）、兵庫県立美術館「芸術の館友の会」

兵庫県立美術館では、前身である兵庫県立近代美術館の時代である1989年より「美術の中のかたち一手で見る造形」と題する展覧会を継続的に開催してきた。

令和4年度の「美術の中のかたち」は、当館の彫刻収集第1号であるエミール＝アントワヌ・ブールデル《風の中のベートーヴェン》が兵庫県立芸術文化センターより返却されたことにちなみ、ブールデルによる彫刻作品の特集とした。また、ブールデルの他のフランス近代彫刻作品を展示し、それらとブールデルの彫刻とを比較することで、それぞれの作家の人体に対するアプローチの違いを理解できるような構成としました。また、関連事業としては山梨大学准教授の武末裕子氏、山梨県立大学准教授の古家祥子氏を招き、見えない状態での造形活動を体験してもらった。

一方、新型コロナウイルス感染症の流行を鑑みて、本年度もミュージアム・ボランティアによる案内などは見送った。



チラシ

関連事業 ※参加者数等はp.70参照

(1) ワークショップ

「手でみる身体 ～音の門 耳をかたちづくる・掌の空間～」
武末裕子（山梨大学准教授）、古家祥子（山梨県立大学准教授）
8月21日(日) 14:00～15:00

印刷物

[チラシ] A4 両面カラー ※特集1・特集2と共通
[リーフレット] A3二つ折り 表面4色 中面1色 作品図版3点、作品解説、出品リスト



リーフレット

関連記事

産経新聞 22.8.12(朝刊) 「「手で見る」彫刻の名品」(正木利和)

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
1	エミール＝アントワヌ・ブールデル	アダムの手	1889	ブロンズ	34×15.5×14	昭和48年度購入
2	エミール＝アントワヌ・ブールデル	母と子	1893	ブロンズ	53.0×33.5×28.5	平成25年度高瀬節子氏寄贈
3	エミール＝アントワヌ・ブールデル	風の中のベートーヴェン	1904-08	ブロンズ	120×55×61	昭和45年度管理換
4	オーギュスト・ロダン	痙攣する大きな手	1889	ブロンズ	46.5×27×20.5	昭和48年度購入
5	レイモン・デュシャン・ヴィヨン	ボードレール	1911	ブロンズ	40×25×29	昭和57年度購入
6	アリストイド・マイヨール	着衣のボモナ	1922	ブロンズ	118×49×31	昭和60年度六甲信用組合寄贈
7	ジャン・フォートリエ	トルソ	1928	ブロンズ	65×30×22	昭和53年度購入

b. 特別展

1. 兵庫県立美術館開館20周年記念 関西の80年代

令和4年6月18日(土)～8月21日(日)

主催：兵庫県立美術館、朝日新聞社
助成：芸術文化振興基金、公益財団法人ポーラ美術振興財団
協賛：公益財団法人伊藤文化財団
特別協力：公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部

兵庫県立美術館の開館20周年記念展として、80年代の関西における現代美術の動向を紹介する展覧会を開催した。

80年代をふりかえる企画展は、すでに近年、美術館規模で複数の例がある。だが、いずれも広く国内の作家を扱うものだった。対して本展は、当館の前身である兵庫県立近代美術館で開かれていたシリーズ展「アート・ナウ」の出品内容を軸に、関西に限った内容とした。当時「関西ニューウェーブ」として耳目を集めた若い世代を中心に、必ずしもそこには括られない同世代作家や、先行世代の作品・資料も含め、約50点を展示した。

章立ては、「フレーム外し」や「インスタレーション」、「私」といったキーワードのもと、大まかに年代をたどる、やや緩やかな設定とした。時代の動向の整理という点では明瞭さを欠くが、さまざまな「イズム」が尽きた時代の、関西という周縁の地ならではの前例にとらわれない個別の実践に焦点をあて、その豊かさを示すことを優先した。インスタレーションの再現をはじめ、当時の観客が向き合っただろう作品の姿に、現在の観客もまた生々しく対面いただくという点を重視し、展示を構成した。

なお本展は、西枝財団(京都)による、展覧会を360°映像でアーカイブし多言語で配信するプロジェクト「ART360°」に採択され、会期終了後も同サイトで会場風景が公開されている。

関連事業 ※参加者数等はpp.59、69参照

- (1) 出品作家によるトーク「京阪神ニューウェーブ鼎談」
山部泰司、福田新之助、杉山知子(いずれも出品作家)
6月26日(日) 15:00～16:30
- (2) 講演会「1980年代を語れるのか？」
島敦彦(国立国際美術館館長)
7月24日(日) 14:00～15:30
- (3) 学芸員によるテーマレクチャー
①「アート・ナウと関西の80年代」
②「インスタレーションを展示する」
①7月9日(土)、②8月6日(土) 15:00～15:40
- (4) こどものイベント「ここがすごいぞ!わたしの「80年代」」
会期中随時(感想カードを配布のうえ、投稿を編集して掲出)
- (5) ミュージアム・ボランティアによる解説会
会期中の毎週日曜日 11:00～11:15



B1・B2ポスター



B3ポスター



チラシ

印刷物

- [ポスター] B1、B2、B3 片面カラー
[チラシ] A4 表面カラー、裏面2色
[作品リスト] A3二つ折り 両面1色
[こどものための鑑賞ガイド] A3二つ折り 両面1色
[図録] A4変形 2分冊 テキスト編34頁、図版編50頁
編集：兵庫県立美術館 江上ゆか、橋本こずえ、鈴木慈子
デザイン：西岡勉
発行：兵庫県立美術館
江上ゆか「関西の80年代—「アート・ナウ」に見る一断面」
キーワード解説①～⑤
章解説、作家略歴、出品リスト、各作品図版ならびに会場写真



図録

関連記事

- | | | | |
|----------------|--------|-------|---|
| 朝日新聞 | 4.15 | (朝刊) | 「関西の80年代展」 |
| 朝日新聞 | 4.6.15 | (朝刊) | 「私」発アート よみがえる「ナウ」(田中えれ奈) |
| 朝日新聞 | 4.6.18 | (朝刊) | 「関西の80年代」現代美術を回顧 兵庫県立美術館 |
| アートの定理 | 4.6.23 | (Web) | 91年生まれの私が観た『関西の80年代』と現代(明葉) |
| Tokyo Art Beat | 4.6.24 | (Web) | 関西の現代アートの原点、80年代にタイムトラベル。「兵庫県立美術館 開館20周年 関西の80年代」をレポート(原久子) |
| 神戸新聞 | 4.7.8 | (朝刊) | でかい、カラフル、時代の熱量 県美で開催中「関西の80年代」展(小林伸哉) |
| 京都新聞 | 4.7.9 | (朝刊) | 関西の80年代展 時代映した若い波(前芝直介) |
| 毎日新聞 | 4.7.9 | (夕刊) | 80年代 関西アートの熱風(山田夢留) |
| しんぶん赤旗 | 4.7.22 | (朝刊) | 兵庫県立美術館開館20周年「関西の80年代」展 時代の熱気と日本文化の伏流(アライ=ヒロユキ) |
| 産経新聞 | 4.7.22 | (夕刊) | 関西の80年代 兵庫県立美術館 空間埋め尽くす 私の世界(正木利和) |
| 朝日新聞 | 4.7.26 | (夕刊) | ふれず突き詰めた強さ 「関西の80年代」展 兵庫県立美術館(大西若人) |
| 朝日新聞 | 4.7.28 | (夕刊) | まだまだ勝手に関西遺産「京都市立芸大のハニワ」伝説アート ドキドキ「救出」(田中えれ奈) |
| AMeeT (Web) | 4.8.9 | (Web) | 兵庫県立美術館 開館20周年 関西の80年代(松尾恵) |
| artscape | 4.9.1 | (Web) | artscapeレビュー 関西の80年代(村田真) |
| artscape | 4.9.1 | (Web) | キュレーターズノート 日本の80年代美術展を展望する(中井康之) |
| ギャラリーときの忘れもの | | | 石原輝雄のエッセイ「美術館でブラパチ」(第16回) |
| | 4.9.18 | (Web) | 兵庫県立美術館『冊子・グラディヴァの頃』(石原輝雄) |
| TH | 4.11.7 | (92号) | 目立ったもん勝ちの異種格闘技戦 関西ニューウェーブの熱気を再現 「関西の80年代」展(樋口ヒロユキ) |

出品目録

No.	作者名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	所蔵
プロローグ 林檎と薔薇						
1	奥田善巳	78-35	1978	インク・紙	73.2×102	公益財団法人西宮市大谷記念美術館
2	北辻良央	WORK-RR2	1982	鉄、素焼粘土、パステル、紙	106×88×20	和歌山県立近代美術館
I フレームを超えて						
3	辰野登恵子	WORK-P81-31	1981	油彩・キャンバス	162×130	個人蔵
4	朝比奈逸人	無題	1982	油彩・キャンバス、合板	235.5×174.8	兵庫県立美術館(山村コレクション)
5	飯田三代	SURVIVE	1982	アクリル絵具・布、木、ビニール	400×240	作家蔵
6	北山善夫	言い尽くせない	1982(2022修復)	竹、紙、木、鉛、革、銅	320×510×270	一般財団法人草月会
7	中谷昭雄	Passage	1982	アクリル絵具・麻布	50.7×37×8	作家蔵
8	中谷昭雄	Pass age	1982	アクリル絵具・麻布	62×37×8	作家蔵
9	中谷昭雄	Pas sage	1982	アクリル絵具・麻布	62×58×8	作家蔵
10	福嶋敬恭	ENTASIS	1983	木、アクリル絵具 アクリル絵具、アルミフレーム、金粉キャンバス	238×70×20 238×570	作家蔵
11	栗岡孝於	Nature of Nature	1983	アクリル絵具・キャンバス	227×364	作家蔵
12	川島慶樹	Three Flamingo Pinks	1984	ケヤキ、砂岩、鉄、アクリル絵具	106×280×40	作家蔵
D-1	堀尾貞治	活動記録写真	1970年代末~80年代			一般財団法人堀尾貞治記念会
		タイトル	年代	会場		
		イベントと放置(ジョイント)	1978	個展(ギャラリーキタノサカス、神戸)		
		水袋と箱	1979	個展(靱ギャラリー、大阪)		
		形から質	1980	個展(兵庫運河、神戸)		
		形から質	1980	個展(東門画廊、神戸)		
		Location	1981	「アート・ナウ1970-1980」		
		水形	1982	兵庫運河		
		カンデンチ	1982	1982京都アンデパンダン展(京都市美術館)		
		なんでもないこと	1984	個展(ギャラリーすずき、京都)		
		箱小屋・箱に・箱で・箱を	1984	第4回架空通信テント美術館展(夙川公園、西宮)		
		石の服	1984	自宅前 第4回ZIGZAG展(ランドギャラリー、大阪)関連作		
		長い赤布袋の砂イス	1986	須磨海岸、神戸(六間画廊企画)		
		あたりまえのこと<精神に実験>	1986	個展(アトスペース虹、京都)		
D-2	榎忠	活動記録写真	1970年代末~80年代			作家蔵
		LSDF(Life Self Defense Force)	1979	「アート・ナウ79」		
		Bar Rose Chu	1979	個展(東門画廊、神戸)		
		スペースロプスター P-81	1981	神戸ポートアイランド博覧会(ポートピア'81) ポートアイランドテーマ館		
		2-3-7-8 TCDD Propagation Dioxin	1985	個展(喫茶スズヤ、神戸)		
II インスタレーションーニューウェーブの冒険						
13	藤浩志	こいのぼりくんの一生	1983/2022	染料・布、記録冊子ほか	サイズ可変	作家蔵
14	藤浩志	はにわ物語	1985/2022	セメント、記録冊子ほか	サイズ可変	作家蔵
15	石原友明	約束II	1984/2022	写真、油彩・変形キャンバス油彩紙	サイズ可変	高松市美術館・作家蔵
16	杉山知子	the drift fish	1984	アクリル絵具、樹脂、発泡スチロール、段ボール	約280×670×450	作家蔵
17	松井智恵	80年代のインスタレーションに関する素材、記録	1980年代	テキスト、スケッチブック、ドローイング、毛皮、石膏、写真、映像など		作家蔵
III 「私」のリアリティ						
18	森村泰昌	肖像(ファン・ゴッホ)	1985	カラー写真、透明メディウム	120×100	高松市美術館
19	森村泰昌	肖像(泉1、2、3)	1986-89	カラー写真、透明メディウム	各240×120	兵庫県立美術館(大和卓司氏遺贈記念収蔵)
20	濱田弘明	a piece of room 3	1985	パネル、木綿、布、紙、シルク	210×180	作家蔵
				スクリーン、コラーージュ		

No.	作者名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	所蔵
21	濱田 弘明	a piece of room 4	1985	パネル、木綿、紙、シルク	210×162	作家蔵
22	吉原 英里	M氏の部屋	1986	アクリル絵具・ベニヤパネル、額	サイズ可変	作家蔵
23	中西 圭子	無題	1985	アクリル絵具、糸、布	98×91	兵庫県立美術館
24	中西 圭子	無題	1985	アクリル絵具、クレヨン、糸、布	87×91	兵庫県立美術館
25	山崎 亨	Revolver	1985	ポリエステル樹脂、油彩、スプルス材	150×25×43.5	個人蔵
26	山崎 亨	BUOY	1987	ポリエステル樹脂、油彩、スプルス材着色	120×75×75	作家蔵
27	原田 要	花の器	1986	木材、水干顔料、フォルモ粘土	140×230×230	作家蔵
28	小西 祐司	W. L. H.	1984	アクリル絵具・キャンバス	192×252.5	作家蔵
29	河合(田中)美和	5月の陽気	1985	油彩・キャンバス	194×260	作家蔵
30	松尾 直樹	ねずみの冒険	1985	油彩、蜜蝋・麻キャンバス	225×91	高松市美術館
31	松尾 直樹	Heavy Corpus	1985/86	油彩、蜜蝋・綿キャンバス	240×492	ギャラリー16
32	中西 學	THE SUPER PALACE	1986	水性ペンキ、アクリル絵具、ウレタン塗料・発泡スチロール、紙他	183×252×10 183×368×10 183×252×10 183×368×10	作家蔵
33	池垣 タダヒコ	series "old melancholy"「胡鯨」	1985	銅、半田	125×680×520	和歌山県立近代美術館
34	松井 紫朗	Flower Vase	1985	鉄芯、エキスパンデッドメタル、粘土、水彩紙、和紙(麻紙)	350×160×160	兵庫県立美術館(山村コレクション)
35	川島 慶樹	Yellow Vacation I	1986	塩地、大理石、真鍮、亜鉛メッキした鉄、アクリル絵具	240×350×50	作家蔵
36	川島 慶樹	The Mercury Stork I	1987	楠、鉄、真鍮、大理石、アクリル絵具	80×230×60	作家蔵
37	三村 逸子	偏西風	1985	インク・海図	103×70	作家蔵
38	三村 逸子	偏西風の影響	1985	インク・海図	103×70	作家蔵
39	安井 寿磨子	桜	1986	エッチング、アクアチント・紙	36.5×56.5	作家蔵
40	安井 寿磨子	いつもの歌	1987	エッチング、アクアチント・紙	53×36.5	作家蔵
41	安井 寿磨子	いつでもどこでも	1988	エッチング、アクアチント・紙	53×36.5	作家蔵
42	北辻 良央	旅人と水守	1987	鉄、真鍮、銅、木、アクリル絵具、生駒石、ガラス、ラッパ	170×245×100	作家蔵
43	北辻 良央	無題	1987	鉛筆・紙	64×50	作家蔵
IV 「私」の延長に						
44	KOSUGI+ANDO(小杉美穂子・安藤泰彦)	芳一物語と研究	1987/2022	インスタレーション	サイズ可変	作家蔵
45	TRIO(福田新之助、浜本隆司、中澤テルユキ)	蟹の学校(カニクラウン)	1987	アクリル絵具・キャンバス	180×180	作家蔵
46	TRIO(福田新之助、浜本隆司、中澤テルユキ)	パンパーの決意	1987	アクリル絵具・キャンバス	180×274	作家蔵
47	赤松玉女+森村泰昌	男の誕生	1988	アクリル絵具・カラー写真	200×276	作家蔵
48	山部 泰司	咲く力I 1987-7	1987	油彩・キャンバス	260×390	京都市美術館
49	山部 泰司	咲く力変化I	1988	アクリル絵具・キャンバス	210×390	作家蔵
50	田嶋 悦子	Hip Island	1987	陶	サイズ可変	岐阜県現代陶芸美術館
51	中原 浩大	ロジアンアダプター+コウダイノモルフォ II	1989/90	毛糸、合板 鉛筆、色鉛筆・紙	サイズ可変	豊田市美術館・作家蔵

2. 2022県展

令和4年8月6日（土）～8月20日（土）
 兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー 2階大展示室

主 催：兵庫県、兵庫県立美術館、神戸新聞社、公益財団法人 兵庫県芸術文化協会
部 門：絵画、彫刻・立体、工芸、書、写真、デザイン

本展は兵庫県下における芸術の振興に寄与することを目的とする公募展で、出品者は県内在住・在勤・在学（かつて在住・在住・在学していた者を含む）アマチュア美術家である。昭和37（1962）年から開催されており、今回で59回を迎えた。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響下での開催となった本展では、出品料の前納、部門別による作品搬入、業者搬入日の設定など、昨年度の運営方法を踏襲し、感染防止対策に努めた。また、例年受付、返却、作品監視などに協力を依頼していたミュージアム・ボランティアや、博物館実習生による実技研修等の作業参加についても見送ることとし、美術館職員が全ての作業にあたった。

全体の応募数は前回より10点少なく、特に絵画の点数が減少したものの、写真部門への応募が増加した。一方で、三年振りとなる行動制限を伴わない夏休み期間での開催となったこともあり、来場者数は3024名と昨年度を700名以上上回った。



B2ポスター

<部門別応募点数及び入選数> ※（ ）内は入選数

絵画	180	(71)
彫刻・立体	20	(10)
工芸	29	(10)
書	65	(26)
写真	199	(78)
デザイン	19	(7)
計	512	(202)

<審査員> ※各部門50音順/敬称略

- 【県展大賞】** 蓑 豊（兵庫県立美術館館長）
- 【絵画】** 松生 歩（日本画家／京都芸術大学教授）
 山崎 均（神戸芸術工科大学教授／西脇市岡之山美術館副館長）
 渡辺 信明（画家／京都市立芸術大学教授）
- 【彫刻・立体】** 安藤 榮作（彫刻家）
 中谷 至宏（成安造形大学特任教授）
 西野 康造（彫刻家）
- 【工芸】** 叶 道夫（陶芸家）
 洲鎌佐智子（京都府京都文化博物館学芸課長）
 八幡はるみ（染色作家／京都芸術大学教授）
- 【書】** 薄木 水雲（兵庫県書作家協会運営理事）
 江草 幽研（兵庫県書作家協会運営理事）
 福島 松韻（兵庫県書作家協会副理事長）
- 【写真】** 今森 光彦（写真家）
 小谷 泰子（写真家）
 安田 篤生（奈良県立美術館副館長）



チラシ



出品目録

【デザイン】 辰巳 明久（デザイナー／アートディレクター／京都市立芸術大学教授）
 橋本 啓子（近畿大学准教授）
 長谷川義史（絵本作家）

印刷物

[出品規定] A3二つ折り 両面2色
 [ポスター] B2片面 1色
 [チラシ] A4片面 1色
 [出品目録] A4横、6頁

関連記事

神戸新聞 R4.5.29（朝刊） 「2022県展」実施要項決まる
 神戸新聞 R4.8.6（朝刊） 新進美術家の202点（特集）
 神戸新聞 R4.8.19（朝刊） 県展「県民賞」に渡部さん（たつの）

各部門入賞者

部門	賞	名前	作品名	
絵画	一席	部門大賞(知事賞)	該当なし	
	二席	兵庫県立美術館賞	三方 斌彦 《氷瀑の有馬七曲りの滝》	
	三席	神戸新聞社賞	門脇 済美 《map—三日月がかかる街》	
	四席	(公財)兵庫県芸術文化協会賞	波賀野文子 《漕上》	
	佳作		原 清 《さあさあ どうぞ!》	
	佳作		船越 和子 《木と木の間に》	
	佳作		竹田 恵子 《私があなただを知ること(Masked/ The way I know something)》	
	佳作		吉川 弥音 《まどろみ》	
	奨励賞	(公財)伊藤文化財団賞	藤本 隆正 《主イエスのためのfugue》	
	彫刻・立体	一席	部門大賞(知事賞)	円山 葉多 《彼、または彼女、あるいは私》
二席		兵庫県立美術館賞	相良みつよ 《飛ぶ刻-TobuToki-》	
三席		神戸新聞社賞	門脇 済美 《Bag-bag》	
四席		(公財)兵庫県芸術文化協会賞	藤本 尚隆 《ただよえる》	
佳作			高谷 敏正 《fly house》	
佳作			竹中 恭子 《ファンタジーワールド》	
奨励賞		(公財)伊藤文化財団賞	木村 歩 《柔く硬い現像》	
工芸		特席	県展大賞／一席 部門大賞(知事賞)	丹生 あさ 《Coral bleaching》
		二席	兵庫県立美術館賞	中村可南子 《果物のお腹(練り込み)》
		三席	神戸新聞社賞	越智圭太郎 《音玉》
	四席	(公財)兵庫県芸術文化協会賞	田中萬里子 《丹波布手織草木染帯裂》	
	佳作		佐々木稔子 《風》	
	佳作		河野 好文 《念珠入器》	
	佳作		十川加代子 《〈釉下彩磁〉猫's》	
	奨励賞	(公財)伊藤文化財団賞	三島 寛也 《ヨタカ》	
	書	一席	部門大賞(知事賞)	池本 竹風 《十竹》
		二席	兵庫県立美術館賞	向井百合子 《風立てば》
三席		神戸新聞社賞	橋本安希子 《クニヤブレテサンガアリ》	
書	四席	(公財)兵庫県芸術文化協会賞	中園 丁景 《蔡毅中詩》	

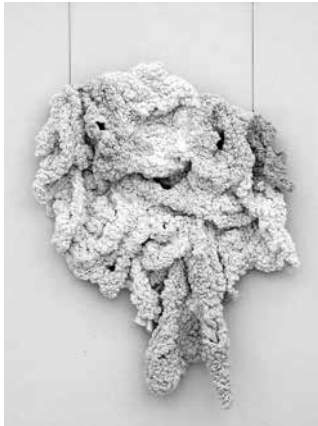
部門	賞	名前	作品名	
写真	佳作	浦 里江	《明詩》	
	佳作	船江千恵子	《POSE》	
	佳作	佃 清峰	《峨眉山月歌》	
	佳作	杉山 昌子	《人麻呂の歌》	
	佳作	山口 松蔭	《青谿書院偶題》	
	奨励賞	(公財)伊藤文化財団賞	増田奈々子	《ABC. . . 》
	一席	部門大賞(知事賞)	谷 登志朗	《京の赤》
	二席	兵庫県立美術館賞	木原 道也	《その先に?》
	三席	神戸新聞社賞	深町育三郎	《猿田彦命の先導》
	四席	(公財)兵庫県芸術文化協会賞	石田 泰彦	《ねぐら》
	佳作		鈴木 博	《ラベンダーに寄す》
	佳作		加藤 昭代	《手に余韻》
	佳作		中野 定子	《輝きを浴びて》
	佳作		赤松 昌哉	《最果て》
	佳作		福西 清春	《柵田の田植》
	デザイン	奨励賞	(公財)伊藤文化財団賞	中村 奏輝
一席		部門大賞(知事賞)	該当なし	
二席		兵庫県立美術館賞	早川 博唯	《シェイクスピア/ハムレット》
三席		神戸新聞社賞	風呂本和彦	《おへそ物語》
四席		(公財)兵庫県芸術文化協会賞	近藤輝久子	《川狩り》
佳作			はにおかひさこ	《ころも》
奨励賞		(公財)伊藤文化財団賞	水間 離子	《SCHEMA》

各部門大賞および県展大賞・県民賞 受賞作

[絵 画]

該当なし

[工 芸]



丹生あさ《Coral bleaching》
特席 県展大賞

[工 芸]



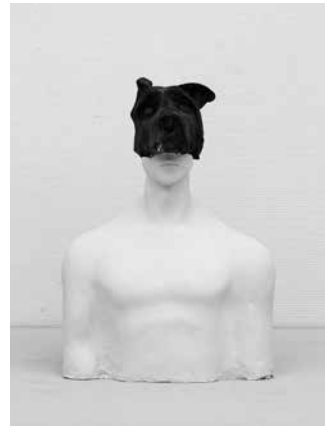
わたべみちこ《花嫁のかどで》
特別賞 県民賞

[写 真]



谷登志朗《京の赤》

[彫 刻 ・ 立 体]



円山葉多《彼、または彼女、あるいは私》

[書]



池本竹風《十竹》

[デ ザ イン]

該当なし

3. ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵－武者たちの物語

令和4年9月10日（土）～11月20日（日）

- 主催：兵庫県立美術館、ボストン美術館、日本経済新聞社、テレビ大阪、神戸新聞社
後援：アメリカ大使館
協賛：大林組、ダイキン工業、DNP大日本印刷、一般財団法人みなと銀行文化振興財団、
公益財団法人伊藤文化財団
特別協力：公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部
協力：日本航空

軍記物語や武勇伝説に見られる英雄たちの姿を描いた武者絵は、浮世絵の祖と呼ばれる菱川師宣の時代から、多くの浮世絵師によって手がけられてきた。本展覧会では、世界最高水準の日本美術コレクションを誇るボストン美術館の所蔵品から、武者絵118点と、精緻な工芸技術でそれらと共通の武者たちの姿をデザインした鐔27点、平安時代（11世紀）の刀工安綱から江戸時代の新刀までの日本刀の歴史を概観することができる刀剣20口を展示した。特に刀剣に関しては、ボストン美術館からこれだけの数がまとまって出品されるのは約半世紀ぶりのことであり、本展覧会の中でも重要な位置づけとなった。また、武者絵の世界をより分かりやすく紹介するため、国内コレクションからも刀剣6口、浮世絵3点を特別出品した。

関連事業 ※参加者数等はpp.59、69、70参照

(1) 講演会

「刀剣の見かた—HEROES展での楽しみ方—」

原田一敏（本展監修者、東京藝術大学名誉教授）

9月10日（土）14：00～15：30

「武者絵から広がる楽しみ」

岩切友里子（本展監修者、浮世絵研究家）

10月2日（日）14：00～15：30

「浮世に浮かぶものは何か」

タイモン・スクリーチ（第27回山片蟠桃賞受賞者、国際日本文化研究センター教授）

10月16日（日）14：00～15：30

(2) 学芸員による解説会

9月17日（土）、10月15日（土）、11月5日（土）

いずれも15：00～15：45

(3) ミュージアム・ボランティアによる解説会

会期中の毎週日曜日（10月23日は除く）11：00～11：15

(4) こどものイベント

「ようこそ！ヒーローの世界へ」

9月23日（金・祝）10：30～12：00

「つくってみよう！オリジナル刀剣」

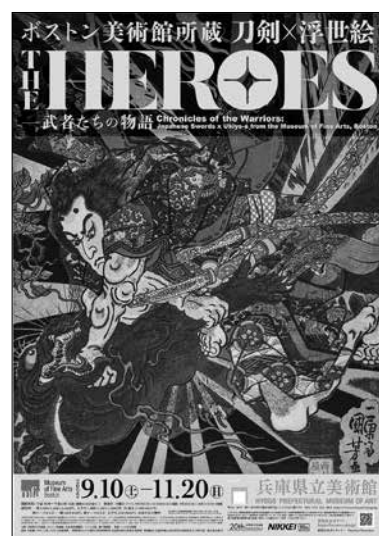
11月6日（日）10：30～12：30

(5) コンサート等のその他のイベント

「神田伯山、見参！HEROES講談会」

神田伯山（講談師）

9月11日（土）15：00～18：00



B2ポスター



B3ポスター



チラシ

印刷物

[ポスター] B2 片面カラー

[チラシ] A4 両面カラー

[作品リスト] A3二つ折り 両面モノクロ

[図録] A4 272頁

編集：岩切友里子、原田一敏、アン・ニシムラ・モース、セーラ・E・トンプソン、福永愛、ジェニファー・スノッドグラス、日本経済新聞社 文化事業局

発行：日本経済新聞社

作品図版 176点

原田一敏「ボストン美術館の日本刀」

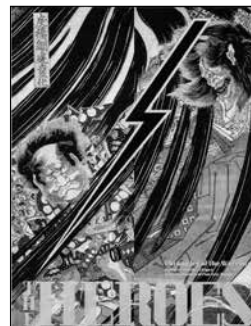
岩切友里子「武者絵のイコノグラフィー」

アン・ニシムラ・モース「日本の武士文化に見る英雄のイメージ ポストン美術館の日本刀剣と浮世絵について」

高橋哲也「銘から読み解く中世の刀剣－行年銘を中心に」

安永幸史「スサノオノミコトと午頭天王」

大石沙織「『平家物語』の浮世絵にみる義経の装束イメージ」



図録

関連記事

神戸新聞	22.1.6	(朝刊)	「刀剣×浮世絵－武者たちの物語」
日経新聞	22.1.11	(朝刊)	「武者絵に見る英雄の物語」
日経新聞	22.2.12	(朝刊)	「大胆な構図 迫力の武者絵」
神戸新聞	22.7.31	(朝刊)	「ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵－武者たちの物語 日本初出品 武者絵118点」
神戸新聞	22.9.6	(朝刊)	「かぶく群雄 里帰り ポストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵－武者たちの物語」
神戸新聞	22.9.10	(朝刊)	「刀と浮世絵 はるか武者の時代 「THE HEROS」展 県立美術館できょう開幕」(小林伸哉)
日経新聞	22.9.10	(朝刊)	「刀剣×武者絵 HEROS展 神戸できょう開幕」
日経新聞	22.9.19	(朝刊)	「THE HEROES 刀剣×浮世絵」展 兵庫ゆかり 名所・武者絵」
読売新聞	22.9.27	(朝刊)	「地元思う 芸術の秋 「一の谷」迫力の武者絵 県立美術館 刀など展示」
日経新聞	22.9.30	(朝刊)	「武者絵121点 英雄たちの軌跡」
日経新聞	22.9.30	(朝刊)	「刀剣26口 侍の世に思い馳せ」
神戸新聞	22.10.14	(朝刊)	「ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵－武者たちの物語 上」
神戸新聞	22.10.15	(朝刊)	「ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵－武者たちの物語 中」
神戸新聞	22.10.16	(朝刊)	「ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵－武者たちの物語 下」
日経新聞	22.10.17	(朝刊)	「ボストン美術館所蔵「刀剣×浮世絵」兵庫展 武勇伝描く浮世絵の名品」

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
1	福岡左兵衛尉長則	太刀 銘 長則造	鎌倉時代(14世紀)		全長95.5 刃長72.0 反り22	ボストン美術館
1章 神代の武勇譚						
2	歌川国芳	「武勇見立十二支 辰 素盞雄尊」	天保13年(1842)頃	木版・紙	中短冊 35.6×11.7	ボストン美術館
3	歌川国輝	「本朝英雄伝 牛頭天皇 稲田姫」	弘化4~嘉永5年(1847-52)頃	木版・紙	大判 35.5×24.2	ボストン美術館
4	月岡芳年	「大日本名将鑑 素盞烏尊 稲田姫」	明治12年(1879)2月20日	木版・紙	大判 36.9×24.5	ボストン美術館
5	歌川国芳	「武勇見立十二支 亥 雄略天皇」	天保13年(1842)頃	木版・紙	中短冊 35.5×12.4	ボストン美術館
6	歌川国芳	「小子部栖軽豊浦里捕雷」	天保5~6年(1834-35)頃	木版・紙	大判 36.3×25.3	ボストン美術館
7	歌川国芳	「出雲伊磨」	天保5~6年(1834-35)頃	木版・紙	大判 36.3×25.3	ボストン美術館
8	歌川国芳	「神我志姫」	文政9~11年(1826-28)頃	木版・紙	大判 36.0×24.5	ボストン美術館
9	無	銘 直刀 無銘	古墳時代(6世紀)		全長105.0	國學院大学博物館
2章 平安時代の武者						
10	生涼軒萩谷勝平	藤原秀郷図鐔 銘 生涼軒萩谷勝平(花押)	江戸~明治時代(19世紀)		8.3×7.8×0.5	ボストン美術館
11	勝川春亭	藤原秀郷の百足退治	文政元~3年(1818~20)頃	木版・紙	大判三枚続 38.0×76.8	ボストン美術館
12	歌川国芳	「龍宮城 田原藤太秀郷に三種の土産を贈」	安政5年(1858)4月	木版・紙	大判三枚続 35.6×76.5	ボストン美術館
13	勝川春亭	「前太平記文巻川合戦」	文化8~9年(1811~12)頃	木版・紙	大判三枚続 38.5×77.7	ボストン美術館
14	小沢正寿	小鳥丸(模作) 太刀 銘 小沢正寿作 昭和四十五年二月日 毎日新聞社賞受賞之作	昭和45年(1970)2月 [現品 平安時代(9世紀)]		刃長61.2 反り1.3	個人蔵
15	北尾重政	猿と熊の相撲の行司をする金太郎	安永元~3年(1772~74)頃	木版・紙	中判 26.2×19.4	ボストン美術館
16	歌川芳艶	「頼光足柄山二怪童丸抱図」	安政6年(1859)2月	木版・紙	大判三枚続 36.2×74.7	ボストン美術館
17	歌川国芳	「和漢準源氏 源頼光 薄雲」	安政2年(1855)9月	木版・紙	大判 35.8×25.3	ボストン美術館
18	銘 嘉永元戊申葉月応需 美も利(印)	土蜘蛛退治図鐔 銘 嘉永元戊申葉月応需 美も利(印)	嘉永元年(1848)		8.5×8.0×0.8	ボストン美術館
19	松涛軒貞勝	土蜘蛛退治図鐔 銘 松涛軒吾竹貞勝(花押)	明治時代(19世紀)		8.8×8.1×1.3	ボストン美術館
20	歌川国貞(三代歌川豊国)	「渡辺ノ綱 坂田金時 平井保昌 源頼光」	文化12年(1815)頃	木版・紙	大判三枚続 38.3×78.0	ボストン美術館
21	勝川春亭	坂田金時	寛政10年(1798)頃	木版・紙	大判 38.2×26.1	ボストン美術館
22	北尾政美	土蜘蛛退治	天明7~寛政2年(1787~90)頃	木版・紙	大判三枚続の中左図 31.0×44.5	ボストン美術館
23	歌川国芳	「源頼光の四天王土蜘蛛退治之図」	天保10~11年(1839~40)頃	木版・紙	大判三枚続 35.5×70.5	ボストン美術館
24	勝川春英	「坂田金時土蜘蛛退治之図」	文化3年(1806)	木版・紙	大判 37.8×25.4	ボストン美術館
25	菱川師宣	酒吞童子 首斬り	延宝8年(1680年)頃	木版・紙	墨摺 横大判 27.2×34.6	ボストン美術館
26	菱川師宣	酒吞童子 首飛来	延宝8年(1680年)頃	木版・紙	墨摺 横大判 27.2×34.3	ボストン美術館
27	菱川師宣	酒吞童子 凱旋、酒吞童子之首	延宝8年(1680年)頃	木版・紙	墨摺 横大判 27.3×36.3	ボストン美術館
28	歌川国芳	「源頼光」	文政3年(1820)頃	木版・紙	大判 37.8×26.0	ボストン美術館
29	起龍軒美盛	大江山図鐔(大) 銘 起龍軒美盛(花押)	明治時代(19世紀)		7.8×7.1×0.7	ボストン美術館
30	起龍軒美盛	大江山図鐔(小) 銘 起龍軒美盛(花押)	明治時代(19世紀)		7.2×6.6×0.7	ボストン美術館
31	安綱	太刀 銘 安綱	平安時代(11世紀)		全長101.5 刃長81.0 反り27	ボストン美術館
32	奥村政信	大和色竹「大江山酒天とうし」	宝永2~3年(1705~06)頃	木版・紙	墨摺 横大判 26.2×36.9	ボストン美術館
33	一筆斎文調	渡辺綱	明和6~安永元年(1769~72)頃	木版・紙	細判 29.8×15.1	ボストン美術館
34	歌川国貞	「茨鬼 辰橋綱逢変化」	文化12年(1815)頃	木版・紙	大判二枚続 36.4×50.0	ボストン美術館
35	月岡芳年	「美談武者八景 戸隠の晴嵐 平惟茂朝臣」	慶應4年(1868)1月	木版・紙	大判三枚続 35.7×72.9	ボストン美術館
36	月岡芳年	「大日本名将鑑 平惟茂」	明治12年(1879)	木版・紙	大判 36.7×25.0	ボストン美術館
37		紅葉狩図鐔 銘 生涼軒勝寿(花押)	江戸~明治時代(19世紀)		8.7×8.2×1.0	ボストン美術館
38	歌川国芳	「武勇見立十二支 丑 鬼童丸」	天保13年(1842)頃	木版・紙	中短冊 35.6×12.5	ボストン美術館
39	歌川国芳	「耀武八景 市原野晴嵐」	天保7年(1836)頃	木版・紙	大判 36.5×24.5	ボストン美術館
40	歌川国芳	「木曾街道六十九次之内 野尻 平井保昌 袴垂保輔」	嘉永5年(1852)5月	木版・紙	大判 35.3×24.6	ボストン美術館
41	月岡芳年	「明治十五壬午季秋絵画共進会出品画藤原保昌月下弄笛図応需」	明治16年(1883). 2月12日	木版・紙	大判三枚続 37.5×73.5	ボストン美術館
42	勝川春亭	「八幡太郎源義家公 安部貞任」	文化8~9年(1811-12)頃	木版・紙	大判二枚続 36.3×51.5	ボストン美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
3章 源平時代の英雄						
43	歌川国貞	「本朝高名鑑 平忠盛」	天保10~11年(1839~40)頃	木版・紙	大判 36.3×25.3	ボストン美術館
44	守親	祇園社頭図鑑 銘 嘉永三庚戌歳初夏 守親(印)	嘉永3年(1850)		10.1×9.5×0.8	ボストン美術館
45	於東都忍岡邊海野盛寿	祇園社頭図鑑 銘 於東都忍岡邊海野盛寿作之	江戸~明治時代(19世紀)		8.4×7.6×0.8	ボストン美術館
46	葛飾北為	「福原殿舎怪異之図」	弘化2~3年(1845-46)頃	木版・紙	大判三枚統 36.7×75.3	ボストン美術館
47	歌川国芳	「布引ノ滝悪源太討難波」	天保5~6年(1834~35)頃	木版・紙	大判 36.3×25.3	ボストン美術館
48	歌川国芳	「清盛入道布引滝遊覧悪源太義平堂討難波次郎」	天保元年(1830)頃	木版・紙	大判三枚統 35.5×70.3	ボストン美術館
49	北尾政美	鶴退治	寛政3~6年頃(1791~94)	木版・紙	掛物絵 65.2×23.1	ボストン美術館
50	鳥居清満	「一來法師 筒井浄妙」	宝暦5~13年(1755~63)頃	木版・紙	細判 31.0×14.0	ボストン美術館
51	北尾重政	「絵本武者鞋」宇治橋上の筒井浄妙と一來法師	天明7年(1787)	木版・紙	21.2×15.2	ボストン美術館
52	歌川国貞(三代歌川豊国)	「牛若鞍馬兵術劔」	文化11年(1814)頃	木版・紙	大判三枚統 38.4×76.5	ボストン美術館
53	歌川国芳	「西塔鬼若丸」	弘化2~3年(1845-46)頃	木版・紙	大判 36.3×25.3	ボストン美術館
54	鳥居清長	牛若丸と弁慶	天明4年(1784)頃	木版・紙	大判 38.2×26.2	ボストン美術館
55	歌川国貞(三代歌川豊国)	「武蔵坊弁慶 御曹子牛若丸」	文化10~11年(1813~14)頃	木版・紙	大判二枚統 38.0×51.5	ボストン美術館
56	歌川国芳	天狗の加勢を得て戦う牛若丸と弁慶	嘉永3年(1850)頃	木版・紙	大判三枚統 36.8×76.0	ボストン美術館
57		橋弁慶図鑑 無銘	江戸時代(19世紀)		7.4×7.6×0.6	ボストン美術館
58	連行	橋弁慶図鑑 銘 連行(花押)	江戸時代(19世紀)		7.4×7.2×0.8	ボストン美術館
59	友成	太刀 銘 友成作	平安時代(11世紀)		刃長96.0cm 反り3.1cm	刀剣博物館 ((公財)日本美術刀剣保存協会)
60	歌川国芳	「真田與市宗定 俣野五郎景久」	文政11~12年(1828~29)頃	木版・紙	大判 37.3×26.5	ボストン美術館
61	歌川国芳	「俣野五郎景久 真田与一義定」	天保14-弘化元年(1843~44)頃	木版・紙	大判 36.3×25.3	ボストン美術館
62	瀬尾美寿造	伏木隠れ図鑑 銘 瀬尾美寿造	明治時代(19世紀)		6.5×6.3×0.7	ボストン美術館
63		伏木隠れ図鑑 無銘(宗典派)	江戸時代(18世紀~19世紀)		7.5×7.1×1.0	ボストン美術館
64	無款	宇治川の先陣争い	天明期(1781~88)頃	木版・紙	柱絵 69.5×12.0	ボストン美術館
65	歌川国芳	「宇治川合戦之図」	嘉永2~3年(1849-50)頃	木版・紙	大判三枚統 36.9×74.6	ボストン美術館
66	藻柄子入道宗典行	宇治川先陣争い図鑑 銘 江州彦根住喜多川藻柄子入道宗典行年七十一歳製	江戸時代(19世紀中頃)		9.0×9.0×0.6	ボストン美術館
67	常山宮玉川信義	宇治川先陣争い図鑑 銘 常山宮 玉川信義(花押)	明治時代(19世紀後半、1886年以前)		7.0×6.8×0.9	ボストン美術館
68	林美勝	宇治川先陣争い図鑑 銘 林美勝(花押)	江戸時代(19世紀中頃)		7.0×6.3×0.7	ボストン美術館
69	生涼軒勝平	宇治川先陣争い図鑑 銘 生涼軒勝平(花押)	江戸時代(18世紀後半~19世紀前半)		8.4×7.1×0.6	ボストン美術館
70	田村貞信	「武者三幅対 智源義経」	享保10~元文5年(1725~40)頃	木版・紙	細判32.7×15.3	ボストン美術館
71	魚屋北溪	「武者松竹梅番統」弁慶	文政11~12年(1828~29)頃	木版・紙	色紙判20.8×18.0	ボストン美術館
72	歌川国芳	「生田森追手源平大合戦」	弘化2~3年(1845-46)頃	木版・紙	大判三枚統 36.5×75.2	個人蔵
73		籠の梅図鑑 銘 江州住美光作	江戸時代(19世紀)		7.6×7.1×0.6	ボストン美術館
74	藻柄子	籠の梅図鑑	江戸時代(19世紀)		8.2×8.1×0.5	ボストン美術館
75	歌川国芳	義経之軍兵一ノ谷逆落し之図	天保11~12年(1840~41)	木版・紙	大判三枚統 36.8×75.3	個人蔵
76	北尾政美	一の谷合戦	天明7~寛政2年(1787~90)頃	木版・紙	間判三枚統 31.0×67.0	ボストン美術館
77	勝川春亭	「一ノ谷合戦」	文化8~10年(1811~13)頃	木版・紙	大判三枚統 39.5×79.3	ボストン美術館
78	伝奥村政信	平敦盛と熊谷直実	正徳元~5年(1711~15)頃	木版・紙	墨摺 横大判 27.4×35.5	ボストン美術館
79	伝杉村治兵衛	弓を引く那須与一	貞享元~元禄元年(1684~1700)頃	木版・紙	墨摺 大判 56.3×30.9	ボストン美術館
80	鳥橋斎栄里	扇の的を射る那須与一	寛政7~8年(1787~90)頃	木版・紙	柱絵 62.8×12.0	ボストン美術館
81	勝川春章	源義経	明和5~6年(1768~69)頃	木版・紙	中判 28.6×21.1	ボストン美術館
82	北尾政美	屋島合戦	天明7~寛政2年(1787~90)頃	木版・紙	間判二枚統 30.7×43.6	ボストン美術館
83	歌川豊国	しころ引き「七兵衛影清 三保の谷四郎国俊」	文化10~12年(1813~15)頃	木版・紙	大判二枚統 36.6×49.4	ボストン美術館
84	江州住義光	源平合戦図鑑 銘 江州住美光作	江戸時代(19世紀)		7.9×7.4×0.6	ボストン美術館
85	高瀬栄寿	鍛引き図鑑 銘 高瀬栄寿	江戸時代(19世紀)		6.9×6.4×0.7	ボストン美術館
86	月岡芳年	「義経八島之名誉」	慶應2年(1866)4月	木版・紙	大判三枚統 36.2×73.6	ボストン美術館
87		義経弓流し図鑑 無銘(水戸派)	江戸時代(19世紀)		7.5×7.0×0.6	ボストン美術館
88	歌川国芳	「程義経恋源一代鏡 三略伝」能登守教経から逃れる源義経	嘉永6年(1853)1月	木版・紙	大判 36.1×25.3	ボストン美術館
89	在川真正	義経八艘飛び図鑑 銘 在川真正	江戸時代(19世紀)		7.6×7.0×0.6	ボストン美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
90	歌川国芳	「長門国赤間の浦に於いて源平大合戦平家一門悉く亡びる図」	弘化2~3年(1845~46)頃	木版・紙	大判三枚続 36.3×73.4	ボストン美術館
91	歌川国芳	「壇浦戦之図」	弘化元年(1844)頃	木版・紙	大判三枚続 35.6×71.4	ボストン美術館
92	長円	太刀 折返銘 長円(薄緑)	平安時代(11世紀)		刃長73.6 反り2.4	個人蔵
93	勝川春亭	「堀川夜合戦」	文化11~文政2年(1814~19)頃	木版・紙	大判三枚続 36.7×77.8	ボストン美術館
94	葛飾北為	「摂州大物浦平家怨霊顕る図」	弘化4~嘉永3年(1847-50)頃	木版・紙	大判三枚続 36.0×73.9	ボストン美術館
95	歌川国芳	「程義経恋源一代鏡 三略伝」大物浦	嘉永6年(1853年)1月	木版・紙	大判 36.1×25.3	ボストン美術館
96	豊原国周	「文治四年摂州大物浦難風の図」	万延元年(1860)4月	木版・紙	大判三枚続 36.8×76.9	ボストン美術館
97	歌川国芳	佐藤忠信奮戦	弘化2年(1845)頃	木版・紙	大判三枚続 36.0×74.1	ボストン美術館
98	歌川国芳	「佐藤忠信勇義義時が勢を破る図」	安政2年(1855)9月	木版・紙	縮繪三枚続 21.0×46.3	ボストン美術館
99	歌川芳虎	「加賀国安宅の関にて斎藤武藏坊弁慶勳進帳を讀図」	弘化4~嘉永3年(1847-50)頃	木版・紙	大判三枚続 35.7×73.0	ボストン美術館
100	歌川国芳	「加賀国安宅関弁慶主従危難救図」	安政3年(1856)2月	木版・紙	大判三枚続 37.0×75.1	ボストン美術館
101	歌川国芳	「袈裟御前 遠藤武者盛遠 渡辺渡」	弘化2年(1845)頃	木版・紙	大判三枚続 37.5×75.5	ボストン美術館
102	歌川国貞(三代歌川豊国)	「本朝高名鑑 文覚聖人」	天保10~11年(1839~40)頃	木版・紙	大判 36.3×25.3	ボストン美術館
103	筑山軒元貞	文覚上人荒行図 鐘 筑山軒元貞(花押)	江戸時代(19世紀)		6.9×6.3×0.7	ボストン美術館
104	歌川国芳	「越後国の住人城四郎長茂平家のさいそくにしたがい出陣なす折から空中に怪異を見る図」	嘉永2~4年(1849~52)頃	木版・紙	大判三枚続 37.7×77.2	ボストン美術館
105	三代歌川豊国(歌川国貞)	源頼朝の前で舞う静御前	嘉永2~5年(1849~53)頃	木版・紙	大判三枚続 35.9×74.0	ボストン美術館
106	北尾政美	巴御前	天明7~寛政2年(1787~90)頃	木版・紙	大判 38.8×25.7	ボストン美術館
107	勝川春亭	「義仲北国日野川合戦」	文政元~2年(1818~19)頃	木版・紙	大判三枚続 39.3×78.9	ボストン美術館
108	歌川国芳	「巴御前」	弘化4年(1847)頃	木版・紙	大判 36.8×25.2	ボストン美術館
109	歌川国芳	俱利伽羅谷合戦	弘化2年(1845)頃	木版・紙	大判三枚続 37.2×75.2	ボストン美術館
110	魚屋北溪	「武者松竹梅番続」 巴御前	文政11~12年(1828~29)頃	木版・紙	色紙判 20.9×18.2	ボストン美術館
111	勝川春亭	「粟津合戦 三枚続」	文化4年(1807)10月	木版・紙	大判三枚続 36.8×72.6	ボストン美術館
112	歌川広重	「源平盛衰記 粟津原合戦」	天保14年~弘化3年(1843-46)頃	木版・紙	大判三枚続 36.7×73.8	ボストン美術館

4章 鎌倉時代の物語

113	歌川国貞	「河津三郎祐安 海老名源八 弘綱 股野五郎景久」	天保9年~11年(1838-40)頃	木版・紙	大判三枚続 35.6×72.4	ボストン美術館
114	豊春	(新板浮絵 和田酒盛草摺引之図)	安永4~10年(1775~81)頃	木版・紙	横大判 23.3×33.5	ボストン美術館
115	勝川春亭	「春詠」 草摺引の額	文政2~3年(1819~20)頃	木版・紙	色紙判 20.9×18.0	ボストン美術館
116	北尾重政	猪をしとめる仁田四郎	宝暦10~14年(1760~64)頃	木版・紙	細判紅摺絵 30.9×13.5	ボストン美術館
117	歌川国貞	「源頼朝公富士之裾野牧狩之図 三枚続」	文化10年(1813)頃	木版・紙	大判三枚続 37.9×77.1	ボストン美術館
118	寿親(土屋寿親)	富士裾野巻狩り図 鐘 寿親(花押)	江戸時代(19世紀)		7.4×7.0×0.7	ボストン美術館
119	歌川国芳	「建久四年五月廿八日富士之裾野曾我兄弟夜討本望之図」	天保7年(1836)頃	木版・紙	大判三枚続 36.8×75.8	ボストン美術館
120	歌川国貞(三代歌川豊国)	「曾我五郎時宗 御所五郎九重宗 十番切」	文政8年(1825)頃	木版・紙	大判 39.0×25.5	ボストン美術館
121	魚屋北溪	江の島の北条時政	天保4年(1833)頃	木版・紙	色紙判 21.2×18.0	ボストン美術館
122	葵岡溪栖	江の島の弁財天と北条時政	天保4年(1833)頃	木版・紙	色紙判二枚続 43.2×18.6	ボストン美術館
123	歌川国芳	「和田合戦 義秀惣門押破」	嘉永5年(1852)6月	木版・紙	大判三枚続 35.8×73.4	個人蔵

5章 「太平記」の武将たち

124	歌川芳虎	楠正成赤坂城籠城	嘉永2年(1849)	木版・紙	大判三枚続 37.4×76.8	ボストン美術館
125	歌川国芳	「楠多門丸正行 竹童丸」	天保14~弘化3年(1843-46)頃	木版・紙	大判 37.0×25.6	ボストン美術館
126	勝川春章	楠公父子桜井の別れの図	安永8~9年(1779~80)頃	木版・紙	柱絵 67.2×12.0	ボストン美術館
127	歌川国貞(三代歌川豊国)	「大森彦七」	文政11~13年(1828-30)頃	木版・紙	大判 36.3×25.3	ボストン美術館
128		大森彦七図 鐘 浜野矩隋(印)	江戸時代(18世紀)		7.7×6.6×0.4	ボストン美術館
129		大森彦七図 鐘	江戸時代(19世紀)		7.5×7.4×0.7	ボストン美術館
130	歌川国芳	「勇魁三十六合戦 四」 新田義貞	嘉永4~5年(1851~52)頃	木版・紙	横大判 24.3×36.3	ボストン美術館
131	二代歌川広重(歌川重宣)	新田義貞稲村ヶ崎奉剣	嘉永2~5年(1849~52)頃	木版・紙	大判三枚続 35.7×73.1	ボストン美術館
132	無銘	新田義貞投剣図 鐘 無銘(水戸派)	江戸時代(19世紀)		6.9×6.6×0.7	ボストン美術館
133	歌川国芳	「淵部伊賀守討大塔宮」	天保5~6年(1834~35)頃	木版・紙	大判 37.7×25.9	ボストン美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
134	歌川国芳	「木曾街道六十九次之内 宮の越 大塔宮」	嘉永5年(1852)5月	木版・紙	大判 35.2×24.6	ボストン美術館
135	歌川国芳	「太平記天龍川之浮橋図」	天保13年(1842)頃	木版・紙	大判三枚続 35.7×73.0	ボストン美術館
6章 川中島合戦						
136	歌川国芳	「川中島信玄謙信旗本大合戦之図」	弘化2年(1845)頃	木版・紙	大判三枚続 36.0×71.4	ボストン美術館
137	歌川国芳	「信州川中島大合戦之図」	弘化2年(1845)頃	木版・紙	大判三枚続 36.0×71.5	ボストン美術館
138	歌川国芳	「信州川中島武田の正兵西条山を引きかへし雨宮のわたりをこへ越後方甘粕近江守と戦ふ図」	安政2年(1855年)9月	木版・紙	大判三枚続 37.0×75.1	ボストン美術館
139	二代歌川国輝(二代歌川国綱)	「甲越両将川中島大戦全」	安政6年(1859)5月	木版・紙	大判三枚続 36.0×73.0	ボストン美術館
140	来国俊	太刀 銘 国俊	鎌倉時代(13世紀)		刃長83.6cm 反り3.5cm	個人蔵
141	長船長光	太刀 銘 長船長光 文永十一年十月廿五日	鎌倉時代 文永11年(1274)		刃長73.6cm 反り3.2cm	米沢市上杉博物館
7章 小説のヒーローたち						
142	歌川国芳	「為朝誉十傑 二」 為朝と狼の子	弘化4~嘉永元年(1847-48)頃	木版・紙	大判 36.9×24.8	ボストン美術館
143	己楼北鷺	「椿説弓張月 巻中略図 山雄(狼ノ名也)主のために蟒蛇を嚙んで山中に骸を止む」	天保11年(1840)頃	木版・紙	大判三枚続 37.8×76.9	ボストン美術館
144	二代歌川国貞(三代歌川国政、四大歌川豊国)	「弓張月振分双六」	安政2年(1855)年8月	木版・紙	双六 70.2×74.0	ボストン美術館
145	歌川国芳	「鬼童丸」	天保11年(1840)頃	木版・紙	大判 36.3×25.4	ボストン美術館
146	一英斎芳艶	「破奇術頼光袴垂為搦」	安政5年(1858)4月	木版・紙	大判三枚続 37.4×76.3	ボストン美術館
147	歌川国芳	「本朝水滸伝剛勇八百人一個 宮本無三四」	天保4~6年(1833~35)	木版・紙	大判 36.3×25.3	ボストン美術館
148	歌川広重	「英雄五人傑 宮本無三四」	弘化4~嘉永元年(1847-48)頃	木版・紙	大判 36.8×24.9	ボストン美術館
149	歌川国芳	「將軍太郎良門味方ノ勢を聚る図」	嘉永2~3年(1849-50)頃	木版・紙	大判三枚続 37.0×73.1	ボストン美術館
150	豊原国周	「相馬良門古寺之図」	安政5年(1858)8月	木版・紙	大判三枚続 36.0×75.5	ボストン美術館
151	歌川国芳	「伊賀寿太郎 將軍太郎平良門 滝夜刀姫」	弘化元年(1844)頃	木版・紙	大判三枚続 37.0×75.5	ボストン美術館
152	歌川芳虎	「越中立山の地獄谷に肉芝道人蛙合戦の奇をあらはし良門伊賀寿の両雄に妖術を授く」	元治元年(1864)6月	木版・紙	大判三枚続 35.7×74.8	ボストン美術館
153	歌川国芳	「里見八犬伝一覽」	嘉永5年(1852)	木版・紙	大判三枚続 35.5×74.8	ボストン美術館
154	三代歌川豊国(歌川国貞)	里見八犬伝「犬田小文吾」	弘化2~3年(1845~46)頃	木版・紙	大判 37.4×25.5	ボストン美術館
155	三代歌川豊国(歌川国貞)	里見八犬伝「犬坂毛乃胤智」	弘化2~3年(1845~46)頃	木版・紙	大判 37.4×25.5	ボストン美術館
156	歌川芳虎	犬飼現八庚申山で化け猫を射る	嘉永2~3年(1849-50)頃	木版・紙	大判三枚続 36.5×74.0	ボストン美術館
8章 ボストン美術館の名刀						
157	伝来国光	刀 無銘 伝来国光	鎌倉時代(14世紀)		全長86.0cm 刃長69.0cm 反り1.8cm	ボストン美術館
158	伝千手院	短刀 無銘 伝千手院	鎌倉時代(13世紀)		全長32.0cm 刃長22.0cm 内反り0.2cm	ボストン美術館
159	大和尻懸則長	短刀 銘 大和尻懸則長四十八作之 文保三年己未三月十日	鎌倉時代 文保3年(1319)		全長33.5cm 刃長23.0cm	ボストン美術館
160	福岡一文字重久	太刀 銘 重久	鎌倉時代(13世紀)		全長92.4cm 刃長70.0cm 反り1.8cm	ボストン美術館
161	伝福岡一文字	刀 無銘 伝福岡一文字	鎌倉時代(13世紀)		全長88.8cm 刃長69.5cm 反り2.4cm	ボストン美術館
162	来国宗	脇指 銘 来国宗	南北朝時代(14世紀)		長さ30.5cm 反り0.3cm	ボストン美術館
163	福岡左兵衛尉長則	短刀 銘 備前国福岡左兵衛尉長則 正安二年八月日	鎌倉時代 正安2年(1300)		全長38.0cm 刃長26.5cm	ボストン美術館
164	光忠	刀 金象嵌銘 光忠	鎌倉時代(13世紀)		全長91.0cm 長さ69.0cm 反り1.8cm	ボストン美術館
165	長船長光	刀 金象嵌銘 長光 本阿(花押)	鎌倉時代(13世紀)		全長86.0cm 長さ68.0cm 反り2.4cm	ボストン美術館
166	長船兼光	太刀 銘 備州長船住兼光	鎌倉時代(14世紀)		全長90.0cm 刃長71.0cm 反り2.0cm	ボストン美術館
167		金梨子地家紋散糸巻太刀拵	江戸時代(17世紀)		全長109.0cm	ボストン美術館
168	吉岡一文字助重	太刀 銘 一備州長船住助重 作 康永貳年十一月十二日	南北朝時代 康永2年(1343)		全長101.0cm 刃長80.0cm 反り2.0cm	ボストン美術館
169	伝長義	刀 無銘 伝長義	南北朝時代(14世紀)		全長86.0cm 刃長69.0cm 反り2.4cm	ボストン美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
170	三 条 吉 則	太刀 銘 三条吉則作	室町時代(15世紀)		全長78.5cm 刃長62.0cm 反り2.0cm	ボストン美術館
171	加 納 夏 雄	蠟色塗鞘打刀拵 牡丹図鐔 風吹牡丹図柄	江戸時代~明治時代(19世紀)		全長88.5cm 柄長18.9cm 鞘長67.1cm 鐔7.6×6.7cm	ボストン美術館
172	備 州 長 船 盛 重	太刀 銘 備州長船盛重	南北朝時代~室町時代(14~15世紀)		全長88.5cm 刃長72.0cm 反り2.6cm	ボストン美術館
173	堀 川 国 広	刀 銘 洛陽住信濃守国広 慶長十五年八月日	江戸時代 慶長15年(1610)		全長93.5cm 長さ73.5cm 反り1.5cm	ボストン美術館
174	井 上 真 改	脇差 銘 井上真改 (菊紋) 延宝三年八月日	江戸時代 延宝3年(1675)		全長66.0cm 刃長51.0cm 反り1.7cm	ボストン美術館
175	長 曾 祢 興 正	刀 銘 長曾祢興正	江戸時代(17世紀)		全長88.0cm 刃長69.5cm 反り1.3cm	ボストン美術館
176	水 心 子 正 秀	水心子正秀(花押) 寛政三年八月日	江戸時代 寛政3年(1791)		全長92.0cm 長さ70.0cm 反り1.6cm	ボストン美術館

4. 注目作家紹介プログラム チャンネル13 吉村宗浩 画家とアトリエ・メチエの修行場

令和4年10月8日（土）～11月6日（日）
ギャラリー棟1階アトリエ1

主 催：兵庫県立美術館
協 賛：公益財団法人伊藤文化財団
助 成：公益財団法人中内力コンベンション振興財団

13回目となるチャンネル展として、画家の吉村宗浩（1961年生）の個展を開催した。吉村は30年を超える画歴を誇り、還暦も過ぎているが、その独特の味わいを湛えた作品は、この10年ほどの間に注目を集めるようになった。まさしく今をときめく「注目作家」である。

吉村は会期中、ほとんどの時間を会場である当館アトリエ1での制作に費やし、数点の新作を制作した。来場者は壁面に展示された吉村の代表作を鑑賞するだけでなく、その日ごとに様子が変わる作業風景や制作中の作品が日々進展する様子を見ることができた。こうした更新されていく会場の様子は、展覧会リーフレットの追加ページとしてまとめ、美術館HP上でも発信した。長年にわたって地道な活動を続けてきた地元神戸の作家を紹介する試みは、「若手作家」ではなく「注目作家」を取り上げることを旨としてきたチャンネルという企画の多様な在り方を示すものともなった。



チラシ

関連事業 ※参加者数等はp.76参照

アーティストトーク

吉村宗浩（出品作家）、小林公（当館学芸員）

10月16日（日）14：00～16：00

印刷物

[チラシ] A4 両面カラー

[リーフレット] A3二つ折り 両面単色 ※10/8、10/30、11/8付けでA4両面カラーのPDFデータ「supplement」を当館HP上で発信



リーフレット

関連記事

神戸新聞 4.10.21（朝刊）「悲しみ」の美 追い求めて（小林伸哉）

出 品 目 録

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵	備考*
1	体験学習	2006	キャンバスに油彩	46×41	作家蔵	3
2	行進	2006-2020	キャンバスに油彩	45.5×53	作家蔵	4
3	転倒	2007	キャンバスに油彩	45.5×53	作家蔵	5
4	舞い上がれ赤い風船	2008	キャンバスに油彩	45.5×53	個人蔵	10
5	パーティーの失敗	2008	キャンバスに油彩	38×53	個人蔵	8
6	ピクニックオンブルーシート	2008	キャンバスに油彩	53×43.5	作家蔵	9
7	悲しみの星	2008	キャンバスに油彩	32×44	作家蔵	11
8	赤いジャケットの男	2008-2012	キャンバスに油彩	65.2×53	作家蔵	221
9	白いマフラーの少女	2009	キャンバスに油彩	45.5×38	個人蔵	19
10	青い緑の風景	2009	キャンバスに油彩	60.6×72.7	作家蔵	16
11	ヨーロッパアンサン	2009	キャンバスに油彩	65.2×53	作家蔵	13
12	紅葉	2009	キャンバスに油彩	53×43.5	作家蔵	15
13	水浴図(遠浅)	2009	キャンバスに油彩	39×47.2	作家蔵	
14	パン工場から出てきた二人	2009	キャンバスに油彩	44×31.5	作家蔵	14
15	問題神父	2009-2017	キャンバスに油彩	36.5×31.7	個人蔵	6
16	山上遊園地	2010	キャンバスに油彩	72.7×60.6	作家蔵	18
17	ヨット展示場	2010-2012	キャンバスに油彩	38×45.5	個人蔵	219
18	メガネ店の美しいポスター(ピクニック)	2010-2022	キャンバスに油彩	65.2×53	作家蔵	202
19	看護部長の恋	2011-2016	キャンバスに油彩	45.5×38.1	個人蔵	20
20	北欧家具の展示	2011	キャンバスに油彩	60.6×72.7	作家蔵	23
21	波のでるプール	2012	キャンバスに油彩	38×45.5	個人蔵	32
22	城の音楽隊	2012	キャンバスに油彩	60.6×72.7	作家蔵	30
23	引率教師1	2012-2021	キャンバスに油彩	60.6×72.7	作家蔵	27
24	テレビを見る少年	2013	キャンバスに油彩	45.5×38	個人蔵	
25	眼鏡をかけた少年	2013	キャンバスに油彩	41×31.8	個人蔵	35
26	壊れた橋	2013	キャンバスに油彩	53×45.5	作家蔵	36
27	西日を浴びる看護師	2013	キャンバスに油彩	53×43.5	作家蔵	
28	城	2013	キャンバスに油彩	38×45.5	作家蔵	33
29	立食パーティ	2013-2017	キャンバスに油彩	91×116.7	個人蔵	61
30	海沿いの住宅	2013-2022	キャンバスに油彩	72.7×60.6	作家蔵	208
31	日没の遊園地	2015	キャンバスに油彩	38×45.5	個人蔵	
32	森	2015	キャンバスに油彩	53.0×45.5	作家蔵	43
33	軍艦の見える風景	2015-2016	キャンバスに油彩	79×74	個人蔵	51
34	真夜中のマラソンマン	2015-2019	キャンバスに油彩	91×63	個人蔵	116
35	散髪屋で見かけた青年	2015-2019	キャンバスに油彩	41×31.8	個人蔵	123
36	北方の旅行者(凍傷にかかった)	2015-2019	キャンバスに油彩	72.7×60.6	作家像	121
37	漁をする少女	2015-2021	キャンバスに油彩	72.7×60.6	作家蔵	152
38	極寒のラウンジ(ムンクさんこんばんは)	2015-2022	キャンバスに油彩	72.7×91	作家蔵	
39	石を投げる男	2015-2022	キャンバスに油彩	72.7×60.6	作家蔵	183
40	多頭飼い	2016	キャンバスに油彩	45.5×38	個人蔵	48
41	校外学習	2016	キャンバスに油彩	53×65.2	作家蔵	49
42	軽装の女性登山家	2016-2017	キャンバスに油彩	45.5×53	個人蔵	47
43	ウインドアイ1	2016-2018	キャンバスに油彩	41×31.8	個人蔵	79
44	工事現場	2016-2022	キャンバスに油彩	91×65.5	作家蔵	210
45	大聖堂	2017	キャンバスに油彩	88×112	作家蔵	58
46	ウインドアイ2	2017	キャンバスに油彩	41×31.8	個人蔵	
47	空地	2017	キャンバスに油彩	50×60.6	作家蔵	60
48	展望レストラン	2017	キャンバスに油彩	53×43.5	作家蔵	56
49	ホテルラブエニウエイ	2017	キャンバスに油彩	43.5×53	作家蔵	57
50	コッド岬の観光客	2017-2022	キャンバスに油彩	70×51.8	作家蔵	64

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵	備考*
51	観覧席	2018	キャンバスに油彩	91×130	個人蔵	98
52	中古車販売店のオーナー	2018	キャンバスに油彩	49.5×34.5	個人蔵	87
53	問題神父4	2018	キャンバスに油彩	36.5×31.7	個人蔵	71
54	電線のある風景	2018	キャンバスに油彩	45.5×38	作家蔵	93
55	公園の小径を歩くパロマー氏	2018	キャンバスに油彩	37.2×32.5	作家蔵	72
56	公園の小径を歩くスモールマン	2018	キャンバスに油彩	37.2×32.5	作家蔵	65
57	抽象画家の部屋	2019	キャンバスに油彩	45.5×53	個人蔵	
58	人生ゲーム	2019	キャンバスに油彩	45.5×38	作家蔵	115
59	切り倒された木	2019	キャンバスに油彩	38×45.5	作家蔵	109
60	足場	2019	キャンバスに油彩	45.5×38	作家蔵	
61	抽象セット5	2019-2022	キャンバスに油彩	38×45.5	作家蔵	
62	極寒の水浴図	2020	キャンバスに油彩	45.5×53	個人蔵	143
63	北方の旅行者(機嫌の悪い)	2020	キャンバスに油彩	45.5×38	個人蔵	131
64	県会議員の家	2020-2021	キャンバスに油彩	38×45.5	個人蔵	162
65	椅子の上の画集	2020-2021	キャンバスに油彩	45.5×38	個人蔵	148
66	幸せの方向を示す二人の神父	2021	キャンバスに油彩	92.5×163	作家蔵	170
67	家具屋の息子	2021	キャンバスに油彩	58.5×92.5	作家蔵	154
68	遊園地の倉庫	2021	キャンバスに油彩	91×72.7	作家蔵	167
69	草上の昼食	2021	キャンバスに油彩	60.6×72.7	作家蔵	155
70	突貫工事	2021	キャンバスに油彩	53×45.5	作家蔵	169
71	野外ステージ跡	2021	キャンバスに油彩	45.5×53	作家蔵	166
72	ルーム	2021	キャンバスに油彩	45.5×53	作家蔵	150
73	伐採工事	2021	キャンバスに油彩	53×45.5	作家蔵	168
74	崖の下の住宅	2021	キャンバスに油彩	45.5×38	作家蔵	
75	岩場の令嬢	2021	キャンバスに油彩	41×31.8	作家蔵	177
76	ダークレゴ	2021	キャンバスに油彩	38×35	作家蔵	146
77	サウナ室	2021	キャンバスに油彩	38×45.5	作家蔵	150
78	メガネ屋で見かけた美しいポスター(少年)	2021-2022	キャンバスに油彩	41×31.8	作家蔵	
79	パロマー氏の肖像	2021-2022	キャンバスに油彩	33.3×24.2	作家蔵	
80	引率教師2	2022	キャンバスに油彩	80.3×100	作家蔵	190
81	メガネ店の美しいポスター (古典的風景に佇むサングラスの女性)	2022	キャンバスに油彩	95.3×61.4	作家蔵	203
82	希望を胸に	2022	キャンバスに油彩	80×69	作家蔵	213
83	問題神父の大きな肖像	2022	キャンバスに油彩	133.3×121	作家蔵	
84	白化粧で振り向く問題神父	2022	キャンバスに油彩	147.5×92	作家蔵	198
85	問題神父の待ち伏せ	2022	キャンバスに油彩	147.5×92	作家蔵	199
86	雲の上のパロマー氏	2022	キャンバスに油彩	147.5×92	作家蔵	197
87	パロマー氏のサーフィン	2022	キャンバスに油彩	115×80	作家蔵	196
88	岩場の紳士	2022	キャンバスに油彩	60.6×72.7	作家蔵	194
89	海辺の男たち	2022	キャンバスに油彩	45.5×53	作家蔵	206
90	寝そべる令嬢	2022	キャンバスに油彩	45.5×53	作家蔵	187
91	赤い服の引率教師	2022	キャンバスに油彩	38×45.5	作家蔵	
92	岩場の四人の令嬢	2022	キャンバスに油彩	45.5×53	作家蔵	205
93	猫目の執事と令嬢	2022	キャンバスに油彩	31.8×41	作家蔵	200
94	じゃがいもとバナナ	2022	キャンバスに油彩	32.7×28.8	作家蔵	
S1	北方の旅行者4	2019	キャンバスに油彩	41×31.8	作家蔵	120
S2	外出	2022	キャンバスに油彩	60.2×72.7	作家蔵	212

*図版が『吉村宗浩画集 悲しみの星』(888ブックス、2022年)に掲載されている作品については掲載頁を記載した。

5. 兵庫県立美術館開館20周年記念「李禹煥」展 令和4年12月13日(火)～令和5年2月12日(日)

主 催：兵庫県立美術館、朝日新聞社
 協 力：SCAI THE BATHHOUSE
 協 賛：公益財団法人伊藤文化財団
 助 成：一般財団法人安藤忠雄文化財団
 特別協力：公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部

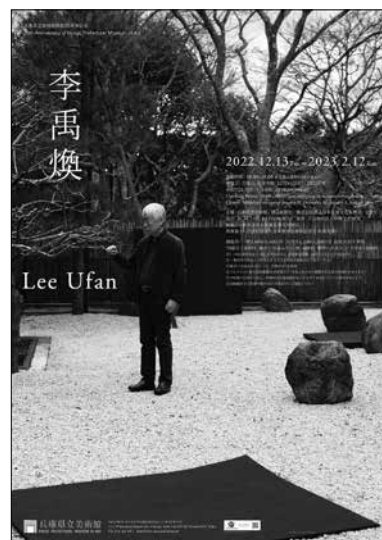
日本の「もの派」を代表する作家で、国際的にも大きな注目を集めてきた現代美術家、李禹煥（リ・ウファン、1936年生）の大規模な回顧展を開催した。近年の李の活動は海外を主とし、グッゲンハイム美術館（ニューヨーク、2011年）やヴェルサイユ宮殿（2014年）、ポンピドゥー・センター・メッス（2019年）など、世界の名だたる美術館で個展を開催している。

国内では、2010年に香川県直島町に建築家、安藤忠雄の設計で李禹煥美術館が開館しているが、美術館の大規模な個展としては、2005年の横浜美術館での「李禹煥 余白の芸術」展が最後となる。本展は20年振りの李の日本の公立美術館での個展ということで、国内外の注目を集めた。展示構成は作家自身が行い、絵画と彫刻の2部構成となった。国立新美術館からの巡回展ながら、会場面積の違いから東京会場のみ出品となる作品、反対に兵庫のみ出品となった作品などがあり、また同一の作品でありながら構成される要素が変更され、会場に現れる姿が異なるものもあった。展示される場との関係で作品は成り立つとする李の作家としての特性が発揮された展覧会となった。作家の意向から展示室内では言葉による説明が極力排されたが、これを補うものとして用意した漫画仕立ての鑑賞ガイドは親しみやすいと好評を博した。

本展の関連事業のうち作家が登壇する対談は「令和4年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業」として国立新美術館、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁と共同で実施し、原則として日英の字幕を付した記録映像を配信した。また同事業として記録集も刊行された。

関連事業 ※参加者数等はpp.59、70参照

- (1) 李禹煥 対話より—「もの派」の現代性
 李禹煥（出品作家）×浅田彰（批評家・京都芸術大学教授）
 12月17日(土) 14:00～15:00
- (2) 李禹煥 対話より—美術としての建築、建築としての美術
 李禹煥（出品作家）×安藤忠雄（建築家）
 12月25日(日) 14:00～15:00 ※記録映像の配信はなし
- (3) 李禹煥 対話より—展覧会を歩く
 李禹煥（出品作家）×島袋道浩（美術家）
 12月17日(土) ※無観客で実施し記録映像を配信
- (4) 李禹煥 対話より—他の人が聞いていなかったこと
 李禹煥（出品作家）×島袋道浩（美術家）
 12月17日(土) 撮影 ※会場内でのトークを無観客で実施し記録映像を配信
- (5) こどものイベント「見て感じて 李禹煥」
 1月28日(土) 10:30～12:00
- (6) 学芸員による解説会
 2月4日(土) 15:00～16:30



B2ポスター



B3ポスター



チラシ

- (7) ミュージアム・ボランティアによる解説会
会期中の毎週日曜日 11:00~11:15

印刷物

- [ポスター] B1、B2、B3 片面カラー
[チラシ] A4 両面カラー
[作品リスト] A3二つ折り 両面単色
[鑑賞ガイド] A3三つ折り 両面単色 ※日英2種、巡回館共通のもの
[図録] A4変形 304頁 ※平凡社より一般書籍『李禹煥』として刊行



鑑賞ガイド(日英)

- 逢坂恵理子「メッセージ」
蓑豊「メッセージ」
李禹煥「開かれる無限」
アルフレッド・バックマン「パリへの旅」
建畠哲「作品の外部性—李禹煥の世界」
章解説「1936-1968 初期活動」「1969-1972 もの派の起源と展開」「1973-1979 絵画のはじまり—〈点より〉〈線より〉」「1980-1999 風の時代から、照応へ」「2000-2009 余白の芸術」「2010-2022 開かれる無限」

図版

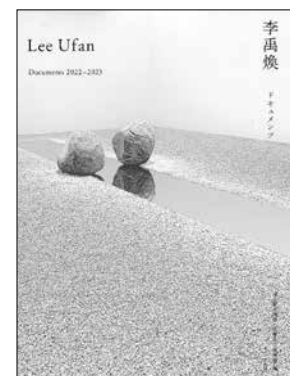
- 李禹煥「見ることの身体的場性」
小林公「李禹煥《風景》(1968年) 試論」
米田尚輝「〈関係項〉について」
関連年表、受賞・受章歴、主要展覧会歴、主要文献、作品リスト



図録

- [記録集] 『李禹煥:ドキュメンツ 2022-2023』A4変形 192頁

- 国立新美術館 展示風景
兵庫県立美術館 展示風景
図版
アレクサンドラ・モンロー「李禹煥一場の芸術」
吉竹美香「李禹煥ともの派—進化とその後」
ドリユン・チョン「中間者—(美術)世界における李禹煥とその位置について」
ジルケ・フォン・ベルスヴォルト・ヴェルラーベ「対話の空間—ポップムのシチュアション・クンストにおける李禹煥の作品」
ジャン=マリ・ガレ「李禹煥とフランス」
座談会
作品リスト



記録集

関連記事

- | | | |
|--------|---------------|---------------------------------------|
| 読売新聞 | 4. 8. 30 | 「もの派・李禹煥さん大回顧展」(竹内和佳子) |
| 日本経済新聞 | 4. 10. 1 | 「空間を満たす無限の余白」(赤塚佳彦) |
| 朝日新聞 | 4. 10. 2 | 「回顧展 なお未知へ向かって」(大西若人) |
| 朝日新聞 | 4. 12. 6 | 「李禹煥展 神戸で13日開幕」 |
| 朝日新聞 | 4. 12. 13 | 「李禹煥回顧展 きょう開幕」(渡義人) |
| 朝日新聞 | 4. 12. 22 | 「空間に満ちる力 開かれるところ」(木村尚貴) |
| 朝日新聞 | 5. 1. 5 | 「モノとモノ 無限を感じて」(渡義人) |
| 朝日新聞 | 5. 1. 6 | 「李禹煥」 |
| 神戸新聞 | 5. 1. 6 | 「「もの派」李禹煥さん 西日本初の大回顧展」(小林伸哉) |
| 産経新聞 | 5. 1. 20 (夕刊) | 「欲望の美術史(138) 「もの派」導いた男の精神性と余韻」(宮下規久朗) |
| 毎日新聞 | 5. 2. 1 (夕刊) | 「ものと空間 今照らす展観」(山田夢留) |
| 読売新聞 | 5. 2. 2 (夕刊) | 「李禹煥展 半世紀超 活動の軌跡」(小林直貴) |

出品目録

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
1	風景 I, II, III	1968 / 2015	スプレーペイント/カンヴァス	218.2×291 (3点組)	個人蔵(群馬県立近代美術館寄託)
4	第四の構成A	1968	蛍光塗料/ベニヤ板	93×120	作家蔵
5	第四の構成B	1968 / 2022	蛍光塗料/ベニヤ板	96.3×156.3	作家蔵
6	関係項	1968 / 2019	石、鉄、ガラス	石:高さ約80、鉄板:1.6×240×200、ガラス板:1.5×240×200	森美術館、東京
7	関係項、原題:現象と知覚 B	1968 / 2022	石、ガラス	石:高さ約60、ガラス板:1.9×220×250	作家蔵
8	関係項、原題:現象と知覚 A	1969 / 2012	石、ゴム	石:高さ約35、40、50(3点組)、サイズ可変	作家蔵
9	関係項、原題:物と言葉	1969 / 2022	カンヴァス	約325×216(3点組)	作家蔵
10	関係項、原題:構造A	1969 / 2022	鉄、綿	180×180×190	作家蔵
11	関係項、原題:関係項(於いてある場所) I	1970 / 2022	鉄	0.45×140×200(5点組)	作家蔵
12	関係項、原題:関係項(於いてある場所) II	1970 / 2022	木	220×20×20(9点組)	作家蔵
14	点より	1973	岩絵具、膠/カンヴァス	182.5×227.5	いわき市立美術館
15	点より	1973	岩絵具、膠/カンヴァス	162×112	作家蔵
18	点より	1977	岩絵具、膠/カンヴァス	182×227	東京国立近代美術館
20	点より	1978	岩絵具、膠/カンヴァス	182×227	公益財団法人福武財団/李禹煥美術館
21	風より	1978	岩絵具、膠/カンヴァス	227×182	作家蔵
23	線より	1977	岩絵具、膠/カンヴァス	182×227	東京国立近代美術館
24	線より	1978	岩絵具、膠/カンヴァス	182×227	公益財団法人福武財団/李禹煥美術館
25	線より	1979	岩絵具、膠/カンヴァス	181×227	公益財団法人アルカンシエール美術財団/原美術館コレクション
26	線より	1980	岩絵具、膠/カンヴァス	218.5×290.5	世田谷美術館
27	線より	1980	岩絵具、膠/カンヴァス	218.3×291	宮城県美術館
30	関係項一サイレンス	1979 / 2005	石、鉄	石:高さ70.5、鉄板:280×210.3×1.2	神奈川県立近代美術館
31	風より	1983	岩絵具、油/カンヴァス	227.3×182	神奈川県立近代美術館
32	風より	1985	岩絵具、油/カンヴァス	227×182	豊田市美術館
35	風と共に	1991	岩絵具、油/カンヴァス	218×291	作家蔵
36	風と共に	1991	岩絵具、油/カンヴァス	218×291	作家蔵
37	照応	1992	岩絵具、油/カンヴァス	194.3×259	神奈川県立近代美術館
38	照応	1992	岩絵具、油/カンヴァス	194.2×259.4	神奈川県立近代美術館
39	項	1984	石、鉄	石:高さ57.5、壁面の鉄板:139.4×123.3×1.2、床面の鉄板:1.2×114×128	神奈川県立近代美術館
40	関係項一応答	2003 / 2010	石、鉄	石:高さ75、鉄板:3×150×140	作家蔵
41	関係項一不協和音	2004 / 2022	石、ステンレス	石:高さ35、高さ45(2点組)、ステンレス棒:350(2点組)	作家蔵
42	関係項一彼と彼女	2005 / 2022	石、鉄	石:高さ70、鉄板:2×200×170	作家蔵
43	関係項一サイレンス	2006 / 石:2014、カンヴァス:2022	石、カンヴァス	石:高さ75、カンヴァス:227×182	個人蔵
44	対話	2009	岩絵具、油/カンヴァス	218×291	公益財団法人福武財団/李禹煥美術館
45	対話	2009	岩絵具、油/カンヴァス	218×291	公益財団法人福武財団/李禹煥美術館
46	対話	2010	岩絵具、油/カンヴァス	227×364(2枚組)	公益財団法人福武財団/李禹煥美術館
47	関係項一星の影	2014 / 2022	石、電球	石:90(2点組)	作家蔵
49	関係項一棲処(B)	2017 / 2022	石	サイズ可変	作家蔵
53	関係項一無限の糸	2022	ステンレス、糸	サイズ可変	作家蔵
54	対話	2020	アクリル絵具/カンヴァス	218×291	作家蔵
55	応答	2020	アクリル絵具/カンヴァス	291×218	作家蔵
56	応答	2021	アクリル絵具/カンヴァス	291×218	作家蔵
57	応答	2021	アクリル絵具/カンヴァス	218×291	作家蔵
58	応答	2022	アクリル絵具/カンヴァス	291×218	作家蔵
61	応答	2021	アクリル絵具/カンヴァス	227×182	作家蔵
62	関係項	1974 / 2022	石、鉄、木炭	石:高さ約5、15、20、鉄棒:100	作家蔵
63	関係項一ロープ干し	1974 / 2022	壁、釘、ロープ	サイズ可変	作家蔵

6. 恐竜図鑑—失われた世界の想像／創造

令和5年3月4日（土）～5月14日（日）

主催：兵庫県立美術館、産経新聞社、関西テレビ放送

協賛：DNP大日本印刷、公益財団法人伊藤文化財団

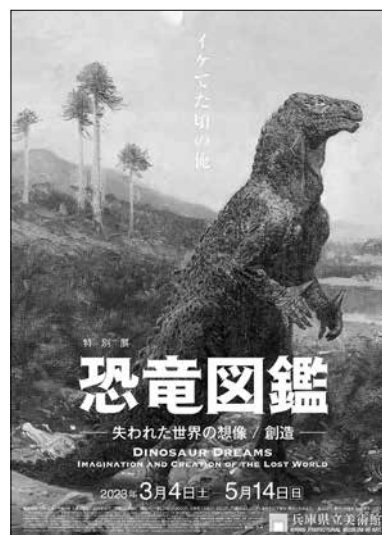
特別協力：公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部

企画協力：小田隆（画家・イラストレーター・京都精華大学教授）、徳川広和（古生物造形作家・株式会社ACTOW代表）、田村博（ジャズピアニスト・恐竜グッズ収集家）、エリック・ビュフトー（古生物学者・フランス国立科学研究センター名誉研究部長）

制作協力：ウイステリアート

人類が誕生する遙か以前、中生代（約2億5000万年前～6600万年前）の地球を支配していた恐竜たち。絶滅して久しい彼らを実際に見ることは不可能ながら、その姿を再現しようという試みは、恐竜という存在が「発見」された19世紀の前半以来、現在に至るまで絶え間なく続けられてきた。今日では、自然史系博物館の主要コンテンツとして化石標本や復元模型が陳列され、映画・漫画・玩具といったエンターテインメントの分野でも多くの人々を魅了している。

本展では、これまで美術館で取り上げられる機会があまりなかった恐竜に着目した。過去200年に描かれたパレオアート（古生物美術）の名作や珍品を国内外から集め、「恐竜誕生—黎明期の奇妙な怪物たち」、「古典的恐竜像の確立と大衆化」、「日本の恐竜受容史」、「科学的知見によるイメージの再構築」という4つの章に分けて、想像力によって創造された恐竜イメージの変遷をたどった。



B2ポスター

関連事業 ※参加者数等はpp.59、70参照

(1) 記念トークショー

「描かれた恐竜たち」

倉谷滋（理化学研究所生命機能科学研究センター・チームリーダー）、徳川広和（本展企画協力者、古生物造形作家）

3月19日（日）14：00～15：30

(2) 記念講演会

「古生物の復元」

小田隆（本展企画協力者／画家・京都精華大学教授）

4月8日（土）14：00～15：30

(3) 学芸員による解説会

3月11日（土）、4月22日（土）いずれも15：00～15：45

(4) こどものイベント

「きみも恐竜アーティスト！」

3月25日（土）4月29日（土・祝）いずれも13：30～16：00

(5) ミュージアム・ボランティアによる解説会

会期中毎週日曜日 11：00～11：15

(6) 県美シネマクラシック

特別展「恐竜図鑑—失われた世界の想像／創造—」開催記念上映「ロスト・ワールド VS キングコング」

4月14日（金）

10：30～「ロスト・ワールド」（1925年／アメリカ／モノクロ・サイレント／63分）

※放映後、「恐竜図鑑」展解説

14：00～「キングコング」（1933年／アメリカ／モノクロ／97分）



B3ポスター



A3チラシ

(7) その他のイベント

恐竜くみワークショップ「骨格に基づいて、科学的に恐竜を描く」

3月4日(土) 11:00~12:00、14:30~15:30

印刷物

[ポスター] B1、B2、B3 片面カラー

[チラシ] A3二つ折り 両面カラー

[鑑賞ガイド] A3二つ折り 両面カラー

[図録] A4変型 264頁

編集：岡本弘毅、鈴木慈子、樫原千寿帆、和泉さなえ、杉本怜奈、藤本聡

発行：産経新聞社

作品図版約200点

徳川広和「憧れの、また友人・先輩でもある恐竜たち」

倉谷滋「ジョン・マーティンの描く古生物学的悪夢」

エリック・ビュフトー「20世紀のパレオアート」

ヤン・ステイスカル「ドヴール・クラロヴェー動物園のズデニェク・ブリアンの絵画」

田村博「近代日本恐竜史—伝来からルネサンスの夜明けまで」

所十三「空想科学の恐竜たち」

ジュニファー・ノフゼ「ランツェンドルフ・コレクション」

小田隆「古生物の復元—タンパティタニス・アミキティアエの骨格復元図制作の事例」

岡本弘毅「初期古生物絵画における崇高と死の表現」

章解説、作品解説、恐竜の系統、恐竜インデックス、作品リスト



鑑賞ガイド

関連記事

芸術新潮 2022年12月号

産経新聞 23.2.28 (朝刊) 「恐竜図鑑」慎重に点検・展示 来月4日から 兵庫県立美術館

産経新聞 23.3.1 (朝刊) 太古の住人と未知の出会い 恐竜図鑑 3月4日から 兵庫県立美術館 (正木利和)

産経新聞 23.3.5 (朝刊) 古生物美術 パレオアートで見る研究の歴史

産経新聞 23.3.13 (夕刊) 恐竜図鑑—失われた世界の想像／創造—① 人気博したブリアン代表作

産経新聞 23.3.14 (夕刊) 恐竜図鑑—失われた世界の想像／創造—② まるで悪夢のように

産経新聞 23.3.15 (夕刊) 恐竜図鑑—失われた世界の想像／創造—③ パレオアートの象徴

産経新聞 23.3.16 (夕刊) 恐竜図鑑—失われた世界の想像／創造—④ 現代美術にも進出

神戸新聞 23.3.17 (朝刊) 恐竜画 想像力の凄み 県美で特別展 150点、アート作品や模型も (小林伸哉)

産経新聞 23.3.17 (夕刊) 恐竜図鑑—失われた世界の想像／創造—⑤ 美術解剖学の研鑽重ね

毎日新聞 23.3.25 (夕刊) 躍動するアートな恐竜たち 兵庫県美で約150点 (山田夢留)

読売新聞 23.3.30 (夕刊) 化石なし 異色の恐竜展 (持丸直子)

産経新聞 23.3.31 (夕刊) 恐竜像 美術史の変遷映す (正木利和)

神戸新聞 23.4.5 (朝刊) 伝説的な恐竜、怪物映画上映 14日、県立美術館「恐竜図鑑」開催記念

産経新聞 23.4.13 (夕刊) 見たことある！パレオアート 2大巨匠の肉筆画

産経新聞 23.4.21 (夕刊) 欲望の美術史141 童心つかんだ 無限の想像力 (宮下規久朗)

週刊文春 4月27日号 その他の世界48 恐ろしいトカゲ、竜、鳥 (木下直之)

産経新聞 23.5.3 (朝刊) パレオアート 古生物復元の魅力 美しく正確でカッコいい恐竜たち (塩塚夢)

朝日新聞 23.6.13 (夕刊) 絵画×科学 恐竜に“命”吹き込む 想像に新見解取り込み 200年の変遷 (神宮桃子)

産経新聞 23.6.28 (夕刊) 科学と一緒に進化してきた恐竜アート (真鍋真)

出品目録

No.	作者名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	所蔵
第1章 恐竜誕生—初期の奇妙な怪物たち						
1	ジョージ・シャーフ(ハンリー・デ・ラ・ベーチによる)	ドゥリア・アンティクイオル(太古のドーセット)	1830年	リトグラフ・紙	32.2×42	ロンドン自然史博物館
2	ロバート・ファレン	ジュラ紀の海の生き物—ドゥリア・アンティクイオル(太古のドーセット)	1850年頃	油彩・カンヴァス	190×268	ケンブリッジ大学セジウィック地球科学博物館
3	ジョージ・シャーフ	復元された爬虫類 サセックス州ティルゲートの森で発見された化石をもとに	1833年	水彩、鉛筆、掻き落とし・紙	22.5×31.6	アレクサンダー・ターンブル図書館(ニュージーランド国立図書館テブナ・マクワンガ・オ・ア・テア・ロア)、ウエリントン
4	ジョン・マーティン	イグアノドンの国	1837年	水彩・紙	30.2×42.6	ニュージーランド国立博物館テ・ババ・トンガレフ、ウエリントン
5	ジョン・マーティン	イグアノドンの国 ギデオン・マンテル[地質学の驚異](第6版・1848年)口絵	1848年	メゾチント・紙	9×14.5	個人蔵
6	ジョン・マーティン	海竜の生態 トマス・ホーキンス[大いなる海竜の書](1840年)口絵	1840年	メゾチント・紙	19.8×29.2	ロンドン自然史博物館
7	ジョン・マーティン	爬虫類の時代 ジョージ・リチャードソン[初学者のための地質学](1842年)口絵	1842年	エングレーヴィング・紙	9.5×15.6	個人蔵
8	アドルフ・フランソワ・パンネマーケル	原始の世界 W・F・A・ツイン・マーマン[人類誕生以前の世界、あるいは宇宙のゆかこ](第10版・1857年)口絵	1857年	エングレーヴィング・紙	11.2×17.8	エリック・ビュフトー・コレクション
9	ヨーゼフ・クヴァセク	フアンツ・ウンガー[様々な形成期における原始の世界]	1851年	リトグラフ・紙		エリック・ビュフトー・コレクション
9-a		ムッシェルカルク期(三畳紀中期)			42×57	
9-b		コイパー泥灰岩期(三畳紀後期)			42×57	
9-c		ウールデン層群期(白亜紀前期)			42×57	
10	ベンジャミン・ウォーターハウス・ホーキンス	水晶宮のイグアノドン(マケット)	1853年頃	ブロンズ	34×45×18	ロンドン自然史博物館
11	ベンジャミン・ウォーターハウス・ホーキンス	イグアノドン晩餐会へのオリジナル招待状、1853年12月31日	1853年	インク・紙	18×12.7	ロンドン自然史博物館
12	ベンジャミン・ウォーターハウス・ホーキンス	『ウォーターハウス・ホーキンスの絶滅動物図』	1857年頃	リトグラフ・紙		ロンドン自然史博物館
12-a		爬虫綱—地球上第二紀に生息していたエナリオサウリアすなわち海棲トカゲ			72.2×90.7	
12-b		爬虫綱—地球上第二紀に生息していたデノサウリアすなわち巨大トカゲとプロサウリアすなわち有翼トカゲ			71×91	
12-c		爬虫綱—地球上第二紀に生息していたデノサウリアすなわち巨大トカゲ			71×90.3	
13	ベンジャミン・ウォーターハウス・ホーキンス	ジュラ紀初期の海棲爬虫類	1876年	油彩・カンヴァス	80.3×155.5	プリンストン大学地球科学部、ギヨー・ホール
14	ベンジャミン・ウォーターハウス・ホーキンス	ジュラ紀の生き物—ヨーロッパ	1877年	油彩・カンヴァス	80.3×219.4	プリンストン大学地球科学部、ギヨー・ホール
15	ベンジャミン・ウォーターハウス・ホーキンス	白亜紀の生き物—ニュージーランド	1877年	油彩・カンヴァス	81×221.6	プリンストン大学地球科学部、ギヨー・ホール
16	エドゥアール・リウー	イグアノドンとメガロサウルス(白亜紀前期) ルイ・フィギエ[大洪水以前の地球](第2版・1863年)挿絵	1863年	木口木版・紙	9.7×15.6	個人蔵
17		高層住宅に前足をかければ、6階のバルコニーで食事ができたかもしれない カミュ・フラマリオン[人類誕生以前の世界](1886年)挿絵	1886年	エングレーヴィング・紙	27.4×19.2	エリック・ビュフトー・コレクション
18	アタナシウス・キルヒャー	ドラクンクルス(小さなドラゴン) 『地下世界』第2巻(1665年)挿絵	1665年	書籍		関西大学図書館
19	ヘンドリック・ヤーコプ・フォート	ベルセウスとアンドロメダ	1720年	油彩・板	31.2×39.1	ボウズ博物館、バーナード・キャッスル
20	ギュスターヴ・ドレ	魚と鳥の創造 ジョン・ミルトン[失楽園](1882年)挿絵	1882年	木口木版・紙	24.8×20.8	個人蔵
21	マックス・クリンガー	『手袋』(第3版・1893年)	1893年	(a) エッチング・紙 (b) エッチング、アクアチント・紙		兵庫県立美術館
21-a		不安			11×23.7	
21-b		誘拐			8.9×21.8	
第2章 古典的恐竜像の確立と大衆化						
22	レオン・ベッケル	1882年、ナッサウ宮殿の聖ゲオルギウス礼拝堂で行われたベルニサル最初のイグアノドンの復元	1884年	油彩・カンヴァス	118×96	ベルギー王立自然史博物館、ブリュッセル
23	チャールズ・R・ナイト	ドリフトサウルス(飛び跳ねるラエラプス)	1897年	グアッシュ・厚紙	40×58	アメリカ自然史博物館、ニューヨーク
24	チャールズ・R・ナイト	アガタウマス・スフェノケルス(モノクロウ)	1897年	グアッシュ・厚紙	40×57	アメリカ自然史博物館、ニューヨーク
25	チャールズ・R・ナイト	ステゴサウルス	1901年	油彩・カンヴァス	61×92	アメリカ自然史博物館、ニューヨーク

No.	作者名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	所蔵
26	チャールズ・R・ナイト	ベルム紀—テキサス	1931年	油彩・カンヴァス	38.1×96.5	プリンストン大学
27	チャールズ・R・ナイト	三疊紀—南アフリカ	制作年不詳	油彩・カンヴァス	38.1×45.7	プリンストン大学
28	チャールズ・R・ナイト	ジュラ紀—ユタ	制作年不詳	油彩・カンヴァス	38.1×45.7	プリンストン大学
29	チャールズ・R・ナイト	ジュラ紀—ドイツ	制作年不詳	油彩・カンヴァス	38.7×46	プリンストン大学
30	チャールズ・R・ナイト	ジュラ紀—コロラド	1931年	油彩・カンヴァス	38.1×96.5	プリンストン大学
31	チャールズ・R・ナイト	ジュラ紀—イングランド	制作年不詳	油彩・カンヴァス	38.1×96.5	プリンストン大学
32	チャールズ・R・ナイト	白亜紀—モンゴル	制作年不詳	油彩・カンヴァス	38.1×45.7	プリンストン大学
33	チャールズ・R・ナイト	白亜紀—アルバータ	1931年	油彩・カンヴァス	38.1×96.5	プリンストン大学
34	チャールズ・R・ナイト	白亜紀—モンタナ	1928年	油彩・カンヴァス	38.1×96.5	プリンストン大学
35	チャールズ・R・ナイト	白亜紀—カンザス	1921年	油彩・カンヴァス	38.1×96.5	プリンストン大学
36		テポールライヤルトカオカバニ—[太古の動物]	1916年	リトグラフ・紙		エリック・ビュフト—コレクション
36-a	ハインリヒ・ハーダー	プテラノドン 表紙			19×27	
36-b	ハインリヒ・ハーダー	巨大アルマジロ			19×27	
36-c	ハインリヒ・ハーダー	翼竜			19×27	
36-d	ハインリヒ・ハーダー	ディノテリウム			19×27	
36-e	ハインリヒ・ハーダー	ステゴサウルス			19×27	
36-f	ハインリヒ・ハーダー	カモノハシ竜			19×27	
36-g	ハインリヒ・ハーダー	巨大翼竜、プテラノドン			19×27	
36-h	ハインリヒ・ハーダー	爬虫類のような鳥、アーケオプテリクス			19×27	
36-i	ハインリヒ・ハーダー	魚竜			19×27	
36-j	ハインリヒ・ハーダー	ディプロドクス			19×27	
36-k	ハインリヒ・ハーダー	三葉虫			19×27	
36-l	ハインリヒ・ハーダー	アンモナイト			19×27	
36-m	ハインリヒ・ハーダー	石炭林の中のアルケゴサウルス			19×27	
36-n	F・ジョン	コンブソグナトゥス			19×27	
36-o	F・ジョン	捕食恐竜			19×27	
36-p	F・ジョン	ノトサウルス			19×27	
36-q	F・ジョン	ディメトロドン			19×27	
36-r	F・ジョン	ティロサウルス			19×27	
36-s	F・ジョン	トリケラトプス			19×27	
36-t	F・ジョン	マンモス			19×27	
36-u	F・ジョン	ステラーカイギュウ			19×27	
36-v	F・ジョン	ゲオサウルス			19×27	
36-w	F・ジョン	ディニクティス			19×27	
36-x	F・ジョン(ハインリヒ・ハーダー?)	プロントルニス・ブルメイステリ			19×27	
37	マチュラン・メウ	プテロダクティルス	1947年	カゼイン・カンヴァス	135.5×235	レンヌ大学レンヌ・ジオサイエンス
38	ズデニェク・ブリアン	シルル紀の海の生き物	1951年	油彩・カンヴァス	62.5×94	ドヴァール・クラールロヴェー動物園
39	ズデニェク・ブリアン	ダンクルオステウスとクラドセラケ	1967年	油彩・カンヴァス	62.5×94	ドヴァール・クラールロヴェー動物園
40	ズデニェク・ブリアン	ディメトロドン・リンパトウス	1965年	油彩・カンヴァス	63×94	ドヴァール・クラールロヴェー動物園
41	ズデニェク・ブリアン	プレシオサウルス・ブラキプテリギウス	1964年	油彩・カンヴァス	63×94	ドヴァール・クラールロヴェー動物園
42	ズデニェク・ブリアン	ステノプテリギウス・クアドリスキッス	1964年	油彩・カンヴァス	63×94	ドヴァール・クラールロヴェー動物園
43	ズデニェク・ブリアン	アバトサウルス・エクセルスス	1950年	油彩・カンヴァス	62.5×94.5	ドヴァール・クラールロヴェー動物園
44	ズデニェク・ブリアン	アトロデム・パレンスとステゴサウルス・ステノプ	1950年	油彩・板	62.5×94.5	ドヴァール・クラールロヴェー動物園
45	ズデニェク・ブリアン	コンブソグナトゥス・ロンギベスとアーケオプテリクス・リトグラフィカ	1950年	油彩・カンヴァス	63×94	ドヴァール・クラールロヴェー動物園
46	ズデニェク・ブリアン	プテロダクティルス・エレガンス	1967年	油彩・カンヴァス	62.5×94	ドヴァール・クラールロヴェー動物園
47	ズデニェク・ブリアン	イグアノドン・ベルニサルテンシス	1950年	油彩・カンヴァス	60×48	モラヴィア博物館、ブルノ
48	ズデニェク・ブリアン	プテラノドン・インゲンス(海上の群れ)	1960年	油彩・カンヴァス	54×79	モラヴィア博物館、ブルノ
49	ズデニェク・ブリアン	ティロサウルス・デイスベロルとエラスモサウルス・ブラティウス	1963年	油彩・カンヴァス	49×80	モラヴィア博物館、ブルノ
50	ズデニェク・ブリアン	トリケラトプス・プロルルス	1962年	油彩・カンヴァス	63×94.5	ドヴァール・クラールロヴェー動物園

No.	作者名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	所蔵
51	ズデニェク・ブリアン	タルボサウルス・バタール	1970年	油彩・厚紙の上にカンヴァス	56×42.5	モラヴィア博物館、ブルノ
52	ズデニェク・ブリアン	マストドンサウルス・ギガンテウス	1955年	グアッシュ・厚紙	29×40	モラヴィア博物館、ブルノ
53	ズデニェク・ブリアン	ユーリノサウルス・ロンギロストリス	1941年	グアッシュ・厚紙	29×39	モラヴィア博物館、ブルノ
54	ズデニェク・ブリアン	ディプロドクス・カルネギイ	1941年	グアッシュ・厚紙	30×42	モラヴィア博物館、ブルノ
55	ズデニェク・ブリアン	ランフォリンクス・ロンギカウドゥス	1941年	グアッシュ・厚紙	39×29	モラヴィア博物館、ブルノ
56	ルドルフ・ザリンガー	20億年の進化 『ライフ』 タイム	1953年9月	書籍	約35.6×26.7	個人蔵
57	ニーヴ・パーカー	メガロサウルス	1950年代	グアッシュ、インク・紙	37.9×53.7	ロンドン自然史博物館
58	ニーヴ・パーカー	イグアノドン	1950年代	グアッシュ、インク・紙	53×36.4	ロンドン自然史博物館
59	ニーヴ・パーカー	ヒプシロフォドン	1950年代	グアッシュ、インク・紙	52.7×37	ロンドン自然史博物館
60	ニーヴ・パーカー	ティラノサウルス・レックス	1950年代	グアッシュ、インク・紙	54×37.6	ロンドン自然史博物館

第3章 日本の恐竜受容史

61	島津製作所	前世紀動物模型(ラエラプス・アクイレングス)	1912-45年頃	テラコッタ	24×23×12	金沢大学資料館
62	島津製作所	前世紀動物模型(ステゴサウルス)	1912-45年頃	テラコッタ	19×27.5×11.5	金沢大学資料館
63	島津製作所	前世紀動物模型(プロントサウルス)	1912-45年頃	テラコッタ	38×39×17.5	金沢大学資料館
64		イクチアリユース、プレシオサリユース、テロ ダクチール サミュエル・グリスウォルド・グッド リッチ、須川賢久訳『具氏博物学』挿絵	1875年9月	書籍		田村博コレクション
65	横山又次郎	『化石学教科書』中巻 富山房	1895年8月	書籍		田村博コレクション
66	横山又次郎	『前世界』金港堂	1898年7月	書籍		田村博コレクション
67	小杉未醒	地底海の大怪物 ジュール・ヴェルヌ、三 島霜川訳「前代未聞 地底世界旅行」口 絵(『冒険世界』第1巻第7号) 博文館	1908年7月	書籍		田村博コレクション
68		『少年』前世界号 時事新報社	1920年5月	書籍		田村博コレクション
69	中山啓	『詩集 火星』新潮社	1924年5月	書籍		田村博コレクション
70	アーサー・コナン・ドイル、大戸 喜一郎編、高坂元三装丁・画	『前世界物語(ロストワールド)』世 界名編物語叢書第17巻 金蘭社	1929年3月	書籍		田村博コレクション
71	渡邊萬次郎、石川千代松	『地球と生物の歴史』日本児童文庫45巻 アルス	1930年4月	書籍		田村博コレクション
72		『少年倶楽部』第17巻第8号付 録 大日本雄弁会講談社	1930年8月	書籍		田村博コレクション
73		『科学画報』誠文堂新光社	1934年6月	書籍		田村博コレクション
74	阿部正雄〔久生十 蘭〕、三芳梯吉画	冒険怪奇探検小説 地底獣国 後編 『新青年』 博文館	1939年9月	書籍		田村博コレクション
75	安田健之介	『化石の研究』少国民・理科の研究叢書30 研究社	1943年3月	書籍		田村博コレクション
76	大島正満	『古代動物ものがたり』新潮社	1949年10月	書籍		田村博コレクション
77	山川惣治	『少年ケニヤ』第4巻 サンケイ 児童文庫 産業経済新聞社	1953年12月	書籍		田村博コレクション
78		『科学クラブ』第1巻第10号 東雲堂	1956年7月	書籍		田村博コレクション
79		『科学読売』読売新聞社	1958年3月	書籍		田村博コレクション
80	ヨゼフ・アウグスタス、ズデニェ ク・ブリアン画、木村達明訳	『原色 前世紀の生物』岩崎書店	1962年9月	書籍		田村博コレクション
81		『恐竜アロザウルス』国立科学博物館	1964年頃			田村博コレクション
82		『少年サンデー』1964年・第18号 小学館	1964年4月	書籍		田村博コレクション
83		『少年サンデー』1968年・第44号 小学館	1968年10月			田村博コレクション
84	尾崎博監修	『なぜなにきょうりゅうと怪獣』小学館	1970年	書籍		田村博コレクション
85	小島郁生	『恐竜博物館 生まれ、栄え、滅 んでいった動物たち』光文社	1973年1月	書籍		田村博コレクション
86		『ソビエトの恐竜展』ソ連科学アカデミー古生 生物学の成果』国立科学博物館、朝日新聞社	1973年4月	書籍		田村博コレクション
87	アドリアン・J・デズ モンド、加藤秀訳	『大恐竜時代 1億年前の地球』二見書房	1976年	書籍		田村博コレクション
88	国立科学博物館	石膏フィギュア(ディメトロン)		石膏		本多俊之コレクション
89	国立科学博物館	石膏フィギュア(トリケラトプス)		石膏		本多俊之コレクション
90	国立科学博物館	石膏フィギュア(ティラノサウルス)		石膏		田村博コレクション
91	マルシン	ソフビ人形(ケントロサウルス)		プラスチック		田村博コレクション
92	マルシン	ソフビ人形(アロサウルス)		プラスチック		田村博コレクション

No.	作者名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	所蔵
93	マ ル シ ン	ソフビ人形(ステイラコサウルス)		プラスチック		田村博コレクション
94	ト イ タ ウ ン	リモコン人形(ティラノサウルス)		プラスチック		田村博コレクション
95	ト イ タ ウ ン	リモコン人形(トリケラトプス)		プラスチック		田村博コレクション
96		水槽用置物		陶器		田村博コレクション
97		水槽用置物		陶器		田村博コレクション
98	荒木一成/海洋堂	プラスチック・モデルキット(ケラトサウルス)	1978年	樹脂		田村博コレクション
99	所 十 三	vol. 1「掟」『DINO ² 』漫画原稿	2002年	インク、アクリル、スクリーン・トン・紙	37.5×27	作家蔵
100	所 十 三	vol. 2「絆」『DINO ² 』漫画原稿	2002年	インク、スクリーン・トン・紙	37.5×27	作家蔵
101	所 十 三	vol. 5「出会い」前編『DINO ² 』漫画原稿	2003年	インク、スクリーン・トン・紙	37.5×27	作家蔵
102	所 十 三	vol. 13「分相応」『DINO ² 』漫画原稿	2003年	インク、スクリーン・トン・紙	37.5×27	作家蔵
103	福 沢 一 郎	爬虫類はびこる	1974年	アクリル・カンヴァス	181.8×227.3	富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館
104	福 沢 一 郎	爬虫類減びる	1974年	アクリル・カンヴァス	181.8×227.3	富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館
105	立 石 紘 一	アラモのスフィンクス	1966年	油彩・カンヴァス	130.3×162	東京都現代美術館
106	藤 浩 志	Jurassic Plastic	2023年	ミクストメディア	サイズ可変	作家蔵
107	篠 原 愛	ゆりかごから墓場まで	2010-11年	油彩・カンヴァス	162×324	鶴の来る町ミュージアム

第4章 科学的知見によるイメージの再構築

108	エレノア・キッシュ	アロサウルス	1993年	油彩・カンヴァス	154×94	福井県立恐竜博物館
109	マーク・ハレット	縄張り争い	1986年	グアッシュ・ボード	29.2×27.9	インディアナポリス子供博物館 (ランツェンドルフ・コレクション)
110	マーク・ハレット	ディプロドクスの群れ	1991年	グアッシュ・紙	53×97	福井県立恐竜博物館
111	ウィリアム・スタウト	沼地での殺害—クワサウルスを養うフォボクス	1980年	水彩・紙	65×87	福井県立恐竜博物館
112	ウィリアム・スタウト	影—アラモサウルスの群れの頭上を飛ぶケツァルコアトルス	1980年	水彩・紙	69×76	福井県立恐竜博物館
113	ウィリアム・スタウト	ガリミムス	1995年	水彩、マーカー・紙	14.6×18.4	インディアナポリス子供博物館 (ランツェンドルフ・コレクション)
114	ダグラス・ヘンダーソン	首長竜とサメ	1989年	パステル・紙	71×91	福井県立恐竜博物館
115	ダグラス・ヘンダーソン	隕石衝突	1989年	パステル・紙	70×88	福井県立恐竜博物館
116	ダグラス・ヘンダーソン	マイアサウラの営巣地	1990年	パステル・紙	69×81	福井県立恐竜博物館
117	ダグラス・ヘンダーソン	アルバートサウルス	1990年	パステル・紙	64×81	福井県立恐竜博物館
118	ダグラス・ヘンダーソン	クリトサウルスとガー	1990年	パステル・紙	69×81	福井県立恐竜博物館
119	ダグラス・ヘンダーソン	ティラノサウルス	1992年	パステル・紙	36.8×68.6	インディアナポリス子供博物館 (ランツェンドルフ・コレクション)
120	スティーブン・ツェルカス	3頭の Deinonychus、ブロンズ	1986年	ブロンズ	43.2×83.8×55.9	インディアナポリス子供博物館 (ランツェンドルフ・コレクション)
121	スティーブン・ツェルカス	カルノタウルス	1986年	ブロンズ	47×71.1×29.2	インディアナポリス子供博物館 (ランツェンドルフ・コレクション)
122	グレゴリー・ポール	ヤンチュアノサウルス	1986年	油彩・カンヴァス	83.8×67.3	インディアナポリス子供博物館 (ランツェンドルフ・コレクション)
123	グレゴリー・ポール	シチパチとサウロルニトイデス	1989年	アクリル・カンヴァス	76×126	福井県立恐竜博物館
124	ルイス・V・レイ	カルノタウルス・サストレイ	1995年	アクリル・ボード	52.1×73.7	インディアナポリス子供博物館 (ランツェンドルフ・コレクション)
125	ドナ・ブラギネツ	雑食性のオルニトミムス科恐竜	1994年	アクリル・ボード	29.2×31.8	インディアナポリス子供博物館 (ランツェンドルフ・コレクション)
126	マイケル・ターシク	ダスプレトサウルス・トロス	1993年	ブロンズ	48.3×94×40.6	インディアナポリス子供博物館 (ランツェンドルフ・コレクション)
127	マイケル・ターシク	ステイラコサウルス	1994年	ブロンズ	38.1×53.3×35.6	インディアナポリス子供博物館 (ランツェンドルフ・コレクション)
128	ショーン・マーサ	獲物にありついたアロサウルス	1995年	油彩・カンヴァス	54.6×99.7	インディアナポリス子供博物館 (ランツェンドルフ・コレクション)
129	ショーン・マーサ	ホースシュー・キャニオンでの遭遇	1997年	油彩・カンヴァス	63.5×114.9	インディアナポリス子供博物館 (ランツェンドルフ・コレクション)
130	ジョン・ビンドン	嵐の最前線	1996年	アクリル・ボード	63.5×92.7	インディアナポリス子供博物館 (ランツェンドルフ・コレクション)
131	マイケル・スケレブニク	ティラノサウルスはトリケラトプスをタンゴに誘う	1996年	アクリル・カンヴァス	44.5×59.7	インディアナポリス子供博物館 (ランツェンドルフ・コレクション)
132	マイケル・スケレブニク	シノサウロプテリクス	1997年	アクリル・ボード	59.1×90.2	インディアナポリス子供博物館 (ランツェンドルフ・コレクション)

No.	作者名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	所蔵
133	マイケル・スケプニク	スコミムス	1998年	アクリル・ボード	39.4×90.2	インディアナポリス子供博物館 (ランツェンドルフ・コレクション)
134	小 田 隆	追跡 1	2000-01年	アクリル・紙	90×145	群馬県立自然史博物館
135	小 田 隆	饗宴	2000-01年	アクリル・紙	90×145	群馬県立自然史博物館
136	小 田 隆	白亜紀の情景ー北アメリカ	2007-08年	アクリル・カンヴァス	145×338	豊橋市自然史博物館
137	小 田 隆	アンハングエラ	2008年	アクリル・カンヴァス	40×234	豊橋市自然史博物館
138	小 田 隆	篠山層群産動植物の生態環境復元画	2014年	アクリル・カンヴァス	115×160	丹波市立丹波竜化石工房
139	小 田 隆	タンパティタニス・アミキティアエ頭部生体	2012-13年	アクリル・紙	75×60	丹波市立丹波竜化石工房
140	小 田 隆	タンパティタニス・アミキティアエ頭骨	2012-13年	ペン、フォトショップ・紙	75×60	丹波市立丹波竜化石工房
141	小 田 隆	ティラノサウルス上科生体	2013年	アクリル・紙	60×75	丹波市立丹波竜化石工房
142	小 田 隆	ティラノサウルス上科骨格	2013年	ペン・紙	60×75	丹波市立丹波竜化石工房
143	徳 川 広 和	タンパティタニス・アミキティアエ	2013年	石粉粘土	50×110×17	丹波市立丹波竜化石工房
144	徳 川 広 和	篠山層群ティラノサウルス上科	2015年	石粉粘土	25×55×13	丹波市立丹波竜化石工房
145	徳 川 広 和	シノサウロプテリクス	2022年	石粉粘土	50×30×10	徳島県立博物館
146	荒 木 一 成 / フ ェ バ リ ッ ト	水晶宮に展示されたイグアノンの模刻(ペン ジャミンウォーターハウス・ホーキンスによる)	2003年	樹脂	10.5×26×8.5	作家蔵
147	荒 木 一 成	イグアノドン、クラシックスタイル	2002年	石粉粘土	25×10×18	作家蔵
148	徳 川 広 和	イグアノドン	2010年	石粉粘土	体長40	作家蔵

c. Ando Gallery

令和4年4月1日（金）～令和5年3月31日（金）

令和元年5月23日に第二展示棟としてオープンしたAndo Galleryでは、当館設計者でもある建築家・安藤忠雄に関する資料展示を通年で行っている。展示は安藤忠雄建築事務所が計画・担当し、主に同研究所の所蔵資料により（一部当館蔵）「Ⅰ 兵庫／復興」「Ⅱ 原点／仕事」「Ⅲ 最新プロジェクト」の3章構成で安藤の活動が紹介されている。本年度の出品目録は下記のとおりだが、一部の資料については他施設への貸出等のため展示されていない期間があった（当館所蔵資料の貸出についてはp.141参照）。

関連事業 参加者数等はpp.69-70参照

KEN-Vi文化セミナー 安藤忠雄氏ギャラリートーク

9月25日（日）13：00～14：00

12月25日（土）13：00～13：30

出 品 目 録				
No. プロジェクト・タイトル	場所	年	資料内容	所蔵*
I 兵庫／復興				
[1～3 震災復興プロジェクト]				
1 淡路夢舞台	淡路市、兵庫県	1993-99	パネル	当館蔵
2 兵庫県立新美術館（芸術の館）+神戸市水際広場	神戸市、兵庫県	1997-2001	パネル、模型（1/200 スチレン）	
3 六甲の集合住宅ⅢⅢⅣ	神戸市、兵庫県	1978-83、85-93、92-99、2002-09	パネル、図面（×2）、模型（1/300 コルク）	当館蔵
4 真言宗本福寺水御堂	淡路市、兵庫県	1989-91	パネル、模型（1/200 スチレン）	
5 小篠邸/KH ギャラリー	芦屋市、兵庫県	1979-81、83-84、2004-06	パネル、図面（×4）、模型（1/50 ボール紙）	
6 ロックフィールド 神戸ファクトリー	神戸市、兵庫県	2003-05	パネル	
7 ロックフィールド 静岡ファクトリー	磐田市、静岡県	1987-91、98-2000、06-08、19-	パネル、模型	
8 兵庫県立美術館 Ando Gallery	神戸市、兵庫県	2016-18	パネル	
II 原点／仕事				
9 大淀のアトリエ	大阪市、大阪府	1980-91	パネル、模型（1/20 コンクリート）	
10 大淀のアトリエ アネックス	大阪市、大阪府	1994-95、2014-15	パネル、模型（1/10 コンクリート）	
11 住吉の長屋	大阪市、大阪府	1976	パネル、模型（1/10 コンクリート）	
12 光の教会/日曜学校	茨木市、大阪府	1989	パネル、模型（1/10 コンクリート）	
13 水の教会	勇払郡、北海道	1988	パネル	
14 住宅（富島邸、平岡邸、立見邸、内田邸、芝田邸、高橋邸、宇野邸、双生観・山口邸、松村邸、住吉の長屋・東邸、貫入・平林邸、番匠邸、帝塚山の家・真鍋邸、領壁の家・松本邸、ガラスブロックの家・石原邸、ガラスブロックウォール・堀内邸、片山ハウス、大西邸、松谷邸、上田邸、小篠邸、石井邸、赤羽邸、梅宮邸、九条の町屋・井筒邸、植条邸、茂木邸、城戸崎邸、金子邸、中山邸、畑邸、孫邸、佐々木邸、細工谷の家・野口邸、小倉邸、石河邸、李邸、ギャラリー野田、日本橋の家・金森邸、平野区の町屋・能見邸）		1971～1995	パネル、小模型	
III 最新プロジェクト				
[15～21 直島プロジェクト]				
15 ベネッセハウス ミュージアム	直島町、香川県	1992	パネル、模型（1/300 木）	
16 ベネッセハウス オーバル	直島町、香川県	1995	パネル、模型（1/300 FRP）	
17 南寺 直島家プロジェクト	直島町、香川県	1999	パネル、模型（1/100 木）	
18 地中美術館	直島町、香川県	2004	パネル、模型（1/300 FRP）	
19 ベネッセハウス パーク/ビーチ	直島町、香川県	2006	パネル	
20 李禹煥美術館	直島町、香川県	2010	パネル、模型（1/300 FRP）	
21 Ando Museum	直島町、香川県	2013	パネル、模型（1/30 スチレン）	
22 こども本の森 中之島	大阪市、大阪府	2017-	パネル、模型（1/300 アクリル）	

No. プロジェクト・タイトル	場所	年	資料内容	所蔵*
23 中之島プロジェクト(アーバンエッグ+地層空間)	大阪市、大阪府	1998-	パネル、模型(1/300 FRP)	
24 IPU環太平洋大学の一連のプロジェクト [25~28 フランソワ・ピノー×安藤忠雄]	岡山市、岡山県	2006-	パネル、模型(1/300 スチレン)	
25 ピノー現代美術館(計画案)	パリ、フランス	2001	パネル	
26 パラッツォ・グラッシ・テアトリノ	ヴェニス、イタリア	2005-06、11-13	パネル	
27 プンタ・デラ・ダガーナ	ヴェニス、イタリア	2006-09	パネル、図面(x4)、模型(1/30 木)模型(1/300 FRP)、映像	
28 プルス・ドゥ・コメルス	パリ、フランス	2016-	パネル、模型(1/300 FRP)模型(1/200、スチレン)、映像	

*明記のないものは安藤忠雄建築研究所蔵。

d. 共催特別展

みみをすますように 酒井駒子展

令和4年7月9日（土）～8月28日（日）
ギャラリー棟3階ギャラリー

主 催：神戸新聞社、MBSテレビ
共 催：兵庫県立美術館
企画協力：ブルーシープ
後 援：兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会
協 賛：第一生命保険

『よるくま』『金曜日の砂糖ちゃん』（いずれも偕成社）などで知られる兵庫県出身の絵本作家・酒井駒子の関西で初めての大規模個展。プラチスラバ世界絵本原画展金牌賞、オランダ「銀の石筆賞」を受賞するなど、海外でも高い評価を得ている酒井駒子のデビュー作から最新作まで20冊を超す絵本を中心に、約250点の原画を展示。会場を「ある日」「ひみつ」「こみち」など6つのエリアに分け、森の中を散歩するような展示空間で絵とことばに出会う新しい体験を提供した。



A4チラシ

B 教育・普及活動およびイベント

- a. こども向け企画
- b. 学校教育との連携
- c. 博物館実習
- d. 来館者向けイベント
- e. 美術講座
- f. ミュージアム・ボランティア
- g. 兵庫県立美術館「芸術の館友の会」

a. こども向け企画

当館は、その前身である県立近代美術館の時代から、小・中学生を中心としたこどもたちが、美術や美術館に出会うきっかけとなるような事業を実施してきた。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響をうけ、当館ホームページ上でのこども向けプログラムを拡充する活動を行ったが、本年度の「こどものイベント」は展覧会に関連した鑑賞イベント、また鑑賞と制作を兼ねたイベントを中心に感染症対策に留意しつつも開催することとした。並行して、令和2年度より実施しているプログラム「つながる ひろがる 美術館」を当館ホームページ上に公開した。

1. こどものイベント

令和4年度の「こどものイベント」は、当館の教育普及担当学芸員1名およびミュージアムティーチャー1名が中心となり、必要に応じて展覧会担当学芸員や教育支援・事業グループ所属の学芸員と協議の上、内容を決定した。当館の教育支援・事業グループ所属の職員が進行のもと、各展覧会担当学芸員が展覧会の見どころを解説し、下記のとおり事業を実施した。また、こどものイベントの成果をホームページで随時紹介した（メニューバー「教育プログラム」→「こども・おやこ向け」→「こどもプログラム」→「イベチャン・ントチャンのイベント通信」）

実施日	時間	イベント名	講師・指導	対象	参加者数	備考
5月21日(土)	10:30～12:00	「こども鑑賞会」	当館職員	小学生～高校生	16	「ミニマル/コンセプチュアル」展関連
6月26日(日)	13:30～15:00	「も～やんのおもしろい絵をみる会」	当館職員	小学生～高校生	22	2022年コレクション展I 小企画「元永定正展」関連
6月18日(土)～8月21日(日)		感想カード「ここがすごいぞ! わたしの『関西80年代』」配布	当館職員	どなたでも	223	「関西の80年代」展関連
8月11日(木・祝)	10:30～12:00	「夏休み美術館探検2022」	当館職員	小学生～高校生	18	
8月27日(土)	10:30～12:00	「けんびの新しい仲間を見てみよう!」	当館職員	小学生～高校生	3	2022年コレクション展II 「リ・フレッシュャーズ-新収蔵品紹介展」関連
9月23日(金・祝)	10:30～12:00	「ようこそ!ヒーローの世界へ」	当館職員	小学生～高校生	24	「THE HEROES」展関連
10月9日(日)	11:00～12:30	「きいて音楽 みて美術」	アンサンブルクレヨン、当館職員	小学生～高校生とその保護者	9	2022年コレクション展II関連
11月6日(日)	10:30～12:30	「つくってみよう!オリジナル刀剣」	当館職員	小学生～高校生	13	「THE HEROES」展関連
12月17日(土)	10:30～12:00	「探検!吉原治良の小宇宙」	当館職員	小学生～高校生	7	2022年コレクション展II 特集2「没後50年 吉原治良の小宇宙」展関連
1月28日(土)	10:30～12:00	「見て感じて 李禹煥」	当館職員	小学生～高校生	8	「李禹煥」展関連
3月25日(土)	13:30～16:00	「きみも恐竜アーティスト!」	当館職員	小学生～高校生	28	「恐竜図鑑-失われた世界の想像/創造」展関連



6/26
「も～やんのおもしろい絵をみる会」



11/6
「つくってみよう!オリジナル刀剣」



3/25
「きみも恐竜アーティスト!」

2. つながる ひろがる 美術館

館外でも身近に美術に触れることができる制作や鑑賞のプログラムを当館ホームページ（「こどもプログラム」ページ）に公開した。今年度は「③あそんで・みる・ひろば」の第3弾として、美術館の楽しみ方や活用方法などを動画で作成し、こどもとご家族向けに分かりやすく紹介した。

あそんで・みる・ひろば〈その3〉「美術館探検マップ」（3月10日公開）

b. 学校教育との連携

1. 学校団体等の受入

当館は、前身の近代美術館時代より、子供たちが鑑賞マナーを習得しながら、芸術文化に対する関心を深め、美術作品の鑑賞を通じて感性を豊かに育むことが出来るように、学校の団体鑑賞を積極的に受け入れている。コレクション展では対話を用いて作品を鑑賞するギャラリートークを行い、特別展では鑑賞前のレクチャーを充実させるなど、児童・生徒・学生がより能動的に美術作品を楽しめるようにサポートしてきた。

令和4年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、受入人数や活動内容を制限する中、当館の教育支援・事業担当の学芸員及びミュージアムティーチャーが事前に作成したプログラムに、下記の表のとおり児童・生徒・学生が参加した。

充実した鑑賞授業を行うため、事前に各校の教員と当館の担当職員との下見及び打合せを経て、当日は教育支援・事業担当の職員を中心に、他課の学芸員等が活動を支援した。

No.	実施日	学校名	学年等	生徒数	引率数	鑑賞展覧会名
1	2022年4月7日(木)	大阪芸術大学 初等芸術教育学科	1	36	14	Ando Gallery
2	2022年4月15日(金)	県立兵庫工業高等学校	1	95	4	フィッシャー展、Ando Gallery、建築・屋外彫刻
3	2022年4月17日(日)	浦和学院高等学校 アートコース	2	28	3	フィッシャー展
4	2022年4月19日(火)	甲南大学 文学部人間科学科	3,4	20	1	フィッシャー展
5	2022年4月20日(水)	神戸市立大原中学校	2	34	2	フィッシャー展
6	2022年4月21日(木)	岐阜県立加納高等学校	3	40	3	フィッシャー展、Ando Gallery
7	2022年4月28日(木)	三田学園中学校①	2	122	5	コレクション展 I、Ando Gallery
8	2022年4月28日(木)	三田学園中学校②	2	122	5	コレクション展 I、Ando Gallery
9	2022年5月3日(火)	県立明石南高等学校	美術部	16	1	コレクション展 I、フィッシャー展
10	2022年5月6日(金)	神戸市立渚中学校	美術部	34	2	フィッシャー展
11	2022年5月7日(土)	神戸大学 国際人間科学部 博物館展示論		18	1	フィッシャー展
12	2022年5月13日(金)	香芝市立香芝北中学校①	2	114	6	コレクション展 I
13	2022年5月13日(金)	香芝市立香芝北中学校②	2	75	6	コレクション展 I
14	2022年5月13日(金)	三田モードビジネス専門学校	1~3	95	5	コレクション展 I、フィッシャー展
15	2022年5月14日(土)	神戸大学		20	1	フィッシャー展
16	2023年5月15日(日)	関西大学 文学部		22	1	コレクション展 I、フィッシャー展
17	2022年5月17日(火)	好文学園女子高等学校 マンガ・アニメーションコース	2,3	141	4	コレクション展 I、フィッシャー展
18	2022年5月17日(火)	好文学園女子高等学校 マンガ・アニメーションコース	1	92	3	コレクション展 I、フィッシャー展
19	2022年5月25日(水)	神戸市立淡河中学校	1	5	3	コレクション展 I、フィッシャー展
20	2022年5月25日(水)	県立明石高等学校	1	40	2	コレクション展 I
21	2022年5月27日(金)	神戸大学 美術史研究室		51	1	フィッシャー展
22	2022年6月2日(木)	明石市立江井島中学校	1	113	8	コレクション展 I
23	2022年6月2日(木)	宍粟市立山崎東中学校	1	95	9	コレクション展 I
24	2022年6月4日(土)	甲南女子大学 博物館教育論		26	2	コレクション展 I
25	2022年6月5日(日)	甲南大学 文学部 人間科学科	1,2	22	1	コレクション展 I
26	2022年6月7日(火)	神戸市立名倉小学校	6	24	4	コレクション展 I
27	2022年6月11日(土)	追手門学院大学①	2,3	38	1	コレクション展 I、Ando Gallery
28	2022年6月11日(土)	追手門学院大学②	2,3	15	1	コレクション展 I、Ando Gallery
29	2022年6月15日(水)	神戸市立福住小学校	6	81	4	コレクション展 I
30	2022年6月18日(土)	県立明石城西高等学校	美術部	7	1	関西の80年代展
31	2022年6月18日(土)	県立東播磨高等学校	美術部	2	1	関西の80年代展
32	2022年6月18日(土)	流通科学大学	写真部	11	1	関西の80年代展
33	2022年6月19日(日)	関西大学	写真部	46	1	コレクション展 I
34	2022年6月21日(火)	神戸市立ひよどり台小学校	6	80	5	コレクション展 I
35	2022年6月25日(土)	甲南女子大学 博物館実習		24	2	コレクション展 I
36	2022年6月29日(水)	大手前大学 博物館学課程		15	1	コレクション展 I

No.	実施日	学校名	学年等	生徒数	引率数	鑑賞展覧会名
37	2022年7月5日(火)	神戸市立友が丘中学校 特別支援学級	1～3	6	2	関西の80年代展
38	2022年7月12日(火)	大阪産業大学 デザイン工学部 建築・環境デザイン学科	1	30	4	関西の80年代展、建築・屋外彫刻
39	2022年7月13日(水)	関西大学第一中学校①	1	112	5	関西の80年代展、Ando Gallery
40	2022年7月13日(水)	関西大学第一中学校②	1	113	6	関西の80年代展、Ando Gallery
41	2022年7月14日(木)	県立神戸甲北高等学校	1	92	3	関西の80年代展、Ando Gallery、建築・屋外彫刻
42	2022年7月14日(木)	上田安子服飾専門学校	1	28	1	関西の80年代展
43	2022年7月16日(土)	神戸大学		30	1	関西の80年代展
44	2022年7月16日(土)	神戸大学		40	1	関西の80年代展
45	2022年7月16日(土)	県立香寺高等学校	美術工芸部	28	2	関西の80年代展、Ando Gallery、建築・屋外彫刻
46	2022年7月16日(土)	加西市立北条中学校	美術部	20	2	関西の80年代展
47	2022年7月26日(火)	神戸市立西落合中学校	美術部	16	2	関西の80年代展、Ando Gallery
48	2022年7月27日(水)	京都府立桃山高等学校	美術部	9	1	関西の80年代展、Ando Gallery
49	2022年7月28日(木)	神戸市立筒井台中学校	美術工作部	30	3	関西の80年代展
50	2022年7月29日(金)	茨木市立太田中学校	美術部	7	1	関西の80年代展
51	2022年7月30日(土)	神戸市立兵庫中学校	美術部	11	2	コレクション展Ⅱ、関西80年代展
52	2022年8月2日(火)	宝塚市立南雲雀ヶ丘中学校	美術部	21	2	関西の80年代展
53	2022年8月2日(火)	三木市立三木東中学校	美術部	24	2	コレクション展Ⅱ、関西80年代展
54	2022年8月18日(木)	宍粟市立山崎西中学校	美術部	18	2	コレクション展Ⅱ、関西80年代展
55	2022年8月18日(木)	県立加古川北高等学校	美術部	13	1	コレクション展Ⅱ、関西80年代展
56	2022年8月18日(木)	加西市立加西中学校	美術部	9	2	関西の80年代展
57	2022年8月19日(金)	小野市立旭丘中学校	美術部	20	2	コレクション展Ⅱ、関西の80年代展、Ando Gallery、建築・屋外彫刻
58	2022年8月20日(土)	神戸市立渚中学校	美術部	20	1	関西の80年代展
59	2022年8月20日(土)	神戸市立須磨北中学校	美術部	11	1	関西の80年代展
60	2022年9月9日(金)	兵庫教育大学	3,4	7	1	コレクションⅡ展
61	2022年9月13日(火)	県立神出学園	1～3	11	2	コレクションⅡ展、HEROES展
62	2022年9月14日(水)	岐阜大学教育学部附属小中学校	9	110	10	コレクションⅡ展
63	2022年9月15日(木)	神戸市立神陵台小学校	5	31	3	コレクションⅡ展、HEROES展
64	2022年9月15日(木)	神戸市立灘の浜小学校	3	80	3	コレクションⅡ展
65	2022年9月16日(金)	岡山市立福浜中学校	2	40	2	コレクションⅡ展、HEROES展
66	2022年9月16日(金)	神戸市立青陽灘高等支援学校高等部	1	17	11	コレクションⅡ展
67	2022年9月21日(水)	神戸市立稗田小学校	6	109	6	コレクションⅡ展
68	2022年9月21日(水)	早稲田大学 人間科学部 人間環境科学科		20	1	コレクションⅡ展、HEROES展
69	2022年9月22日(木)	相生市立双葉小学校	4	85	4	コレクションⅡ展
70	2022年9月22日(木)	神戸市立ありの台小学校	4	47	5	コレクションⅡ展
71	2022年9月27日(火)	加古川市立陵南中学校①	1	76	5	HEROES展
72	2022年9月27日(火)	加古川市立陵南中学校②	1	75	5	HEROES展
73	2022年9月28日(水)	丹波市立市島中学校	1	54	8	HEROES展
74	2022年9月30日(金)	佐用町立佐用中学校	1	31	6	HEROES展
75	2022年9月30日(金)	親和女子高等学校	3	10	1	HEROES展
76	2022年9月30日(金)	三木市立緑が丘中学校	1	127	10	HEROES展
77	2022年10月6日(木)	神戸市立灘の浜小学校①	6	29	3	HEROES展
78	2022年10月7日(金)	神戸市立灘さくら支援学校	3,5,6	4	2	HEROES展
79	2022年10月7日(金)	神戸市立灘の浜小学校②	6	29	2	HEROES展
80	2022年10月14日(金)	尼崎市立塚口小学校①	5	63	3	コレクション展Ⅱ
81	2022年10月14日(金)	尼崎市立塚口小学校②	5	63	3	コレクション展Ⅱ
82	2022年10月18日(火)	プール学院高等学校①	1	108	7	コレクション展Ⅱ
83	2022年10月18日(火)	プール学院高等学校②	1	110	8	コレクション展Ⅱ
84	2022年10月19日(水)	相生市立矢野川中学校	1	18	3	コレクション展Ⅱ、HEROES展
85	2022年10月20日(木)	県立西宮今津高等学校	1	21	1	コレクション展Ⅱ、HEROES展
86	2022年10月22日(土)	西脇市立西脇中学校	ベンチャー部	1	1	HEROES展
87	2022年10月25日(火)	兵庫教育大学 学校教育部	3	25	1	コレクション展Ⅱ

No.	実施日	学校名	学年等	生徒数	引率数	鑑賞展覧会名
88	2022年10月25日(火)	大阪学芸中等教育学校 後期課程	1	18	4	コレクション展Ⅱ、HEROES展
89	2022年10月26日(水)	尼崎市立塚口小学校①	6	73	3	コレクション展Ⅱ
90	2022年10月26日(水)	尼崎市立塚口小学校②	6	72	3	コレクション展Ⅱ
91	2022年10月26日(水)	セントヨゼフ女子学園中学校	3	67	7	コレクション展Ⅱ
92	2022年10月27日(木)	神戸市立兵庫大開小学校	5	96	4	コレクション展Ⅱ
93	2022年10月28日(金)	尼崎市立金楽寺小学校	5	95	4	コレクション展Ⅱ
94	2022年10月28日(金)	西宮市立用海小学校	4	100	5	コレクション展Ⅱ
95	2022年10月28日(金)	神戸大学 美術史研究室		33	1	HEROES展
96	2022年10月29日(土)	宣真高等学校	美術部	15	1	HEROES展
97	2022年11月4日(金)	三木市立別所中学校	1	45	6	コレクション展Ⅱ
98	2022年11月4日(金)	加古川市立神吉中学校①	2	112	8	コレクション展Ⅱ
99	2022年11月4日(金)	加古川市立神吉中学校②	2	112	8	コレクション展Ⅱ
100	2022年11月5日(土)	神戸大学		30	1	コレクション展Ⅱ
101	2022年11月8日(火)	滝川第二中学校	1	21	2	コレクション展Ⅱ、HEROES展
102	2022年11月8日(火)	神戸市立魚崎小学校①	6	80	4	コレクション展Ⅱ
103	2022年11月9日(水)	神戸市立魚崎小学校②	6	120	5	コレクション展Ⅱ
104	2022年11月9日(水)	武庫川女子大学附属高等学校	3	31	1	コレクション展Ⅱ、HEROES展、Ando Gallery、建築・屋外彫刻
105	2022年11月9日(水)	稲美町立稲美中学校	2	20	1	コレクション展Ⅱ、HEROES展、Ando Gallery、建築・屋外彫刻
106	2022年11月9日(水)	好文女子学園高等学校 普通科デザイン美術コース	1	33	2	コレクション展Ⅱ、HEROES展
107	2022年11月9日(水)	西宮甲英高等学院	1~3	24	2	HEROES展
108	2022年11月10日(木)	神戸市立本山南小学校	5	66	3	コレクション展Ⅱ、HEROES展
109	2022年11月10日(木)	洲本市立洲浜中学校	2	21	3	コレクション展Ⅱ、HEROES展
110	2022年11月11日(金)	堺市立堺高等学校 建築インテリア学科	1	38	2	コレクション展Ⅱ、HEROES展、Ando Gallery、建築・屋外彫刻
111	2022年11月12日(土)	甲南女子大学 博物館美術史概説		26	1	HEROES展
112	2022年11月15日(火)	神戸市立渚中学校	1	98	8	コレクション展Ⅱ、HEROES展
113	2022年11月16日(水)	神戸市立本山中学校	1	30	1	コレクション展Ⅱ、HEROES展
114	2022年11月16日(水)	神戸市立渚中学校	3	99	8	コレクション展Ⅱ、HEROES展
115	2022年11月16日(水)	マリストブラザーズインターナショナルスクール 高校生相当		6	1	コレクション展Ⅱ、HEROES展
116	2022年11月16日(水)	神戸市立渚中学校	2	111	10	コレクション展Ⅱ、HEROES展
117	2022年11月16日(水)	関西学院大学		17	1	コレクション展Ⅱ、HEROES展
118	2022年11月18日(金)	神戸市立福住小学校	5	77	5	コレクション展Ⅱ
119	2022年11月18日(金)	大阪大学 日本東洋美術史研究室		32	2	HEROES展
120	2022年11月18日(金)	名古屋ファッション専門学校	1	41	3	コレクション展Ⅱ、HEROES展
121	2022年11月18日(金)	神戸市立灘の浜小学校	5	73	3	コレクション展Ⅱ
122	2022年11月22日(火)	青山建築デザイン・医療事務専門学校		63	2	Ando Gallery、建築・屋外彫刻
123	2022年11月24日(木)	神戸女子短期大学 幼児教育学科		4	1	コレクション展Ⅱ
124	2022年11月25日(金)	神戸学院大学		8	1	コレクション展Ⅱ
125	2022年11月29日(火)	神戸市立高倉台小学校	6	73	4	コレクション展Ⅱ
126	2022年12月1日(木)	神戸市立宮本小学校	6	60	4	コレクション展Ⅱ
127	2022年12月1日(木)	神戸市立向洋小学校①	4	78	4	コレクション展Ⅱ
128	2022年12月2日(金)	神戸市立向洋小学校②	4	77	4	コレクション展Ⅱ
129	2022年12月4日(日)	神戸学院大学 現代社会学科		18	1	コレクション展Ⅱ
130	2022年12月9日(金)	神戸市立御影小学校①	5	64	4	コレクション展Ⅱ
131	2022年12月9日(金)	神戸市立御影小学校②	5	65	4	コレクション展Ⅱ
132	2022年12月10日(土)	関西国際大学	2,3	7	1	コレクション展Ⅱ
133	2022年12月13日(火)	多可町立中町北小学校	6	23	4	コレクション展Ⅱ、李禹煥展
134	2022年12月14日(水)	神戸芸術工科大学		12	1	コレクション展Ⅱ、李禹煥展
135	2022年12月15日(木)	神戸市立だいち小学校①	6	73	4	コレクション展Ⅱ
136	2022年12月15日(木)	神戸市立だいち小学校②	6	73	5	コレクション展Ⅱ
137	2022年12月16日(金)	神戸市立北須磨小学校	6	76	4	コレクション展Ⅱ
138	2022年12月20日(火)	神戸市立春日野小学校	5	45	3	李禹煥展

No.	実施日	学校名	学年等	生徒数	引率数	鑑賞展覧会名
139	2022年12月23日(金)	神戸芸術工科大学大学院		39	4	李禹煥展、Ando Gallery
140	2022年12月23日(金)	神戸大学 文学部		40	1	李禹煥展
141	2022年12月27日(火)	大阪府立工芸高校	美術部	22	2	李禹煥展
142	2023年1月12日(木)	神戸市立六甲アイランド小学校	5	76	3	李禹煥展、Ando Gallery
143	2023年1月13日(金)	神戸市立湊小学校①	5	55	4	李禹煥展
144	2023年1月13日(金)	神戸市立湊小学校②	5	55	4	李禹煥展
145	2023年1月14日(土)	神戸大学		11	1	李禹煥展
146	2023年1月17日(火)	サムソン女子高等学校	1,2	76	3	李禹煥展
147	2023年1月17日(火)	甲南大学 文学部人間科学科	3,4	25	1	李禹煥展
148	2023年1月19日(木)	神戸市立西舞子小学校	5	60	4	李禹煥展
149	2023年1月19日(木)	神戸市立中央小学校	5	90	4	建築・屋外彫刻
150	2023年1月20日(金)	神戸市立高取台中学校	1	77	7	李禹煥展、Ando Gallery
151	2023年1月21日(土)	神戸市立渚中学校	美術部	20	1	李禹煥展
152	2023年1月24日(火)	神戸市立井吹が丘小学校 特別支援学級		7	3	2023コレクション展 I
153	2023年1月25日(水)	大阪府立港南造形高等学校	2	9	1	2023コレクション展 I、李禹煥展
154	2023年1月26日(木)	川西市立清和台南小学校	5	47	3	2023コレクション展 I
155	2023年1月26日(木)	神戸市立灘の浜小学校	4	69	3	2023コレクション展 I
156	2023年1月26日(木)	西宮市立瓦木中学校	1	24	1	建築・屋外彫刻、施設利用
157	2023年1月27日(金)	西宮市立夙川小学校①	5	77	3	2023コレクション展 I
158	2023年1月27日(金)	西宮市立夙川小学校②	5	38	4	2023コレクション展 I
159	2023年1月27日(金)	神戸市立竜が台中学校 特別支援学級		4	2	2023コレクション展 I、李禹煥展
160	2023年1月27日(金)	神戸市立大原中学校 特別支援学級		10	2	李禹煥展
161	2023年1月28日(土)	神戸市立広陵中学校	美術部	12	1	2023コレクション展 I、李禹煥展
162	2023年1月28日(土)	筑波大学大学院		23	3	2023コレクション展 I
163	2023年1月29日(日)	神戸市立兵庫中学校	美術部	9	2	2023コレクション展 I、李禹煥展
164	2023年1月31日(火)	小野市立旭丘中学校	2	15	1	2023コレクション展 I
165	2023年2月1日(水)	西宮市立鳴尾中学校①	2	80	5	2023コレクション展 I
166	2023年2月1日(水)	西宮市立鳴尾中学校②	2	122	6	2023コレクション展 I
167	2023年2月3日(金)	神戸市立義務教育学校港島学園前期課程	5	81	4	2023コレクション展 I
168	2023年2月3日(金)	宝塚市立御殿山中学校①	2	95	6	2023コレクション展 I、Ando Gallery、建築・屋外彫刻
169	2023年2月3日(金)	宝塚市立御殿山中学校②	2	95	6	2023コレクション展 I、Ando Gallery、建築・屋外彫刻
170	2023年2月5日(日)	三重県立川越高等学校	書道部	6	1	2023コレクション展 I
171	2023年2月7日(火)	尼崎市立成文小学校	4	39	3	2023コレクション展 I、Ando Gallery
172	2023年2月8日(水)	浦和学院高等学校 アートコース	2	42	3	2023コレクション展 I、李禹煥展
173	2023年2月11日(土)	京都工芸繊維大学大学院、チェンマイ大学大学院		28	3	2023コレクション展 I、李禹煥展、Ando Gallery
174	2023年2月14日(火)	神戸市立なぎさ小学校	5	47	2	2023コレクション展 I
175	2022年2月14日(火)	南あわじ市立南淡中学校	1	40	2	2023コレクション展 I
176	2023年2月15日(水)	岐阜女子大学 住居学専攻	1~3	47	3	2023コレクション展 I、Ando Gallery、建築・屋外彫刻
177	2023年2月16日(木)	神戸市立西須磨小学校①	5	77	3	2023コレクション展 I
178	2023年2月16日(木)	神戸市立西須磨小学校②	5	78	3	2023コレクション展 I
179	2023年2月17日(金)	関西外語専門学校		14	1	2023コレクション展 I
180	2023年2月28日(火)	神戸市立灘小学校	5	57	4	2023コレクション展 I
181	2023年3月3日(金)	神戸市立なぎさ小学校①	3	35	4	2023コレクション展 I
182	2023年3月3日(金)	神戸市立なぎさ小学校②	3	35	3	2023コレクション展 I
183	2023年3月10日(金)	神戸市立西脇小学校	6	55	4	2023コレクション展 I、恐竜図鑑展
184	2023年3月14日(火)	西宮市立浜甲子園中学校	1	110	8	2023コレクション展 I
185	2023年3月15日(水)	神戸市立岩岡中学校	1	110	8	2023コレクション展 I
186	2023年3月16日(木)	神戸市立なぎさ小学校	4	57	3	2023コレクション展 I
187	2023年3月16日(木)	神戸市立垂水東中学校	1	7	1	2023コレクション展 I、恐竜図鑑展
188	2023年3月16日(木)	灘ohana保育園	4歳児	13	2	恐竜図鑑展
189	2023年3月17日(金)	加西市立泉中学校	2	30	1	2023コレクション展 I、恐竜図鑑展

No.	実施日	学校名	学年等	生徒数	引率数	鑑賞展覧会名
190	2023年3月23日(木)	神戸市立布引中学校	1	10	1	2023コレクション展Ⅰ、恐竜図鑑展
191	2023年3月28日(火)	神戸市立小部中学校	美術部	7	1	2023コレクション展Ⅰ、恐竜図鑑展

新型コロナウイルスが原因で取りやめとなった団体

1	2022年4月26日(火)	東京都立田無工業高等学校	2	80	4	コレクション展Ⅰ、フィッシャー展
2	2022年5月12日(木)	松阪市立大江中学校	3	13	5	コレクション展Ⅰ、建築・屋外彫刻
3	2022年7月13日(水)	上田安子服飾専門学校	1	67	3	コレクション展Ⅱ、関西の80年代展、Ando Gallery、建築・屋外彫刻
4	2022年7月23日(土)	関西大学 文学部		5	1	関西の80年代展
5	2022年10月12日(水)	島根県立大田高等学校	2	30	5	コレクション展Ⅱ、関西の80年代展

2. 教員を対象とした事業

特別展について、学校の教員を対象とした解説会を開催したり鑑賞ガイドの提供を行ったりした。

開催日、提供期間	人数(校数)	展覧会名
4月23日(土)	21(20)	ミニマル／コンセプトチュアル
7月1日(金)～8月21日(日)	21(21)	関西の80年代
9月17日(土)	11(11)	THE HEROES 刀剣×浮世絵
12月18日(日)	23(22)	李禹煥
令和5年3月11日(土)	15(13)	恐竜図鑑
計	91(87)	

3. トライやる・ウィーク

平成10年度より、兵庫県では県内の中学校2年生を対象に、様々な社会体験の機会を提供する「トライやる・ウィーク」を実施している。令和4年度は、前期(6月)・後期(11月)ともに4日間の日程で実施した。体験内容の充実を図るために、各期上限3名の定員を設け、下記の学校から生徒を受入れ、美術館の様々な仕事を体験する機会を提供した。

受け入れ期間	学校名	人数
6月7日(火)～10日(金)	神戸市立西神中学校	1
	神戸市立駒ヶ林中学校	1
	神戸市立星陵台中学校	1
11月8日(火)～11日(金)	神戸市立横尾中学校	1
	神戸市立夢野中学校	1
	神戸市立御影中学校	1
計		6人



1. 学校の団体鑑賞の様子



2. 教員解説会の様子



3. 職場体験の様子

4. インターンシップ（就業体験）

兵庫県の高等学校及び大学では、働くことの体験を通して、職業そのものの理解と職業の果たす社会的役割の理解、社会生活の体験から自己の在り方・生き方や、社会人としての常識・マナーの学習と自己発見等を目的としてインターンシップ（就業体験）の受け入れを行っている。

日程	学校名	学年	生徒数
8月24日(火)～27日(金)	兵庫県立伊川谷北高校	2	1
	兵庫県立伊丹北高校	3	1
	兵庫県立農業高校	2	1
	兵庫県立播磨農業高校	2	1
	計		4人

5. 出前授業

昨年度に引き続き、美術館スタッフが学校に赴き、所蔵作品の画像を用いた鑑賞授業を行った。

また、例年通り、神綱不動産株式会社のCSR活動に協力し、神戸市立なぎさ小学校の出前授業を行った。

日程	学校名	学年	クラス数	生徒数	内容
6月1日(水)	神戸市立桂木小学校	5	3	94	2. 作品と出会おう
6月8日(水)	神戸市立布引中学校	3	2	62	2. 作品と出会おう
6月9日(木)	神戸市立桂木小学校	6	2	68	2. 作品と出会おう
6月14日(火)	神戸市立玉津第一小学校	5	3	94	2. 作品と出会おう
6月16日(木)	加西市立北条小学校	4	2	60	2. 作品と出会おう
6月28日(火)	尼崎市立武庫東中学校	2	1	20	1. 学芸員の仕事とは？ ※職業体験の代替として
10月6日(木)	洲本市立堺小学校	1～6	6	61	2. 作品と出会おう
10月12日(水)	多可町立中町北小学校	6	1	23	1. 学芸員の仕事とは？
10月13日(木)	淡路市立一宮小学校	4,5	3	83	2. 作品と出会おう
11月1日(火)	尼崎市立園和小学校	6	4	140	2. 作品と出会おう
11月15日(火)	神戸市立なぎさ小学校	6	2	53	2. 作品と出会おう
11月17日(木)	神戸市立なぎさ小学校	6	2	53	2. 作品と出会おう ※オンライン
11月24日(木)	稲美町立加古小学校	5	1	23	2. 作品と出会おう
12月20日(火)	丹波篠山市立城東小学校	2,3,6	3	46	2,3年生：3. 技に注目！ 6年生：1. 学芸員の仕事とは？
12月20日(火)	県立明石高等学校	1～3	3	110	1. 学芸員の仕事とは？
12月21日(水)	稲美町立母里小学校	5	1	38	2. 作品と出会おう
1月24日(火)	養父市立八鹿青溪中学校	1,2	4	154	1. 学芸員の仕事とは？ 2. 作品と出会おう
3月9日(木)	県立上野ヶ原特別支援学校ひかりの森分教室	小5～中3	1	10	2. 作品と出会おう
3月9日(木)	西宮市立高須西小学校	5	2	63	2. 作品と出会おう
計	18校			1,255人	

6. その他、学校教育との連携事業

(1) 「団体鑑賞」「出前授業」以外の学習活動

日程	学校名	学年	人数	内容
5月28日(日)	群馬県立女子大学	2	1	質問をメールにて回答
8月13日(日)	兵庫県立須磨東高等学校	2	2	取材対応
8月13日(日)	神戸市立葺合高等学校	1	1	取材対応
8月13日(日)	小林聖心女子学院(中学部)	1	1	取材対応
8月19日(金)	甲南大学	3	20	施設訪問・取材対応
9月2日(金)	県立須磨友が丘高等学校	1	20	出張授業
9月8日(木)	神戸市シルバーカレッジ	3	20	常設展の鑑賞
10月20日(木)	兵庫県立西宮今津高等学校	1	25	施設訪問・取材対応

10月21日(金)	多可町立中町北小学校 (会場:多可町立杉原谷小学校)	6	23	出張授業
10月25日(火)	兵庫教育大学	3	25	施設訪問・取材対応
12月18日(日)	神戸学院大学	2	15	施設訪問・取材対応
12月23日(金)	神戸芸術工科大学(大学院)	1	42	施設訪問・取材対応
1月8日(日)	奈良県立大学	2	1	質問をメールにて回答
3月8日(水)	箕面自由学園高等学校	1	7	施設訪問・取材対応
計	12校		203人	

(2) 教員研修

日程	学校名	人数	内容
8月3日(水)	令和4年度 教員初任者研修にかかる社会体験研修	3	兵庫県立美術館
8月4日(木)	明石市立岡工専科夏季美術館研修会	7	兵庫県立美術館
8月9日(火)	尼崎市造形教育研究会	34	兵庫県立美術館
計		44人	

(3) アートカード・セット

美術作品の鑑賞教育を支援するための教材として、当館所蔵の作品画像を用いたカードセットの第3弾を作成した。新型コロナウイルスの感染収束を待つ、学校を中心とした施設に貸し出しを行う予定。



アートカード・セット Vol.3

(4) 令和4年度 神戸市 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校 造形展 「第22回 神戸っ子アートフェスティバル」

テーマ: つくりだそう夢・未来・神戸 一つながり つながる ほくとわたしと・・・

日時: 令和5年1月24日(火)～1月29日(日)

場所: 兵庫県立美術館 ギャラリー棟3Fギャラリー

※特別支援学校は学校のホームページ上で開催

主催: 神戸っ子アートフェスティバル実行委員会、神戸市教育委員会、兵庫県立美術館

開催趣旨: 子供たちに、豊かな心・豊かな生活や社会を創造していく態度、及び自ら学び・考える「生きる力」を育むとともに、本市の造形教育の推進を図るため、学びの成果である作品を展示し、文化・芸術に触れる機会や環境を充実させる。また、神戸市の幼稚園・小学校・中学校・高等学校の造形教育の取り組みについて、広く保護者・市民の方々に伝える。

展示内容: ①神戸市立の幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校、特別支援学校の幼児・児童・生徒の代表作品約5,400点を展示

②つながるミュージアムと学校と子供

神戸市立小磯記念美術館・神戸市立博物館・兵庫県立美術館と学校の連携による授業の様子等をポスターで紹介

③写真パネルコーナー

幼稚園の活動を写真で紹介

来場者数: 13,966人

C. 博物館実習

感染症対策の観点から、昨年度中に策定・配布していた内容とスケジュールを変更して、博物館学芸員資格認定のための実習を実施した。依頼のあった21大学22学部に所属する学生30名に対し、下記のスケジュールで実習を行った。

スケジュール

月日・曜日	時間	内 容	参加者数
7月22日(金)	10:15~10:20	開講挨拶：野村孝	30
	10:20~10:30	全体説明：遊免寛子	
	10:45~12:15	施設見学：遊免寛子、武澤里映、加藤香織、松上仁子	
	13:15~14:45	当館の歴史と理念：飯尾由貴子	
	15:00~16:15	作品収集・管理および常設展示について：岡本弘毅	
	16:15~17:30	颯川・梅コレクションについて：柏木知子	
7月23日(土)	10:15~11:45	特別展について：江上ゆか	30
	11:45~12:15	展示作業中の注意点：遊免寛子、武澤里映	
	13:15~14:15	教育普及活動について：遊免寛子	
	14:25~15:25	営業広報活動について：政岡伸一	
	15:40~16:30	美術情報センターについて 施設見学、講義：松井富廣	
	16:30~17:30	WS準備：遊免寛子、武澤里映	
7月28日(木)	10:15~12:15	展示作業見学、特別展の見学：遊免寛子、武澤里映	30
	13:15~15:15	展示作業見学、特別展の見学：遊免寛子、武澤里映	
	15:30~17:30	WS準備：遊免寛子、武澤里映	
7月30日(土)	10:15~12:15	常設展の見学：遊免寛子、武澤里映	29
	13:15~15:00	展示に関する課題：遊免寛子、武澤里映	
	15:15~16:45	展示に関する課題発表：遊免寛子、武澤里映	
8月2日(火)	10:15~12:15	WS準備：遊免寛子、武澤里映	29
	13:15~15:15	保存・修復について 施設見学、講義：横田直子、岩松智義、亀井綾乃、遊免寛子、武澤里映	
	15:30~17:30	WS準備：遊免寛子、武澤里映	
8月3日(水)	10:15~12:15	WS準備：遊免寛子、武澤里映	29
	13:15~17:30	WS準備：遊免寛子、武澤里映	
8月4日(木)	10:15~12:15	WS：遊免寛子、武澤里映	29
	13:15~16:15	WS：遊免寛子、武澤里映	
	16:15~17:00	まとめ：遊免寛子	
	17:00~17:15	閉講挨拶：奥野所正樹	

・主会場はミュージアムホール。

・WS（ワークショップ）は当館所蔵品による展覧会企画および関連事業等の教育普及活動を立案するというもの。

・：以下は各講義等担当者（役職等はp.173「委員及び職員名簿」を参照）

受入大学名及び人数

大阪大学、京都芸術大学 3名

大手前大学、甲南女子大学、神戸芸術工科大学、同志社大学、佛教大学 2名

大阪市立大学、大谷大学、関西学院大学、京都産業大学、京都橘大学、近畿大学、神戸学院大学、神戸松蔭女子学院大学、女子美術大学、聖心女子大学、東京大学、同志社女子大学、北海道大学、立命館大学 1名

計21校 22学部 30名

d. 来館者向けイベント

1. 講演会・解説会等

日時	講演会名	講師	場所	参加者 (人)	備考
4月2日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会	西田桐子(当館学芸員)	レクチャールーム	13	コレクション展I 関連事業
4月9日(土) 14:00~15:30	講演会「ミニマル/コンセプチュアルって何?現代美術の楽しみ方」	林寿美(インディペンデント・キュレーター)	ミュージアムホール	111	R3年度「ミニマル/コンセプチュアル」展関連事業
4月10日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会	遊免寛子(当館学芸員)	レクチャールーム	20	コレクション展I 小企画関連事業
4月17日(土) 13:00~14:00	安藤忠雄氏ギャラリートーク	安藤忠雄(建築家)	ミュージアムホール	165	KEN-Vi文化セミナー として実施
4月23日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会	河田亜也子(当館学芸員)	レクチャールーム	38	R3年度「ミニマル/コンセプチュアル」展関連事業
4月30日(土) 15:00~16:00	学芸員による特別レクチャー	河田亜也子(当館学芸員)	ミュージアムホール	43	R3年度「ミニマル/コンセプチュアル」展関連事業
5月7日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会	河田亜也子(当館学芸員)	レクチャールーム	39	R3年度「ミニマル/コンセプチュアル」展関連事業
5月14日(土) 14:00~15:30	講演会 「も~やんとのおい出を語る」	中辻悦子(美術家、元永定正氏夫人)	ミュージアムホール	65	コレクション展I 小企画関連事業
6月18日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会	遊免寛子(当館学芸員)	レクチャールーム	10	コレクション展I 小企画関連事業
6月26日(日) 15:00~16:30	出品作家によるトーク 「京阪神ニューウェーブ鼎談」	山部泰司、福田新之助、杉山知子(いずれも出品作家)	ミュージアムホール	80	「関西の80年代」展 関連事業
7月9日(土) 15:00~15:40	学芸員によるテーマレクチャー① 「アート・ナウと関西の80年代」	江上ゆか(当館学芸員)	レクチャールーム	45	「関西の80年代」展 関連事業
7月10日(日) 13:00~14:00	安藤忠雄氏ギャラリートーク	安藤忠雄(建築家)	ミュージアムホール	145	KEN-Vi文化セミナー として実施
7月24日(日) 14:00~15:30	講演会「1980年代を語れるのか?」	島敦彦(国立国際美術館館長)	ミュージアムホール	45	「関西の80年代」展 関連事業
8月6日(土) 15:00~15:40	学芸員によるテーマレクチャー② 「インスタレーションを展示する」	江上ゆか(当館学芸員)	レクチャールーム	25	「関西の80年代」展 関連事業
8月27日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会	相良周作(当館学芸員)	レクチャールーム	10	コレクション展II 特集2関連事業
9月10日(土) 14:00~15:30	講演会「刀剣の見かた— HEROES展での楽しみ方—」	原田一敏(展覧会監修者、 東京藝術大学名誉教授)	ミュージアムホール	125	「THE HEROS」展 関連事業
9月17日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会	安永幸史(当館学芸員)	レクチャールーム	44	「THE HEROS」展 関連事業
9月24日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会	尾崎登志子(当館学芸員)	レクチャールーム	14	コレクション展II 特集1関連事業
9月25日(日) 13:00~14:00	安藤忠雄氏ギャラリートーク	安藤忠雄(建築家)	Ando Galley	111	KEN-Vi文化セミナー として実施
10月2日(土) 14:00~15:30	講演会 「武者絵から広がる楽しみ」	岩切友里子(展覧会監修者、 浮世絵研究家)	ミュージアムホール	110	「THE HEROS」展 関連事業
10月15日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会	安永幸史(当館学芸員)	レクチャールーム	50	「THE HEROS」展 関連事業
10月16日(日) 14:00~15:30	講演会 「浮世に浮かぶものは何か」	タイモン・スクリーチ(第27回 山片蟠桃賞受賞者、国際日 本文化研究センター教授)	ミュージアムホール	85	「THE HEROS」展 関連事業
10月29日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会	尾崎登志子(当館学芸員)	レクチャールーム	9	コレクション展II 特集1関連事業
11月5日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会	安永幸史(当館学芸員)	レクチャールーム	50	「THE HEROS」展 関連事業
11月26日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会	尾崎登志子(当館学芸員)	レクチャールーム	10	コレクション展II 特集1関連事業
12月3日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会	相良周作(当館学芸員)	レクチャールーム	13	コレクション展II 特集2関連事業

12月17日(土) 14:00~15:30	連続対談シリーズ「対話より」 浅田彰と李禹煥	浅田彰(批評家、京都芸術大学教授)、李禹煥(出品作家)	ミュージアムホール	125	「李禹煥」展関連事業、後日Youtube公式チャンネルにて配信
12月25日(土) 13:00~13:30	安藤忠雄氏ギャラリートーク	安藤忠雄(建築家)	Ando Galley	123	KEN-Vi文化セミナーとして実施
12月25日(土) 15:00~15:45	連続対談シリーズ「対話より」 安藤忠雄と李禹煥	安藤忠雄(建築家)、李禹煥(出品作家)	レクチャールーム	175	「李禹煥」展関連事業、後日展覧会サイトにて報告をPDFで公開
12月25日(土) 撮影	連続対談シリーズ「対話より」 李禹煥×島袋道浩	島袋道浩(美術家)、李禹煥(出品作家)	ミュージアムホール、企画展示室	無観客	「李禹煥」展関連事業、後日Youtube公式チャンネルにて配信
1月28日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会(特集2)	剣持翔伍(当館学芸員)	レクチャールーム	49	2023年コレクション展I特集2関連事業
2月4日(土) 15:00~16:30	学芸員による解説会	小林公(当館学芸員)	レクチャールーム	50	「李禹煥」展関連事業
2月18日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会(特集1)	河田亜也子(当館学芸員)	レクチャールーム	20	2023年コレクション展I特集1関連事業
2月19日(日) 14:00~15:00	アーティストトーク with 西山美なコ	西山美なコ(作家)、原久子(大阪電気通信大学教授)	ミュージアムホール	31	ギャラリー棟活性化事業として実施、後日Youtube公式チャンネルにて配信
3月5日(日) 14:00~15:30	「梅舒適コレクションの精華を見つめて」	中村伸夫(筑波大学名誉教授、日本書芸院副理事長)	ミュージアムホール	110	2023年コレクション展I特集2関連事業、KEN-Viスペシャルトークとして実施
3月11日(土) 15:00~15:45	学芸員による解説会	岡本弘毅(当館学芸員)	レクチャールーム	50	「恐竜図鑑」展関連事業
3月18日(土) 14:00~15:00	学芸員による解説会(特集2)	剣持翔伍(当館学芸員)	レクチャールーム	48	2023年コレクション展I特集2関連事業
3月19日(日) 18:30~19:30	記念トークショー「描かれた恐竜たち」	倉谷滋(理化学研究所生命機能科学研究センター・チームリーダー)、徳川広和(展覧会企画協力者、古生物造形作家)	ミュージアムホール	100	「恐竜図鑑」展関連事業

2. ワークショップ等

日時	講演会名	講師	場所	参加者(人)	備考
8月21日(日) 13:30~15:00	ワークショップ「手でみる身体 ~音の門 耳をかたちづくる・掌の空間~」	武末裕子(山梨大学准教授)、古家祥子(山梨県立大学准教授)	アトリエ2	8	コレクション展II小企画関連事業
9月11日(土) 15:00~18:00	神田伯山、見参! HEROES講談会	神田伯山(講談師)	神戸新聞松方ホール	700	「THE HEROS」展関連事業
3月4日(土) 10:30~16:00	ワークショップ「窓もしくは鏡のようなリトグラフ」	衣川泰典(美術家/石版画家)	アトリエ2、常設展示室	12	ギャラリー棟活性化事業として実施
3月4日(土) 11:00~12:00 14:30~15:30	恐竜くんワークショップ「骨格に基づいて、科学的に恐竜を描く」	恐竜くん(恐竜研究家)	レクチャールーム	48	「恐竜図鑑」展関連事業

3. 様々な芸術との融合事業

事業名		回数	延べ入場者数	平均入場者数
(1)	ミュージアム ①美術館の調べ	19	1,478	78
	コンサート ②四季シリーズコンサート	5	340	68
	小計	24	1,818	76
(2)	パフォーマンスアーツ(舞台芸術等)	8	364	46
(3)	シネマサロン	12	1,292	108
合計		44	3,474	79

(1) ミュージアムコンサート

①美術館の調べ

開催日	事業内容	出演者	会場	開演時間	入場料	入場者数
4月16日(土)	梶原千聖ヴァイオリンリサイタル ～ドイツロマン派の薫り～	梶原千聖、尾上理絵	アトリエ1	14:00	無料	71
4月30日(土)	農頭奈緒ヴァイオリンリサイタル	農頭奈緒、白藤 望	アトリエ1	14:00	無料	77
5月7日(土)	大野謙ピアノリサイタル ～ロマン派を辿って～	大野 謙	アトリエ1	14:00	無料	83
5月14日(土)	大淵雅子ピアノリサイタル ～ヨーロッパに想いを馳せて～	大淵雅子	アトリエ1	14:00	無料	62
6月25日(土)	甘中博子ピアノリサイタル	甘中博子	アトリエ1	14:00	無料	61
7月2日(土)	平井菜月美ヴァイオリンリサイタル ～ヴィオラの音色の世界へ～	平井菜月美、岡 美咲	アトリエ1	14:00	無料	76
7月16日(土)	内田咲知子&杉田恵理 ヴァイオリン&ヴィオラコンサート ～フィンランドの風を感じて～	内田咲知子、杉田恵理	アトリエ1	14:00	無料	103
8月20日(土)	1980年代の思い出「れっきとした sleeper」のロマンティックあげるよ	れっきとしたsleeper (岡本修道、弓倉尚真、飯 田一馬)	アトリエ1	14:00	無料	57
9月3日(土)	山本真彩ヴァイオリンリサイタル	山本真彩、内藤菜穂子	アトリエ1	14:00	無料	54
10月1日(土)	脇坂颯フルートリサイタル	脇坂 颯、金未卯	アトリエ1	14:00	無料	75
11月12日(土)	小塩真愛ピアノリサイタル	小塩真愛	アトリエ1	14:00	無料	55
12月3日(土)	アコーディオントリップ ～音楽でめぐる小旅行～	461モンブラン (森 裕介、山下カナ)	アトリエ1	14:00	無料	51
12月17日(土)	県立西宮高等学校音楽科 ウインターコンサート ～クリスマスに寄せて～	県立西宮高等学校音楽科生徒	アトリエ1	14:00	無料	60
12月24日(土)	ベルクレール クリスマスコンサート	村上麻央、山根邦子、 梶原厚美、飯田一馬	アトリエ1	14:00	無料	88
1月21日(土)	オーボエ・ファゴット・ピアノ トリオコンサート	西林彩菜、小西紗耶加、 遠藤優美	アトリエ1	14:00	無料	92
1月28日(土)	クラシック音楽×映画音楽～ 今も残る名作に色をつけて…	田中佑奈、丹野桃子、 和田悠加	ミュージアムホール	14:00	無料	109
2月4日(土)	裏紗蘭オーボエリサイタル	裏紗蘭、若林里紗	アトリエ1	14:00	無料	104
3月11日(土)	イヴァイロのマリンバリサイタル	コイツェフ・イヴァイロ、 竹内日菜多	アトリエ1	14:00	無料	97
3月25日(土)	中嶋弥生ヴァイオリンリサイタル	中嶋弥生、山中歩夢	アトリエ1	14:00	無料	103

実施済 19回 延 1,478人

②四季シリーズコンサート ※見え消し線(一)は、イベント中止・延期を示す。

開催日	事業内容	出演者	会場	開演時間	入場料	入場者数
5月28日(土)	四季シリーズコンサート<春>谷本 華子・西村奈葉DUO CONCERT	谷本華子、西村奈葉	アトリエ1	14:00		
8月28日(日)	四季シリーズコンサート<夏> 湯口紗世ピアノリサイタル	湯口紗世	アトリエ1	14:00		
9月25日(日)	芸術の秋クラシックコンサート アフ ター・アワーズ・セッションソロシリーズ～ みさかな ヴィオラ ビオラ びよら?	三木香奈、右近恭子	アトリエ1	14:00	無料	63
10月2日(日)	四季シリーズコンサート<夏> 湯口紗世ピアノリサイタル	湯口紗世	アトリエ1	14:00	2,000円	66
11月19日(土)	四季シリーズコンサート<秋> 田中紀子ピアノリサイタル	田中紀子	アトリエ1	14:00	3,000円	84
2月19日(日)	四季シリーズコンサート<冬> 芹澤佳司ピアノリサイタル	芹澤佳司	アトリエ1	14:00	3,000円	78
3月5日(日)	四季シリーズコンサート<ファイ ナル>伊達広輝ピアノリサイタル	伊達広輝	アトリエ1	14:00	3,000円	49

実施済 5回 延 340人

(2) パフォーマンスアート（舞台芸術等）

開催日	事業内容	出演者	会場	開演時間	入場料	入場者数
4月10日(日)	県美亭ワンコイン寄席～お笑いは副作用のない薬です	露の吉次、笑福亭仁福	ミュージアムホール	14:00	500円	53
6月17日(金)	県美亭ワンコイン寄席～シンプルにココロのよはくココチよく	露の吉次、笑福亭銀瓶	ミュージアムホール	14:00	500円	56
9月16日(金)	県美亭ワンコイン寄席～芸術の秋とかけておせっかいな人ととく～その心は鑑賞(干渉)が楽しみです	露の吉次、露の団六	ミュージアムホール	14:00	500円	59
9月17日(土)	武士たちが最も輝いた時代～謡と小鼓でえがく～源平屋島の合戦	笠田昭雄、久田陽春子、高橋奈王子	アトリエ1	14:00	無料	61
10月7日(金)	県美亭ワンコイン寄席～落語とは真っ暗な夜道～伝統(電灯)のありがたみに感謝	露の団四郎、笑福亭風喬	ミュージアムホール	14:00	500円	35
12月16日(金)	年忘れ!!県美亭ワンコイン寄席～絵画に開眼～海岸沿いの兵庫県立美術館にて	露の吉次、桂枝女太	ミュージアムホール	14:00	500円	27
1月13日(金)	県美亭ワンコイン寄席～雪の中のうさぎとかけてカレーうどんととく～そのころはよくはねて跡を残します	露の吉次、露の新治	ミュージアムホール	14:00	500円	39
2月17日(金)	県美亭ワンコイン寄席～兵庫県立美術館とかけて魚の棚商店街ととく～そのころはいい絵画(貝が)あります	露の吉次、笑福亭仁嬌	ミュージアムホール	14:00	500円	34

実施済 8回 延 364人

(3) シネマサロン (KEN-Vi名画サロン(偶数月)・県美シネマクラシック(奇数月)等)

開催日	事業内容	会場	入場料	入場者数
4月8日(金)	KEN-Vi名画サロン「アートのお値段」	ミュージアムホール	1,000円	45
5月20日(金)	県美シネマクラシック「嵐が丘」	ミュージアムホール	800円	99
6月11日(土)	KEN-Vi名画サロン「娘は戦場で生まれた」	ミュージアムホール	1,000円	85
7月15日(金)	県美シネマクラシック「哀愁」	ミュージアムホール	800円	93
9月19日(月祝)	KEN-Vi名画サロン「ARCADIA」[にしきたショパン]トーク(竹本監督、近藤プロデューサー)&ミニコンサート(野々村亜梨沙)	ミュージアムホール アトリエ1	1,000円	24
10月8日(土)	KEN-Vi名画サロン「HOKUSA I」	ミュージアムホール	1,000円	170
11月25日(金)	令和4年度文化庁優秀映画鑑賞推進事業「わが青春に悔なし、酔いどれ天使」	ミュージアムホール	500円	108
11月26日(土)	令和4年度文化庁優秀映画鑑賞推進事業「用心棒、天国と地獄」	ミュージアムホール	500円	114
12月10日(土)	KEN-Vi名画サロン「文楽 冥途の飛脚」	ミュージアムホール	2,500円	78
1月14日(土)	県美シネマクラシック「心の旅路」「旅愁」	ミュージアムホール	800円	127
2月18日(土)	KEN-Vi名画サロン「私は、マリア・カラス」	ミュージアムホール	1,000円	181
3月17日(金)	県美シネマクラシック「グレンミラー物語」	ミュージアムホール	800円	168

実施済 12回 延 1,292人

e. 美術講座

当館では、普及活動の一環として県民に生涯学習の機会を提供する目的で、美術に関する継続的な講座を開講している。

実技講座

(1) 前期 (4月～9月、全17回)

コース名	内 容	日 程		参加者数	講 師
デ ッ サ ン A	デッサンを通して絵画の基本的な要素である線、調子、色彩それぞれの造形的意味を学ぶ。	火	10:30～12:30	30	栗田 咲子
デ ッ サ ン B		火	13:30～15:30	30	栗田 咲子
日 本 画	画材の扱い方から作画まで日本画の初歩を学ぶ。	水	10:30～12:30	30	山崎ゆう子
水 彩 画	水彩画に親しみ、いろいろな対象を描く喜びを味わう。	水	13:30～15:30	30	ウエダ キョアキ
洋 画 A	具象、抽象の区別なく自由に表現することを考える。	木	10:30～12:30	23	押江千衣子
洋 画 B		木	13:30～15:30	25	押江千衣子
エ ッ チ ン グ	道具の扱い方を学び、エッチングの表現技法と制作に親しむ。	金	10:30～12:30	30	集治 千晶
木 版 画	道具の扱い方から作品の制作まで木版画の初歩を学び、木版画の表現に親しむ。	金	13:30～15:30	24	本田このみ

(2) 後期 (10月～3月、全17回)

コース名	内 容	日 程		参加者数	講 師
デ ッ サ ン A	デッサンを通して絵画の基本的な要素である線、調子、色彩それぞれの造形的意味を学ぶ。	火	10:30～12:30	30	栗田 咲子
デ ッ サ ン B		火	13:30～15:30	30	栗田 咲子
日 本 画	画材の扱い方から作画まで日本画の初歩を学ぶ。	水	10:30～12:30	30	山崎ゆう子
水 彩 画	水彩画に親しみ、いろいろな対象を描く喜びを味わう。	水	13:30～15:30	30	ウエダ キョアキ
洋 画 A	具象、抽象の区別なく自由に表現することを考える。	木	10:30～12:30	21	押江千衣子
洋 画 B		木	13:30～15:30	23	押江千衣子
エ ッ チ ン グ	道具の扱い方を学び、エッチングの表現技法と制作に親しむ。	金	10:30～12:30	30	集治 千晶
木 版 画	道具の扱い方から作品の制作まで木版画の初歩を学び、木版画の表現に親しむ。	金	13:30～15:30	27	本田このみ

f. ミュージアム・ボランティア

当館では、前身である県立近代美術館時代の昭和62年からボランティア養成講座を実施し、翌63年からボランティア活動を開始した。本年度は、昨年度から引き続き更新した合計195名がボランティアに登録した。活動の体制として、ボランティアと美術館の双方に各活動の担当者を置く。その上で1ヶ月に1度事務局会議を開催し、担当者間で協議しながら活動を実施した。

本年度も新型コロナウイルス感染症に配慮し、事務局運営や研修会、資料整理等感染リスクの低い活動を中心的に行った。来館者との対面を要するガイドツアーについては年度を通じて活動を見合わせたが、学校の団体干渉やこどもイベント等に関わる活動などは、段階的に再開した。新型コロナウイルス感染症対策を講じた特別展のスライド解説などの取り組みも引き続き行われた。また「県展」「美術の中のかたち」展の補助作業については、昨年度に引き続き感染症対策のため実施していない。

なおミュージアム・ボランティア活動ならびにミュージアム・ボランティア養成セミナーは、平成11年度以降、兵庫県教育委員会社会教育課と当館、歴史博物館、人と自然の博物館による「生涯学習ボランティア活動支援・推進事業」の一環として実施している。

1. ボランティア活動

(1) ミュージアム・ボランティアの概要

ア 令和3年度登録者195名（男37名、女158名）

イ 性別・年齢の内訳

20歳未満	0名	（男性0名、女性0名）
20歳代	2名	（男性1名、女性1名）
30歳代	3名	（男性0名、女性3名）
40歳代	8名	（男性2名、女性6名）
50歳代	25名	（男性1名、女性24名）
60歳代	66名	（男性9名、女性57名）
70歳代	69名	（男性17名、女性52名）
80歳代	18名	（男性6名、女性12名）
その他	4名	（男性1名、女性3名）

(2) 活動内容および活動実績（活動日数、のべ日数）

ア 班別の活動

(ア) 事務局（10回／137名）

- ・事務局会議、例会、総会の運営
- ・活動の企画
- ・館職員との連絡調整
- ・ボランティアへの事務連絡
- ・ミュージアム・ボランティアだより『ミュゼV』の編集
- ・保険受付作業

(イ) 資料班（258回／417名）

- ・下記資料の整理
美術関連新聞記事、ダイレクトメール、作家ファイル（県内、県外作家）
- ・班会

(ウ) 解説班（11回／165名）

- ・研修会
- ・班会
- ・コレクション展ガイドツアーの実施（活動なし）
- ・学校の団体鑑賞時の案内・解説（活動なし）

(エ) こども班 (14回/124名)

- ・研修会
- ・班会
- ・「こどものイベント」の指導補助

イ 班以外の活動

(ア) 展覧会に関する活動

- ・「県展」の受付、審査、返却の作業補助ならびに会場監視 (0回/0名)
- ・特別展スライド解説 (62回/378名)
- ・「美術の中のかたち」展会場での案内・鑑賞補助 (0回/0名)

(イ) 学校の団体鑑賞補助 (6回/61名)

(ウ) 発送作業等 (19回/74名)

(エ) イベントの企画、運営補助

- ・七不思議ツアーおよび絵本の読み聞かせの企画・運営 (「美術館の日」、「関西文化の日」のイベントとして) (3回/31名)

(オ) 研修旅行等の企画・運営 (0回/0名)

(カ) 美術情報センターでの図書、ポスター整理作業補助 (33回/33名)

(キ) ルーム当番等 (ボランティア・ルームでの電話対応、その他) (18回/63名)

以上合計 のべ 440回/1,728名

2. 生涯学習ボランティア活動支援・推進事業

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、新規登録者向けの研修を含むボランティア活動を十全に行うことができなかったことから、新たな登録希望者を対象とする「ミュージアム・ボランティア養成セミナー」の実施を見送り、活動経験者を対象とするコーディネーター養成セミナーのみ実施した。開講時間は13:00から15:00まで、講義の会場は当館ミュージアムホールとした。

ミュージアム・ボランティアコーディネーター養成セミナー カリキュラム

月 日	内 容	担当職員など
令和5年 2月4日(土)	「ボランティア活動について－彫刻みがき隊「あのね会」の現状を中心に－」	荒岡美知子氏 (彫刻みがき隊「あのね会」代表)
	講義「NPO法人 人と自然の会 ボランティア養成から自立したグループへ」	藤本真里氏 (兵庫県立人と自然の博物館 事業推進部長)

g. 兵庫県立美術館「芸術の館友の会」

兵庫県立美術館「芸術の館友の会」は、兵庫県立近代美術館美友会をその前身とし、美術を通じて会員相互の親睦を深めるとともに、美術館の発展に寄与し、美術館を積極的に支援することを目的とした団体である。

事業内容は、各種行事の企画・実施（美術館との共同事業含む）のほか、会員への情報提供、美術館支援等である。本年度については、以下のとおり活動を展開した。

なお、令和3年度に運営体制について協議し、会員理事とボランティア・スタッフを中心とする運営に移行した。定期的な連絡会議の開催や入会受付・会費徴収事務への会員管理クラウドサービスの導入を実施した。

1. 行事

(1) 学芸員による総会記念レクチャー「令和4年度特別展の見どころなど」

実施日：令和4年7月3日(日) 15:00~16:00

会場：レクチャールーム

参加者：15名

担当：新谷里美（会長）、西田桐子（当館学芸員）

(2) チャンネル13 関連イベント 会員対象アーティストトーク

実施日：令和4年10月16日(日) 14:00~16:00

会場：アトリエ1

参加者：5名

講師：吉村宗浩（チャンネル13出品作家）

担当：小林公（当館学芸員）

(3) 保存修復室ツアー「保存修復の現場をのぞく」

実施日：令和5年2月5日(日) 14:00~16:00

会場：会議室、保存修復室

参加者：14名

講師：横田直子、岩松智義（当館学芸員）

2. 美術館支援

(1) 展覧会支援

下記の本美術館展覧会関連事業の講師謝金等を補助し、友の会優先座席等の提供を受けた。

- ・注目作家紹介プログラム チャンネル13「吉村宗浩 画家とアトリエ-メチエの修行場」
- ・2022年度コレクション展Ⅱ

3. 情報提供

(1) 友の会会報誌の発行 4回

Vol.117号（令和4年6月）、Vol.118号（令和4年9月）、Vol.119号（令和4年12月）、Vol.120号（令和5年3月）

(2) メールマガジンの発行 22回

- ・芸術文化観光専門職大学によるイベントのお知らせ（4/21）
- ・Sea Front Vol.117発行のお知らせ（6/3）
- ・友の会優先座席参加者募集のお知らせ（6/3）
- ・アーティストトーク動画、はじめました！（6/11）
- ・アーティストトーク動画、はじめました！（6/17）
- ・兵庫県神戸県民センターによるイベント「三沢厚彦氏講演会」のお知らせ（7/3）
- ・兵庫県神戸県民センターによるイベント「アートワークショップ@兵庫県立美術館」のお知らせ（7/3）

- ・「芸術の館友の会」優先座席参加者募集のお知らせ（7/6）
- ・関西の80年代展が無料に！「プレミアム芸術デー」開始！（7/10）
- ・友の会優先座席参加者募集のお知らせ（8/27）
- ・友の会優先座席参加者募集のお知らせ（9/19）
- ・Sea Front Vol.118アップロードのお知らせ（9/22）
- ・チャンネル13「吉村宗浩画家とアトリエメチエの修行場」アーティストトーク参加者募集のお知らせ（9/30）
- ・友の会優先座席参加者募集のお知らせ（10/2）
- ・こどものイベント「きいて音楽みて美術」開催のお知らせ（10/6）
- ・チャンネル13アーティストトーク参加者募集のお知らせ（10/8）
- ・友の会優先座席参加者募集のお知らせ（11/22）
- ・Sea Front Vol.119発行のお知らせ（12/2）
- ・友の会優先座席参加者募集のお知らせ（12/6）
- ・兵庫県立美術館「芸術の館友の会」会員のみなさまへ新年のご挨拶（1/1）
- ・保存修復室ツアー「保存修復の現場をのぞく」参加者募集のお知らせ（1/14）
- ・アーティストトークwith西山美なコ開催のお知らせ（2/7）

4. 他団体との連携事業

- ・公益財団法人 兵庫県芸術文化協会との共催事業
- ・令和4年度 兵庫県生活文化大学「日本美術講座」
実施日：令和4年4月～令和5年1月 計7回
会場：兵庫県民会館
講師：児島大輔（大阪市立美術館学芸員）、越智裕二郎（西宮大谷記念美術館館長）、塚原晃（神戸市立博物館担当係長）、枝松亜子（西宮大谷記念美術館学芸員）
料金：友の会会員価格…13,000円、一般…17,000円
参加者：31名（うち、友の会会員3名）
- ・令和4年度 兵庫県生活文化大学「西洋美術講座」
実施日：令和4年4月～令和5年2月 計10回
会場：兵庫県民会館
講師：蜷川順子（関西大学名誉教授）
料金：友の会会員価格…13,000円、一般…17,000円
参加者：45名（うち、友の会会員13名）
- ・令和4年度 兵庫県生活文化大学「文化財講座」
実施日：令和4年4月～令和5年2月 計10回
会場：兵庫県民会館
講師：山中理（白鶴美術館評議員）、近藤利江子（関西学院大学非常勤講師）、田中敏雄（大阪芸術大学名誉教授）、柏木知子（兵庫県立美術館学芸員）、仙海義之（公益財団法人阪急文化財団理事）、海原靖子（白鶴美術館学芸課長）、斎藤朋子（大阪芸術大学非常勤講師）、田林啓（白鶴美術館学芸副主任）
料金：友の会会員価格…13,000円、一般…17,000円
参加者：29名（うち、友の会会員2名）

5. 特典・優待

(1) 会員証提示による優待

- ・常設展の無料観覧
- ・特別展の一定回数の無料観覧
- ・特別展の当日観覧券を団体割引料金を購入できる
- ・館内ミュージアムショップの商品（対象外の商品あり）を1,000円以上まとめて購入した場合は5%割引（対象外商品：図録・書籍・チケット）
- ・当館で開催する催しの一部優待
- ・兵庫県立美術館で開催する「KEN-Vi名画サロン」、「県美シネマクラシック」が一部を除き500円で観覧できる（元から500円の場合は割引なし）
- ・横尾忠則現代美術館で企画展が団体料金にて観覧できる
- ・姫路市立美術館で企画展と常設展が団体料金にて観覧できる
- ・兵庫県立歴史博物館で常設展が観覧無料、特別展・特別企画展が団体料金にて観覧できる
- ・兵庫陶芸美術館の展覧会を団体料金にて観覧できる
- ・兵庫県芸術文化協会の主催する講座を優待料金を受講できる
- ・兵庫県民会館の喫茶、理容室が割引料金で利用できる
- ・日本旅行関西企画旅行支店で指定の企画旅行が割引料金で利用できる
- ・「ミュージアムロード美術館応援店MAP」掲載店舗での割引等の優待

(2) 特別招待券等による優待（法人会員）

(3) 美術館情報誌『HART』、『ART RAMBLE』等を会報誌発送に同封

6. 総会・理事会等

5月21日（土） 第1回理事会

7月3日（日） 総会

3月11日（土） 第2回理事会

7. 会員数

年度	A会員		学生会員		B会員		特別会員		法人会員A		法人会員B		計
	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	
平成15年度	150	238	86	40	933	845	9	20	0	0	0	1	2,322
平成16年度	32	342	45	25	703	724	9	21	0	0	0	1	1,902
平成17年度	315	247	47	18	867	582	10	20	0	0	10	2	2,118
平成18年度	172	219	33	15	436	538	3	20	0	0	9	13	1,458
平成19年度	204	200	31	7	595	483	6	16	1	0	9	20	1,572
平成20年度	142	242	16	12	268	623	5	21	2	0	7	25	1,363
平成21年度	280	308	35	14	509	613	3	22	0	2	1	23	1,810
平成22年度	110	344	13	19	259	576	4	18	0	2	3	20	1,368
平成23年度	172	151	10	11	237	370	4	19	0	0	0	18	992
平成24年度	109	250	18	12	267	393	4	21	0	0	0	16	1,090
平成25年度	132	253	21	10	362	409	2	23	0	0	3	11	1,226
平成26年度	153	195	12	8	314	321	15	14	0	0	5	12	1,049
平成27年度	163	195	18	6	362	352	16	13	0	0	10	7	1,142
平成28年度	97	203	12	7	392	287	4	19	0	0	2	11	1,034
平成29年度	234	235	22	10	713	447	6	18	0	0	3	10	1,698
平成30年度	98	263	4	15	295	565	4	17	0	0	1	8	1,270
令和元年度	166	294	15	6	453	570	8	19	0	0	4	7	1,542
令和2年度	35	122	2	4	99	259	0	15	0	0	1	10	547

年度	個人会員	法人会員	計
令和3年度	384	7	391
令和4年度	287	4	291

※令和3年度より会員種別を変更

C 保存修復

収蔵作品を適切な状態で保存し、次世代へと継承することは、美術館の大切な業務の一つである。兵庫県立美術館では、平成14年の移転を契機として新たに修復室など保存施設を整え、それとともに専門の職員を配置して保存、修復の活動にあたっている。

保存修復活動の目指すところは作品のオリジナルな状態を出来る限り維持し続けることにあり、作品自体を安易に強化、改善することではない。まずは作品を取りまく環境の整備を優先して実行し、作品に対する直接的な介入＝処置は必要最小限に止める。処置に使用する材料や方法が少なからず作品の表情を変えたり、様々な情報を読みづらくしてしまうこともあるからである。また、限られた作品の修復に重点を置くよりもコレクション全体の保存状態の改善、向上に力を注ぐべきであると考えている。

1. 環境管理

保存の前提として、作品が劣化する因子（光、温湿度、空気、生物など）を排除あるいは制御することが重要である。そのため照明の調整、紫外線のモニター、空調の温湿度設定管理、館内空気の特徴調査、IPM（Integrated Pest Management：総合的有害生物管理）活動などを継続的に実施している。

また、館内の環境データは複数の系統＝計測器機で並行して記録し、異常の発生を見過ごすことのないようにしている。

2. 保存計画

作品個々の状態調査を実行し、展示、貸出などの作品活用との関係を考慮に入れつつ、保存処置の必要性和優先順位を決定してゆく。また、同時に環境調査と状態調査の結果を統合してコレクション全体の長期的な保存方法の改善に役立てるようにしている。

3. 活用と保存

館内のコレクション展での展示や館外貸出しに際しては、事前の作品状態調査で展示や輸送におけるリスクを把握し、必要に応じて修復処置や額装方法の改善を行っている。また、展示作業や輸送手段に対しても適切な方法が採られるよう助言し、活用前後で作品状態に変化がないか状態記録をもとに点検・確認を行っている。

特別展では、作品の借用条件に応じて一時保管庫や展示室の温湿度環境を整え、作品の環境変化による負荷を軽減するよう努めている。また、開梱時及び展示期間を通じて作品の状態を点検し、異常に備えている。

4. 修復処置

整った収蔵展示環境のもと、日常的に作品の状態をチェックできるという美術館のメリットを十分に活かして、現状維持を基本に将来再処置が可能な可逆性のある処置方法を採用している。本来コレクション全体の中長期的な保存計画を立案して処置に取り組むべきであるが、実際には活用の際に処置を行うことの方が多く、現在当館では油彩画と紙作品の2つの部門でそれぞれ1名ずつの専門職員が作業にあたっている。また、専門分野の異なる日本画や彫刻作品については外部の専門家に業務委託し、美術館側と処置方針を協議しながら作業を進めている。

本年度の処置作品は142ページの令和4年度美術品修復状況を参考のこと。

5. 調査活動

学芸部門との連携を図りながら、光学的な作品調査を行っている。赤外線ビジコンカメラの他、160kVと120kV（マイクロフォーカス）のX線透過装置を備えている。また、非破壊で元素の定性定量分析が可能な可搬型蛍光X線分析装置があり、施設内はもとより、検査対象のある場所に赴いての調査が可能である。

D 美術情報センター

a. 美術情報センターの来館者サービス

美術情報センターでは、来館者へのサービスとして、美術に関する図書・資料等の閲覧サービス、当館の各種データベースの検索サービス、美術に関係したビデオ映像の鑑賞サービス、美術に関する相談受付及び、全国各地の美術館など展覧会等のポスターやチラシの展示と一部配布サービスを行っている。

1. 美術に関する図書・資料等の閲覧

内外の美術関係図書、展覧会図録、美術・芸術関係の雑誌等を収集し、閲覧席24席を配置して、来館者の閲覧に供している。

兵庫県立近代美術館の時代に収集してきた美術関係図書、展覧会図録に、平成13年度に新美術館開館に向けて美術図書の充実を図るために購入した内外の美術図書を加え、開館から現在までに収集した美術関係図書、展覧会図録、雑誌等を取り揃えている。

今後も、購入・寄贈・相互交換により美術関係図書等の充実を図っていく。



閲覧席



書架

2. 蔵書及び所蔵美術作品のデータベース検索

来館者が操作するためのパソコンとして、来館者用パソコン端末6台を設置し、蔵書データベース及び美術作品データベースを来館者が容易に検索することができる。

また、ネットミュージアム兵庫文学館が閲覧できる。

3. 美術に関する映像ソフトの鑑賞

- (1) DVD、LD、ビデオテープなどのメディアのビデオ映像をAVブースのビデオモニターで、1-2人席で鑑賞することができる。
- (2) ビデオ映像は、作家別ビデオ、美術館別ビデオや、当館の建物や機能等を紹介したプロモーションビデオ等を揃えリクエストによりAVブースに送出している。



2. データベース検索用端末



3. AVブース

4. 美術に関する図書資料に係る相談受付（レファレンス）

来館者はもちろん、電話やインターネットによる、蔵書や美術に関する様々な問い合わせについて、調査、回答を行っている。



カウンター風景



美術情報センター内全景

5. 美術に関するチラシの展示・配布

全国の美術館など他館で開催される展覧会等について、チラシ、案内ハガキの展示と一部配布を行っている。



美術情報センター入口チラシ配布風景

6. 面積、設備

(1) 面積

- ・美術情報センター（開架閲覧室・情報事務室） 352㎡
- ・資料室（閉架書庫） 150㎡

(2) 美術情報センターの主な設備

- ・来館者用パソコン端末 6台 ※蔵書検索端末1台のみ稼働
- ・AVブース 8席（モニタ5台）※現在提供休止中
- ・図書閲覧席 24席 ※14席に削減中
- ・マイクロフィルムリーダー 1台 ※現在提供休止中

7. 開室日・開室時間

- (1) 開室日 美術館の開館日と同じ（年末年始の臨時開館時を除く）
- (2) 開室時間 10：00～18：00

8. 令和4年度美術情報センター利用統計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開室日数	月計	26	26	26	27	26	26	26	26	24	24	18	27	302
	入室者数	164	195	164	459	276	128	218	200	165	248	200	239	2,656
レファレンス件数	日平均	6.3	7.5	6.3	17.0	10.6	4.9	8.4	7.7	6.9	10.3	11.1	8.9	8.8
	月計	13	25	24	32	33	11	26	27	15	17	13	18	254
映像ソフト視聴件数	日平均	0.5	1.0	0.9	1.2	1.3	0.4	1.0	1.0	0.6	0.7	0.7	0.7	0.8
	月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
映像ソフト視聴件数	日平均	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

b. 兵庫県立美術館Web（ホーム）ページ

当館を利用する様々な人々の利便を図るため、美術館の情報発信サービスとして英語・中国語・韓国語を含むホームページを作成し、当館の特別展・常設展（コレクション展）の展覧会案内やイベント案内、利用案内等に係る情報発信のほか、当館が所蔵する美術作品や蔵書のデータベース検索による情報提供サービスを行っている。

1. 内容

- (1) トップページ（最新情報のタイトル、展覧会やイベントなど特に注目してほしいページのリンクバナーを掲載、常時更新）
- (2) 最新情報（館からのお知らせ、展覧会やイベントなどの最新情報、記者発表資料）
- (3) 展覧会案内（年間スケジュール、開催中あるいは過去に開催した特別展や常設展（コレクション展）の詳細）
- (4) イベント案内（各月のイベントを紹介）
- (5) 交通案内（各交通機関での所要時間等のアクセス情報、当館周辺マップ）
- (6) 総合案内（開館時間・料金のお知らせ、館内マップ、館内施設紹介、貸し施設案内、館の基本理念や沿革・組織紹介、お問い合わせフォーム）
- (7) コレクション案内（所蔵作品の紹介、所蔵作品検索、新着図書リスト）
- (8) 教育プログラムの紹介（こども・おやこ向け、大人向け、学校向けの美術館活用プログラム、美術講座の紹介や告知）
- (9) 美術情報センター（利用案内、当館刊行物、蔵書検索）
- (10) 友の会（会員募集告知、会員特典の紹介、お問い合わせフォーム）
- (11) ボランティア（活動紹介、スライド解説等の日程の告知）
- (12) ミュージアムショップ・カフェ・レストラン（利用案内、オリジナルグッズの紹介）

2. 特徴

- (1) 日本語の他、3カ国語（英語、中国語、韓国語）を含むコンテンツを作成している。
- (2) 県立美術館をアピールし、今の美術館がわかるよう、トップページに開催中の展覧会告知の画像を掲載し、最新情報のタイトルを常時更新している。
- (3) 美術館が所蔵している美術作品のデータベースと、美術情報センターに保管している蔵書のデータベースを容易に検索することができる。なお、当該データベースは、システムの安全性を確保するため業務用データベースとは別のものとし、インターネット向けに管理、運用しているものである。

E 国際交流

1. 特別展関連（来館）

- ・「ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵－武者たちの物語」展

ボストン美術館より以下の関係者が来館された。

ジャッキー・エルガー氏（ボストン美術館 アジア絵画修復室 パメラ、ピーター・ヴォス記念 室長）：展示時
クーリエ

山内健也氏（ボストン美術館 東山魁夷記念 日本絵画修復師）：展示時クーリエ

ジャッキー・エルガー氏（ボストン美術館 アジア絵画修復室 パメラ、ピーター・ヴォス記念 室長）：撤去時
クーリエ

足達美知子氏（ボストン美術館 アジア絵画修復室 ベティーナ・ブアー記念 アソシエイトコンサバター）：撤
去時クーリエ

- ・「恐竜図鑑」展

展示作業にあたり、所蔵先から以下の関係者が来館された。

アンドレア・ハート氏（ロンドン自然史博物館 図書館特別コレクション・マネージャー）：展示時クーリエ

バート・デヴォルダー氏（プリンストン大学美術館 チーフ・コンサヴァター）：展示時クーリエ

バーバラ・ローデス氏（アメリカ自然史博物館、ニューヨーク リサーチ・ライブラリー保存修復マネー
ジャー）：展示時クーリエ

マリオン・ルメール氏（レンヌ大学 文化部門 コレクション・マネージャー）：展示時クーリエ

ヤロスラフ・ハイミ・ヒヤーネク氏（ドヴール・クラロヴェー動物園 副園長）：展示時クーリエ

2. 調査・研究活動（来館）

- ・2月8日に国際交流基金主催「石橋財団・国際交流基金 現代美術キュレーター等交流事業（欧州）」により来日したフランスのキュレーター5名の視察を受け入れた。特別展「李禹煥」とコレクション展について担当学芸員が案内し、その後の交流会には有志学芸員が参加し情報交換を行った。キュレーター5名の詳細は下記の通り。

エロディ・ロワイエ氏（カディスト（現代アート財団）、芸術アドバイザー）

ミュリエル・オンジャラン氏（プロヴァンス・コートダジュールFRAC（現代アート地域圏基金）、ディレク
ター）

アレクサンドル・コワ氏（サンテチエンヌ現代美術館、チーフ・キュレーター）

エレヌ・ゲナン氏（ニース近現代美術館、館長）

クレール・スタブレール氏（ロワールFRAC現代アート地域圏基金、ディレクター）

F 出版

1. 令和3年度 兵庫県立美術館 年報

令和3年度の事業記録として、『令和3年度 兵庫県立美術館 年報』を発行した。
A4版 187頁（モノクロ印刷） 令和4年12月16日発行

2. 令和4年度 展覧会のご案内（年間スケジュール）

平成14年度より、一年間の展覧会をまとめたスケジュール表を発行している。
A4版 観音開き 両面カラー 令和4年3月発行

3. 芸術の館情報 HART

館内で開催される各種の催しを案内する情報誌『HART』を下記のとおり発行した。

- ・第115号 A4版 4頁（カラー印刷） 令和4年3月発行*
 - ・第116号 A4版 4頁（カラー印刷） 令和4年7月発行
 - ・第117号 A4版 4頁（カラー印刷） 令和4年10月発行
 - ・第118号 A4版 4頁（カラー印刷） 令和5年1月発行
 - ・第119号 A4版 4頁（カラー印刷） 令和5年4月発行
- *令和3年度年報で記載もれにつき本年報にて報告。

4. ART RAMBLE

平成15年度、館藏品や美術館活動、近隣の美術活動などに関するエッセイを掲載する季刊誌『ART RAMBLE』を創刊した。令和4年度の内容等は下記のとおり。

- ・第75号 A4版 8頁（カラー4頁、モノクロ4頁） 令和4年7月8日発行
1頁 コレクションから 銭杜《四囲山色一層楼関巻》（柏木知子）
2-3頁 学芸員の視点1 作品と資料で立体的に紐解くミニマルとコンセプチュアル（河田亜也子）
4-5頁 学芸員の視点2 「新しい観客」になる（橋本こずえ）
6頁 ショート・エッセイ 元永定正展講演会 中辻悦子氏「も～やんと
の思い出を語る」（遊免寛子）
7頁 トピックス 「ミニマル／コンセプチュアル」展関連イベント／
なんだこれ?!アワー特別編 バレそうでバレない、でもやっぱりバ
レそうなイタズラSP／アーティストトーク動画、はじめました
8頁 美術館の周縁 永遠のライバル!?（相良周作）

- ・第76号 A4版 8頁（カラー4頁、モノクロ4頁） 令和4年10月21日発行
1頁 コレクションから 棚田康司《たちのぼる一少年の場合》（飯尾由貴子）
2-3頁 学芸員の視点 2022年コレクション展Ⅱ 特集1「リ・フレッシャーズ—新収蔵品紹介展」開催に至るまで
（尾崎登志子）
4-5頁 特別寄稿 それぞれの闘争／逃走「兵庫県立美術館開館20周年 関西の80年代」展（長谷川新）
6頁 ショート・エッセイ 美術の中のかたち展関連ワークショップ「手でみる身体～音の門 耳をかたちづく
る・掌の空間～」について（安永幸史）
7頁 トピックス「関西の80年代」展関連イベント／「2022県展」を開催しました
8頁 美術館の周縁 酒井駒子展を見て（岡本弘毅）



令和3年度 年報

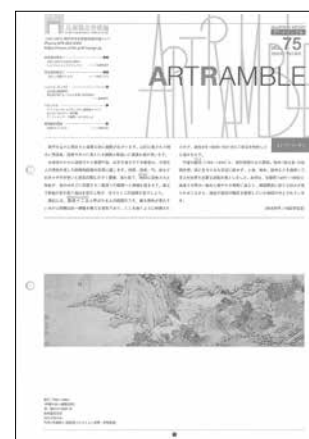


展覧会のご案内



HART 第116号

- ・第77号 A4版 8頁（カラー4頁、モノクロ4頁） 令和4年12月27日発行
- 1頁 コレクションから 柳瀬安里《線を引く》（武澤里映）
- 2-3頁 学芸員の視点1 吉原治良の小宇宙へ（相良周作）
- 4-5頁 学芸員の視点2 「ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵－武者たちの物語」（安永幸史）
- 6頁 ショート・エッセイ 学芸員の華麗なる空振り：「チャンネル13 吉村宗浩 画家とアトリエ－メチエの修行場」感想戦（小林公）
- 7頁 トピックス 「ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵－武者たちの物語」関連事業／チャンネル13 関連イベントのご報告／音楽×美術の鑑賞を楽しもう♪
- 8頁 美術館の周縁 「すべて未知の世界へ－GUTAI 分化と統合」展を見て（鈴木慈子）



ART RAMBLE 第75号

- ・第78号 A4版 8頁（カラー4頁、モノクロ4頁） 令和5年3月28日発行
- 1頁 コレクションから 鄭相和《無題 84-12-5》（江上ゆか）
- 2-3頁 学芸員の視点 千里之行、始於足下－2023年コレクションⅠ特集2「中国明清の書画篆刻－梅舒適コレクションの精華－」を開催して（剣持翔伍）
- 4-5頁 特別寄稿 李禹煥の教え（中井康之）
- 6頁 ショート・エッセイ 金山平三の「資料」から、あれこれ（西田桐子）
- 7頁 トピックス 「李禹煥」展関連事業／KEN-Viスペシャルトーク
- 8頁 美術館の周縁 武者たちの物語と兵庫（安永幸史）

5. 兵庫県立美術館研究紀要 第17号

平成18年度より、当館学芸員（平成24年度より横尾忠則現代美術館学芸員も加わる）の調査研究の報告として「兵庫県立美術館研究紀要」を発行している。令和4年度の執筆者と内容は次のとおり。

A4版 63頁（モノクロ印刷） 令和5年3月23日発行

- ・存在には理由はない 村上三郎の芸術について（山本 淳夫）
- ・高野文子作『奥村さんのお茄子』をめぐって 視点と語りからの考察（飯尾由貴子）
- ・美術館におけるジェンダーバランス 兵庫県立美術館の現状について（橋本こずえ）
- ・大村西崖筆《穹岫飛泉図》の制作背景について（柏木知子）
- ・元永定正の1952-1967年の活動について－中辻悦子氏講演録（遊免寛子）
- ・英文要旨



兵庫県立美術館研究紀要
第17号

G 施設貸出

1. ミュージアムホール

利用日	利用目的	利用者	利用者数
5月15日	World Peace Concert in 神戸	テアトロン音楽祭実行委員会	74
5月21日	管理組合総会（2022年通常総会）	摩耶シーサイドプレイスイースト管理組合	49
5月27日	芸術文化観光専門職大学開学記念フォーラム	兵庫県公立大学法人芸術文化観光専門職大学	95
6月19日	夏至2022～北欧の自然環境と音楽～ トークイベント「白夜のサーミランド」	株式会社ハーモニーフィールズ	73
7月18日	大阪・関西万博1000日前記念シンポジウム	兵庫県企画部万博推進室万博推進課	120
7月30日	三沢厚彦氏講演会	兵庫県神戸県民センター県民交流室	75
9月24日	クラシックバレエ公演「第5回Y's Chamber Ballet Performance ～1/f Fluctuation～」	ADanza Dance Studio	38
10月22日～10月23日	ぼうさい国体関連イベント 「災害廃棄物対策推進シンポジウム」	株式会社オーエムシー	75
11月3日	「石井修生誕100年記念展」第1回シンポジウム	石井修生誕100年記念展実行委員会	210
11月12日	「石井修生誕100年記念展」第2回シンポジウム	石井修生誕100年記念展実行委員会	120
11月19日	「石井修生誕100年記念展」第3回シンポジウム	石井修生誕100年記念展実行委員会	150
11月27日	「石井修生誕100年記念展」第4回シンポジウム	石井修生誕100年記念展実行委員会	185
11月20日	クリスマスコンサート 「Christmas at the Rock」の練習	吉田 恵美	40
11月23日	"Voyage en France!" フランス音楽への旅 Vol.12 控室	神戸フォーレ協会	-
12月4日	クリスマスコンサート 「Christmas at the Rock」	吉田 恵美	141
12月13日～12月14日	新任職員研修（後期）	兵庫県自治研修所	291
1月26日	卒展 カオス2023 リハーサル	神戸芸術工科大学	30
2月8日～2月12日	卒展 カオス2023	神戸芸術工科大学	500
3月21日	関西フランコフォニーフェスティバル2023in 神戸	関西フランコフォニーフェスティバルin 神戸実行委員会	120

2. レクチャールーム

利用日	利用目的	利用者	利用者数
4月7日	大阪学芸大学 学外セミナー	東武トップツアーズ株式会社	50
7月1日	公募型プロポーザル説明会	兵庫県企画部万博推進室万博推進課	33
7月3日	令和4年度兵庫県立美術館 「芸術の館友の会」総会	兵庫県立美術館「芸術の館友の会」	26
7月13日	第18回みんなのアート展（兵庫県特別支援学校等作品展）第1回実行委員会	兵庫県教育委員会事務局特別支援教育課	41
10月22日～10月23日	ぼうさい国体関連イベント 「災害廃棄物対策推進シンポジウム」	株式会社オーエムシー	-
11月16日	第18回みんなのアート展（兵庫県特別支援学校等作品展）第2回実行委員会	兵庫県教育委員会事務局特別支援教育課	42
2月8日	観光庁「高付加価値なインバウンド体験を提供するガイド育成研修」におけるアート研修	株式会社ノットワールド	13
3月19日	第17期臨時総会	摩耶シーサイドプレイスフェアコスト管理組合	22

3. アトリエ1

利用日	利用目的	利用者	利用者数
4月24日	コンサート（ヴォーカル・ピアノ）	新井音楽事務所	85
5月1日	第26回定期演奏会 スプリングコンサート2022	クラシック・ミュージック・アカデミー	32
5月8日	牧村英里子ピアノリサイタル"Ⅷ.V.MMXXⅡ"	牧村 英里子	100
5月21日	オーケストラの練習	公益財団法人神戸市民文化振興財団	31

5月24日	令和4年度兵庫県高等学校教育研究会音楽部 会総会ならびに第1学期研究会	兵庫県高等学校教育研究会音楽部会	65
5月27日	芸術文化観光専門職大学開学記念フォーラム 控室	兵庫県公立大学法人芸術文化観光専門職大学	10
5月29日 (中止)	木5と金5～木管五重奏と金管五重奏のサウ ンドを一度に楽しめるコンサート～	Go! Go! ミュージック事務局	-
6月12日	フレッシュコンサートxx	秋山 曜子	43
6月19日	夏至2022～北欧の自然環境と音楽～ コンサート「北欧の森、夏至の音」	株式会社ハーモニーフィールズ	95
7月3日	神戸大学医学部クラシック音楽愛好会 夏のコンサート2022	神戸大学医学部クラシック音楽愛好会	51
7月10日	第3回神戸波の会サマーコンサート	神戸波の会	80
7月17日	小玉晃の音楽学校 第16回サロンコンサート ～日本の歌からオペラまで～	小玉 晃	50
7月18日・7月20日	大阪・関西万博1000日前記念シンポジウム	兵庫県企画部万博推進室万博推進課	120
7月23日	「みみをすますように 酒井駒子」展 関連イベント 酒井駒子サイン会	株式会社神戸新聞社	100
7月24日	クラシック 声楽とピアノの演奏会 「～薔薇色の人生～フランス音楽の午後」	コレギウム・ラモー神戸	54
7月31日	ファミリーコンサート	上田 美子	113
8月7日	ピアノ発表会	向田由美音楽教室	50
8月14日	brassquintet Promenade演奏会リハーサル	榎木 博久	0
8月21日	チェロとピアノのコンサート	誓山 由樹	81
9月4日	brassquintet Promenade第1回演奏会	榎木 博久	30
9月10日	うたとピアノのコンサート ～恋とか愛とかウイーンとか～	西岡 知子	60
9月11日	フルートアンサンブルの公開レッスンとコンサート 「フルートアンサンブルを楽しもう！」	久保田裕美フルート教室	75
9月18日	クラシックコンサート 「ゆずりは Joint Concert Vol.2」	NPO法人関西芸術文化支援の森ゆずりは	57
11月13日	クリスマスコンサート 「Christmas at the Rock」の練習	吉田 恵美	40
11月23日	"Voyage en France!"フランス音楽への旅 Vol.12	神戸フォーレ協会	69
11月24日	「ORIGIN The Five Colors」公演のリハー サル	株式会社オフィスアコード	7
11月26日	弦楽四重奏のコンサート 「静寂と調和～ドイツ古典をきく」	松本 尚三	30
11月27日	Duo Recital～Saxophone et Piano～	Duo Recital 実行委員会	33
12月4日	フルートアンサンブルコンサート	風流人倶楽部アリエッタ	60
12月10日	おとあそび工房 第7回公演 「それからソラからこんとんとん」	おとあそび工房	35
12月25日	ORIGIN THE FIVE COLORS 公演	株式会社オフィスアコード	60
12月27日	「ORIGIN THE FIVE COLORS」公演用客 席椅子の撤収	株式会社オフィスアコード	5
1月22日	関西学院出身のクラシックの作曲家達と、映画「に しきたショパン」、震災、ヒロシマのピアノ音楽 山田耕筰～大澤壽人～佐原詩音～近藤浩平	関西アートミュージック・プロジェクト	28
2月7日～2月14日	卒展 カオス2023	神戸芸術工科大学	2,000
3月12日	阪田みゆき&植田祐佳 Joint Concert vol.3	MYジョイントコンサート実行委員会	99
3月19日	ピアノ調律、コンサートのリハーサル	タケミツさんぽ実行委員会	4
3月21日	声楽、フルート、ピアノによるコンサート 「タケミツさんぽ」	タケミツさんぽ実行委員会	100
3月26日	Makoto Takenaka Jazz Piano Concert	マインハウスクラブ	31

4. アトリエ2

利用日	利用目的	利用者	利用者数
6月12日	フレッシュコンサートxx 控室	秋山 曜子	-
6月18日～6月19日	夏至2022～北欧の自然環境と音楽～ 夏のアートマーケット	株式会社ハーモニーフィールズ	100
7月3日	神戸大学医学部クラシック音楽愛好会 夏のコンサート2022 控室	神戸大学医学部クラシック音楽愛好会	-
7月10日	第3回神戸波の会サマーコンサート 控室	神戸波の会	-
7月17日	小玉晃の音楽学校第16回サロンコンサート 控室	小玉 晃	-
7月18日・7月20日	大阪・関西万博1000日前記念シンポジウム 控室	兵庫県企画部万博推進室万博推進課	-
7月24日	書道教室	翠雨書道教室	11
8月6日～8月7日	アートワークショップ「あるく つくる 切り 絵でマップ～ミュージアムロード景～」	兵庫県神戸県民センター県民交流室	35
8月28日	書道教室	翠雨書道教室	12
9月11日	フルーツアンサンブルコンサートのリハーサル	久保田裕美フルーツ教室	-
9月25日	書道教室	翠雨書道教室	6
10月1日	令和4年度芸術・文化交流会 「レザークラフトづくり体験と美術鑑賞」	公益財団法人兵庫県身体障害者福祉協会	31
10月22日～10月23日	ぼうさい国体関連イベント 「災害廃棄物対策推進シンポジウム」	株式会社オーエムシー	-
10月30日	書道教室	翠雨書道教室	6
12月25日	書道教室	翠雨書道教室	16
2月11日～2月12日	入学準備プログラム	神戸芸術工科大学	100
3月17日	「ゴッホ・アライブ」展内覧会控室	讀賣テレビ放送株式会社	120

5. ギャラリー

利用日	利用目的	利用者	利用者数
5月24日～5月29日	NEJA-ism展	ネジャ派実行委員会	500
6月5日～6月12日	第64回新協美術関西巡回展併催第2回関西アートコンパ	一般社団法人新協美術会関西展実行委員会	765
6月16日～6月19日	#ポトレのセカイ写真展	ポトレのセカイSTUDIO AIR	500
6月21日～6月28日	富田依津子個展	油絵・水彩画教室（富田依津子）	310
7月3日～8月31日	「みみをすますように 酒井駒子」展	株式会社神戸新聞社	17,178
9月4日～9月13日	IFA展2022	IFA国際美術協会	552
9月14日～9月27日	「甲子園会館に学ぶ／で学ぶ」展	武庫川女子大学大学院建築学研究科	543
10月4日～10月16日	第9回21世紀関西女性絵画展	21世紀関西女性美術家連盟	761
10月23日～10月30日	第65回記念新協美術関西巡回展	一般社団法人新協美術会関西展実行委員会	535
11月1日～11月30日	石井修生誕100年記念展	石井修生誕100年記念展実行委員会	3,046
12月21日～12月25日	新・童美展2022	保育造形の会	1,500
12月27日	「新・童美展2022」利用後の壁面修復	保育造形の会	4
1月6日～1月9日	第38回明石高校美術科展	兵庫県立明石高等学校	989
1月11日～1月18日	第11回未来のまち夢のわが家こども絵画コンテスト作品展示及び なぎさ小学校6年生の作品展示「伝えよう HAT神戸の"ステキ"」	TC神鋼不動産株式会社	377
2月2日～2月5日	高砂流 「創の書」 第14回会員展	高砂会	270
2月7日～2月14日	卒展 カオス2023	神戸芸術工科大学	2,000
2月16日～2月19日	卒業進級制作展	専門学校アートカレッジ神戸	300
2月28日～3月5日	第18回兵庫県障害者芸術・文化祭 美術工芸作品公募展	第18回 兵庫県障害者芸術・文化祭実行委員会	1,200
3月7日～3月31日	「ゴッホ・アライブ」展	讀賣テレビ放送株式会社	25,204

H その他の活動

1. 美術館の日

平成14年4月6日に兵庫県立美術館が開館したのを記念して、毎年4月に「美術館の日」を設けている。本年は4月9日(土)、10日(日)を「美術館の日」としてさまざまなプログラムを実施した。

	時間	プログラム名	参加人数		備考
			4月9日	4月10日	
1	11:00~11:15	ミュージアム・ボランティアによるスライド解説	21	20	◎
2	14:00~15:30	講演会「ミニマル/コンセプチュアルって何?現代美術の楽しみ方」	111	-	◎
3	14:00~	県美亭ワンコイン寄席	-	53	☆
4	15:00~15:45	学芸員による解説会 コレクション展Ⅰ 小企画「生誕100年 元永定正展 -伊賀上野から神戸、そしてニューヨークへ-」	-	20	◎
計			132	93	

◎=展覧会関連事業として実施 (p.69参照)、☆=様々な芸術活動との融合事業として実施 (p.72参照)

項目	4月9日	4月10日
入館者数 ※	734	698
特別展「ミニマル/コンセプチュアル: ドロテ&コンラート・フィッシャーと1960-70年代美術」	300	195
2022年コレクション展Ⅰ「た・び・て・ん」 《小企画》生誕100年 元永定正展 -伊賀上野から神戸、そしてニューヨークへ-	121	238

※入館者数は、センサーによる数字

2. 関西文化の日

11月5日(土)、6日(日)を関西文化の日として、さまざまなプログラムを実施した。

	時間	プログラム名	参加人数		備考
			11月5日	11月6日	
1	10:00~18:00	こども向けプログラム紹介コーナー	-	-	
2	10:30~12:30	こどものイベント「つくってみよう!オリジナル刀剣」	-	13	○○
3	11:00~11:15	ミュージアム・ボランティアによるスライド解説会	40	43	◎
4	13:00~13:30	「わくわくドキドキ えほんのじかん」	-	12	
5	14:00~17:00	DVD上映会「浮世絵とジャポニズム」	-	57	
6	15:00~15:45	学芸員による解説会	50	-	◎
計			90	125	

○=「こどものイベント」として実施 (p.59参照)、◎=展覧会関連事業として実施 (p.69参照)

項目	11月5日	11月6日
入館者数 ※	1,942	1,939
特別展「ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵-武者たちの物語」	入場者数 875	1,109
コレクション展Ⅱ 特集1「リ・フレッシューズ-新収蔵品紹介展」 特集2「没後50年 吉原治良の小宇宙(マイクロコスモス)」	入場者数 426	469

※入館者数は、センサーによる数字



1. 美術館の日ポスター



2. 関西文化の日ポスター

3. プレミアム芸術デー

7月12日(火)から7月18日(月・祝)まで、特別展の観覧料を無料にした。(コレクション展は展示替中)

入館者数 ※	11,735
特別展「関西の80年代」展	入場者数 6,769

※入館者数はセンサーによる数字

4. ふるさと納税寄附金による無料観覧

12月11日(火)から12月18日(日)及び2月1日(水)から2月3日(金)まで、コレクション展の観覧料を無料にした。

入館者数 ※	7,241
2022コレクション展 II (12月13日(火)から12月18日(日)) 特集1 「リ・フレッシュャーズ-新収蔵作品展」 特集2 「没後50年 吉原治良の小宇宙」	入場者数 1,539
2023コレクション展 I (2月1日(水)から2月3日(金)) 特集1 「虚実のあわい」 特集2 「中国明清の書画篆刻-梅舒適 コレクションの精華-」	入場者数 1,387

※入館者数はセンサーによる数字

5. 公益財団法人伊藤文化財団の協賛による無料観覧

毎月第2日曜をコレクション展の観覧料を無料にした。

入館者数 ※	16,037
4月10日、5月8日、6月12日、8月14日、9月11日、10月9日、11月13日、12月11日、2月12日、3月12日	入場者数 4,666

※入館者数はセンサーによる数字

6. 共催・後援・協力事業

(1) 共催・後援・協力事業（館外）

No.	実施時期	名 称	主催者名	会 場	区分	利用者数
1	6月17日～3月31日	防災力強化県民運動 ポスターコンクール	ひょうご安全の日推進県民会議	人と防災未来センター ギャラリー棟1階ホワイエ	後援	-
2	7月17日、7月24日、 7月31日、8月7日、 9月11日、9月25日	2022 「K O B E ポート教室」	H A T神戸 ポートコース設立実行委員会	神戸市東灘区魚崎南町2及び 神戸市中央区脇浜海岸通4	後援	153
3	9月16日～10月2日	第28回公募展 木彫フォークアートおおや	木彫フォークアート おおや実行委員会	養父市立おおやホール	後援	2,536
4	10月30日	2022 「H A T神戸 レガッタ」	H A T神戸 ポートコース設立実行委員会	神戸市中央区脇浜海岸通地先 (HAT神戸中央水域)	後援	400
5	1月29日	H A T神戸連携防災イベント 「イザ!美かえる大キャラバン!2023」	国際防災研修センター実行委員会	JICA関西センター 人と防災未来センター	共催	360

(2) 共催・後援・協力事業（館内）

No.	実施時期	名 称	主催者名	会 場	区分	利用者数
1	9月6日～9月11日	IFA展2022	IFA国際美術協会	ギャラリー棟3階 ギャラリー	後援	552
2	12月7日～11日	第18回みんなのアート展（兵庫県特 別支援学校等作品展）及び表彰式	兵庫県教育委員会	ギャラリー棟3階 ギャラリー ギャラリー棟1階 ミュージアムホール	共催	1,058
3	1月12日～1月17日	第11回未来のまち 夢のわが 家 こども絵画コンテスト	TC神鋼不動産株式会社	ギャラリー棟3階 ギャラリー BBプラザホール	後援	377
4	3月18日～6月4日	「ゴッホ・アライブ」展	讀賣テレビ放送株式会社	ギャラリー棟3階 ギャラリー	共催	196,561

(3) 共同事業（芸術の館友の会）

No.	実施時期	名 称	主催者名	会 場	区分	利用者数
1	7月3日	学芸員による総会記念レクチャー 「令和4年度特別展の見どころなど」	兵庫県立美術館 兵庫県立美術館「芸術の館友の会」	レクチャールーム	共同	15
2	10月16日	注目作家紹介プログラム チャンネル13 「吉村宗浩 画家とアトリエ・メチエの 修行場」アーティストトーク	兵庫県立美術館 兵庫県立美術館「芸術の館友の会」	ギャラリー棟1階 アトリエ1	共同	5

業務一覽

当館学芸員18名が令和3年度に行った業務を「1. 美術館内での業務等」「2.美術館外での業務等」「3.調査・研究活動」「4.社会貢献活動」「5.その他」の順で記した。記載は氏名の五十音順とした（役職等はp.173「委員及び職員名簿」参照）。

飯尾由貴子（いおい・ゆきこ）

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・企画・学芸部門の統括
- ・課の統括（保存・修復担当）
- ・学芸分科会の主宰

【担当展覧会】

- ・特別展 ある画家の肖像 金山平三と同時代の画家たち展（副担当）

【展覧会解説会、イベント等】

- ・「学芸員の仕事について」（竹中育英会）：10/29

【教育支援、ボランティア、友の会等】

- ・博物館実習「兵庫県立美術館の歴史と理念」：7/22

2. 美術館外での業務等

【講演会、レクチャー、シンポジウム等】

- ・「美術に親しむ 兵庫ゆかりの日本画家 橋本閑雪」（阪神シニアカレッジ）：6/2
- ・「橋本閑雪」（NHK京都文化センター講座「絵画を究める」）：2/11

【その他】

- ・「兵庫県立美術館の活動について」（神戸垂水ロータリークラブ）：9/29

3. 調査・研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・国吉康雄作品調査（岡山県立美術館他）：7/19
- ・寄贈候補作品調査（神戸市中央区）：9/14

【著作、論文、口頭発表】

- ・「高野文子作『奥村さんのお茄子』をめぐって 視点と語りからの考察」（当館学芸員調査報告会・レポート提出）：8/12

【館内出版物への執筆】

- ・「作品紹介 棚田康司《たちのぼる》」（『ART RAMBLE』76号、p.1）
- ・「高野文子作『奥村さんのお茄子』をめぐって 視点と語りからの考察」（『兵庫県立美術館研究紀要』第17号、pp.10-19）
- ・作家略歴10件（『関西の80年代』図録）

【館外出版物への執筆・協力】

- ・「作家解説 三谷十糸子」（『平成の日本画 1989-2019日本画と水墨画、30年の軌跡』美術年鑑社 2022年6月 p.37）
- ・「施設紹介「兵庫県立美術館」」（『一般社団法人兵庫県建築会会報』第447号 2023年3月1日 pp.7-9）
- ・「美術の中のかたち」展について（HAPSインタビュー対応）：10/14（『令和4年度障害者等による文化芸術活動推進事業「公立美術館における障害者等による文化芸術活動を促進させるためのコア人材のコミュニティ形成を軸とした基盤づくり事業」報告書』（2023.3.31発行）に掲載pp.62-69）

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・西宮市大谷記念美術館専門委員会：8/4、3/12
- ・芦屋市立美術博物館協議会：8/23
- ・姫路市立美術館美術品購入等審議委員会：8/25、2/28
- ・芦屋市立美術博物館 芦屋市美術品収集委員会委員会：3/24
- ・富山県美術館運営委員会：11/4（交通事情により欠席）
- ・赤艸社賞選考委員：1/24
- ・関西大学出講 芸術学を学ぶ（秋学期）

【公募展審査、作品評価など】

- ・第44回但馬美術展審査員：7/2
- ・姫路市展審査（日本画）：1/31
- ・姫路市展列品解説（講評）：2/26
- ・作品評価 阪神南県民センター：6/11
- ・作品評価 県立西宮病院：12/23
- ・作品評価 兵庫県公館：2/28

岩松智義（いわまつ・ともよし）

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・館内環境の管理
- ・コレクション展毎の出品候補作品の状態確認
- ・コレクション展、特別展における作品展示、固定、開梱包作業
- ・館外貸出に伴う作業（候補作品の事前状態調査、輸送・梱包方法の提案と確認、作品出入時の状態確認）
- ・洋画、彫刻（主に立体）作品の保存修復処置（令和4年度美術品修復状況pp.142-145のうち紙が支持体でない作品）

【教育支援、ボランティア、友の会等】

- ・博物館実習「保存・修復について」：8/2
- ・トライやるウィーク「保存・修復について」：11/11
- ・「芸術の館友の会」保存修復室ツアー「保存修復の現場をのぞく」：2/5

【その他補助業務】

- ・関西の80年代作品調査：4/2、4/14、5/15

2. 美術館外での業務等

【講演会、レクチャー、シンポジウム等】

- ・「美術品保存修復のお仕事」（兵庫県立神戸生活創造センター兵庫県立美術館連携講座 気軽にアート特別編）：2/16

3. 調査・研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・寄贈候補作品調査：7/29、10/23、3/1
- ・全国美術館会議 第37回学芸員研修会：3/20

【著作、論文、口頭発表】

- ・「Sj-13 新宮晋《遙かなりズム》の保存修復について」（当館学芸員調査報告会・レポート提出）：8/12

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・文化財保存修復学会会員
- ・文化財保存支援機構登録会員

江上ゆか（えがみ・ゆか）

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・博物館実習、トライやるウィーク等の活動調整
- ・ボランティア解説班との連携（副担当）

【担当展覧会】

- ・特別展 関西の80年代
- ・2023県展（次年度開催準備）

【展覧会解説会、イベント等】

- ・関西の80年代 テーマ・レクチャー：7/9、8/16、11/20

【教育支援、ボランティア、友の会等】

- ・関西の80年代 ミュージアム・ボランティア向け説明会：5/21、5/26
- ・関西の80年代 学校団体向け解説：7/16
- ・博物館実習「特別展について」：7/23
- ・学校団体補助：1/19、3/15

【その他補助業務】

- ・THE HEROES展作業補助：11/24
- ・李禹煥展作業補助：11/27、11/30、12/2、12/9、2/15
- ・恐竜図鑑展作業補助：2/21、2/26、2/27、3/2
- ・寄贈予定作品等集荷：12/21、1/20

2. 美術館外での業務等

【展覧会解説会】

- ・「ええやんか！こんなアートがあったって～関西発、80年代の美術」（神戸生活創造センター兵庫県立美術館連携講座「気軽にアート」vol.34）：7/14

【講演会、レクチャー、シンポジウム等】

- ・「アジアの災禍とアート、アクション」勉強会 第6回「阪神・淡路大震災とアート」事例報告、第7回「震災遺構と展示が伝えるもの」ディスカッサント（オンライン）：1/26、2/21

3. 調査・研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・寄贈候補作品・資料調査：9/22、10/20、11/18、12/1

【著作、論文、口頭発表】

- ・「「関西の80年代」―出品できなかった作品の調査報告」（当館学芸員調査報告会・口頭発表）：8/12

【館内出版物への執筆】

- ・「関西の80年代―「アート・ナウ」に見る一断面」（『関西の80年代』展図録テキスト編pp.3-16）
- ・キーワード解説（『関西の80年代』図録テキスト編pp.4、6、12、3、16）
- ・章解説（『関西の80年代』図録図版編pp.1、3、17、23、43）
- ・「コレクションから 鄭相和《無題 84-12-5》」（『ART RAMBLE』75号、p.1）

【館外出版物への執筆】

- ・「新しい版画」（松元悠推薦文、『PATinKyoto京都版画トリエンナーレ2022』図録、2022年4月、p.32、同展

ウェブサイトにも掲載)

- ・「息づき続ける絵画—河合美和の新作をめぐって」(河合美和展案内状、トキアートスペース、2022年)
- ・「ゆらめく作品たち」(『Seika Artist File #1「ゆらめくいきものたち」記録集』京都精華大学、2023年3月、pp. 49-51)

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・美学会会員
- ・美術史学会会員
- ・文化庁令和4年度アートプラットフォーム事業 収蔵情報活用分科会 戦後ギャラリー調査意見交換会議(オンライン) : 5/18、10/4、12/13、3/3
- ・令和4年度国立国際美術館美術作品購入評価委員会委員 : 11/22、2/16
- ・令和4年度第2回京都国立近代美術館美術作品購入等評価員 : 2/13

岡本弘毅(おかもと・こうき)

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・常設展グループの統括
- ・美術作品の購入に関する事務

【担当展覧会】

- ・特別展 恐竜図鑑—失われた世界の想像/創造
- ・小企画展 美術の中のかたち 彫刻の中のかたち(副担当)

【展覧会解説会、イベント等】

- ・恐竜図鑑 学芸員解説会 : 3/11
- ・恐竜図鑑 特別鑑賞講座 : 3/15
- ・恐竜図鑑 記念トークショー進行 : 3/19

【教育支援、ボランティア、友の会等】

- ・博物館実習「作品の収集・管理および常設展について」 : 7/22
- ・恐竜図鑑 教員解説会 : 3/11
- ・恐竜図鑑 こどものイベント : 3/25

2. 美術館外での業務等

【展覧会解説会】

- ・「美術館で恐竜と出会う」(神戸生活文化創造セミナー兵庫県立美術館連携講座気軽にアートvol.37) : 3/23
- ・キッズウィークエンド「ここにしかないアートツアー番外編☆美術館で「恐竜鑑賞」が熱い?」 : 3/26

3. 調査・研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・寄贈候補作品調査 : 7/29、10/5、11/8
- ・恐竜図鑑 出品候補作品調査 : 4/19、7/19、9/14、9/21、9/22

【著作、論文、口頭発表】

- ・「19世紀イギリスの初期古生物画について」(当館学芸員調査報告会・レポート)

【館内出版物への執筆】

- ・章解説4本(『恐竜図鑑』図録pp.13、47、109、159)
- ・作品解説19本(『恐竜図鑑』図録pp.210-219)
- ・エッセイ「初期古生物絵画における崇高と死の表現」(『恐竜図鑑』図録pp.220-223)

- ・恐竜図鑑探検手帖（『恐竜図鑑』おやこ鑑賞ガイド）
- ・美術館の周縁「酒井駒子展を見て」（『アート・ランブル』76号、p.8）
- ・特別展「恐竜図鑑—失われた世界の想像/創造」おすすめ作品（『シーフロント』120号、p.1）
- ・「恐竜図鑑—失われた世界の想像/創造」展のこと（『ミュゼV』95号、p.1）

【館外出版物への執筆】

- ・「恐竜図鑑—失われた世界の想像/創造」展へのお誘い（『恐竜倶楽部通信』177号）
- ・恐竜図鑑紹介（『月刊神戸っ子』2月号）

【テレビ、ラジオ】

- ・恐竜図鑑紹介コーナー出演 関西テレビ「ピーチケプラス」：1/29、3/15、3/26
- ・恐竜図鑑紹介コーナー出演 関西テレビ「ピーチケパーチケ」：2/1
- ・恐竜図鑑紹介コーナー出演 ラジオ関西「三上公也の朝は恋人」：2/16
- ・恐竜図鑑紹介コーナー出演 MBSラジオ「島のおひろの金曜でいいんじゃない」：3/30

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・民族藝術学会会員
- ・白髪一雄生誕100年記念事業委員

尾崎登志子（おさき・としこ）

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・美術作品の寄託に関する業務
- ・図版掲載・特別観覧
- ・収蔵品の写真撮影（副担当）
- ・作品収集会議・評価会議の開催に関する業務（副担当）
- ・団体鑑賞の補助

【担当展覧会】

- ・2022年コレクション展Ⅱ
- ・特別展 ミニマル／コンセプチュアル：ドロテ&コンラート・フィッシャーと1960-70年代美術（副担当）
- ・特別展 安井仲治展（副担当、次年度開催準備）

【教育支援、ボランティア、友の会等】

- ・ミニマル／コンセプチュアル展 教員対象解説会：4/23
- ・コレクション展Ⅱ ミュージアム・ボランティア向け解説会：8/7
- ・コレクション展Ⅱ こどものイベント：10/9
- ・コレクション展Ⅱ 展示解説会（宮水学園）：10/12

【その他補助業務】

- ・恐竜図鑑展 展示作業補助：2/24

3. 調査・研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・寄贈候補作品調査：10/20
- ・安井仲治展作品調査：6/9、1/19

【著作、論文、口頭発表】

- ・「ナチスの略奪美術品とその返還をめぐる諸問題—オーストリアの事例を中心に」（当館学芸員調査報告会レポート提出）：8/12

【館内出版物への執筆】

- ・「学芸員の視点 2022年コレクション展Ⅱ 特集1「リ・フレッシャーズ—新収蔵品紹介展」開催に至るまで」
（『ART RAMBLE』76号、pp.2-3）

【館外出版物への執筆】

- ・「神戸の名作 伊藤継郎《裸婦》」（『神戸商工だより』793号、p.41）

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・美術史学会会員
- ・民族芸術学会会員

柏木知子（かしわざい・ともしこ）

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・課の統括（近世日本・中国美術担当）
- ・颯川コレクション・梅舒適コレクションの保存・修理に関すること
- ・両コレクションの作品貸出に関すること（作品貸出立会い16回、展示指導2回）
- ・両コレクションの作品調査・データ整理（作品調査のべ58日）
- ・両コレクション関連作品の寄贈・寄託に関すること
- ・両コレクションの写真撮影に関する業務（副担当、撮影のべ12日）
- ・梅舒適コレクション活用・研究事業に関すること

【担当展覧会】

- ・2023年コレクション展Ⅰ 特集2（副担当）
- ・小企画「生誕180年記念 呉昌碩の世界」（主担当、次年度開催準備）

【教育支援、ボランティア、友の会等】

- ・博物館実習「颯川・梅舒適コレクションについて」：7/22

【その他】

- ・外部依頼による撮影対応：8/23、24、9/27
- ・梅舒適コレクション学術調査対応：3/21、28
- ・西宮分館図書調査・輸送作業：6/12、3/2、8、30

2. 美術館外での業務等

【講演会、レクチャー、シンポジウム等】

- ・令和4年度兵庫県生活文化大学文化財講座「近代文人の世界～書・画・印を楽しむ～」：9/21

3. 調査・研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・受贈・購入候補作品等調査：4/14、5/26、6/16、12/14、1/17、24、27
- ・次年度小企画展作品調査：4/27、8/30～9/1、11/26、27、2/25～27

【著作、論文、口頭発表】

- ・「大村西崖筆《穹岫飛泉図》について」（当館学芸員調査報告会・レポート提出）：8/12

【館内出版物への執筆】

- ・章解説4件（2023年コレクション展Ⅰ 特集2「中国明清の書画篆刻—梅舒適コレクションの精華—」リーフレット、pp.2、5、12、14）
- ・「コレクションから 銭杜《四囲山色一層楼図》」（『ART RAMBLE』75号、p.1）
- ・「大村西崖筆《穹岫飛泉図》の制作背景について」（『兵庫県立美術館研究紀要』17号、pp.30-37）

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・ 関西中国書画コレクション研究会会員
- ・ 枚方市文化財保護審議会委員：～2022/7

河田亜也子（かわだ・あやこ）

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・ 『年報』の編集と発行
- ・ 資料収集、資料交換、特別展印刷物の整理・調整

【担当展覧会】

- ・ 特別展 ミニマル／コンセプチュアル：ドロテ&コンラート・フィッシャーと1960-70年代美術
- ・ 2023年コレクション展 I

【展覧会解説会、イベント等】

- ・ ミニマル／コンセプチュアル展 学芸員による解説会：4/23、5/7
- ・ ミニマル／コンセプチュアル展 担当学芸員による特別レクチャー：4/30
- ・ ミニマル／コンセプチュアル展 団体解説：4/17、5/7、5/14、5/15、5/27
- ・ 2023年コレクション展 I 学芸員による解説会（特集1）：2/18

【教育支援、ボランティア、友の会等】

- ・ ミニマル／コンセプチュアル展 こども鑑賞会：5/21
- ・ 2023年コレクション展 I ミュージアム・ボランティア向け説明会：12/3
- ・ 2023年コレクション展 I ガイドツアー再開に向けての感染防止策の実地検証（解説班ボランティア向け学芸員によるガイドツアー）：1/21、2/1

【その他補助業務】

- ・ 県展作業補助：8/7
- ・ THE HEROES展作業補助：9/4、11/22
- ・ 李禹煥展作業補助：12/6、2/14
- ・ 恐竜図鑑展作業補助：3/1

2. 美術館外での業務等

【展覧会解説会】

- ・ 「ミニマル／コンセプチュアル展のみどころ～ミニマル・アートとコンセプチュアル・アートを紐解く～」(神戸生活創造センター 兵庫県立美術館連携講座「気軽にアート」vol.33)：4/22

【講演会、レクチャー、シンポジウム等】

- ・ 破墨プロジェクト Studyシリーズ12「アーティストとアーカイヴー「塩売りのトランク」展を中心に」(主催：破墨プロジェクト 会場：KOBESTUDIO Y3)：6/25
- ・ 東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科修士論文発表会2023 松江李穂氏発表「ハラルト・ゼーマンのキュレーション-オブセッションの精神史への探求-」ゲストスピーカー：2/12

3. 調査・研究活動

【著作、論文、口頭発表】

- ・ 「ハラルト・ゼーマン「総合芸術作品への志向」展をめぐって③」(当館学芸員調査報告会・レポート提出)：8/12

【館内出版物への執筆】

- ・ 「ミニマル／コンセプチュアル：ドロテ&コンラート・フィッシャーと1960-70年代美術」(『ミュゼV』91号、p.1)

- ・「作品と資料で立体的に紐解くミニマルとコンセプチュアル」（『ART RAMBLE』75号、pp.2-3）
- ・「2023年コレクション展 I 〔特集1〕 虚実のあわいから見えてくるもの」（『ミュゼV』94号、p.4）

【テレビ、ラジオ、新聞等】

- ・「ミニマル/コンセプチュアルードロテ&コンラート・フィッシャーと1960-70年代美術」上、下（『神戸新聞』4/12朝刊、4/16朝刊）

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・表象文化論学会会員

剣持翔伍（けんもち・しょうご）

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・ 瀬川コレクション・梅舒適コレクションの作品調査に関する業務（調査のべ58日）
- ・ 両コレクションの作品取集会議・評価会議の開催に関する業務
- ・ 両コレクションの年報、印刷物に関する業務
- ・ 両コレクションの写真撮影に関する業務（撮影のべ12日）
- ・ 両コレクションのデータ整理に関する業務
- ・ 両コレクションの図版掲載に関する業務
- ・ 両コレクションの貸付に関する業務（副担当、貸出立会い16日、展示指導等1日）

【担当展覧会】

- ・ 2022県展（副担当）
- ・ 2023年コレクション展 I 特集2「中国明清の書画篆刻—梅舒適コレクションの精華—」「近現代の書」
- ・ 小企画 生誕180年記念 呉昌碩の世界（副担当、次年度開催準備）

【展覧会解説会】

- ・ 2023年コレクション展 I 特集2 解説会：1/28、3/18
- ・ 2023年コレクション展 I 特集2 団体向け解説会（関西中国書画コレクション研究会）：1/31

【教育支援、ボランティア、友の会等】

- ・ 2023年コレクション展 I ミュージアム・ボランティア向け解説会：12/3

【その他】

- ・ 外部依頼による撮影対応：8/23、24、9/27
- ・ 梅舒適コレクション学術調査対応：3/21、28
- ・ 西宮分館書籍調査・輸送作業：6/12、3/2、8、30

3. 調査・研究活動

【館内での調査・研究】

- ・ 受贈・購入候補作品等調査：4/14、20、5/26、6/16、11/8、12/14
- ・ 次年度小企画展作品調査：4/27、8/30～9/1、11/26～27、2/25～27

【著作、論文、口頭発表】

- ・ 「神戸の名作 上田桑鳩《啼鳥》」（『神戸商工だより』vol.791、p.31）
- ・ 「上田桑鳩について」（当館調査報告会・口頭発表）：8/12
- ・ 「展覧会「中国明清の書画篆刻—梅舒適コレクションの精華—」」（書文化研究会第1回例会・口頭発表）：12/19

【館内出版物への執筆】

- ・ 章解説5件（2023年コレクション展 I 特集2『中国明清の書画篆刻—梅舒適コレクションの精華—』リーフレット、pp.3、6、8、10、13）

- ・「梅舒適之明清書畫篆刻収藏—兵庫縣立美術館「梅舒適収藏精華」特展」（『典藏 古美術』No.365、pp.84-89）
- ・学芸員の視点「千里之行、始於足下—2023年コレクション展 I 特集2「中国明清の書畫篆刻—梅舒適コレクションの精華—」を開催して」（『ART RAMBLE』78号、pp.2-3）
- ・トピックス「2023年コレクション展 I 特集2関連事業KEN-Viスペシャルトーク「梅舒適コレクションの精華を見つめて」を終えて」（『ART RAMBLE』78号、p.7）

4. 社会貢献活動

【所属学会・研究会】

- ・関西中国書画コレクション研究会会員

小林 公（こばやし・ただし）

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・収蔵品の写真撮影
- ・収蔵品の収納・収蔵庫管理
- ・寄託（副担当）
- ・友の会に関すること（教育支援・事業Gとの連携）
- ・ボランティアに関すること（教育支援・事業Gとの連携）

【担当展覧会】

- ・特別展 李禹煥展
- ・チャンネル13 吉村宗浩展
- ・特別展 安井仲治展（次年度開催予定）

【展覧会解説会、イベント等】

- ・李禹煥 学芸員による解説会：2/4

【教育支援、ボランティア、友の会等】

- ・李禹煥展 ミュージアム・ボランティア向け説明会：11/12

2. 美術館外での業務等

【講演会、レクチャー、シンポジウム等】

- ・「ラウンドテーブル① 社会教育法70年と社会教育法制をめぐる課題（その5） 報告」（日本教育学会6月集会、オンライン）：6/5
- ・トークイベント出演（林勇気個展「君はいつだって世界の入り口を探していた」、Super Studio Kitakagaya）：9/17
- ・神戸市立三宮図書館レクチャーシリーズ「李禹煥の芸術の魅力」（神戸市立三ノ宮図書館）：1/21
- ・「兵庫県立美術館開館20周年記念 李禹煥」解説講座」（さらら仁川「アートを楽しもう！vol. 2」）：1/22

3. 調査・研究活動

【著作、論文、口頭発表】

- ・章解説「1973-1979 絵画のはじまり—〈点より〉〈線より〉」「2000-2009 余白の芸術」、「李禹煥《風景》（1968年）試論」、関連年表（『李禹煥』平凡社、2022年8月）
- ・「「シケモク」から「トマソン」へ—赤瀬川原平の「風景写真」」（当館学芸員調査報告会・レポート提出）：8/11

【館内外での調査・研究】

- ・寄贈および購入候補作品調査：8/22

【館外出版物への執筆】

- ・「展覧会」（『毎日新聞』夕刊）：4/13、5/18、6/15、7/13、8/2、9/7、10/5、11/2、12/7、1/11、2/8、3/8）

- ・「現代作家紹介 林勇気－人間と映像のあいだ」（『美術フォーラム21』第45号、2022年6月、pp.10-14）
- ・「美術館事業のコストとその「公益性」の評価について」（『ZENBI 全国美術館会議機関誌』第23号、2023年2月）
- ・「田中秀介」（「VOCA展2023 現代美術の展望－新しい平面の作家たち－」図録、2023年3月、pp.58-59）

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・美術史学会会員
- ・美学会会員

相良周作（さがら・しゅうさく）

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・作品貸出（作品搬出入立会い24回、館外での立会い業務1回）
- ・作品収集会議の開催

【担当展覧会】

- ・2022年コレクション展Ⅱ特集2 「没後50年 吉原治良の小宇宙」
- ・特別展 金山平三と同時代の画家たち（次年度開催準備）

【展覧会解説会、イベント等】

- ・2022年コレクション展Ⅱ特集2 解説会：8/27、12/3

【教育支援、ボランティア、友の会等】

- ・2022年コレクション展Ⅱ特集2 学校団体向け解説会：11/5
- ・2022年コレクション展Ⅱ特集2 ミュージアム・ボランティア向け解説会：8/7
- ・2022年コレクション展Ⅱ特集1・2 こどものイベント：10/9
- ・2022年コレクション展Ⅱ特集2 こどものイベント：12/17

【その他補助業務】

- ・2022県展作業補助：8/6

3. 調査・研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・寄贈候補作品調査：6/7、10/23、3/1
- ・特別展 金山平三と同時代の画家たち 作品調査：1/14、2/2

【著作、論文、口頭発表】

- ・「金山平三と交通インフラストラクチャー整備との関連について（4）」（当館学芸員紀要調査報告会・レポート提出）

【館内出版物への執筆】

- ・美術館の周縁「永遠のライバル!？」（『ART RAMBLE』75号、p.8）
- ・学芸員の視点1「吉原治良の小宇宙へ」（『ART RAMBLE』77号、pp.2-3）

【テレビ、ラジオ、新聞等】

- ・〈流氓ユダヤ〉関連 神戸新聞取材：8/4

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・美学会会員
- ・美術史学会会員

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・調査報告会の運営と『兵庫県立美術館研究紀要』の編集
- ・『ART RAMBLE』の編集と発行（副担当）
- ・特別展スライド解説（副担当）
- ・ミュージアム・ボランティア資料班との連携

【担当展覧会】

- ・特別展 恐竜図鑑－失われた世界の想像/創造（副担当）
- ・特別展 スーラージュと森田子龍（次年度開催準備）

【その他補助業務】

- ・ミニマル／コンセプチュアル作業補助：5/30、5/31
- ・関西の80年代 広報物作成・図録編集補助、作業補助：6/10、6/14、8/24
- ・ボストン美術館所蔵 THE HEROES作業補助：9/6、9/7
- ・李禹煥作業補助：11/28、11/29、12/8

3. 調査・研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・寄贈候補作品調査：7/29、9/22、10/20

【著作、論文、口頭発表】

- ・「フランス近代絵画と日本 1920年代を中心に」（調査報告会・レポート提出）：8/12

【館内出版物への執筆】

- ・作品解説3本、恐竜インデックス（『恐竜図鑑』図録、pp.217-218、225-231）
- ・「美術館の周縁「すべて未知の世界へ—GUTAI 分化と統合」展を見て」（『ART RAMBLE』77号、p.8）

【館外出版物への執筆】

- ・「日本国内で楽しめるフランスの美術」（『ふらんす』2022年10月号、pp.4-19）

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・美術史学会会員
- ・民族芸術学会会員
- ・日仏美術学会会員

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・こどものイベントに関すること
- ・阪神間美術館連絡協議会に関すること
- ・ボランティア活動に関すること
- ・貸館（ギャラリーの展覧会）に関すること

【担当展覧会】

- ・2023年コレクション展Ⅰ（副担当）
- ・2023年コレクション展Ⅱ 小企画 美術の中のかたち—手で見ると造形展（次年度開催準備）

【教育支援、ボランティア、友の会等】

- ・2023年コレクション展Ⅰ ミュージアム・ボランティア向け説明会：12/3

2. 美術館外での業務等

【出前事業等教育支援活動】

- ・出前授業：県立明石高等学校：12/20

【講演会、レクチャー、シンポジウム等】

- ・シンポジウム「Re: Art Workers 『Art Workers』著者ジュリア・ブライアン＝ウィルソン氏を招いて」（オンライン）：11/3

3. 調査・研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・寄贈候補作品調査：7/29、9/22、10/5

【著作、論文、口頭発表】

- ・「1950年代後半におけるアラン・カプローの政治性について（1）—抽象表現主義との関わりから—」（当館学芸員調査報告会・レポート提出）：8/12

【館内出版物への執筆】

- ・作家略歴3件（『関西の80年代』展図録）

【館外出版物への執筆】

- ・「ネット・アートはいかにして再展示しうるか——布施琳太郎《隔離式濃厚接触室》の資料化を例に」（『a+a 美学研究』第14号大阪大学美学研究室、2023年、pp.46-61）
- ・「インタビュー 隔離式濃厚接触室における一人と二人」（『a+a 美学研究』第14号大阪大学美学研究室、2023年、pp.62-73）

西田桐子（にしだ・きりこ）

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・課の統括（特別展・国際交流グループ）
- ・展覧会の運営と展覧会会議の実施など
- ・展覧会当番の管理
- ・教育普及活動の補助
- ・他課との連携
- ・ミュージアム・ボランティア特別展解説会の調整

【担当展覧会】

- ・2022年コレクション展 I（主担当）
- ・特別展 関西の80年代（副担当）
- ・特別展 2022県展（副担当）
- ・特別展 ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵－武者たちの物語展（副担当）
- ・特別展 金山平三と同時代の画家たち（副担当、次年度開催準備）
- ・特別展 特別展 Perfume COSTUME MUSEUM（副担当、次年度開催準備）

【教育支援、ボランティア、友の会等】

- ・ミュージアム・ボランティア事務局会議出席：5/12、8/13、9/8、11/10、1/12

【その他補助業務】

- ・寄贈候補作品集荷、搬入立ち合い等：10/26
- ・李禹煥展作業補助：11/26～12/11

3. 調査・研究活動

【著作、論文、口頭発表】

- ・八木一夫の黒陶について－当館収蔵作品の理解のためのノート

【館内出版物への執筆】

- ・作家略歴（『関西の80年代』展図録）
- ・「ショート・エッセイ 金山平三「資料」から、あれこれ」（『ART RAMBLE』78号、p.6）

【館外出版物への執筆】

- ・「ブロック報告【近畿】周年、館長、開館、リニューアル、休館など」（『ZENBI』22号、p.X）

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

美術史学会会員

【公募展審査、作品評価など】

- ・堺市展審査：11/1
- ・高砂市展審査：1/30

橋本こずえ（はしもと・こずえ）

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・美術作品の寄贈に関する業務
- ・収蔵品のデータ整理
- ・ANDO GALLERY
- ・作品の貸出に関する業務（副担当）
- ・図版掲載・特別観覧（副担当）

【担当展覧会】

- ・特別展 関西の80年代展（副担当）
- ・特別展 注目作家紹介プログラム チャンネル13 吉村宗浩 画家とアトリエメチエの修行場（副担当）
- ・2023年コレクション展 I（副担当）
- ・特別展 Perfume COSTUME MUSEUM（次年度開催準備）

【その他補助業務】

- ・李禹煥展作業補助：11/26、12/4、2/16
- ・作品貸出対応：1/23

3. 調査・研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・寄贈候補作品調査：7/29、9/14、9/22、10/20
- ・次年特別展調査：11/21、11/24、2/14、2/15、3/17、3/18

【著作、論文、口頭発表】

- ・「「アート・ナウ 関西の80年代」展女性作家について」（当館学芸員調査報告会・レポート提出）8/12
- ・「美術館におけるジェンダーバランス 兵庫県立美術館の現状について」（『兵庫県立美術館研究紀要』17号、pp.20-29）

【館内出版物への執筆】

- ・作家略歴（『関西の80年代』図録）
- ・「学芸員の視点2 「新しい観客」になる」（『ART RAMBLE』75号、pp.4-5）

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・スペイン・ラテンアメリカ美術史研究会会員

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・貸館（ギャラリーの展覧会）に関すること
- ・「芸術の館友の会」に関すること
- ・ギャラリー棟の活性化事業（その他イベント関係）に関すること

【担当展覧会】

- ・2022年コレクション展Ⅰ（副担当）
- ・2022県展
- ・特別展 李禹煥（副担当）

【教育支援、ボランティア、友の会等】

- ・こどものイベント補助：5/21、6/26、9/23、1/28
- ・学校団体鑑賞レクチャー：6/11、12/23
- ・学校団体鑑賞補助：1/19、1/20
- ・高校生インタビュー対応：3/8

【その他補助業務】

- ・関西の80年代展作業補助：6/12

3. 調査・研究活動

【著作、論文、口頭発表】

- ・「李禹煥の絵画に関する覚書 一無限について」（当館学芸員調査報告会・レポート提出）：8/12
- ・章解説（『李禹煥』展図録、p.112）

【館内出版物への執筆】

- ・トピックス「なんだこれ?!アワー特別編 バレそうでバレない、でもやっぱりバレそうなイタズラSP」（『ART RAMBLE』75号、p.7）
- ・トピックス「『2022県展』を開催しました」（『ART RAMBLE』76号、p.7）

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・美術史学会会員

【公募展審査、作品評価など】

- ・第11回未来のまち夢のわが家こども絵画コンテスト作品審査（神鋼不動産）：10/27

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・『ART RAMBLE』の編集と発行
- ・『兵庫県立美術館年報』の編集（副担当）
- ・ボランティア解説班との連携
- ・教育支援・事業担当との連携

【担当展覧会】

- ・2022年コレクション展Ⅰ（副担当）
- ・2022年コレクション展Ⅱ小企画 美術の中のかたち一手で見る造形 彫刻の中のかたち
- ・特別展 ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵－武者たちの物語
- ・特別展 恐竜図鑑（副担当）

【展覧会解説会、イベント等】

- ・2022年コレクション展 I 学芸員による解説会：4/2
- ・THE HEROES展 学芸員による解説会：9/17、10/15、11/5
- ・THE HEROES展 団体解説：9/28、9/30、10/4、10/5、10/21、10/28、11/8、11/12、11/12

【教育支援、ボランティア、友の会等】

- ・THE HEROES展 こどものイベント：9/23、11/6

【その他補助業務】

- ・ミニマル／コンセプチュアル展作業補助：6/1、6/2
- ・李禹煥展作業補助：12/10

2. 美術館外での業務等

【展覧会解説会】

- ・「武者絵の世界の楽しみ方」（神戸生活創造センター 兵庫県立美術館連携講座「気軽にアート」vol.35）：10/13
- ・「ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵－武者たちの物語 解説講座」（さらら仁川「アートを楽しもうvol.1」）：10/13

3. 調査・研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・令和6年度特別展調査：4/18～4/21、8/24～8/26
- ・寄贈候補作品調査：10/20

【著作、論文、口頭発表】

- ・「小林清親、井上安治と東京新名所」（調査報告会・レポート提出）：8/12

【館内出版物への執筆】

- ・「ショート・エッセイ 美術の中のかたち展関連ワークショップ「手でみる身体 ～音の門 耳をかたちづくる・掌の空間～」について」（『ART RAMBLE』76号、p.6）
- ・「学芸員の視点 ボストン美術館所蔵 THE HEROES刀剣×浮世絵 一武者たちの物語」（『ART RAMBLE』77号、pp.4-5）
- ・「美術館の周縁 武者たちの物語と兵庫」（『ART RAMBLE』78号、p.8）

【館外出版物への執筆】

- ・「酒造家と画家の交流－辰馬悦叟と富岡鉄斎」（『大和文華』142号、2023年3月、pp.47-54）

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・美術史学会会員

遊免寛子（ゆうめん・ひろこ）

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・学校教育との連携（学校団体の受け入れ対応、教員対象解説会・研修会5回、出前授業・出張授業として学校訪問14回、オンライン1回、神戸っ子アートフェスティバル作業補助のべ5日間）
- ・美術講座
- ・ギャラリー棟活性化事業に関すること（実行委員会職員として、アーティストトーク・ワークショップ開催、こどものイベント補助）
- ・博物館実習（講義等7日間）
- ・「芸術の館友の会」事業企画・運営補助

【担当展覧会】

- ・2022年コレクション展 I 小企画 生誕100年 元永定正展—伊賀上野から神戸、そしてニューヨークへ—

【展覧会解説会、イベント等】

- ・2022年コレクション展 I 解説会：4/10、6/18
- ・2022年コレクション展 I 小企画 講演会（聞き手）：5/14

【教育支援、ボランティア、友の会等】

- ・2022年コレクション展 I 小企画 こどものイベント：6/26

【その他補助業務】

- ・関西の80年代展作業補助：6/11、13～16
- ・2022年県展作業補助：7/16、17、24、26、27、8/6、19、20
- ・李禹煥展作業補助：10/31
- ・貸館対応：6/5、19、10/23、11/29、12/25、1/9

2. 美術館外での業務等

【出前事業等教育支援活動】

- ・出張講座（明石市立魚住コミュニティ・センター）：6/24
- ・にしのみやミュージアム活性化委員会事業 [学校教員向け研修] 講師：7/29
- ・豊田市美術館教育普及2022年度自主研修会：8/8

【講演会、レクチャー、シンポジウム等】

- ・豊田市美術館教育普及活動レクチャーシリーズ03：8/7
- ・トークセッション「神戸から、三重から、元永定正を語る」（三重県立美術館「特集展示生誕100年 元永定正展」関連事業）：10/8
- ・第44回播磨東岡工科研究大会記念講演：10/21
- ・神戸大学人間発達環境学研究科学術講演：1/25

3. 調査・研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・小企画展作品調査：5/12

【著作、論文、口頭発表】

- ・「元永定正の1952-1967年の活動について—中辻悦子氏講演録」（当館学芸員調査報告会・レポート提出）：8/12
- ・「元永定正の1952-1967年の活動について—中辻悦子氏講演録」（『兵庫県立美術館研究紀要』第17号、pp.38-57）

【館内出版物への執筆】

- ・「元永定正展講演会 中辻悦子氏「も～やんとのおい出を語る」」（『ART RAMBLE』75号、p.6）

【館外出版物への執筆】

- ・「教美アートギャラリー 第6回 兵庫県立美術館 [兵庫県]」（『教育美術』公益財団法人教育美術振興会、2022年12月号、p.8）
- ・「学校の団体鑑賞で鑑賞する作品について」（「美術による学び研究会メールマガジン」第461号、2023年2月19日、pp.1-6）

【テレビ、ラジオ、新聞等】

- ・「2022年コレクション展 I 小企画「生誕100年 元永定正展—伊賀上野から神戸、そしてニューヨークへ—」（新美術新聞3月11日号、p.2）

4. 社会貢献活動

【所属学会、外部委員など】

- ・美術史学会会員
- ・一般財団法人全国美術館会議 広報委員会委員（幹事会：12/6）
- ・『ひょうご2022 こどもの詩と絵』 「絵」 選考委員

1. 美術館内での業務等

【担当業務】

- ・館内環境の管理
- ・生物被害対策
- ・コレクション展毎の出品候補作品の状態確認
- ・コレクション展、特別展における作品展示、額装作業補助
- ・館外貸出に伴う作業（候補作品の事前状態調査、輸送・梱包方法の提案と確認、作品出入時の状態確認）
- ・紙を支持体とする作品の保存修復処置（令和4年度美術品修復状況p.142-145のうち紙を支持体とする作品）

【教育支援、ボランティア、友の会等】

- ・博物館実習「保存・修復について」：8/2
- ・博物館学 学校団体解説：8/19
- ・インターンシップ（就業体験）見学対応：8/26
- ・トライやる・ウィーク「保存・修復について」：11/11
- ・「芸術の館友の会」保存修復室ツアー「保存修復の現場をのぞく」：2/5

3. 調査・研究活動

【著作、論文、口頭発表等】

- ・「当館所蔵紙作品の保存修復について 大型作品の展示と保存 - 秋岡美帆の大型版画作品を例に -」
（当館学芸員調査報告会・レポート提出）：8/12

利用統計

a. 令和4年度観覧者数及び入館者数

展覧会名	会期 開催期間()は日数	観覧者数					入館者数
		有料	無料	Ando Gallery	合計	累計	
「ミニマル/コンセプチュアル ドロテ&コンラート・フィッシャーと1960-70年代美術」展	4. 3. 26～ 5. 29 (51)	8,855	3,311		12,166	12,166	
コレクション展 (4 月)	4. 1～ 4. 30 (16)	1,089	1,041	2,497	4,627	16,793	12,664
コレクション展 (5 月)	5. 1～ 5. 31 (26)	2,699	2,006	3,594	8,299	25,092	18,947
コレクション展 (6 月)	6. 1～ 6. 30 (26)	2,039	1,393	2,207	5,639	30,731	12,957
「関西の80年代」展	6. 18～ 8. 21 (64)	7,303	10,967		18,270	49,001	
コレクション展 (7 月)	7. 1～ 7. 3 7. 30～ 7. 31 (5)	525	305	4,971	5,801	54,802	27,673
コレクション展 (8 月)	8. 1～ 8. 31 (26)	2,394	2,500	5,805	10,699	65,501	28,915
2022 県展	8. 6～ 8. 20 (13)	0	3,024		3,024	68,525	
コレクション展 (9 月)	9. 1～ 9. 30 (22)	1,770	1,548	2,973	6,291	74,816	20,427
「ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵-武者たちの物語」展	9. 10～ 11. 20 (50)	27,782	10,810		38,592	113,408	
コレクション展 (10 月)	10. 1～ 10. 31 (20)	1,286	2,214	3,317	6,817	120,225	27,766
チャンネル13 吉村宗浩 画家とアトリエ-メチエの修行場	10. 8～ 11. 6 (27)	0	2,129		2,129	122,354	
コレクション展 (11 月)	11. 1～ 11. 30 (26)	1,184	4,345	4,200	9,729	132,083	31,015
コレクション展 (12 月)	12. 1～ 12. 18 (16)	510	2,169	4,085	6,764	138,847	20,298
「李 禹 煥」展	12. 13～ 2. 12 (84)	21,607	5,571		27,178	166,025	
コレクション展 (1 月)	5. 1. 21～ 1. 31 (9)	1,047	796	7,283	9,126	175,151	33,361
コレクション展 (2 月)	2. 1～ 2. 28 (18)	1,886	3,468	5,066	10,420	185,571	25,125
コレクション展 (3 月)	3. 1～ 3. 31 (27)	2,379	1,962	10,704	15,045	200,616	61,139
「恐竜図鑑-失われた世界の想像/創造」展	3. 4～ 5. 14 (24)	9,851	6,393		16,244	216,860	
4 年度計	総計 (524)	94,206	65,952	56,702	216,860		320,287

b. 観覧者アンケート

令和4年度の特別展観覧者を対象にしたアンケートの結果概要は、以下のとおりである。

1. 調査対象（特別展）

(人)

展覧会名	調査期間	回答数	調査反映数	観覧者数
「ミニマル/コンセプチュアル ドロテ&コンラート・フィッシャーと1960-70年代美術」展	4/1～5/29	413	413	12,166
「関西の80年代」展	6/18～8/21	689	613	18,270
「ボストン美術館所蔵 THE HEROES刀剣×浮世絵・武者たちの物語」展	9/10～11/20	998	980	38,592
「李 禹煥」展	12/13～2/12	1,889	1,348	27,178
「恐竜図鑑-失われた世界の想像/創造」展	3/4～3/31	1,276	670	16,241
計		5,265	4,024	112,447

2. アンケート結果

(1) 居住地

地域	HAT神戸地区	神戸市内 (HAT神戸以外)	阪神 地区内	その他 県内	大阪府	京都府	奈良県	和歌山県	滋賀県	その他 都道府県	合計
集計数(人)	26	995	492	611	974	225	105	24	48	464	3,964
割合	0.7%	25.1%	12.4%	15.4%	24.6%	5.7%	2.6%	0.6%	1.2%	11.7%	100.0%

(2) 年齢

年齢層	①小中学生	②高校生	③大学生・ 専門学校生・ 大学院生	②③以外の 10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
集計数(人)	264	94	382	537	591	648	692	505	252	3,965
割合	6.7%	2.4%	9.6%	13.5%	14.9%	16.3%	17.5%	12.7%	6.4%	100.0%

(3) 職業等

職業	会社員・公務員	自営業	学生	主婦	アルバイト・パート	その他	合計
集計数(人)	1,535	284	710	346	352	629	3,856
割合	39.8%	7.4%	18.4%	9.0%	9.1%	16.3%	100.0%

(4) 展覧会を知ったきっかけ（複数回答）

媒体等	インターネット	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	ポスター・ 看板等	チラシ等	知人等から のすすめ	広報誌 HART	その他	合計
集計数(人)	175	16	314	66	1,688	780	515	846	54	170	4,624
割合	3.8%	0.3%	6.8%	1.4%	36.5%	16.9%	11.1%	18.3%	1.2%	3.7%	100.0%

(5) 当館を訪れた回数

回数	はじめて	2～5回目	6回目以上	合計
集計数(人)	1,274	1,305	1,381	3,960
割合	32.2%	33.0%	34.9%	100.0%

(6) 当館までの利用交通機関（複数回答）

交通機関	J R	阪神電鉄	阪急電鉄	神戸電鉄	山陽電鉄	南海電鉄	近畿 日本鉄道	京阪電鉄	神戸市 バス	阪神バス
集計数(人)	1,304	1,244	442	35	28	29	78	14	73	88
割合	27.7%	26.5%	9.4%	0.7%	0.6%	0.6%	1.7%	0.3%	1.6%	1.9%

交通機関	神戸市営 地下鉄	大阪 メトロ	自家用車	タクシー	その他	合計
集計数(人)	61	123	526	508	148	4,701
割合	1.3%	2.6%	11.2%	10.8%	3.1%	100.0%

所蔵資料

- A. 令和4年度収蔵作品
- B. 令和4年度美術品館外貸出状況
- C. 令和4年度美術品修復状況
- D. 令和4年度収蔵図書資料

A 令和4年度収蔵作品

〈日本画〉

1. 東山 魁夷 (1908-1999)
《春光》
1943 (昭和 18) 年
絹本着色
122.5 × 35.4
公益財団法人伊藤文化財団寄贈
2. 菱田 春草 (1874-1911)
《夜明けの海》
制作年不詳
絹本着色
85 × 50
公益財団法人伊藤文化財団寄贈

〈洋画〉

3. 岡田 三郎助 (1869-1939)
《桃の咲きたる風景》
1934 (昭和 9) 年
油彩・布
53 × 38
公益財団法人伊藤文化財団寄贈
4. 河合 (田中) 美和 (1960-)
《5月の陽気》
1985 (昭和 60) 年
油彩・布
194 × 260
作者寄贈
5. 小出 檣重 (1887-1931)
《芸術家の家族》
1919 (大正 8) 年
油彩・布
64 × 79.5
公益財団法人伊藤文化財団寄贈
6. 須田 剋太 (1906-1990)
《抽象》
制作年不詳
グワッシュ・紙
74 × 58
木村文氏寄贈
7. 須田 剋太 (1906-1990)
《抽象》
制作年不詳
グワッシュ・紙
70.4 × 60.8
木村文氏寄贈
8. TRIO (福田新之助、浜本隆司、中澤テルユキ)
《蟹の学校 (カニクラウン)》
1987 (昭和 62) 年
アクリル・布
180 × 180
作者寄贈
9. 野依 幸治 (1978-)
《1 × 1 = 2》
2018 (平成 30) 年
油彩、砂・布
130.4 × 65.2
作者寄贈
10. 藤田 鶴夫 (1902-1957)
《旅順回想》
1935 (昭和 10) 年
油彩・布
130.5 × 162
藤田尚弘氏寄贈
11. 藤田 鶴夫 (1902-1957)
《東洋の郷愁》
1955 (昭和 30) 年頃
油彩・布
91.3 × 65.3
藤田尚弘氏寄贈
12. 藤田 鶴夫 (1902-1957)
《(作品)》
制作年不詳
油彩・布
130.8 × 162.6
藤田尚弘氏寄贈
13. 丸本 耕 (1923-2014)
《閉じた天邪鬼》
1958 (昭和 33) 年
油彩・布
130.5 × 97
丸本純氏寄贈
14. 丸本 耕 (1923-2014)
《作品》
1966 (昭和 41) 年
合成樹脂塗料・板
152 × 91
丸本純氏寄贈

15. 丸本 耕 (1923-2014)
《作品》
1966 (昭和 41) 年
合成樹脂塗料・板
121.2 × 91
丸本純氏寄贈
16. 三尾 公三 (1923-2000)
《追想》
1979 (昭和 54) 年
アクリル・パネル
53 × 45.6
木村文氏寄贈
17. 三尾 公三 (1923-2000)
《蒼天》
1990 (平成 2) 年
アクリル・木製パネル
60.5 × 72.5
木村文氏寄贈
18. タヴィド・ブルリューク (1882-1967)
《大島から見た富士山》
1920 (大正 9) 年
油彩・布
50.4 × 60.8
公益財団法人伊藤文化財団寄贈
19. タヴィド・ブルリューク (1882-1967)
《西須磨海岸》
1921 (大正 10) 年
油彩・布
33.5 × 45.1
公益財団法人伊藤文化財団寄贈

〈版画〉

20. 恩地 孝四郎 (1891-1955)
《海 (三部作の内中央)》
1937 (昭和 12) 年
木版・紙
87 × 50
公益財団法人伊藤文化財団寄贈
21. 須田 剋太 (1906-1990)
《むくげ (版画集『花と華』より)》
1983 (昭和 58) 年
シルクスクリーン・紙
45 × 35
木村文氏寄贈
22. 須田 剋太 (1906-1990)
《ひまわり (版画集『花と華』より)》
1983 (昭和 58) 年
シルクスクリーン・紙
45 × 34.8
木村文氏寄贈
23. 須田 剋太 (1906-1990)
《つばき (版画集『花と華』より)》
1983 (昭和 58) 年
シルクスクリーン・紙
45.4 × 35.1
木村文氏寄贈
24. 前田 藤四郎 (1904-1990)
《カッパドキヤ》
1974 (昭和 49) 年
リノカット・紙
54.8 × 65
木村文氏寄贈
25. 三尾 公三 (1923-2000)
《(タイトル不詳)》
1968 (昭和 43) 年
シルクスクリーン・紙
54 × 39
木村文氏寄贈
26. 三尾 公三 (1923-2000)
《女》
1975 (昭和 50) 年
リトグラフ・紙
74.5 × 39.5
木村文氏寄贈
27. 三尾 公三 (1923-2000)
《追想》
1978 (昭和 53) 年
リトグラフ・紙
36 × 22
木村文氏寄贈
28. 三尾 公三 (1923-2000)
《床の女 (fiction space PART I)》
1983 (昭和 58) 年
シルクスクリーン、リトグラフ・紙
33.5 × 33.5
木村文氏寄贈

1.



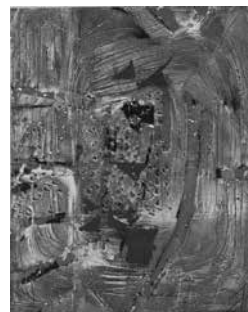
5.



2.



6.



3.



7.

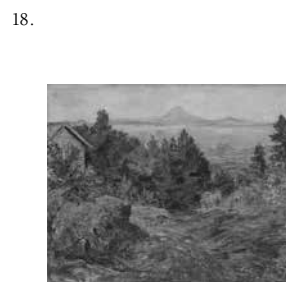
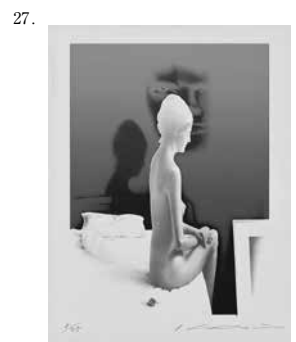
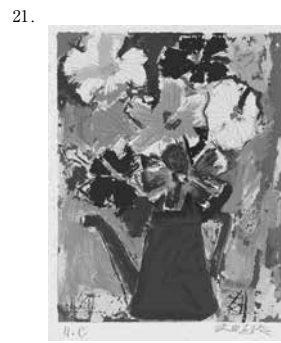
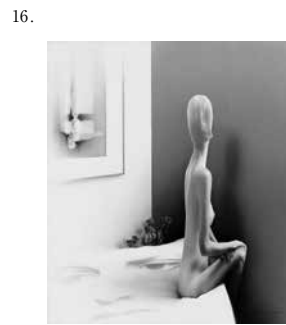
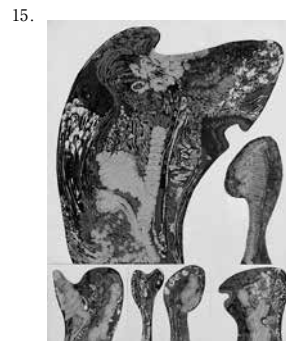
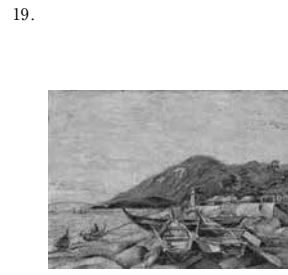
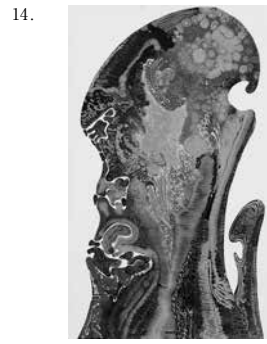


4.



8.





29. 三尾 公三 (1923-2000)
《紙の女 (fiction space PART I)より》
1983 (昭和58) 年
シルクスクリーン、リトグラフ・紙
33.5 × 33.5
木村文氏寄贈
30. 三尾 公三 (1923-2000)
《室の女 (fiction space PART I)より》
1983 (昭和58) 年
シルクスクリーン、リトグラフ・紙
33.5 × 33.5
木村文氏寄贈
31. 三尾 公三 (1923-2000)
《布の女 (fiction space PART III)より》
1984 (昭和59) 年
シルクスクリーン、リトグラフ・紙
50 × 38
木村文氏寄贈
32. 三尾 公三 (1923-2000)
《草の女 (fiction space PART III)より》
1984 (昭和59) 年
シルクスクリーン、リトグラフ・紙
50 × 38
木村文氏寄贈
33. 三尾 公三 (1923-2000)
《林の女 (fiction space PART III)より》
1984 (昭和59) 年
シルクスクリーン、リトグラフ・紙
50 × 38
木村文氏寄贈
34. 三尾 公三 (1923-2000)
《レモン (fiction space PART II)より》
1984 (昭和59) 年
エッチング、メゾチント・紙
30.5 × 24.1
木村文氏寄贈
35. 三尾 公三 (1923-2000)
《女の風景 A》
1985 (昭和60) 年
シルクスクリーン、リトグラフ・紙
60.5 × 79
木村文氏寄贈
36. 三尾 公三 (1923-2000)
《青い鳥》
1987 (昭和62) 年
シルクスクリーン、リトグラフ・紙
43.4 × 33.1
木村文氏寄贈
37. 三尾 公三 (1923-2000)
《乾薔薇と女》
1991 (平成3) 年
シルクスクリーン、リトグラフ、エンボス・紙
20 × 16.5
木村文氏寄贈
38. 三尾 公三 (1923-2000)
《ERIKA》
1993 (平成5) 年
シルクスクリーン、リトグラフ・紙
50.5 × 34.5
木村文氏寄贈
39. 三尾 公三 (1923-2000)
《(タイトル不詳)》
制作年不詳
シルクスクリーン、リトグラフ・紙
42.4 × 33.1
木村文氏寄贈
40. 三尾 公三 (1923-2000)
《青空と蝶》
制作年不詳
シルクスクリーン・紙
72.5 × 51.5
木村文氏寄贈
41. 吉原 英里 (1959-)
《M氏の部屋》
1986 (昭和61) 年
アクリル絵具・ベニヤパネル、鏡板画、傘、帽子、スカーフ
サイズ可変
作者寄贈

《彫刻》

42. 青木 千絵 (1981-)
《BODY 17-1》
2017 (平成29) 年
漆、麻布、スタイロフォーム
280 × 60 × 55
藤田裕一氏寄贈
43. 国谷 隆志 (1974-)
《Untitled (Stele I)》
2015 (平成27) 年
ネオン、ガラス、スチール、変圧器、コード
140 × 135 × 135
大和卓司氏遺贈記念収蔵
44. 山崎 亨 (1960-)
《Revolver》
1985 (昭和60) 年
ポリエステル樹脂、油彩、スプルス材
150 × 25 × 43.5
寺田真理子氏寄贈
45. ケネス・アーミテイジ (1916-2002)
《縞模様のスカートの少女》
1974 (昭和49) 年
アルミニウム・彩色
42 × 13 × 15
公益財団法人伊藤文化財団寄贈

《書》

46. 須田 剋太 (1906-1990)
《行心》
1981 (昭和56) 年
墨・紙
40.7 × 31.7
木村文氏寄贈
47. 須田 剋太 (1906-1990)
《生命根源》
制作年不詳
墨・紙
34.5 × 33.9
木村文氏寄贈
48. 深山 龍洞 (1903-1980)
《春》
1979 (昭和54) 年
彩箋墨書・折帖
249 × 181 / 25 × 36.5 / 12.8 × 11.7 / 14.1 × 12.6 / 22.5 × 20
森岡隆氏寄贈

《写真その他》

49. 澤田 知子 (1977-)
《cover/B ((cover)より)》
2002 (平成14) 年
発色現像方式印画
90 × 215
作者寄贈
50. 澤田 知子 (1977-)
《cover/C ((cover)より)》
2002 (平成14) 年
発色現像方式印画
90 × 230
作者寄贈

29.



30.



31.



32.



33.



34.



35.



36.



37.



38.



39.



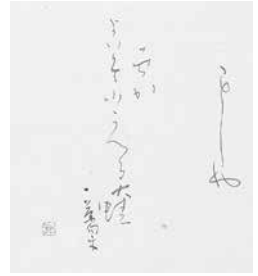
44.



48-1.



48-4.



40.



45.



48-2.



48-5.



41.



48-3.



42.



46.



49.



43.



47.



50.



51. 澤田 知子 (1977-) 《AMASAN ((Costume) より)》 2003 (平成 15) 年 発色現像方式印画 80 × 100 作者寄贈
52. 澤田 知子 (1977-) 《BASUGAIDO ((Costume) より)》 2003 (平成 15) 年 発色現像方式印画 80 × 100 作者寄贈
53. 澤田 知子 (1977-) 《FUKEI ((Costume) より)》 2003 (平成 15) 年 発色現像方式印画 100 × 80 作者寄贈
54. 澤田 知子 (1977-) 《HAISHA ((Costume) より)》 2003 (平成 15) 年 発色現像方式印画 80 × 100 作者寄贈
55. 澤田 知子 (1977-) 《HOIKUSHI ((Costume) より)》 2003 (平成 15) 年 発色現像方式印画 80 × 100 作者寄贈
56. 澤田 知子 (1977-) 《KANGOFU ((Costume) より)》 2003 (平成 15) 年 発色現像方式印画 100 × 80 作者寄贈
57. 澤田 知子 (1977-) 《KASHISHOKUNIN ((Costume) より)》 2003 (平成 15) 年 発色現像方式印画 100 × 80 作者寄贈
58. 澤田 知子 (1977-) 《KEIBIN ((Costume) より)》 2003 (平成 15) 年 発色現像方式印画 80 × 100 作者寄贈
59. 澤田 知子 (1977-) 《NOMIYA ((Costume) より)》 2003 (平成 15) 年 発色現像方式印画 80 × 100 作者寄贈
60. 澤田 知子 (1977-) 《OHANAYASAN ((Costume) より)》 2003 (平成 15) 年 発色現像方式印画 80 × 100 作者寄贈
61. 澤田 知子 (1977-) 《OKAMI ((Costume) より)》 2003 (平成 15) 年 発色現像方式印画 80 × 100 作者寄贈
62. 澤田 知子 (1977-) 《OMIZU ((Costume) より)》 2003 (平成 15) 年 発色現像方式印画 80 × 100 作者寄贈
63. 澤田 知子 (1977-) 《SEISQUIN ((Costume) より)》 2003 (平成 15) 年 発色現像方式印画 100 × 80 作者寄贈
64. 澤田 知子 (1977-) 《SHINBUN-HAITATSU ((Costume) より)》 2003 (平成 15) 年 発色現像方式印画 80 × 100 作者寄贈
65. 澤田 知子 (1977-) 《SHISUTA ((Costume) より)》 2003 (平成 15) 年 発色現像方式印画 80 × 100 作者寄贈
66. 澤田 知子 (1977-) 《SHOP-TENIN ((Costume) より)》 2003 (平成 15) 年 発色現像方式印画 80 × 100 作者寄贈
67. 澤田 知子 (1977-) 《TAKUSHI-DORAIVA ((Costume) より)》 2003 (平成 15) 年 発色現像方式印画 80 × 100 作者寄贈
68. 澤田 知子 (1977-) 《TEISHOKUYA ((Costume) より)》 2003 (平成 15) 年 発色現像方式印画 80 × 100 作者寄贈
69. 澤田 知子 (1977-) 《UEITORESU ((Costume) より)》 2003 (平成 15) 年 発色現像方式印画 80 × 100 作者寄贈
70. 澤田 知子 (1977-) 《UKETSUKEJO ((Costume) より)》 2003 (平成 15) 年 発色現像方式印画 80 × 100 作者寄贈
71. 澤田 知子 (1977-) 《URANAISHI ((Costume) より)》 2003 (平成 15) 年 発色現像方式印画 100 × 80 作者寄贈
72. 澤田 知子 (1977-) 《YAOYA ((Costume) より)》 2003 (平成 15) 年 発色現像方式印画 100 × 80 作者寄贈
73. 澤田 知子 (1977-) 《BIJUTSU-KANCHO/1 ((Costume) より)》 2004 (平成 16) 年 発色現像方式印画 100 × 125 作者寄贈
74. 澤田 知子 (1977-) 《BIJUTSU-KANCHO/2 ((Costume) より)》 2004 (平成 16) 年 発色現像方式印画 100 × 125 作者寄贈
75. 井上 涼 (1980-) 《忍者と県立ギョカイ女子高校》 2017 (平成 29) 年 映像インスタレーション 大和卓司氏遺贈記念収蔵
76. 井上 涼 (1980-) 《忍者と県立ギョカイ女子高校》 2017 (平成 29) 年 映像 大和卓司氏遺贈記念収蔵
77. 西山 美なコ (1965-) 《♡ときめきエリカのテレボクラブ♡ <インスタレーション構成要素 衝立>》 1992 (平成 4) / 2022 (令和 4) 年 衝立 (モスリン生地貼り) 衝立 3 枚 各 179.5 × 68.5 × 3.8 作者寄贈

※以上、令和4年度新収蔵品 77

日本画	2
洋画	17
彫刻	4
版画	22
書	3
写真	33

※本年報に写真を掲載するのは、兵庫 県立美術館で収蔵する作品のみ。

51.



52.



53.



54.



55.



56.



57.



58.



59.



60.



61.



66.



71.



76.



62.



67.



72.



77.



63.



68.



73.



64.



69.



74.



65.



70.



75.



※ 以下に記載の梅舒適コレクションは令和元年度および令和3年度に稲田和子氏から寄贈、令和4年度収集会議に諮り収蔵品とした。

《梅舒適コレクション 絵画》

1. 查士標 (1615 ~ 1698)
《山水図冊》
康熙 12 (1673) 年
紙本墨画
各 27.0 × 34.3
1 冊
2. 李蟬 (1686 ~ 1760 頃)
《芭蕉秋花園》
乾隆 4 (1739) 年
紙本墨画淡彩
124.5 × 43.5
1 幅
3. 李蟬 (1686 ~ 1760 頃)
《花卉図冊》
明時代 (15 ~ 16 世紀)
紙本墨画淡彩
各 24.0 × 16.7
1 冊
4. 金農 (1687 ~ 1763)
《墨梅図》
乾隆 25 (1760) 年
紙本墨画
100.8 × 51.0
1 幅
5. 李方膺 (1697 頃 ~ 1755)
《墨梅図冊》
乾隆 16 (1751) 年
紙本墨画
各 30.5 × 33.8
1 冊
6. 羅聘 (1733 ~ 1799)
《墨梅図》
乾隆 48 (1783) 年
紙本墨画
径 52.3
1 幅
7. 奚岡 (1746 ~ 1803)
《傲古山水図》
清時代 (18 ~ 19 世紀)
絹本墨画
41.5 × 168.7
1 卷
8. 錢杜 (1763 ~ 1844)
《山水図》
清時代 (18 ~ 19 世紀)
金箋墨画
17.5 × 50.0
1 幅
9. 陳鴻寿 (1768 ~ 1822)
《四君子図冊》
嘉慶 7 (1802) 年
紙本墨画淡彩
各 23.4 × 30.6
1 冊
10. 陳鴻寿 (1768 ~ 1822)
《山水図》
嘉慶 20 (1815) 年
紙本着色
61.1 × 32.3
1 幅
11. 陳鴻寿 (1768 ~ 1822)
《蘭石図》
清時代 (18 ~ 19 世紀)
紙本墨画
28.2 × 87.2
1 面
12. 改琦 (1774 ~ 1829)
《梅花美人図》
道光 2 (1822) 年
紙本着色
63.0 × 21.7
1 幅
13. 湯貽汾 (1778 ~ 1853)
《溪山暮霭図》
道光 27 (1847) 年
紙本墨画
16.7 × 112.4
1 卷
14. 趙之琛 (1781 ~ 1852)
《白梅図》
道光 21 (1841) 年
紙本着色
133.6 × 33.0
1 幅
15. 王素 (1794 ~ 1877)
《梅花仕女図》
同治 3 (1864) 年
紙本着色
123.4 × 60.7
1 幅
16. 吳熙載 (1799 ~ 1870)
《歲寒三友図》
咸豐 3 (1853) 年
紙本墨画淡彩
146.3 × 38.0
1 幅
17. 吳熙載 (1799 ~ 1870)
《篆書五言詩・山水図扇面合装》
清時代 (19 世紀)
紙本墨書・墨画
書: 19.4 × 56.5
画: 19.5 × 56.3
1 幅
18. 戴熙 (1801 ~ 1860)
《鷺湖春權図》
道光 27 (1847) 年
紙本墨画
22.1 × 133.5
1 卷
19. 張熊 (1803 ~ 1886)
《花卉図》
同治 4 (1865) 年
紙本着色
30.4 × 124.5
1 面
20. 張熊 (1803 ~ 1886)
《歲朝図》
光緒 9 (1883) 年
紙本着色
28.1 × 126.1
1 卷
21. 周閑 (1820 ~ 1875)
任薰 (1835 ~ 1893)
《博古花卉図》
清時代 (19 世紀)
紙本墨拓・着色
各 128.2 × 47.5
2 幅
22. 胡公寿 (1823 ~ 1886)
《平安如意図》
清時代 (19 世紀)
絹本墨画
149.0 × 34.0
1 幅
23. 胡公寿 (1823 ~ 1886)
《漁翁図》
清時代 (19 世紀)
絹本墨画淡彩
127.0 × 38.0
1 幅
24. 翁同龢 (1830 ~ 1904)
《山水図》
光緒 32 (1906) 年
紙本墨画
18.7 × 42.5
1 卷
25. 蒲華 (1830 ~ 1911)
《墨竹図》
光緒 21 (1895) 年
絹本墨画
40.0 × 184.1
1 卷
26. 蒲華 (1830 ~ 1911)
《四君子図》
光緒 27 (1901) 年
紙本墨画・墨書
各 111.7 × 28.1
4 幅
27. 蒲華 (1830 ~ 1911)
《富貴図》
清時代 (19 ~ 20 世紀)
紙本着色
57.5 × 38.3
1 幅
28. 蒲華 (1830 ~ 1911)
《山水図》
清時代 (19 ~ 20 世紀)
紙本墨画
185.0 × 48.2
1 幅
29. 高榮
《茶熟香温図》
清時代 (19 世紀)
紙本墨拓・着色
34.3 × 95.0
1 面
30. 錢慧安 (1833 ~ 1911)
《便面障泥図》
光緒 23 (1897) 年
紙本着色
126.8 × 29.2
1 幅

1.



(部分)

2.



3.



(部分)

4.



5.



(部分)

6.



7.

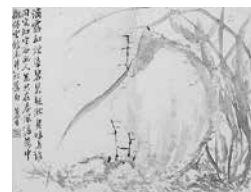


(部分)

8.



9.

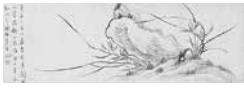


(部分)

10.



11.



16.



21.



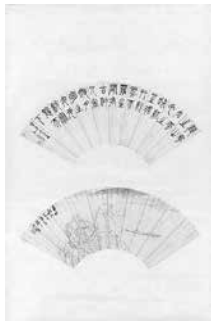
26.



12.



17.



22.



27.



13.



18.



23.



28.



14.



19.



24.



29.



15.



20.



25.



(部分)

30.



31. 錢慧安 (1833 ~ 1911)
《白衣觀音圖》
光緒 27 (1901) 年
紙本墨畫淡彩
139.8 × 40.7
1 幅
32. 胡錫珪 (1839 ~ 1883)
《坡翁笠屐圖》
清時代 (19 世紀)
紙本墨畫淡彩
121.6 × 32.8
1 幅
33. 吳滔 (1840 ~ 1895)
《山水圖》
清時代 (19 世紀)
紙本墨畫淡彩
171.2 × 47.2
1 幅
34. 吳滔 (1840 ~ 1895)
《山水圖》
清時代 (19 世紀)
紙本墨畫
149.3 × 38.8
1 幅
35. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《墨梅圖》
光緒 11 (1885) 年
紙本墨畫
115.0 × 36.5
1 幅
- 36-1. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《墨蘭圖》
光緒 28 (1902) 年
金箋墨畫
18.0 × 47.0
1 本
- 36-2. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《行書七律》
金箋墨書
18.0 × 47.0
1 本
37. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《墨梅圖》
光緒 28 (1902) 年
紙本墨畫
137.5 × 28.0
1 幅
38. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《燈梅圖》
光緒 28 (1902) 年
紙本墨畫
99.1 × 40.3
1 幅
39. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《紅梅圖》
光緒 31 (1905) 年
紙本墨畫淡彩
132.3 × 32.6
1 幅
40. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《天竹圖》
光緒 31 (1905) 年
紙本墨畫淡彩
132.2 × 32.5
1 幅
41. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《玉蘭圖》
宣統 3 (1911) 年
紙本墨畫
33.0 × 35.5
1 幅
42. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《紅梅圖》
中華民國元 (1912) 年
紙本着色
126.2 × 46.0
1 幅
43. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《松石圖》
中華民國 2 (1913) 年
紙本墨畫
152.3 × 41.6
1 幅
44. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《蘭石圖》
中華民國 3 (1914) 年
紙本墨畫
140.0 × 30.4
1 幅
45. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《菊石圖》
中華民國 3 (1914) 年
紙本着色
131.7 × 53.2
1 幅
46. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《墨竹圖》
中華民國 5 (1916) 年
紙本墨畫
181.8 × 36.0
1 幅
47. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《玉蘭圖》
中華民國 5 (1916) 年
紙本墨畫
135.3 × 33.0
1 幅
48. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《松石圖》
中華民國 5 (1916) 年
紙本墨畫
139.9 × 38.7
1 幅
49. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《荷花園》
中華民國 5 (1916) 年
紙本墨畫
132.2 × 62.0
1 幅
50. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《紅梅圖》
中華民國 6 (1917) 年
紙本着色
151.3 × 40.8
1 幅
51. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《菜根圖》
中華民國 7 (1918) 年
紙本墨畫淡彩
103.5 × 44.8
1 幅
52. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《蕉葉圖》
中華民國 7 (1918) 年
紙本墨畫
134.5 × 41.0
1 幅
53. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《美意延年圖》
中華民國 7 (1918) 年
紙本墨畫淡彩
136.0 × 33.6
1 幅
54. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《紫藤菜根圖》
中華民國 8 (1919) 年
紙本着色
150.0 × 41.2
1 幅
55. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《山水圖》
中華民國 8 (1919) 年
絹本墨畫
158.8 × 46.1
1 幅
56. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《四君子圖》
中華民國 9 (1920) 年
紙本墨畫
154.0 × 41.7
1 幅
57. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《墨竹圖》
中華民國 10 (1921) 年
紙本墨畫
129.5 × 41.4
1 幅
58. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《菊圖》
中華民國 10 (1921) 年
紙本墨畫
131.0 × 32.2
1 幅
59. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《墨竹圖》
中華民國 10 (1921) 年
紙本墨畫
132.7 × 34.0
1 幅

31.



36-1.



32.



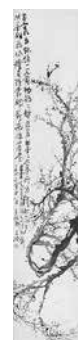
36-2.



33.



37.



34.



38.



35.



39.



40.



45.



50.



55.



41.



46.



51.



56.



42.



47.



52.



57.



43.



48.



53.



58.



44.



49.



54.



59.



60. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《壽桃園》
中華民國 10 (1921) 年
紙本着色
133.9 × 67.0
1 幅

61. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《桃園》
中華民國 10 (1921) 年
紙本着色
145.0 × 37.0
1 幅

62. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《墨梅圖》
中華民國 14 (1925) 年
紙本墨畫
135.0 × 34.9
1 幅

63. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《蘆花園》
中華民國 15 (1926) 年
紙本墨畫淡彩
137.5 × 34.7
1 幅

64. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《枇杷圖》
清~中華民國時代 (19~20 世紀)
紙本着色
98.2 × 43.7
1 幅

65. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《鳳仙花園》
清~中華民國時代 (19~20 世紀)
紙本着色
97.8 × 43.5
1 幅

66-1. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
倪田 (1855 ~ 1919)
《枇杷圖》
清~中華民國時代 (19~20 世紀)
紙本着色
132 × 36.0
1 本

66-2. 何維樸 (1844 ~ 1925)
《行書》
清~中華民國時代 (19~20 世紀)
紙本墨書
132 × 36.0
1 本

67. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《鳳仙花園》
清~中華民國時代 (19~20 世紀)
紙本着色
15.5 × 51.7
1 幅

68. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《荷花圖》
清~中華民國時代 (19~20 世紀)
紙本墨畫淡彩
18.5 × 52.3
1 幅

69. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《荷花圖》
清~中華民國時代 (19~20 世紀)
紙本墨畫
134.4 × 34.3
1 幅

70. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《桃實水斃圖》
清~中華民國時代 (19~20 世紀)
紙本着色
138.8 × 68.5
1 幅

71. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《菊石圖》
清~中華民國時代 (19~20 世紀)
紙本着色
137.0 × 33.5
1 幅

72. 顧澐
《曼生壺花卉圖》
清~中華民國時代 (19~20 世紀)
紙本墨拓·墨畫淡彩
各 111.3 × 30.5
4 幅

73. 吳穀祥 (1848 ~ 1903)
《早春景圖》
光緒 18 (1892) 年
紙本着色
34.7 × 43.0
1 幅

74. 吳穀祥 (1848 ~ 1903)
《童子捉柳花園》
光緒 20 (1894) 年
紙本着色
119.0 × 38.8
1 幅

75. 王洽梅 (? ~ 1851 ~ 1891 ~ ?)
《奇石圖》
光緒 6 (1880) 年
紙本墨畫
138.0 × 34.3
1 幅

76. 陸恢 (1851 ~ 1920)
《孤館消寒圖》
光緒 15 (1889) 年
絹本着色
117.3 × 26.0
1 幅

77. 陸恢 (1851 ~ 1920)
《亂松圖》
光緒 31 (1905) 年
紙本着色
15.3 × 51.9
1 幅

78. 陸恢 (1851 ~ 1920)
《簡廬圖》
清時代 (19 世紀)
紙本墨畫淡彩
27.0 × 180.0
1 卷

79. 陸恢 (1851 ~ 1920)
《竹石圖》
清~中華民國時代 (19~20 世紀)
紙本墨畫
97.7 × 18.4
1 幅

80. 陸恢 (1851 ~ 1920)
《花卉圖》
清~中華民國時代 (19~20 世紀)
紙本着色
135.6 × 33.1
1 幅

81. 倪田 (1855 ~ 1919)
《鍾鼎拓花卉圖》
光緒 30 (1904) 年
紙本墨拓·着色
52.3 × 123.6
1 面

82. 倪田 (1855 ~ 1919)
《故事人物圖》
宣統元 (1909) 年
紙本着色
各 147.2 × 39.4
4 幅

83. 黃山壽 (1855 ~ 1919)
《花果虫魚·松猿圖》
清~中華民國時代 (19~20 世紀)
紙本着色
各 137.1 × 38.2
4 幅

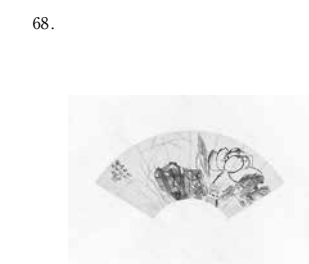
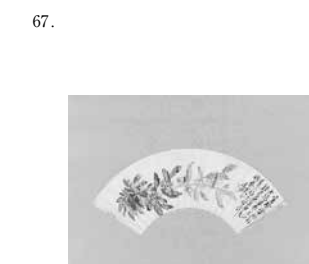
84. 黃山壽 (1855 ~ 1919)
王一亭 (1867 ~ 1938)
吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《藤花金魚圖》
中華民國 2 (1913) 年
紙本着色
134.6 × 66.5
1 幅

85. 倪田 (1855 ~ 1919)
黃山壽 (1855 ~ 1919)
金爾珍 (1840 ~ 1917)
吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《花卉圖》
中華民國 3 (1914) 年
紙本着色
134.5 × 56.0
1 幅

86. 黃山壽 (1855 ~ 1919)
王一亭 (1867 ~ 1938)
吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《花鳥圖》
中華民國 5 (1916) 年
紙本着色
151.2 × 82.0
1 幅

87. 王一亭 (1867 ~ 1938)
吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《觀音圖》
中華民國 11 (1922) 年
絹本墨畫
144.0 × 32.3
1 幅

88. 王一亭 (1867 ~ 1938)
吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《無量壽仙圖》
中華民國 11 (1922) 年
絹本着色
153.6 × 39.8
1 幅



69.



74.



79.



84.



70.



75.



80.



85.



71.



76.



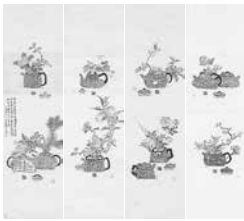
81.



86.



72.



77.



82.



87.



73.



78.



(部分)

83.



88.



89. 王一亭 (1867 ~ 1938)
《坡翁笠履圖》
中華民國 11 (1922) 年
紙本墨畫淡彩
139.2 × 35.9
1 幅

90. 王一亭 (1867 ~ 1938)
吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《寒山圖》
中華民國 16 (1927) 年
絹本墨畫淡彩·紙本墨書
畫 31.5 × 42.0
贊 27.4 × 42.0
1 幅

91. 王一亭 (1867 ~ 1938)
《戴翁婦來圖》
中華民國 8 (1919) 年
紙本墨畫淡彩
148.2 × 79.2
1 幅

92. 王一亭 (1867 ~ 1938)
《花卉圖》
中華民國 18 (1929) 年
紙本着色
各 151.1 × 39.8
4 幅

93. 商言志 (1869 ~ 1962)
吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《水仙圖》
中華民國 16 (1927) 年
紙本着色
122.7 × 33.0
1 幅

94. 丁仁 (1879 ~ 1949)
《紅梅圖》
中華民國 30 (1941) 年
紙本着色
129.1 × 32.2
1 幅

《梅舒適コレクション 書跡》

95. 中林梧竹 (1827 ~ 1913)
《篆書知足以自識》
江戸~大正時代 (19 ~ 20 世紀)
絹本墨書
24.5 × 118.1
1 面

96. 梅舒適 (1916 ~ 2008)
程十髮 (1921 ~ 2007)
《白居易琵琶行》
1993 年
紙本墨書·紙本着色
68.6 × 136.4
1 面

97. 梅舒適 (1916 ~ 2008)
《游雲驚龍》
1993 年
紙本墨書
43.0 × 105.0
1 面

98. 祝允明 (1461 ~ 1527)
《行書紀懷記》
明時代 (15 ~ 16 世紀)
紙本墨書
21.6 × 181.2
1 卷

99. 文徵明 (1470 ~ 1559)
《行書午門朝見詩》
明時代 (16 世紀)
紙本墨書
157.8 × 70.7
1 面

100. 王寵 (1494 ~ 1533)
《草書山靜日長語》
嘉靖 8 (1528) 年
紙本墨書
126.8 × 31.3
1 幅

101. 文彭 (1498 ~ 1573)
《「醉寫青山」白文方印》
明時代 (16 世紀)
水晶製
5.8 × 5.7 × 7.8
1 顆

102. 莫是龍 (1537 ~ 1587)
《行書遊泰山詩》
明時代 (16 世紀)
紙本墨書
17.2 × 118.7
1 卷

103. 祝世祿 (1539 ~ 1610)
《行書五絕》
明時代 (16 ~ 17 世紀)
紙本墨書
129.9 × 30.1
1 幅

104. 董其昌 (1555 ~ 1636)
《臨懷素自叙帖》
明時代 (16 ~ 17 世紀)
絹本墨書
各 25.9 × 34.4, 最終頁 25.9 × 18.3
1 冊

105. 陳繼儒 (1558 ~ 1639)
《行書五言律詩》
明時代 (16 ~ 17 世紀)
金箋墨書
16.0 × 49.2
1 幅

106. 米万鍾 (1570 ~ 1628)
《草書詞翰雙絕》
天啓元 (1621) 年
紙本墨書
32.4 × 464.9
1 卷

107. 張瑞圖 (1570 ~ 1641)
《行書玄都壇歌寄元逸人詩》
天啓 5 (1625) 年
絹本墨書
24.2 × 205.7
1 卷

108. 張瑞圖 (1570 ~ 1641)
《行書五言律詩》
明時代 (17 世紀)
絹本墨書
229.0 × 48.3
1 幅

109. 黃道周 (1585 ~ 1646)
《行書答孫伯觀詩》
明時代 (17 世紀)
絹本墨書
148.9 × 50.8
1 幅

110. 黃道周 (1585 ~ 1646)
《草書答孫伯觀詩》
明時代 (17 世紀)
紙本墨書
178.0 × 47.0
1 幅

111. 王鐸 (1592 ~ 1652)
《行書登華山絕頂詩》
明~清時代 (17 世紀)
統本墨書
67.6 × 23.0
1 幅

112. 倪元璐 (1593 ~ 1644)
《行書郊外詩》
明時代 (17 世紀)
絹本墨書
128.1 × 52.4
1 幅

113. 查士標 (1615 ~ 1698)
《行書容台集詩》
清時代 (17 世紀)
絹本墨書
26.1 × 332.2
1 卷

114. 許友 (1620 ~ 1663)
《草書米友堂詩集詩》
清時代 (17 世紀)
紙本墨書
21.0 × 180.3
1 卷

115. 笪重光 (1623 ~ 1692)
《行書明德遊仙詞》
清時代 (17 世紀)
絹本墨書
202.2 × 50.5
1 幅

116. 王澐 (1668 ~ 1743)
《篆書七言聯》
雍正 10 (1732) 年
紙本墨書
各 142.5 × 25.4
2 幅

117. 梁繼 (1710 ~ 1788)
《行書東坡題跋語》
乾隆 41 (1776) 年
紙本墨書
30.8 × 343.8
1 卷

118. 劉墉 (1719 ? ~ 1804 ?)
《行書山谷題跋語》
清時代 (18 ~ 19 世紀)
絹本墨書
157.7 × 56.8
1 幅

89.



94.



90.



95.



91.



96.



92.



97.



93.



98.

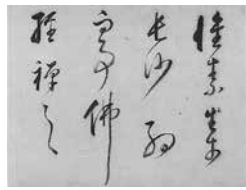


(部分)

99.



104.



(部分)

109.

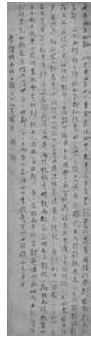


114.



(部分)

100.



105.



110.



115.



101.



106.



(部分)

111.



116.



102.



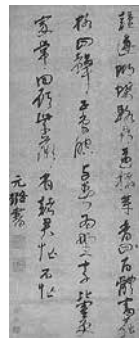
(部分)

107.



(部分)

112.

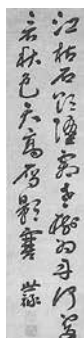


117.



(部分)

103.



108.



113.



(部分)

118.



119. 王文治 (1730 ~ 1802)
《行書七言聯》
乾隆 57 (1792) 年
紙本墨書
各 130.1 × 25.6
2 幅
120. 王文治 (1730 ~ 1802)
《行書七言聯》
清時代 (18 ~ 19 世紀)
彩箋墨書
各 126.5 × 28.4
2 幅
121. 桂馥 (1736 ~ 1805)
《隸書贈楊紹司徒詔語》
清時代 (18 ~ 19 世紀)
紙本墨書
117.6 × 48.5
1 幅
122. 錢澐 (1740 ~ 1795)
《行書八言聯》
清時代 (18 世紀)
絹本墨書
各 164.3 × 31.7
2 幅
123. 孫星衍 (1753 ~ 1818)
《篆書凝香樓額》
嘉慶 20 (1815) 年
紙本墨書
39.5 × 137.5
1 面
124. 錢泳 (1759 ~ 1844)
《隸書六言聯》
道光 17 (1837) 年
彩箋墨書
各 125.0 × 29.3
2 幅
125. 阮元 (1764 ~ 1849)
《行書四屏》
道光 23 (1843) 年
紙本墨書
各 99.9 × 23.2
4 幅
126. 陳鴻壽 (1768 ~ 1822)
《臨臨敏碑》
清時代 (18 ~ 19 世紀)
彩箋墨書
122.8 × 30.0
1 幅
127. 陳鴻壽 (1768 ~ 1822)
《隸書五言聯》
清時代 (18 ~ 19 世紀)
紙本墨書
各 123.9 × 30.6
2 幅
128. 陳鴻壽 (1768 ~ 1822)
《行書春寒花早開》
清時代 (18 ~ 19 世紀)
紙本墨書
65.9 × 13.9
1 幅
129. 陳鴻壽 (1768 ~ 1822)
《行書七言聯》
清時代 (18 ~ 19 世紀)
彩箋墨書
各 123.8 × 27.5
2 幅
130. 陳鴻壽 (1768 ~ 1822)
《行書七言聯》
清時代 (18 ~ 19 世紀)
彩箋墨書
各 124.7 × 30.6
2 幅
131. 陳鴻壽 (1768 ~ 1822)
《行書五言聯》
清時代 (18 ~ 19 世紀)
彩箋墨書
各 125.6 × 26.9
2 幅
132. 包世臣 (1775 ~ 1855)
《楷書八言聯》
清時代 (18 ~ 19 世紀)
彩箋墨書
各 174.2 × 33.9
2 幅
133. 趙之琛 (1781 ~ 1852)
《隸書六言聯》
清時代 (18 ~ 19 世紀)
絹本墨書
各 153.0 × 38.2
2 幅

134. 趙之琛 (1781 ~ 1852)
《臨靈台碑》
清時代 (18 ~ 19 世紀)
紙本墨書
30.7 × 126.3
1 面
135. 趙之琛 (1781 ~ 1852)
《臨瘞鼎》
清時代 (18 ~ 19 世紀)
紙本墨書
135.7 × 30.5
1 幅
136. 吳熙載 (1799 ~ 1870)
《篆書景福殿賦》
咸豐 9 (1859) 年
紙本墨書
各 95.2 × 19.3
4 幅
137. 吳熙載 (1799 ~ 1870)
《隸書七言聯》
清時代 (19 世紀)
彩箋墨書
各 131.2 × 30.3
2 面
138. 吳熙載 (1799 ~ 1870)
《隸書補亡詩六首》
清時代 (19 世紀)
紙本墨書
各 173.6 × 45.3
6 幅
139. 吳熙載 (1799 ~ 1870)
《隸書八言聯》
清時代 (19 世紀)
彩箋墨書
各 153.3 × 29.2
2 幅
140. 吳熙載 (1799 ~ 1870)
《隸書七言聯》
清時代 (19 世紀)
紙本墨書
各 121.4 × 28.5
2 幅
141. 吳熙載 (1799 ~ 1870)
《臨爭座位稿》
清時代 (19 世紀)
彩箋墨書
各 117.5 × 26.5
4 幅
142. 何紹基 (1799 ~ 1873)
《行書七言聯》
清時代 (19 世紀)
紙本墨書
各 126.6 × 29.3
2 幅
143. 何紹基 (1799 ~ 1873)
《行書七言聯》
清時代 (19 世紀)
紙本墨書
各 125.5 × 31.3
2 幅
144. 楊沂孫 (1813 ~ 1881)
《篆書道德經語》
光緒 3 (1877) 年
紙本墨書
各 176.9 × 45.8
4 幅
145. 楊沂孫 (1813 ~ 1881)
《篆書六言聯》
光緒 4 (1878) 年
紙本墨書
各 75.1 × 17.9
2 幅
146. 楊沂孫 (1813 ~ 1881)
《篆書池上篇》
光緒 5 (1879) 年
紙本墨書
各 125.8 × 32.2
4 幅
147. 楊沂孫 (1813 ~ 1881)
《篆書七言聯》
清時代 (19 世紀)
紙本墨書
各 130.9 × 29.7
2 幅
148. 陳介祺 (1813 ~ 1884)
《行書七言聯》
清時代 (19 世紀)
紙本墨書
各 122.7 × 26.6
2 幅

119.



124.



120.



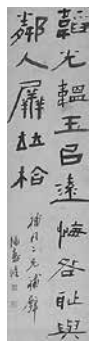
125.



121.



126.



122.



127.



123.



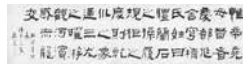
128.



129.



134.



139.



144.



130.



135.



140.



145.



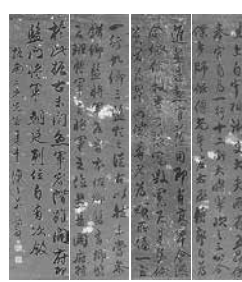
131.



136.



141.



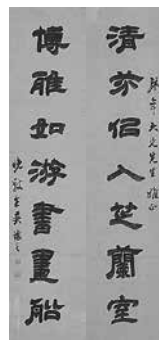
146.



132.



137.



142.



147.



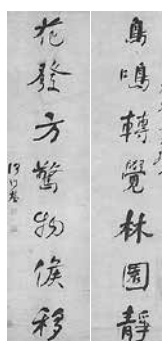
133.



138.



143.



148.



149. 陳介祺 (1813 ~ 1884)
《篆書四言聯》
清時代 (19 世紀)
紙本墨書
各 58.6 × 14.8
2 幅
150. 楊峴 (1819 ~ 1896)
吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《磚硯拓識語》
光緒 11 (1885) 年
紙本墨拓·墨書
各 105.2 × 29.7
4 幅
151. 楊峴 (1819 ~ 1896)
《臨禮器碑》
光緒 21 (1895) 年
紙本墨書
各 172.1 × 44.5
4 幅
152. 楊峴 (1819 ~ 1896)
《隸書五言聯》
清時代 (19 世紀)
紙本墨書
各 124.4 × 29.3
2 面
153. 楊峴 (1819 ~ 1896)
《隸書四言聯》
清時代 (19 世紀)
紙本墨書
各 163.6 × 46.3
2 幅
154. 張裕釗 (1823 ~ 1894)
《行書七言聯》
清時代 (19 世紀)
紙本墨書
各 128.2 × 28.5
2 幅
155. 胡澍 (1825 ~ 1872)
《篆書管子戒篇語》
清時代 (19 世紀)
紙本墨書
126.3 × 29.7
1 幅
156. 徐三庚 (1826 ~ 1890)
《篆書七言聯》
光緒 9 (1883) 年
彩箋墨書
各 124.3 × 29.2
2 幅
157. 徐三庚 (1826 ~ 1890)
《篆書七言聯》
清時代 (19 世紀)
紙本墨書
各 141.6 × 35.7
2 幅
158. 趙之謙 (1829 ~ 1884)
《楷書七言聯》
清時代 (19 世紀)
彩箋墨書
各 123.9 × 30.3
2 幅
159. 趙之謙 (1829 ~ 1884)
《臨劉熊碑》
清時代 (19 世紀)
紙本墨書
83.2 × 30.7
1 幅
160. 趙之謙 (1829 ~ 1884)
《楷書壽廬》
清時代 (19 世紀)
紙本墨書
35.8 × 92.8
1 面
161. 顧澐 (1835 ~ 1896)
《古陶拓片冊》
光緒 19 (1893) 年
紙本墨拓·墨書
各 26.6 × 15.5
1 帖
162. 楊守敬 (1839 ~ 1915)
《行書水經注語》
清~中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
紙本墨書
各 152.0 × 40.3
4 幅
163. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《臨曾伯黎鐘銘》
光緒 12 (1886) 年
紙本墨書
53.3 × 116.2
1 面

164. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《篆書莊子知北遊篇》
光緒 13 (1887) 年
紙本墨書
39.6 × 123.7
1 面
165. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《行書自作詩三首》
光緒 14 (1888) 年
紙本墨書
18.5 × 51.4
1 幅
166. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《街廬詩詩稿》
光緒 16 (1890) 年
紙本墨書
各 29.2 × 15.8
1 冊
167. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《臨張遷碑額》
光緒 25 (1899) 年
紙本墨書
131.8 × 48.0
1 幅
168. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《數字識語》
光緒 25 (1899) 年
紙本墨書
16.8 × 50.5
1 幅
169. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《臨古器物銘識語》
光緒 26 (1900) 年
絹本墨書
23.6 × 24.5
1 枚
170. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《篆書八言聯》
光緒 28 (1902) 年
紙本墨書
各 180.7 × 35.2
2 幅
171. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《篆書七言聯》
光緒 32 (1906) 年
紙本墨書
各 140.2 × 32.5
2 幅
172. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《篆書七言聯》
中華民國元年 (1912) 年
彩箋墨書
各 129.3 × 24.0
2 幅
173. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《破体七言聯》
中華民國 3 (1914) 年
紙本墨書
各 134.4 × 31.0
2 幅
174. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《行書六言絕句》
中華民國 5 (1916) 年
紙本墨書
137.0 × 40.4
1 幅
175. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《篆書七言絕句》
中華民國 5 (1916) 年
絹本墨書
162.0 × 39.5
1 幅
176. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《篆書七言絕句五首》
中華民國 7 (1918) 年
紙本墨書
各 135.7 × 36.3
4 幅
177. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《篆書楨廬》
中華民國 7 (1918) 年
紙本墨書
46.2 × 143.6
1 面
178. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《臨石鼓文》
中華民國 7 (1918) 年
紙本墨書
各 144.1 × 39.2
4 幅

149.



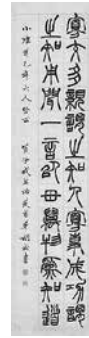
154.



150.



155.



151.



156.



152.



157.



153.



158.



159.



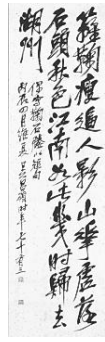
164.



169.



174.



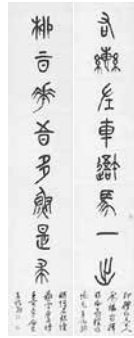
160.



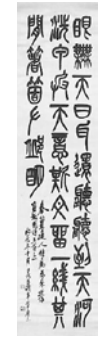
165.



170.



175.



161.



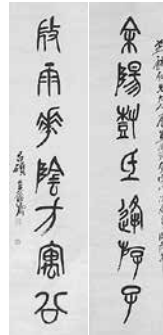
(部分)

166.



(表紙)

171.



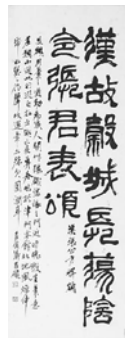
176.



162.



167.



172.



177.



163.



168.



173.



178.



179. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《篆書五言聯》
中華民國 7 (1918) 年
紙本墨書
各 132.4 × 31.7
2 幅
180. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《篆書六言聯》
中華民國 7 (1918) 年
紙本墨書
各 98.3 × 24.0
2 幅
181. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《篆書七言聯》
中華民國 7 (1918) 年
紙本墨書
各 133.2 × 30.8
2 幅
182. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《篆書壽字》
中華民國 8 (1919) 年
紙本墨書
107.5 × 37.4
1 幅
183. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《篆書選樸精廬》
中華民國 8 (1919) 年
紙本墨書
32.3 × 128.0
1 面
184. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《篆書八言聯》
中華民國 9 (1920) 年
紙本墨書
各 147.2 × 35.2
2 幅
185. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《篆書四言聯》
中華民國 10 (1921) 年
紙本墨書
各 77.8 × 31.7
2 幅
186. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《篆書樂地畫》
中華民國 11 (1922) 年
紙本墨書
39.5 × 142.8
1 面
187. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《篆書安平泰》
中華民國 11 (1922) 年
紙本墨書
36.5 × 112.8
1 面
188. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《篆書飲且食壽而康》
中華民國 12 (1923) 年
紙本墨書
40.0 × 155.7
1 面
189. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《篆書飲且食壽而康》
中華民國 12 (1923) 年
紙本墨書
25.5 × 145.7
1 面
190. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《篆書八言聯》
中華民國 12 (1923) 年
彩箋墨書
169.0 × 34.4
2 幅
191. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《行書七言聯》
中華民國 12 (1923) 年
紙本墨書
各 143.5 × 38.9
2 幅
192. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《篆書八言聯》
中華民國 13 (1924) 年
紙本墨書
各 168.7 × 29.2
2 幅
193. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《行書七言絕句》
中華民國 14 (1925) 年
紙本墨書
133.5 × 46.0
1 幅
194. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《篆書堅白》
中華民國 14 (1925) 年
紙本墨書
30.0 × 72.0
1 面
195. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《篆書嚼梅花畫》
中華民國 15 (1926) 年
紙本墨書
39.3 × 126.2
1 面
196. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《篆書萬歲》
中華民國 15 (1926) 年
紙本墨書
136.5 × 33.0
1 幅
197. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《臨石鼓文》
中華民國 15 (1926) 年
紙本墨書
18.5 × 52.7
1 幅
198. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《楷書五言律詩三首》
清時代 (19 世紀)
絹本墨書
24.0 × 24.0
1 幅
199. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《臨秦權量銘》
清時代 (19 世紀)
紙本墨書
60.3 × 32.3
1 幅
200. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《草書五言律詩二首》
清時代 (19 世紀)
紙本墨書
27.5 × 147.5
1 面
201. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《篆書七月詩》
清時代 (19 世紀)
紙本墨書
181.5 × 46.5
1 幅
202. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《尺牘冊》
清 ~ 中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
紙本墨書
29.7 × 17.0
1 冊
203. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《行書七言聯》
清 ~ 中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
紙本墨書
各 134.4 × 30.9
2 幅
204. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《行書》
清 ~ 中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
紙本墨書
17.8 × 53.0
1 枚
205. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「喜陶之印」白文方印》
光緒元 (1875) 年
石製
2.0 × 2.0 × 5.6
1 顆
206. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「西群」白文橢圓印》
光緒 11 (1885) 年
石製
2.1 × 1.0 × 3.7
1 顆
207. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「蒲作英」朱文方印》
光緒 12 (1886) 年
石製
3.5 × 3.4 × 5.0
1 顆
208. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「泉唐周鍾」白文方印》
光緒 13 (1887) 年
石製
1.2 × 1.1 × 3.7
1 顆

179.



184.



180.



185.



181.



186.



182.



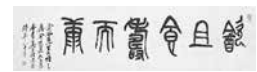
187.



183.



188.



189.

康而壽貪且飲

194.

育聖

199.

廿九帝皇帝盡器器而
下譜深新皆大南立端
為皇帝多甜酒相狀
繪樓度墨影不畫幾
彩書皆四畫止

204.



190.

左版心讀野讀二象
黨可報大和号大藥

195.

金秀果嶺

200.

Small horizontal calligraphy piece with multiple columns of text.

205.



191.

生曰廣生天所好
佛終古佛人能信

196.

慕歲慕歲慕歲慕歲

201.

七月漸小九月漸大一月日盛
三日日漸三三日日漸也日漸
平餘漸漸田時望善

206.



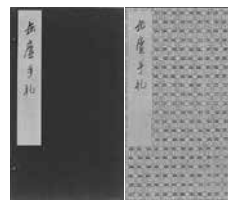
192.

朝出構真夜樂古樂
朝朝朝朝朝朝朝朝

197.



202.



(表紙)

207.



193.

為氣迎秋天影寒宵秋夜倚
閣千無風波處生雜留淺蘆
花並哀會

198.



203.

青眼高寄望對子
側身長顧在莫季

208.



209. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「簡孟」白文長方印》
光緒 14 (1888) 年
石製
1 顆
210. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「徐士愷」白文方印》
光緒 14 (1888) 年
石製
1.3 × 1.4 × 3.5
1 顆
211. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「徐氏親自得齋珍藏印」白文長方印》
光緒 14 (1888) 年
石製
1.6 × 1.3 × 5.1
1 顆
212. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「親自得齋徐氏子靜珍藏印章」白文方印》
光緒 23 (1897) 年
石製
2.2 × 2.2 × 5.0
1 顆
213. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「周祖揆印」白文方印》
光緒 24 (1898) 年
石製
1.2 × 1.2 × 5.7
1 顆
214. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「古味軒」朱文方印》
光緒 30 (1904) 年
石製
2.6 × 2.5 × 5.1
1 顆
215. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「蒲華」朱文方印》
光緒 30 (1904) 年
石製
2.6 × 2.6 × 4.3
1 顆
216. 吳昌碩 (1844 ~ 1927) 篆
徐星州 (1853 ~ 1925) 刻
《「景張所得金石文字」白文長方印》
光緒 31 (1905) 年
石製
2.3 × 1.3 × 3.8
1 顆
217. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「隨齋」朱文方印》
中華民國 7 (1918) 年
石製
2.1 × 2.1 × 1.8
1 顆
218. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「俞應望」朱文方印》
中華民國 8 (1919) 年
石製
1.5 × 1.4 × 3.7
1 顆
219. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「抱門天」朱文方印》
中華民國 9 (1920) 年
石製
2.6 × 2.6 × 7.2
1 顆
220. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「美意延年」白文方印》
中華民國 9 (1920) 年
石製
2.6 × 2.7 × 8.2
1 顆
221. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「万事隨緣是安樂法」朱文方印》
中華民國 9 (1920) 年
石製
2.7 × 2.7 × 6.2
1 顆
222. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「侶鶴」白文方印》
中華民國 9 (1920) 年
石製
2.4 × 1.9 × 5.0
1 顆
223. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「念履審定」朱文方印》
清 ~ 中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
石製
2.1 × 2.1 × 2.6
1 顆
224. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「均將私印」白文方印》
清 ~ 中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
石製
2.2 × 2.2 × 5.5
1 顆
225. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「籟盒詩畫」白文方印》
清 ~ 中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
石製
1.5 × 1.4 × 2.2
1 顆
226. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「士愷」白文方印》
清 ~ 中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
石製
1.6 × 1.6 × 3.9
1 顆
227. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「士愷」白文方印》
清 ~ 中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
石製
1.0 × 1.0 × 3.4
1 顆
228. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「徐子靜段親」朱文長方印》
清 ~ 中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
石製
2.7 × 0.9 × 3.4
1 顆
229. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「作英」朱文方印》
清 ~ 中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
石製
3.4 × 3.4 × 6.4
1 顆
230. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「蒲華」白文方印》
清 ~ 中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
水晶製
2.4 × 2.5 × 4.4
1 顆
231. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「曾在江南李旭士家」朱文長方印》
清 ~ 中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
石製
2.4 × 1.8 × 5.1
1 顆
232. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「葉職」朱文方印》
清 ~ 中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
石製
1.6 × 1.6 × 5.4
1 顆
233. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「讀古人書」白文方印》
清時代 (19 世紀)
石製
2.5 × 2.5 × 4.2
1 顆
234. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「常清淨室」白文方印》
清 ~ 中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
石製
2.2 × 2.1 × 4.1
1 顆
235. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「粉」朱文方印》
清 ~ 中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
石製
徑 2.3 高さ 3.4
1 顆
236. 吳昌碩 (1844 ~ 1927)
《「醉經館」朱文方印》
清 ~ 中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
石製
3.8 × 1.6 × 3.5
1 顆
237. 陸恢 (1851 ~ 1920)
《「隸書七言聯」
宣統 2 (1910) 年
紙本墨書
各 144.0 × 30.7
2 幅
238. 康有為 (1858 ~ 1927)
《「行書七言聯」
清 ~ 中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
彩箋墨書
各 137.0 × 33.2
2 幅

209.



214.



210.



215.



211.



216.



212.



217.



213.



218.



219.



224.



229.



234.



220.



225.



230.



235.



221.



226.



231.



236.



222.



227.



232.



237.

漢中三頌神雄厚
孔廟羣碑勢整齊
公孫氏... 孫氏... 孫氏...

223.



228.



233.



238.

今古畢陳皆樂趣
天人興感叢深情
孫氏...

239. 羅振玉 (1866 ~ 1940)
《篆書八言聯》
宣統 15 (1926) 年
紙本墨書
各 142.8 × 23.9
2 幅
240. 羅振玉 (1866 ~ 1940)
《篆書七言聯》
清 ~ 中華民國時代 (19 ~ 20 世紀)
紙本墨書
各 127.0 × 27.5
2 幅
241. 張大千 (1899 ~ 1983)
《行書蘭言》
中華民國 24 (1935) 年
紙本墨書
30.1 × 74.5
1 面

〈梅舒適コレクション 典籍〉

242. 葛昌楹 輯 (1892 ~ 1963)
《吳趙印存》
中華民國 20 (1931) 年
紙本鈐印
各 25.3 × 15.1
10 冊

〈梅舒適コレクション 資料〉

243. 原跡：任伯年 (1840 ~ 1896)
《吳昌碩像拓》
光緒 12 (1886) 年
紙本墨拓
111.0 × 42.0
1 幅
244. 原跡：任伯年 (1840 ~ 1896)
《吳昌碩像拓》
光緒 12 (1886) 年
紙本墨拓
111.0 × 42.0
1 幅

※以上、令和4年度美術品取得品 244

絵画	94
書跡	147
典籍	1
資料	2

239.



242.



(表紙)

240.



243.



241.



244.



※以下に記載の新収蔵品は、梅舒適コレクションの寄贈者である稲田和子氏が同コレクションを補完・拡充する目的で寄贈された作品である。

〈梅舒適コレクションに関する寄贈作品 絵画〉

1. 高陽 (1579? ~ 1644以降)
《秋景山水図》
明 ~ 清時代 (16 ~ 17 世紀)
絹本着色
183.8 × 70.2
1 幅

〈梅舒適コレクションに関する寄贈作品 書跡〉

2. 貫名海屋 (1778 ~ 1863)
《行書東坡詩》
安政 6 (1859) 年
紙本墨書
各 169.1 × 370.8
6 曲 1 双

1.



2.



(右隻)



(左隻)

B 令和4年度美術品館外貸出状況（令和4年度完了分）

1. サロン！雅と俗—京の大家と知られざる大坂画壇

2022/3/23～5/8

京都国立近代美術館

- 呉春・柴田義董《人物図》江戸時代（19世紀）（EP-R03-050）
篠崎小竹《山水図》江戸時代（19世紀）（EP-R03-087）
長沢蘆雪《月夜山水図》江戸時代（18世紀）重要美術品（EP-R03-051）
西山芳園《四季耕田稼穡図》天保10（1839）年（EP-R03-109）
貫名海屋《秋景人家図》弘化4（1847）年（EP-R03-077）
日根対山《蘭と百合図》嘉永5（1852）年（EP-R03-117）
森狙仙《雨中桜五匹猿図》江戸時代（18～19世紀）（EP-R03-044）
森徹山《雪中松鴛鴦図》江戸時代（19世紀）（EP-R03-064）
柳澤淇園《果物籠図》江戸時代（18世紀）（EP-R03-027）

2. 大阪中之島美術館 開館記念展 みんなのまち 大阪の肖像

第1期：2022/4/9～7/3

大阪中之島美術館

第2期：2022/8/6～10/2

大阪中之島美術館

第1期

- 国枝金三《建築場（街景時計台）》1930年（O-0584）
椎原治《流氓ユダヤ ヘブライの書》1941年（F-H23-256）
椎原治《流氓ユダヤ 追われるものD（荷物着く）》1941年（F-H23-257）
※寄託写真作品12点

第2期

- 森村泰昌《なにものかへのレクイエム（独裁者はどこにいる3）》2007年（F-H23-264）
森村泰昌《なにものかへのレクイエム（夜のウラジーミル 1920.5.5-2007.3.2）》2007年（F-H23-266）

3. 山水画と風景画のあいだ—真景図の近代 2022/8/20～10/16

下関市立美術館

- 神中糸子《掛保川風景》1888-92年（O-0611）
金山平三《ブルターニュ（コンカルノーの入江）》1914年（O-0158）
金山平三《習作（氷滑り）》1917年（O-0184）
金山平三《下諏訪のスケートリンク》1922年頃（O-H10-03）
織田一磨《大阪風景 道頓堀》1917年（Pj-044）
織田一磨《大阪風景 津村別院横》1936年（Pj-051）
織田一磨《山梨県倉岳山からみた富士山遠望（日本名山画譜の内）》1935年（Pj-061）
織田一磨《奈良三笠山（日本名山画譜の内）》1936年（Pj-062）
川瀬巴水《清澄公園》1920年（Pj-074）
川瀬巴水《さぬき金比羅宮》1948年（Pj-083）
川瀬巴水《紀伊勝浦》1951年（Pj-084）
小林清親《今戸橋月夜茶亭》（Pj-119）
小林清親《浜町より写す両国花火》1881年（Pj-159）
小林清親《神田川夕景》1881年（Pj-163）
井上安治《浅草田圃太郎稲荷》「東京名所百景」1881～1882年（Pj-017-041）
井上安治《滝ノ川紅葉》「東京名所百景」1881～1882年（Pj-017-095）
井上安治《柳橋夜雨》「東京名所百景」1881～1882年（Pj-017-062）
井上安治《浅草観音》「東京名所百景」1881～1882年（Pj-017-031）

4. 日本の中のマネー出会い、120年のイメージ

2022/9/4～11/3

練馬区立美術館

エドゥアール・マネ「30点のオリジナル銅版画」全31点（表紙含む）（Pf-443-01～31）

斎藤与里《春》1918年（O-0599）

青山熊治《高原下図（裸婦）》1926年（O-0007）

小磯良平《斉唱》1941年（O-0820）

5. 杉本博司 本歌取り—日本文化の伝承と飛翔

2022/9/17～11/6

姫路市立美術館

伝能阿弥《三保松原図》室町時代（15世紀）重要文化財（EP-R03-005-001～006）

6. 初代尼崎市長桜井忠剛と勝海舟・川村清雄

2022/10/1～11/30

尼崎市立歴史博物館

桜井忠剛《能道具図》明治末～大正初期頃（O-H19-01）

桜井忠剛《風景—海近く—》制作年不詳（O-R2-11）

7. よみがえる川崎美術館—川崎正蔵が守り伝えた美への招待—

2022/10/15～12/4

神戸市立博物館

伝馬遠筆《高士観画図》元時代（13世紀）（EP-R03-142）

8. Back to the 1972 50年前の現代美術へ

2022/10/8～12/11

西宮市大谷記念美術館

白髪一雄《東方浄瑠璃世界》1972年（O-H09-05）

元永定正《AKAMAGARI》1972年（O-1029）

荒川修作《ミュンヘン・オリンピックのためのポスター》1972年（Pj-481）

平田洋一《コレイガイノスペテ（このキャンバス以外の全ての宇宙空間）》（O-H20-25）

吉原治良《（無題）》1971年頃（D-R2-204-1）

吉原治良《（無題）》1971年頃（D-R2-205）

吉原治良《（無題）》1971年頃（D-R2-206）

9. 開館30周年記念特別展 竹中郁と小磯良平—詩人と画家の回想録

2022/10/8～12/18

神戸市立小磯記念美術館

小磯良平《瑠璃水差のある静物》1923年（O-0801）

小磯良平《裸婦》1924年（O-0804）

小磯良平《風景其ノ三》1928年（O-H03-03）

小磯良平《肖像》1940年（O-0590）

小磯良平《斉唱》1941年（O-0820）

小磯良平《竹中郁氏像》1941-51年（D-28）

新井完《西洋婦人》1921年（O-0027）

田中忠雄《パンを切る老人》1932年（O-H29-19）

岡本唐貴《或る日のカフェ・ガス》1980年（O-H09-04）

竹中郁《卓上》1955/57年（O-H17-06）

10. 明清の美—15～20世紀中国の美術—

2022/11/18～12/25

大和文華館

查士標《山水図冊》清・康熙12（1673）年（EP-R04-001）

戴熙《鴛湖春濯図》清・道光27（1847）年（EP-R04-018）

張熊《歲朝図》清・光緒9（1883）年（EP-R04-020）
吳昌碩《篆書七言絶句五首》中華民國3（1914）年（EC-R04-082）
吳昌碩《菊石図》中華民國3（1914）年（EP-R04-045）

11. 大阪中之島美術館 国立国際美術館 共同企画 **すべて未知の世界へ—GUTAI 分化と統合**
2022/10/22~2023/1/9 大阪中之島美術館 国立国際美術館

浮田要三《作品》1958年（O-0711）
白髪一雄《赤い丸太》1955/1985年（Sj-43）
正延正俊《作品 '63・11》1963年（O-0988）
山崎つる子《蚊帳状立体作品》1956/1985年（Sj-78）
吉原通雄《作品 A》1959年（O-1064）以上、国立国際美術館
聴濤襄治《WORK 1-5-66》1966年（O-H16-28）
高崎元尚《装置》1966/2003年（O-H16-34）
白髪一雄《天異星赤髪鬼》1959年（O-0859）
白髪富士子《白い板》1955/1985年（Sj-45）以上、大阪中之島美術館

12. 郡山市立美術館開館30周年記念展 1
ノスタルジック・ジャーニー 記録する眼 豊穡の時代
明治の画家 亀井至一、竹二郎兄弟をめぐる人々

2022/11/3~2023/1/9 郡山市立美術館

本多錦吉郎《羽衣天女》1890年（O-H11-15）

13. 南画×近代 **大正~昭和初期を中心として**

2022/11/18~2023/1/15 富山県水墨美術館

水越松南《蛮野新月》1933年（J-H4-06）
村上華岳《菩提樹下観法之図》1934年（J-H23-023）

14. 鳥取県立博物館開館50周年記念 **安岡信義 1888-1933—近代洋画の黎明期を生き抜いた画家**
2023/2/11~2023/3/21 鳥取県立博物館

岡田三郎助《萩》1908年（O-99）

15. **安藤忠雄—挑戦—**

2021/3/19~6/13 復星芸術中心、上海
2021/10/12~2022/1/9 北京民生現代美術館
2022/6/3~9/13 松山文創園區一号倉庫、台北

安藤忠雄《兵庫県立美術館+神戸市水際広場 木模型（1：250）》1997-2001年（M-H16-64-5）

安藤忠雄《淡路夢舞台 FRP模型（1：500）》1993-1999年（M-H16-65-5）

C 令和4年度美術品修復状況

〈日本画〉

	目録番号	作家名	作品名	処置内容	備考
1	J-H04-6	水越 松南	蛮野新月	吊り金具交換	貸出

〈洋画〉

	目録番号	作家名	作品名/シリーズ名	処置内容	備考
1	O-0158	金山 平三	プルトーニユ(コンカルノーの入江)	裏板作製装着	貸出
2	O-H10-03	金山 平三	下諏訪のスケートリンク	裏面乾式洗浄、入れ子内側にシーリングテープ貼付、作品固定方法変更、入れ子と外縁の固定方法変更、刃先にフェルト貼付、スペーサー装着、吊り金具交換、裏板作製装着	貸出
3	O-0820	小磯 良平	斉唱	グレージング(低反射アクリル)取付とそのための額縁改良	貸出 外部委託業務
4	O-H09-04	岡本 唐貴	或る日のカフェ・ガス	裏板作製装着	貸出
5	O-H17-06	竹中 郁	卓上	裏面乾式洗浄、画面湿式洗浄(精製水)、欠損部補彩(絶縁に5%チョウザメ膠、水彩絵具)、グレージング除去、ドロ足装着、入れ子再固定、刃先にフェルト貼付、作品固定金具取付、裏板作製装着、吊り金具交換	貸出
6	O-H20-25	平田 洋一	コレイガイノスベテ(このキャンバス以外の全ての宇宙空間)	裏面乾式洗浄、絵具層浮き上がり接着(チョウザメ膠5%)、カンバスタック錆除去と防錆処置(パラロイドB72)、カンバスタック周囲支持体の破れ補強(ポリエステル布+BEVA)、裏板作製装着、吊り金具交換	貸出
7	O-0288	金山 平三	ぶなの林	額縁彩色層浮き上がり接着(MFK)、額縁彩色層欠損部補彩(水彩絵具)、入れ子内側にシーリングテープ貼付、刃先にフェルト貼付、作品固定方法変更、裏板作製装着	R04-II
8	O-0299	金山 平三	川崎造船所	入れ子内側にシーリングテープ貼付、作品固定方法変更、吊り金具交換、裏板交換	R04-II
9	O-0735	金山 平三	山	作品固定方法変更、吊り金具交換	R04-II
10	O-H08-06	金山 平三	何事かある	入れ子内側にシーリングテープ貼付、入れ子と外縁の固定方法変更、刃先にフェルト貼付、吊り金具交換	R04-II
11	O-R03-01	東 貞美	人間の世界	絵具層浮き上がり接着(チョウザメ膠5%)、裏面乾式洗浄、入れ子内側にシーリングテープ貼付、入れ子と外縁の固定方法変更、刃先にフェルト貼付、作品固定方法変更、吊り金具交換	R04-II
12	O-R03-02	東 貞美	作品	グレージング除去、吊り金具交換	R04-II
13	O-R03-03	東 貞美	SUKIMA '83	グレージング除去、入れ子と外縁の固定方法変更、作品固定方法変更、吊り金具交換	R04-II
14	O-R03-04	伊藤 継郎	裸婦	絵具層浮き上がり接着(チョウザメ膠5%)、裏面乾式洗浄、カンヴァスタックの交換・補填、グレージング除去、入れ子内側にシーリングテープ添付、刃先にフェルト貼付、吊り金具交換、裏板作製装着	R04-II
15	O-R03-12	小林 孝亘	Sunbather 9	吊り金具取付	R04-II
16	O-R03-14	鄭 相和	無題 84-8-15	吊り金具交換	R04-II
17	O-R03-15	鄭 相和	無題 84-12-5	吊り金具交換	R04-II
18	O-R03-16	中村 一美	仙丈	展示用部材取付	R04-II
19	O-R03-18	野見山 暁治	早く決めよう	吊り金具交換	R04-II
20	O-R03-19	野見山 暁治	目をつむれ	吊り金具交換	R04-II
21	O-R03-21	松谷 武判	二つの門	旧額除去、画面の乾式洗浄、裏面の殺菌、吊り金具交換	R04-II
22	O-R3-6	北辻 良央	作品(スツール「横たわる裸婦」より)	額装解除、旧マット除去、マウント(仕様1)	R04-II
23	O-R3-7	北辻 良央	作品(クレア「求心的陳述」より)	マウント(仕様1)	R04-II
24	O-R3-9	北辻 良央	作品(ロートレック「メイ・ミルトン」より)	マウント(仕様1)	R04-II
25	O-R3-10	北辻 良央	作品(ノルデ「若いカップル」より)	マウント(仕様1)	R04-II
26	O-0239	金山 平三	京城の町	入れ子と外縁の固定方法変更、作品固定方法変更、吊り金具交換	R05-I
27	O-0731	金山 平三	父の像	絵具層剝落止め(チョウザメ膠5%)、裏面乾式洗浄、吊り金具交換	R05-I
28	O-R02-08	木下 晋	ゴゼ小林ハル像	紙製テープ・粘着テープ除去、接着剤軽減、マウント(仕様1)	R05-I

〈素描〉

	目録番号	作家名	作品名/シリーズ名	処置内容	備考
1	D-R2-204-1	吉原 治良	(無題)	乾式洗浄	貸出
2	D-R2-205	吉原 治良	(無題)	乾式洗浄	貸出
3	D-R2-206	吉原 治良	(無題)	乾式洗浄	貸出
4	D-R02-033	吉原 治良	(無題)	乾式洗浄	貸出
5	D-R02-040	吉原 治良	(無題)	乾式洗浄	R04-II
6	D-R02-051	吉原 治良	(無題)	乾式洗浄、折れの伸展、破れの接合	R04-II
7	D-R02-111	吉原 治良	(無題)	画面側のみ乾式洗浄	R04-II
8	D-R02-119	吉原 治良	(無題)	画面側のみ乾式洗浄	R04-II
9	D-R02-144	吉原 治良	(無題)	乾式洗浄	R04-II
10	D-R02-168	吉原 治良	(無題)	乾式洗浄	R04-II
11	D-R02-196	吉原 治良	(無題)	額装解除、粘着テープ除去	R04-II
12	D-R03-01	横山 裕一	ふれてみよ①<花園>	付着物除去、画面の一部に使用されているマスキングテープの接着剤無効化、マウント(仕様1)	R05-I
13	D-R03-02	横山 裕一	ふれてみよ②<ミロ変貌>	マウント(仕様1)	R05-I
14	D-R03-03	横山 裕一	ふれてみよ④<強風>	マウント(仕様1)	R05-I
15	D-R03-04	横山 裕一	ふれてみよ④<強風>(別バージョン)	マウント(仕様1)	R05-I
16	D-R03-05	横山 裕一	ふれてみよ⑤<球体>	マウント(仕様1)	R05-I
17	D-R03-06	横山 裕一	ふれてみよ①<花園>のためのドローイング	支持体の接合方法を変更(粘着テープ除去、接着剤軽減、和紙と水溶性糊で再接合)マウント(仕様1)	R05-I
18	D-R03-07	横山 裕一	ふれてみよ②<ミロ変貌>のためのドローイング(1)	マウント(仕様1)	R05-I
19	D-R03-08	横山 裕一	ふれてみよ②<ミロ変貌>のためのドローイング(2)	支持体の接合方法を変更(粘着テープ除去、接着剤軽減、和紙と水溶性糊で再接合)マウント(仕様1)	R05-I
20	D-R03-09	横山 裕一	ふれてみよ③<望観>のためのドローイング(1)	支持体の接合方法を変更(粘着テープ除去、接着剤軽減、和紙と水溶性糊で再接合)マウント(仕様1)	R05-I
21	D-R03-10	横山 裕一	ふれてみよ③<望観>のためのドローイング(2)	支持体の接合方法を変更(粘着テープ除去、接着剤軽減、和紙と水溶性糊で再接合)マウント(仕様1)	R05-I
22	D-R03-11	横山 裕一	ふれてみよ③<望観>のためのドローイング(3)	マウント(仕様1)	R05-I
23	D-R03-12	横山 裕一	ふれてみよ⑤<球体>のためのドローイング	支持体の接合方法を変更(粘着テープ除去、接着剤軽減、和紙と水溶性糊で再接合)マウント(仕様1)	R05-I

〈版画〉

	目録番号	作家名	作品名/シリーズ名	処置内容	備考
1	Pj-017-031	井上 安治	浅草観音/東京名所百景	乾式洗浄、付着物除去、マウント(仕様1)	貸出
2	Pj-017-041	井上 安治	浅草田圃太郎稲荷/東京名所百景	乾式洗浄、付着物除去、マウント(仕様1)	貸出
3	Pj-017-062	井上 安治	柳橋夜雨/東京名所百景	マウント(仕様1)	貸出
4	Pj-017-095	井上 安治	滝ノ川紅葉/東京名所百景	マウント(仕様1)	貸出
5	Pj-044	織田 一磨	大阪風景 道頓堀	台紙除去、乾式洗浄、接着剤除去、マウント(仕様1)	貸出
6	Pj-051	織田 一磨	大阪風景 津村別院横	マウント(仕様1)	貸出
7	Pj-061	織田 一磨	山梨県倉岳山からみた富士山遠望(日本名山画譜の内)	酸性紙マット除去、台紙除去、乾式洗浄、接着剤除去、マウント(仕様1)	貸出
8	Pj-062	織田 一磨	奈良三笠山(日本名山画譜の内)	酸性紙マット除去、台紙除去、乾式洗浄、接着剤除去、マウント(仕様1)	貸出
9	Pj-074	川瀬 巴水	清澄公園	マウント(仕様1)	貸出
10	Pj-083	川瀬 巴水	さぬき金比羅宮	酸性紙マット除去、乾式洗浄、付着物除去、接着剤除去、マウント(仕様1)	貸出
11	Pj-084	川瀬 巴水	紀伊勝浦	マウント(仕様1)	貸出
12	Pj-119	小林 清親	今戸橋月夜茶亭	パネル分離、付着物除去、折れの補強、破れの繕い、欠損部補填、補填部色調調整、支持体の変形修整、マウント(仕様2)	貸出
13	Pj-163	小林 清親	神田川夕景	パネル分離、付着物除去、折れの補強、破れの繕い、欠損部補填、補填部色調調整、支持体の変形修整、マウント(仕様2)	貸出
14	Pf-443-01	マネ、エドゥアール	タイトル、ギターと帽子/30点のオリジナル銅版画	台紙除去、乾式洗浄、接着剤除去、マウント(仕様1)	貸出
15	Pf-443-07	マネ、エドゥアール	化粧/30点のオリジナル銅版画	台紙除去、乾式洗浄、接着剤除去、マウント(仕様1)	貸出
16	Pf-443-08	マネ、エドゥアール	死んだ闘牛士/30点のオリジナル銅版画	台紙除去、乾式洗浄、接着剤除去、マウント(仕様1)	貸出

17	Pf-443-09	マネ,エドゥアール	ベラスケスによる小さな騎士たち/30点のオリジナル銅版画	台紙除去、乾式洗浄、接着剤除去、マウント(仕様1)	貸出
18	Pf-443-11	マネ,エドゥアール	マリアーノ・カンブルービ/30点のオリジナル銅版画	台紙除去、乾式洗浄、接着剤除去、マウント(仕様1)	貸出
19	Pf-443-12	マネ,エドゥアール	注ぎ飲みする小僧/30点のオリジナル銅版画	台紙除去、乾式洗浄、接着剤除去、マウント(仕様1)	貸出
20	Pf-443-13	マネ,エドゥアール	犬を連れて子供/30点のオリジナル銅版画	台紙除去、乾式洗浄、接着剤除去、マウント(仕様1)	貸出
21	Pf-443-14	マネ,エドゥアール	喫煙者/30点のオリジナル銅版画	台紙除去、乾式洗浄、接着剤除去、マウント(仕様1)	貸出
22	Pf-443-15	マネ,エドゥアール	喫煙者(エスキース)/30点のオリジナル銅版画	台紙除去、乾式洗浄、接着剤除去、マウント(仕様1)	貸出
23	Pf-443-16	マネ,エドゥアール	ベラスケスによる王女マルゲリータ/30点のオリジナル銅版画	台紙除去、乾式洗浄、接着剤除去、マウント(仕様1)	貸出
24	Pf-443-17	マネ,エドゥアール	海/30点のオリジナル銅版画	台紙除去、乾式洗浄、接着剤除去、マウント(仕様1)	貸出
25	Pf-443-18	マネ,エドゥアール	水夫の夢/30点のオリジナル銅版画	台紙除去、乾式洗浄、接着剤除去、マウント(仕様1)	貸出
26	Pf-443-19	マネ,エドゥアール	哲学者/30点のオリジナル銅版画	台紙除去、乾式洗浄、接着剤除去、マウント(仕様1)	貸出
27	Pf-443-20	マネ,エドゥアール	ボードレールのプロフィール/30点のオリジナル銅版画	台紙除去、乾式洗浄、接着剤除去、マウント(仕様1)	貸出
28	Pf-443-21	マネ,エドゥアール	エドガー・ポー/30点のオリジナル銅版画	台紙除去、乾式洗浄、接着剤除去、マウント(仕様1)	貸出
29	Pf-443-24	マネ,エドゥアール	シャボン玉を吹く小僧/30点のオリジナル銅版画	台紙除去、乾式洗浄、接着剤除去、マウント(仕様1)	貸出
30	Pf-443-25	マネ,エドゥアール	悲劇役者/30点のオリジナル銅版画	台紙除去、乾式洗浄、接着剤除去、マウント(仕様1)	貸出
31	Pf-443-27	マネ,エドゥアール	エヴァ・ゴンザレス/30点のオリジナル銅版画	台紙除去、乾式洗浄、接着剤除去、マウント(仕様1)	貸出
32	Pf-443-31	マネ,エドゥアール	[30点のオリジナル銅版画 表紙]	乾式洗浄、マウント(仕様4)	貸出
33	Pj-481	荒川 修作	ミュンヘン・オリンピックのためのポスター	乾式洗浄、マウント(仕様3)	貸出
34	Pf-435	ジョーンズ,ジャスパー	シカガ A	額装解除、台紙除去、付着物除去、マウント(仕様2)	R04-II
35	Pf-437	ジョーンズ,ジャスパー	シカガ C	額装解除、台紙除去、付着物除去、マウント(仕様2)	R04-II
36	Pf-438	ジョーンズ,ジャスパー	シカガ D	額装解除、台紙除去、付着物除去、マウント(仕様2)	R04-II
37	Pf-439	ジョーンズ,ジャスパー	シカガ E	額装解除、台紙除去、付着物除去、マウント(仕様2)	R04-II
38	Pj-R3-1	郭 徳俊	フォードと郭	汚損軽減、マウント(仕様1)	R04-II
39	Pj-R3-2	郭 徳俊	カーターと郭	マウント(仕様1)	R04-II
40	Pj-R3-3	郭 徳俊	レーガンIと郭	マウント(仕様1)	R04-II
41	Pj-R3-4	郭 徳俊	レーガンIIと郭	マウント(仕様1)	R04-II
42	Pj-R3-5	郭 徳俊	ブッシュと郭	マウント(仕様1)	R04-II
43	Pj-R3-6	郭 徳俊	クリントンIと郭	マウント(仕様1)	R04-II
44	Pj-R3-7	郭 徳俊	クリントンIIと郭	折れの補強、破れの繕い、マウント(仕様1)	R04-II
45	Pj-R3-8	郭 徳俊	ブッシュ2001と郭	マウント(仕様1)	R04-II
46	Pj-R3-9	郭 徳俊	ブッシュ2001IIと郭	マウント(仕様1)	R04-II
47	Pj-R3-10	郭 徳俊	オバマと郭	マウント(仕様1)	R04-II
48	Pf-201-07	マグリット,ルネ	扉はピロードのような夜に開く……/版画集『捨て児』《魅せられた領域》にもとづくリトグラフ	マウント(仕様1)	R05-I
49	Pj-H03-15	木村 秀樹	Pencil 2-2	マウント(仕様3)	R05-I
50	Pj-H23-067	井田 照一	Surface for the Paper Bag No.2	マウント(仕様3)	R05-I
51	Pj-H23-082	井田 照一	The Paper	マウント(仕様3)	R05-I
52	G-R03-1	西山 美なこ	♡ときめきエリカのテレホンクラブ♡ ポスター(独立展示用)	乾式洗浄、マウント(仕様3)、額新規作製*	R05-I
53	G-R03-2	西山 美なこ	♡ときめきエリカのテレホンクラブ♡ ポスター[墨消しあり](独立展示用)	乾式洗浄、マウント(仕様3)、額新規作製*	R05-I

* 令和3年度大和卓司氏遺贈記念取蔵に伴いG-R03-1、G-R03-2に共通の専用額を作製

〈彫刻〉

	目録番号	作家名	作品名	処置内容	備考
1	Sj-13	新宮 晋	遙かなリズム	可動部の点検、一部部品交換ならびに追加	屋外彫刻、外部委託業務
2	Sj-R03-4	菅 木志雄	中律-連界体	木部虫損部分への合成樹脂注入(バラロイドB72)、樹皮剥離部分再接着(バラロイドB72)、木部割れ部分補填(プレキシトルD498)と補彩(水彩絵具)、鋼管内部乾式洗浄、鋼管内部防錆処置(バラロイドB72)	R05-I

〈書〉

	目録番号	作家名	作品名	処置内容	備考
1	J-H04-6	水越 松南	蛮野新月	吊り金具交換	貸出
2	C-04	宇野 雪村	FUN(奮)	吊り金具交換	R05-I
3	C-05	宇野 雪村	ふるさと	吊り金具交換	R05-I
4	C-H03-33	井上 有一	鷹	吊り金具交換	R05-I
5	C-H05-67	森田 子龍	圓	吊り金具交換	R05-I
6	C-H15-038	榎倉 香邨	マナスル	吊り金具交換	R05-I

〈写真〉

	目録番号	作家名	作品名	処置内容	備考
1	F-R03-1	森村 泰昌	肖像(泉1)、肖像(泉2)、肖像(泉3)	付着物除去、吊り金具交換	特別展「関西の80年代」出品

〈資料〉

	目録番号	作家名	作品名	処置内容	備考
1			(吉原治良写真パネル)	パネルから作品分離、接着剤・付着部の除去・伸展	R04-II

〈寄託作品〉

洋画作品1点の処置を行った

〈特別展の補助作業〉

展覧会名	作業内容
関西の80年代	出品候補作品の調査、作品の搬入前状態点検、作品の簡易クリーニング作業、作家による修復作業立会い、作品燻蒸業務(業者委託)の管理、展示・撤収作業補助
李禹煥	展示作業補助
恐竜図鑑	所蔵作品の額装作業、借用作品の額装改善

【注記】

- ・作品の制作年、寸法、技法、材質などについては、当館ホームページの所蔵品データベースで検索が可能である。
- ・備考の「R04-II」、「R05-I」はそれぞれ「令和4年コレクション展II」、「令和5年コレクション展I」で活用したことを示している。
- ・マウントの仕様について
紙作品の展示・保管は中性紙ブックマットの装着を基本としている。また、作品の状態や展示効果によってマウントの方法は異なるため、担当学芸員と協議したうえでマウント仕様を決定している。なお、ブックマットは、当館が作成した使用材料、寸法などの指定に基づき、外部委託で作製されており、マットへの作品固定は保存担当学芸員が行っている。当館で行っている主なマウント仕様を以下に記す。
マウント仕様1：ブックマットに和紙のヒンジによる吊り下げ方式で作品を装着する。窓マットが作品の余白を覆う。
マウント仕様2：ブックマットに和紙の隠しヒンジによるフロート方式で作品を装着する。窓マットは作品の4辺より一回り大きく削り抜かれ、作品支持体の端まで見せる必要がある場合に用いる。
マウント仕様3：ペーパーハニカム又は厚手のマットを台紙として和紙のヒンジによるスリット方式で作品を装

着する。窓マットを意匠的に必要としない場合に用いる。

マウント仕様4：ブック型マットに中性紙を使用したコーナーヒンジで作品を装着する。作品のマット装着解除や入れ替えが容易にでき、寄託作品や一時的にマット装着が必要な場合に用いる。

・マウントに使用した主な材料

- マット : ライジングミュージアムボード (8ply、4ply)
特種東海製紙株式会社製ピュアマット (特厚口)
- ヒンジ : 楮100%手漉和紙 各種
- ヒンジ固定接着剤 : 生麩糊、メチルセルロース
- コーナーヒンジ : 特種東海製紙株式会社製ピュアガード、NESCHEN社フィルムプラスト P90
- ペーパーハニカム : タイコアマウンティングパネル (12.7mm厚)

・処置に使用した材料について

基本的な考え方として、作品に悪影響を及ぼさないこと、材質的に安定していること、将来的に除去できることを前提にして、個々の作品の状態にあったものを選択している。以下に主な材料を記す。

(油彩画)

絵具層の浮き上がり接着・剥落止め等：チョウザメ膠、ウサギ膠、アクリル樹脂パラロイドB72、エチレン酢酸ビニールエマルジョンD-8、ヒドロキシプロピルセルロース クルーセル G、水中分散型ブチルアクリレート・メチルメタクリレート型熱可塑性接着剤プレキシトールD498、水溶性アクリル接着剤498HV、アクリル系接着剤MFK (Medium fuer Konsolidierung)

(紙作品)

破れの繕い・折れの補強 : 楮100%手漉和紙各種、生麩糊、メチルセルロース
絵具層の浮き上がり接着・剥落止め : 三千本膠、チョウザメ膠

〈梅舒適コレクション等 絵画〉

*「梅舒適コレクション活用・研究事業」より保存修復費を負担

	目録番号	作家名	作品名	形態	員数	処置内容	備考
1	J-R03-01	大村 西崖	穹軸飛泉図	屏風	2曲1隻	洗浄、金箔面の破れ補修、紙蝶番に張り替え、元木枠・鋳金具使用	外部委託業務
2	EP-R04-015	王素	梅花仕女図	掛軸	1幅	改装	外部委託業務*
3	EP-R04-026	蒲華	四君子図	掛軸	4幅	改装	外部委託業務*
4	EP-R04-029	高槩	茶熟香温図	横披	1面	改装	外部委託業務*
5	EP-R04-048	呉昌碩	松石図	掛軸	1幅	改装、元軸先使用	外部委託業務*
6	EP-R04-067	呉昌碩	鳳仙花図	掛軸	1幅	改装	外部委託業務*
7	EP-R04-075	王冶梅	奇石図	掛軸	1幅	改装、元表装裂・軸先使用	外部委託業務*
8	EP-R04-082	倪田	故事人物図	掛軸	4幅	掛緒・卷緒交換	外部委託業務*
9	EP-R04-094	丁仁	紅梅図	掛軸	1幅	改装	外部委託業務*

〈梅舒適コレクション等 書跡〉

*「梅舒適コレクション活用・研究事業」より保存修復費を負担

	目録番号	作家名	作品名	形態	員数	処置内容	備考
1	EC-R04-009	祝世祿	行書五絶	掛軸	1幅	軸先接着、元軸先使用	外部委託業務*
2	EC-R04-021	笄重光	行書明德遊仙詞	掛軸	1幅	掛緒・卷緒交換	外部委託業務*
3	EC-R04-022	王澐	篆書七言聯	掛軸	2幅	改装	外部委託業務*
4	EC-R04-027	桂馥	隸書贈楊綰司徒詔語	掛軸	1幅	改装、元軸先使用	外部委託業務*
5	EC-R04-031	阮元	行書四屏	掛軸	4幅	掛緒・卷緒交換	外部委託業務*
6	EC-R04-033	陳鴻寿	隸書五言聯	掛軸	2幅	改装	外部委託業務*
7	EC-R04-035	陳鴻寿	行書七言聯	掛軸	2幅	改装	外部委託業務*
8	EC-R04-039	趙之琛	隸書六言聯	掛軸	2幅	改装	外部委託業務*
9	EC-R04-042	呉熙載	篆書景福殿賦	掛軸	4幅	改装	外部委託業務*
10	EC-R04-048	何紹基	行書七言聯	掛軸	2幅	改装	外部委託業務*
11	EC-R04-052	楊沂孫	篆書池上篇	掛軸	4幅	改装	外部委託業務*
12	EC-R04-054	陳介祺	行書七言聯	掛軸	2幅	改装	外部委託業務*
13	EC-R04-061	胡澐	篆書管子戒篇語	掛軸	1幅	欠損部分補修	外部委託業務*
14	EC-R04-090	呉昌碩	篆書八言聯	掛軸	2幅	改装	外部委託業務*
15	EC-R04-091	呉昌碩	篆書四言聯	掛軸	2幅	改装	外部委託業務*
16	EC-R04-092	呉昌碩	篆書樂地壺	横披	1面	改装	外部委託業務*
17	EC-R04-097	呉昌碩	行書七言聯	掛軸	2幅	改装	外部委託業務*
18	EC-R04-101	呉昌碩	篆書嚼梅花壺	横披	1面	改装	外部委託業務*

D 令和4年度収蔵図書資料

	令和4年度増減数				令和5年3月末総数			
	購 入	寄 贈	除 籍	小 計	購 入	寄 贈	除 籍	小 計
図 書	3	622		625	5,097	27,551	△ 19	32,629
カタログ		729		729	98	38,165	△ 19	38,244
逐次刊行物	299	675		974	13,471	38,088	△ 37	51,522
A Vソフト				0	468	120		588
合 計	302	2,026	0	2,328	19,134	103,924	△ 75	122,983

美術情報システムの構築と運用

当館は、平成14（2002）年4月の開館に伴い、より一層県民に親しまれる施設として、幅広い層への情報発信力を持つため、「美術情報システム」の運用を開始した。

「美術情報システム」では、当館全体のネットワークと、様々なデータベースを管理するサーバ群及びデータベースを利用するためのパソコン端末で構成する情報通信基盤を整備し、5分野の業務システムを構築し、運用している。

なお、平成29（2017）年3月と令和4（2022）年3月には、サーバ等において最新のセキュリティ対策を講じ、システムの機能改善やデータ保存容量拡張のため、システム全般の更新を行った。

各業務システムの概要は次のとおりである。

1. 学芸業務システム

美術館が所蔵する美術作品のデータベースを運用、管理し、美術作品情報の維持管理や、多様な履歴管理等を行うシステムである。

(1) 作品データベース管理

美術作品等情報関連の登録、修正、削除、検索操作や、美術作品の来歴、出品歴、修復歴、利用等の履歴管理を行うシステムである。

2. 蔵書管理システム

美術館が所蔵する蔵書のデータベースを運用、管理し、蔵書情報の維持管理や、多様な検索機能等を運用するシステムである。

(1) 蔵書データベース管理

美術関連図書資料等の登録、修正、削除、簡易検索・高度検索や、目録作成を行うシステムである。

3. 運営業務システム

美術館の事業を支援するためのシステムである。

(1) 施設スケジュール等管理

当館貸し施設の空き情報等を管理するシステムである。

(2) 電子メール管理

職員用電子メールの運用・管理するシステムである。

4. 来館者システム

所蔵美術作品や蔵書等、各システムで蓄積される情報を基にして、来館者向けに美術情報として提供するシステムである。

(1) 来館者用パソコン端末による情報提供

美術情報センターでは、来館者が操作するためのパソコンとして、来館者用パソコン端末6台を設置し、蔵書データベース及び所蔵美術作品データベースを検索できるシステムの運用により、様々な情報提供サービス等を行っている。

- ① 蔵書のデータベース検索サービスをパソコン4台で提供（約122,900冊）
- ② 所蔵美術作品のデータベース検索サービスをパソコン1台で提供（約13,000作品）
- ③ ネットミュージアム兵庫文学館の閲覧サービスをパソコン1台で提供

5. 情報発信システム

美術館内の情報発信サービスとして多言語コンテンツも含むwebページを作成し、美術館の展覧会案内やイベント案内、利用案内等に係る情報発信のほか、美術館が所蔵する美術作品や蔵書のデータベース検索サービスを提供している。

兵庫県立美術館西宮分館について

1. 施設概要

所在地：西宮市上甲東園1丁目10-40

区分	建築年	施設概要		
美術館棟 (未供用)	S48	土地	346.31㎡	1階：事務室、収蔵庫 2階：展示室 地階：機械室等
		建物	344.60㎡	
会議室棟 (R3.4.1供用開始)	H14	土地	278.01㎡	1階：和室（茶室8畳等） 2階：会議室（定員45名）
		建物	185.80㎡	



美術館棟



会議室棟（颯川グリーンホール）

2. 設置及び廃止の経緯

- ・令和元年10月 公益財団法人颯川美術館の解散にあたり、重要文化財を含む美術品とともに、旧颯川美術館の土地・建物をあわせて受贈
- ・令和2年3月 旧颯川美術館のコレクションを展示する施設として西宮分館を設置
※兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例（以下「設管条例」という。）の一部を改正する条例（以下「令和2年改正条例」という。）制定（供用開始：公布日から1年以内で教委規則で定める日）
- ・令和2年4月 西宮分館開設準備室の設置
新型コロナウイルス感染症の影響が拡大し、緊急事態措置等が実施され、①「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づく施設運営を行おうとした場合、三密対策のため一部の展示ケースが使用できず、十分な展示ができないこと、②新型コロナウイルス感染症の収束後もガイドラインに基づき展示を行うこととなる場合には、室内レイアウトの変更や、換気と展示資料の適切な温湿度管理を両立させる空調の再検討等から設計の見直しを検討
- ・令和2年6月 設計の見直しの必要性等から美術館棟の改修は見合わせ、会議室棟のみ改修工事を実施（令和2年11月完了）
- ・令和3年3月 美術館棟について、新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえた活用方法の検討、整備等を行うため、供用開始を延期
※令和2年改正条例の一部を改正する条例制定（供用開始：公布日から3年以内で教委規則で定める日に延期）
- ・令和3年4月 会議室棟のみ供用開始
※令和2年改正条例の一部の施行期日を定める教委規則制定
- ・令和5年3月 新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえて活用方法の再検討を行ったが、密を避けた鑑賞環境

を確保した場合、当初計画の入館者数が見込めず、多額の改修経費を要してまでの費用対効果が十分に見込めないため、展示施設としての供用を断念し、令和3年4月に供用開始済の会議室棟とあわせて、西宮分館を廃止

※設管条例及び令和2年改正条例の一部を改正する条例制定（供用開始済の会議室棟の廃止（設管条例の改正）・未供用の美術館棟の廃止（令和2年改正条例の改正））

3. 会議室棟（颯川グリーンホール）利用実績

【令和3年度】

	会議室		和室	
	回数	利用者数	回数	利用者数
4月	0	0	0	0
5月	0	0	0	0
6月	0	0	0	0
7月	0	0	0	0
8月	0	0	1	4
9月	0	0	1	4
10月	0	0	3	22
11月	1	35	1	5
12月	0	0	0	0
1月	6	69	0	0
2月	4	49	0	0
3月	8	137	2	10
合計	19	290	8	45

【令和4年度】

	会議室		和室	
	回数	利用者数	回数	利用者数
4月	5	71	3	20
5月	7	82	3	19
6月	2	34	3	20
7月	8	91	3	20
8月	6	48	3	18
9月	8	83	5	34
10月	5	37	3	16
11月	9	86	7	47
12月	8	77	4	19
1月	9	45	4	22
2月	11	107	2	8
3月	14	303	12	66
合計	92	1,064	52	309

(単位：回数)

		令和3年度	令和4年度
会議室	コンサート・発表会	0	7
	会議・研修会	1	15
	音楽関係サークル活動等	3	53
	その他	15	16
	計	19	92
和室	茶道サークル活動	6	42
	その他	2	10
	計	8	52



2階会議室



1階和室

4. 西宮分館廃止後の対応

(1) 美術品

寄贈を受けた美術品については、多くの入館者数が見込める県立美術館本館において定期的に展覧会を開催するなど、より効果的な活用を図ることで、当初計画以上の目的を果たしていく。

※寄贈作品の詳細については『令和3年度 兵庫県立美術館年報』pp.132-157参照

(2) 土地・建物

- ①美術館棟 建物・土地をあわせて売却を予定
- ②会議室棟 県立西宮高等学校の教育施設として活用

関係法規

- A. 兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例
- B. 兵庫県立美術館管理規則
- C. 兵庫県立美術館の管理に関する規程
- D. 兵庫県立美術館の運営にかかる有識者会議開催要綱
- E. 兵庫県立美術館作品収集会議開催要綱
- F. 兵庫県立美術館美術品取扱要綱
- G. 美術情報システム運用管理規程
- H. 美術品等取得基金条例

A 兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例

(昭和45年3月31日
条例第15号)

改正 昭和46年3月25日条例第11号 昭和52年3月26日条例第18号
昭和53年3月25日条例第27号 昭和55年3月26日条例第5号
昭和56年3月27日条例第11号 平成4年3月27日条例第7号
平成14年3月27日条例第32号 平成16年3月26日条例第7号
平成18年3月24日条例第2号 平成18年9月28日条例第53号
平成19年3月16日条例第9号 平成21年3月23日条例第8号
平成22年3月19日条例第6号 平成24年3月21日条例第8号
平成26年3月20日条例第8号 平成29年3月23日条例第7号
平成31年3月19日条例第5号 令和2年3月24日条例第15号
令和3年3月5日条例第6号 令和5年3月1日条例第6号

兵庫県立近代美術館の設置及び管理に関する条例をここに公布する。

兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例

題名改正〔平成14年条例32号〕

(設置)

第1条 美術に関する県民の知識及び教養の向上を図るとともに、芸術の振興を図るため、兵庫県立美術館（以下「美術館」という。）を置く。

2 美術館に、分館として、王子分館を置く。

一部改正〔平成14年条例32号・令和2年15号・5年6号〕

(位置)

第2条 美術館の本館（以下「本館」という。）の位置は、神戸市中央区脇浜海岸通1丁目とする。

2 王子分館の位置は、神戸市灘区原田町3丁目とする。

全部改正〔平成14年条例32号〕、一部改正〔平成24年条例88号・令和2年15号・5年6号〕

(業務)

第3条 美術館は、その目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

(1) 美術品及び美術その他の芸術に関する図書、文献、模写、模造、写真、フィルム、テープ等（以下「美術館資料」という。）を収集し、保管し、展示し、及びこれを県民の利用に供すること。

(2) 美術その他の芸術に関する展覧会、講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。

(3) 美術その他の芸術に関する講座を開設すること。

(4) 美術その他の芸術の創作、研究等又は美術に関する展覧会の開催その他芸術の振興を目的とする事業のために美術館の施設を県民の利用に供すること。

(5) 美術品及び美術館資料に関する学術調査及び研究を行うこと。

(6) 美術品の保存及び修復を行うこと。

(7) 他の美術館、研究機関等との相互協力を行うこと。

(8) 前各号に掲げるもののほか、美術館の目的を達成するために必要な業務

一部改正〔昭和53年条例27号・55年55号・平成14年32号〕

(職員)

第4条 美術館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(美術品の観覧)

第5条 本館に常時展示している美術品を観覧しようとする者は、別表第11に定める額の観覧料を納めなければならない。

2 本館に特別に展示している美術品を観覧しようとする者は、別表第22に定める額の範囲内で教育委員会規則で定める額の観覧料を納めなければならない。

3 教育委員会は、特別に展示している美術品に係る観覧料について、前項に規定する額により難いと認めるときは、同項の規定にかかわらず、当該観覧料の額を展示の内容等に応じて定めることができる。

4 王子分館に展示している美術品を観覧しようとする者は、当該美術品の観覧に係る料金を納めなければならない。

全部改正〔平成14年条例32号〕、一部改正〔平成19年条例99号・2424年88号・令和2年15号〕

(美術品の特別の観覧)

第6条 本館に展示し、又は保管している美術品について学術研究等のために模写、模造、撮影等をしようとする者は、教育委員会の許可を受け、1点1回につき、3,200円の範囲内で教育委員会規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

2 王子分館に展示し、又は保管している美術品について学術研究等のために模写、模造、撮影等をしようとする者は、教育委員会の許可を受け、当該美術品の特別の観覧に係る料金を納めなければならない。

一部改正〔昭和55年条例5号・平成14年32号・24年8号・26年8号・31年5号・令和2年15号〕

(入館の拒否)

第7条 教育委員会は、美術館に入館しようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を拒否することができる。

(1) 他人に危害を及ぼし、若しくは迷惑となる行為をするおそれがある者又はそのおそれのある物品、動物その他これらに類するものを携帯する者

(2) 施設又は展示品を損傷するおそれがあると認められる者（遵守事項等）

第8条 美術館に入館した者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 展示品に触れないこと。

(2) 展示品の近くでインキ等を使用しないこと。

(3) 許可を受けないで模写、模造、撮影等を行わないこと。

(4) 所定の場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。

(5) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑となる行為をしないこと。

2 教育委員会は、美術館に入館した者が前項の規定に違反したとき、又は美術館の管理上必要な指示に従わないときは、その者に対して、退館を命ずることができる。

一部改正〔昭和53年条例27号〕

(講座の受講)

第8条の2 本館において美術その他の芸術に関する講座を受講しようとする者は、教育委員会の許可を受け、16,800円を超えない範囲内で教育委員会規則で定める額の受講料を納めなければならない。

2 王子分館において美術その他の芸術に関する講座を受講しようとする者は、教育委員会の許可を受け、当該講座の受講に係る料金を納めなければならない。

追加〔昭和55年条例5号〕、一部改正〔平成14年条例32号・24年8号・26年8号・31年5号・令和2年15号〕

(施設の利用)

第9条 別表第3に掲げる本館の施設を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受け、同表に定める使用料を納めなければならない。

2 別表第4に掲げる王子分館の施設を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受け、当該施設の利用に係る料金を納めなければならない。

3 教育委員会は、前2項の利用の許可を受けた者が美術館の管理上支障がある行為をするおそれがあると認めるとき、又は当該施設を他人に転貸したと認めるときは、前2項の利用の許可を取り消し、又は当該施設の利用を制限し、若しくは停止することができる。

一部改正〔昭和53年条例27号・平成14年32号・18年2号・24年8号・令和2年15号・5年6号〕

(原状回復の義務等)

第10条 美術館を利用する者は、その責めに帰すべき理由によりその施設、設備、美術品又は美術館資料を滅失し、又は損傷したときは、これを原状に回復し、又はこれに要する費用を負担しなければならない。

全部改正〔昭和53年条例27号〕、一部改正〔平成14年条例32号〕

(観覧料等の免除)

第11条 教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、第5条第1項から第3項までの観覧料、第6条第1項の特別観覧料、第8条の2第1項の受講料及び第9条第1項の使用料の全部又は一部を免除することができる。

一部改正〔昭和55年条例5号・平成24年8号・令和2年15号・5年6号〕

(観覧料等の不還付)

第12条 既に納めた観覧料、特別観覧料、受講料及び使用料は、返還しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

一部改正〔昭和53年条例27号・55年5号〕

(王子分館の管理)

第13条 教育委員会は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、王子分館の管理を指定管理者(同項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に行わせる。

2 第5条第4項、第6条第2項、第8条の2第2項及び第9条第2項に規定する料金(以下「利用料金」という。)は、指定管理者にその収入として収受させる。

3 利用料金の額は、別表第4から別表第6までに定める基準額に0.5を乗じて得た額から当該基準額に1.5を乗じて得た額までの範囲内の額で、指定管理者が教育委員会の承認を受けて定めるものとする。ただし、利便施設について、公募に付して、価格その他の条件が最も有利なものをもって申込みをした者に利用させる場合にあっては、その者の申込みに係る価格に相当する額とする。

4 指定管理者は、教育委員会の承認を受けた基準により、利用料金の全部又は一部を免除し、又は返還することができる。

全部改正〔平成18年条例2号〕、一部改正〔平成22年条例6号・24年8号・令和2年15号〕

(補則)

第14条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理に関して必要な事項は、教育委員会規則で定める。

一部改正〔平成14年条例32号〕

附 則

この条例は、昭和45年10月10日から施行する。ただし、第4条及

び第9条の規定は、昭和45年4月1日から施行する。

附 則(昭和46年3月25日条例第11号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(昭和52年3月26日条例第18号)

(施行期日)

1 この条例は、昭和52年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日前に改正前の兵庫県立近代美術館の設置及び管理に関する条例第9条第1項の規定に基づき使用の許可を受けた者に係る使用料の額については、改正後の兵庫県立近代美術館の設置及び管理に関する条例別表第3の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(昭和53年3月25日条例第27号)

この条例は、昭和53年4月1日から施行する。

附 則(昭和55年3月26日条例第5号抄)

(施行期日)

1 この条例は、昭和55年4月1日から施行する。(後略)

附 則(昭和56年3月27日条例第11号抄)

(施行期日)

1 この条例は、昭和56年4月1日から施行する。(後略)

(経過措置)

4 昭和56年4月1日前に第3条から第11条まで、第13条、第16条から第25条まで及び第27条から第31条までの規定による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき利用、使用又は受講の許可を受けた者(第18条の規定による改正前の兵庫県立勤労青少年寮の設置及び管理に関する条例の規定に基づき寮室の利用の許可を受けた者を除く。)に係る使用料又は受講料の額については、第3条から第11条まで、第13条、第16条から第25条まで及び第27条から第31条の規定による改正後のそれぞれの条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成4年3月27日条例第7号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成4年4月1日から施行する。ただし、(中略)第18条から第20条までの規定は同年4月8日(中略)から施行する。

附 則(平成14年3月27日条例第32号)

(施行期日)

1 この条例は、平成14年4月1日から施行する。ただし、第1条の改正規定(美術館の分館に係る部分に限る。)、第2条の改正規定(美術館の分館に係る部分に限る。)、第13条を第14条とし、第12条の次に1条を加える改正規定及び別表第3の改正規定(美術館の分館に係る部分に限る。)は、公布の日から起算して1年を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。

(平成14年9月教育委員会規則第17号で、同14年10月1日から施行)

2 美術品取得基金条例(昭和46年兵庫県条例第16号)の一部を次のように改正する。

第1条中「兵庫県立近代美術館」を「兵庫県立美術館」に改める。

附 則(平成16年3月26日条例第7号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成16年4月1日から施行する。(後略)

附 則(平成18年3月24日条例第2号)

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成18年9月28日条例第53号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成19年3月16日条例第9号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成19年4月1日から施行する。（後略）

附 則（平成21年3月23日条例第8号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

(1) ～ (7) (略)

(8) 第7条の規定 公布の日から起算して6月を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日（平成21年8月教育委員会規則第13号で、同21年9月1日から施行）

附 則（平成22年3月19日条例第6号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成22年4月1日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

(1) ・ (2) (略)

(3) (前略) 第36条中兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例第13条第3項にただし書を加える改正規定及び同条例別表第4に利便施設の款を加える改正規定（中略）規則で定める日（平成24年3月規則第17号で、同24年4月1日から施行）

(4) ～ (6) (略)

(7) 第36条中兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例別表第2の改正規定 平成22年4月5日

(8) (略)

附 則（平成24年3月21日条例第8号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

(1) ・ (2) (略)

(3) 第3条の規定（兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例別表第4の改正規定を除く。） 公布の日から起算して9月を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日（平成24年10月教育委員会規則第13号で、同24年11月3日から施行）

附 則（平成26年3月20日条例第8号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。（後略）

（経過措置）

4 施行日前に第9条、第14条、第18条、第20条、第47条、第48条、第50条、第52条及び第53条の規定による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき利用の許可を受けた者に係る使用料の額については、第9条、第14条、第18条、第20条、第47条、第48条、第50条、第52条及び第53条の規定による改正後のそれぞれの条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成29年3月23日条例第7号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成31年3月19日条例第5号）

（施行期日）

1 この条例は、平成31年4月1日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

(1) ～ (4) (略)

(5) 第1条中使用料及び手数料徴収条例別表第1、別表第2並びに別表第4の15の部、36の部、58の部（5）の款、64の2の部備考

(1)、65の部備考3（1）並びに66の部備考1（1）及び備考3（1）

の改正規定並びに第2条、第4条から第15条まで、第17条から第45条まで及び第47条から第55条までの規定 平成31年10月1日（経過措置）

2 第2条の規定による改正後の使用料及び手数料徴収条例別表第4の69の部（1）の款の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後に同款に規定する証明書の交付の申請をする者について適用する。

3 施行日前に第4条、第14条、第18条、第21条、第23条、第48条、第49条、第51条、第53条及び第54条の規定による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき利用の許可を受けた者に係る使用料の額については第4条、第14条、第18条、第21条、第23条、第48条、第49条、第51条、第53条及び第54条の規定による改正後のそれぞれの条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和2年3月24日条例第15号）

改 正（令和3年3月5日条例第6号）

（令和5年3月1日条例第6号）

この条例は、令和2年4月1日から施行する。ただし、第9条の改正規定（同条第2項中「分館」を「王子分館」に改める部分を除く。）、第11条及び第13条第2項の改正規定、別表第1の次に1表を加える改正規定並びに別表第3の次に1表を加える改正規定は、公布の日から起算して3年を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。（第9条第2項の改正規定（「第9条第2項」を「第9条第3項」に改める部分に限る。）及び別表3の次に1表を加える改正規定については、令和3年3月教育委員会規則第6号で、同3年4月1日から施行）

附 則（令和3年3月5日条例第6号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（令和5年3月1日条例第6号）

この条例は、令和5年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定は、公布の日から施行する。

別表第1（第5条関係）

区分	観覧料(1人につき)		備 考
	個人	団体	
一 般	円 500	円 400	1 「大学生」とは、大学及びこれに準ずる学校の学生をいう。 2 「高校生以下」とは、高等学校、中学校、小学校及びこれらに準ずる学校の生徒及び児童並びに就学前の者をいう。 3 「団体」とは、20人以上の場合をいう。 4 常時展示している美術品と特別に展示している美術品とを併せて観覧する場合は、左欄に掲げる個人で観覧するときのそれぞれの額の5分の3の額とする。 5 4により算出した額に50円未満の端数が生じたときはその端数を切り捨て、50円以上100円未満の端数が生じたときはその端数を50円とする。
大学生	400	300	
高校生以下	無 料		

全部改正〔平成29年条例77号〕

別表第2（第5条関係）

区分	特別展示観覧料(1人につき)		備 考
	個人	団体	
一 般	円 2,000	円 1,600	1 「大学生」とは、大学及びこれに準ずる学校の学生をいう。 2 「高校生以下」とは、高等学校、中学校、小学校及びこれらに準ずる学校の生徒及び児童並びに就学前の者をいう。 3 「団体」とは、20人以上の場合をいう。
大学生	1,500	1,200	
高校生	無 料		

全部改正〔平成29年条例7号〕

別表第3（第9条関係）

区 分		使 用 料				備 考
		10時から 12時まで	13時から 18時まで	10時から 18時まで	特別利用 時 間	
ホ ー ル	土曜日、日曜日及び 休日に利用する場合	円 11,200	円 28,000	円 39,200	円 16,800	1 入場料その他これに類するものを徴収する利用の場合は、左欄に掲げるそれぞれの額の2分の3の額とする。 2 商品の販売、宣伝等の営業行為を伴う利用の場合は、左欄に掲げるそれぞれの額の2倍に相当する額とする。 3 展示室を利用する場合で、その面積の4分の3、2分の1又は4分の1の面積を利用するときは、左欄に掲げるそれぞれの額の4分の3、2分の1又は4分の1の額とする。 4 3により算出した使用料の額に50円未満の端数が生じたときはその端数を切り捨て、50円以上100円未満の端数が生じたときはその端数を50円とする。 5 「特別利用時間」とは、金曜日及び土曜日において、教育委員会が必要があると認めて開館時間を変更したときの10時から18時まで以外の利用時間をいう。 6 「休日」とは、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日をいう。 7 「平日」とは、土曜日、日曜日及び休日以外の日をいう。
	平日に利用する場合	9,900	24,600	34,500	14,900	
講 義 室		3,300	8,000	11,300	5,000	
展 示 室	土曜日、日曜日及び 休日に利用する場合	15,000	37,600	52,600	22,500	
	平日に利用する場合	13,200	33,100	46,300	19,800	
ア ト リ エ	土曜日、日曜日及び 休日に利用する場合	3,000	7,300	10,300	4,500	
	平日に利用する場合	2,600	6,400	9,000	3,900	
附 属 設 備		別に教育委員会規則で定める額				
利 便 施 設		使用料及び手数料徴収条例（平成12年兵庫県条例第12号）別表第1建物使用料の款専用使用の項の規定の例により算定した額（一般競争入札又は指名競争入札に付して、予定価格の制限の範囲内の価格をもって申込みをした者のうち、価格その他の条件が県にとって最も有利なものをもって申込みをした者に対して利用を許可する場合にあっては、当該入札の落札者の申込みに係る価格に相当する金額）				

全部改正〔平成14年条例32号〕、一部改正〔平成16年条例7号・18年2号・53号・22年6号・26年8号・29年7号・31年5号〕

別表第4（第9条、第13条関係）

区 分		基 準 額				備 考	
		10時から 12時まで	13時から 18時まで	10時から 18時まで	特別利用 時 間		
会 議 室	A	円 1,900	円 4,700	円 6,600	円 2,900	1 入場料その他これに類するものを徴収する利用の場合は、左欄に掲げるそれぞれの額の2分の3の額とする。 2 商品の販売、宣伝等の営業行為を伴う利用の場合は、左欄に掲げるそれぞれの額の2倍に相当する額とする。 3 展示室A又はBを利用する場合で、その面積の4分の3、2分の1又は4分の1の面積を利用するときは、左欄に掲げるそれぞれの額の4分の3、2分の1又は4分の1の額とする。 4 3により算出した額に50円未満の端数が生じたときはその端数を切り捨て、50円以上100円未満の端数が生じたときはその端数を50円とする。 5 「特別利用時間」とは、金曜日及び土曜日において、教育委員会が必要があると認めて開館時間を変更したときの10時から18時まで以外の利用時間をいう。 6 「休日」とは、国民の祝日に関する法律に規定する休日をいう。 7 「平日」とは、土曜日、日曜日及び休日以外の日をいう。	
	B	600	1,600	2,200	900		
講 義 室	A	2,900	7,100	10,000	4,400		
	B	2,100	5,300	7,400	3,200		
展 示 室	A	土曜日、日曜日及び 休日に利用する場合	17,100	42,800	59,900		25,700
		平日に利用する場合	15,000	37,600	52,600		22,500
	B	土曜日、日曜日及び 休日に利用する場合	8,300	20,400	28,700		12,500
		平日に利用する場合	7,200	17,900	25,100	10,800	
	C	土曜日、日曜日及び 休日に利用する場合	3,300	8,000	11,300	5,000	
		平日に利用する場合	2,900	7,100	10,000	4,400	

展示室	D	土曜日、日曜日及び 休日に利用する場合	3,100	7,600	10,700	4,700
		平日に利用する場合	2,800	6,700	9,500	4,200
収 蔵 庫		1平方メートルにつき1日 100円				
利 便 施 設		使用料及び手数料徴収条例別表第1建物使用料の款 専用使用の項の規定の例により算定した額				
附 属 設 備		別に教育委員会規則で定める額				

追加〔平成18年条例2号〕、一部改正〔平成18年条例53号・21年8号・22年6号・24年8号・26年8号・29年7号・31年5号〕

別表第5（第13条関係）

区 分	基準額 (1人につき)		備 考	
	個人	団体		
美術品の 観覧に係 る料金	一 般	円 1,000	円 800	1 「大学生」とは、大学及びこれに 準ずる学校の学生をいう。 2 「高校生以下」とは、高等学校、 中学校、小学校及びこれらに準ずる 学校の生徒及び児童並びに就学前の 者をいう。 3 「団体」とは、20人以上の場合を いう。
	大学生	800	600	
	高校生 以下	無 料		

全部改正〔平成29年条例7号〕

別表第6（第13条関係）

区 分	基 準 額
美術品の特別の観覧に 係る料金	1点1回につき、3,200円の範囲内で教育委員会 規則で定める額
講座の受講に係る料金	16,800円を超えない範囲内で教育委員会規則で 定める額

追加〔平成24年条例8号〕、一部改正〔平成26年条例8号・31年5号〕

B 兵庫県立美術館管理規則

(昭和45年4月1日)
教育委員会規則第18号

改正 昭和46年9月10日教育委員会規則第16号
昭和46年12月28日教育委員会規則第20号
昭和47年4月1日教育委員会規則第26号
昭和47年9月30日教育委員会規則第29号
昭和48年4月1日教育委員会規則第9号
昭和50年8月1日教育委員会規則第16号
昭和51年8月1日教育委員会規則第12号
昭和53年4月1日教育委員会規則第9号
昭和55年3月28日教育委員会規則第12号
昭和57年3月31日教育委員会規則第6号
昭和58年4月1日教育委員会規則第8号
昭和58年4月1日教育委員会規則第9号
昭和62年4月1日教育委員会規則第8号
平成4年3月27日教育委員会規則第10号
平成4年10月26日教育委員会規則第19号
平成14年3月29日教育委員会規則第10号
平成16年3月26日教育委員会規則第14号
平成18年3月31日教育委員会規則第10号
平成22年3月31日教育委員会規則第6号
平成23年3月29日教育委員会規則第8号
平成24年10月26日教育委員会規則第14号
平成26年3月28日教育委員会規則第7号
平成29年3月31日教育委員会規則第4号
平成31年3月29日教育委員会規則第7号
令和3年3月30日教育委員会規則第7号
令和3年9月28日教育委員会規則第12号
令和5年3月24日教育委員会規則第2号

兵庫県立近代美術館管理規則をここに公布する。

兵庫県立美術館管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、兵庫県立美術館の設置及び管理に関する条例(昭和45年兵庫県条例第15号。以下「条例」という。)第14条及び公の施設の指定管理者の指定等に関する条例(平成16年兵庫県条例第2号)第4条の規定に基づき、兵庫県立美術館(以下「美術館」という。)の管理に関して必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 美術館の開館時間は、10時から18時までとする。ただし、金曜日及び土曜日のうち、条例第5条第2項に規定する美術品を特別に展示する日の本館及び同条第4項に規定する美術品を展示する日の分館の開館時間は、10時から20時までとする。

2 美術館には、閉館時刻の30分前以降は入館することができない。

3 第1項の規定にかかわらず、教育委員会は、必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 美術館の休館日は、次の各号に掲げる日とする。

(1) 月曜日。ただし、月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときは、その翌日(当該翌日が同法に規定する祝日に当たるときは、その翌々日)と

する。

(2) 1月1日から同月4日まで及び12月28日から同月31日までの日
2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

(観覧料の納付)

第4条 条例第5条の規定により美術館に展示されている美術品を観覧しようとする者は、観覧料を納めて観覧券の交付を受けなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認める場合には、あらかじめ観覧券の交付を受け、観覧を終了した後に納付することができる。

2 観覧券の発売時間は、開館時刻から閉館時刻の30分前までとする。

(特別展示観覧料)

第5条 条例第5条第2項に規定する特別展示の場合の観覧料は、教育委員会が定める。

(特別の観覧の許可等)

第6条 条例第6条の規定により特別の観覧をしようとする者は、特別観覧許可申請書(様式第1号)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の特別観覧許可申請書の提出があった場合において、特別観覧の許可を決定したときは、特別観覧許可書を申請者に交付するものとする。

3 条例第6条第1項に規定する教育委員会規則で定める特別観覧料の額は、別表第1のとおりとする。

(講座の受講の許可等)

第7条 条例第8条の2の規定により美術その他の芸術に関する講座を受講しようとする者は、講座受講許可申請書(様式第2号)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の講座受講許可申請書の提出があった場合において、受講の許可を決定したときは、講座受講許可書を申請者に交付するものとする。

3 条例第8条の2第1項に規定する教育委員会規則で定める受講料の額は、別表第2のとおりとする。

(施設の利用の許可等)

第8条 条例第9条第1項の規定により本館の施設を利用しようとする者又は同条第2項の規定により王子分館の施設を利用しようとする者は、当該施設を利用しようとする日の5日前までに、兵庫県立美術館利用許可申請書(様式第3号。以下「利用許可申請書」という。)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、利便施設を利用しようとする者は、教育委員会が指定する期間に、兵庫県立美術館利便施設事業申請書(様式第4号。以下「利便施設事業申請書」という。)に、利便施設の利用計画を記載した図面その他教育委員会が必要と認める書類を添付して提出しなければならない。

3 教育委員会は、利用許可申請書又は利便施設事業申請書の提出があった場合において、利用の許可を決定したときは、兵庫県立美術館利用許可書(以下「利用許可書」という。)を申請者に交付するものとする。

4 利便施設に係る利用許可書の交付を受けた者は、その利用の内容を変更しようとするときは、あらかじめ兵庫県立美術館利便施設事業内容変更承認申請書(様式第5号。以下「利便施設事業内容変更承認申請書」という。)に、既に交付を受けた利用許可書その他教育委員会が必要と認める書類を添えて、これを教育委員会に提出し、その承認を受けなければならない。

5 教育委員会は、利便施設事業内容変更承認申請書を受理した場合において、当該申請の内容がやむを得ないものであると認めるときは、これを承認するものとする。この場合においては、第3項の規定を準用する。

6 利用許可書の交付を受けた者は、その者の住所又は氏名（法人及び団体にあっては、所在地又は名称）を変更したときは、速やかにその旨を教育委員会に通知しなければならない。

7 第3項の許可を受けて美術館の本館又は王子分館の施設を利用した者が、入場料を徴収した場合には、当該施設の利用期間満了後、直ちに、当該利用期間における入場者数及び徴収した入場料の額を教育委員会に届け出なければならない。

（利用等の許可の基準等）

第9条 教育委員会は、第6条第1項の特別観覧許可申請書、第7条第1項の講座受講許可申請書、前条第1項の利用許可申請書又は同条第2項の利便施設事業申請書の提出があった場合において、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、条例第6条、条例第8条の2、条例第9条第1項又は同条第2項の許可をしないものとし、その理由を付して当該申請をした者に文書で不許可の通知をするものとする。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 美術館の施設又は設備を損傷するおそれがあるとき。
- (3) 集团的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、美術館の管理上支障があるとき。

2 第6条第2項、第7条第2項又は前条第3項の場合において、教育委員会は、美術館の管理上必要があるときは、当該許可に条件を付することができる。

（本館の附属設備の使用料の額）

第10条 条例別表第3の規定により、別に教育委員会規則で定める額は、別表第3のとおりとする。

（分館の附属設備の利用料金の基準額）

第11条 条例別表第4の規定により、別に教育委員会規則で定める額は、別表第4のとおりとする。

（分館の美術品の特別の観覧に係る料金及び講座の受講に係る料金の基準額）

第11条の2 条例別表第6の規定により、教育委員会規則で定める額は、別表第5及び別表第6のとおりとする。

（本館の特別観覧料、受講料及び使用料の納付）

第12条 特別観覧許可書、講座受講許可書及び利用許可書（美術館の本館に係るものに限る。）の交付を受けた者は、直ちに、特別観覧料、受講料及び使用料を納付しなければならない。ただし、使用料については、教育委員会が特別の理由があると認める場合には、当該利用の終了後に納付することができる。

2 前項の規定にかかわらず、利便施設について条例第9条第1項及び第2項の許可を受けた場合であって、当該許可の期間が翌年度以降にわたるときは、翌年度以降の使用料は、毎年度、当該年度分をその年度の初めに納付するものとする。

（観覧料等の免除）

第13条 条例第11条の規定により教育委員会が観覧料（特別展示観覧料を含む。）、特別観覧料、受講料及び使用料（以下「観覧料等」という。）の全部又は一部を免除することができる場合及びその場合における免除の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 70歳以上の者が、その身分を証する書面を提示して観覧するとき。観覧料（特別展示観覧料を含む。）の2分の1に相当す

る額

- (2) 教育委員会が特別の理由があると認めるとき。観覧料等に相当する額のうち教育委員会が必要と認める額（観覧料等の還付）

第14条 条例第12条ただし書の規定により教育委員会が観覧料等の全部又は一部を返還することができる場合及びその場合における返還する額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 観覧料等を納めた者が、その責めに帰することができない理由により観覧、特別観覧、講座の受講又は施設の利用ができなくなったとき。観覧料等に相当する額

- (2) 使用料を納めた者が、次に掲げる期日までに施設の利用の取消しを申し出た場合において、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるとき。

ア 利用の日の7日前までのとき。当該使用料の全額

イ 利用の日の3日前までのとき（アに該当する場合を除く。）。当該使用料の2分の1に相当する額

- 2 条例第12条ただし書の規定により観覧料等の返還を受けようとする者は、兵庫県立美術館観覧料等還付請求書（様式第6号）を教育委員会に提出しなければならない。

（寄託又は寄贈）

第15条 美術館に美術品の寄託又は寄贈をしようとする者は、教育委員会に申し出て、その承認を受けなければならない。

（権限の委任）

第16条 教育委員会は、条例及びこの規則の規定により本館の管理に関する教育委員会の権限に属する事務を教育長に委任する。

- 2 教育長は前項の事務の一部を館長に委任することができる。

（管理）

第17条 条例及びこの規則に基づく分館の管理に関する教育委員会の権限のうち、条例第13条第3項本文及び第4項並びに第15条及び次条第2項に基づく権限以外の権限は、条例第13条第1項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）が行うものとする。

（補則）

第18条 この規則に定めるもののほか、本館の管理に関して必要な事項は、教育長が定める。

- 2 この規則に定めるもののほか、分館の管理に関して必要な事項は、指定管理者が教育委員会の承認を受けて定める。

附 則

この規則は、昭和45年10月10日から施行する。ただし、第1章、第2章、第3章中第11条及び第13条、第4章並びに第5章の規定は、公布の日から施行する。

附 則（昭和46年9月10日教育委員会規則第16号）

この規則は、昭和46年9月15日から施行する。

附 則（昭和46年12月28日教育委員会規則第20号）

この規則は、昭和47年1月1日から施行する。

附 則（昭和47年4月1日教育委員会規則第26号抄）

（施行期日）

- 1 この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和47年9月30日教育委員会規則第29号）

この規則は、昭和47年10月1日から施行する。

附 則（昭和48年4月1日教育委員会規則第9号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和50年8月1日教育委員会規則第16号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和51年8月1日教育委員会規則第12号）
この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和53年4月1日教育委員会規則第9号）
この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和55年3月28日教育委員会規則第12号）
この規則は、昭和55年4月1日から施行する。

附 則（昭和57年3月31日教育委員会規則第6号）
この規則は、昭和57年4月1日から施行する。

附 則（昭和58年4月1日教育委員会規則第8号）
この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和58年4月1日教育委員会規則第9号抄）
（施行期日）

1 この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和62年4月1日教育委員会規則第8号抄）
（施行期日）

1 この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成4年3月27日教育委員会規則第10号）
この規則は、平成4年4月1日から施行する。ただし、第1条中第10条第1号を削る改正規定、同条第2号を同条第1号とする改正規定及び同条第3号を同条第2号とする（中略）改正規定は、平成4年4月8日から施行する。

附 則（平成4年10月26日教育委員会規則第19号）
この規則は、平成4年11月1日から施行する。

附 則（平成14年3月29日教育委員会規則第10号）
この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成16年3月26日教育委員会規則第14号）
この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成18年3月31日教育委員会規則第10号）
この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成22年3月31日教育委員会規則第6号抄）
（施行期日）

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。ただし、第3条の規定による改正後の兵庫県立美術館管理規則第13条第1号の規定は、特別展示観覧料の免除については、平成22年4月5日から適用する。

附 則（平成23年3月29日教育委員会規則第8号抄）
（施行期日）

1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成24年10月26日教育委員会規則第14号）
この規則は、平成24年11月3日から施行する。

附 則（平成26年3月28日教育委員会規則第7号）
（施行期日）

1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則の施行の日前に第2条から第4条まで、第6条及び第7条の規定による改正前のそれぞれの規則の規定に基づき利用の許可を受けた者に係る使用料の額については、第2条から第4条まで、第6条及び第7条の規定による改正後のそれぞれの規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成29年3月31日教育委員会規則第4号）
この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成31年3月29日教育委員会規則第7号）
（施行期日）

1 この規則は、平成31年10月1日から施行する。（後略）

（経過措置）

2 この規則の施行の日前に第1条及び第2条の規定による改正前のそれぞれの規則の規定に基づき利用の許可を受けた者に係る使用料の額については、第1条及び第2条の規定による改正後のそれぞれの規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和3年3月30日教育委員会規則第7号）

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則（令和3年9月28日教育委員会規則第12号抄）
（施行期日）

1 この規則は、公布の日から施行する。

（経過措置）

2 この規則による改正後のそれぞれの規則の規定による申請書その他の書類については、この規則の施行の際現に残存するこの規則による改正前のそれぞれの規則の規定（以下この項において「旧様式」という。）による用紙に限り、旧様式によることができる。

附 則（令和5年3月24日教育委員会規則第2号）

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

別表第1（第6条関係）

区 分	特別観覧料（1点1回につき）	
熟 覧	250円	
模 写・模 造	3,200円	
撮 影	学術研究を目的とする場合	学術研究以外を目的とする場合
	単色	250円
	原色	450円
原 板 使 用	3,200円	

備考

- 1 屏風は、1双を1点とする。
- 2 1揃えをなす巻子は、3巻以内を1点とする。
- 3 対幅は、3幅以内を1点とする。
- 4 普通個別の美術品は、各個を1点とする。
- 5 撮影は、同一作品について原板3枚以内を1回とする。

別表第2（第7条関係）

区 分	受 講 料	
短 期 講 座	入門コース	3,200円
	応用コース	6,300円
中 期 講 座	入門コース	9,500円
	応用コース	12,500円
長 期 講 座	16,800円	
1 日 講 座	1,000円	

別表第3（第10条関係）

附属設備	使用料
グランドピアノ	1台につき 8,400円
駐 車 場	車1台当たり駐車時間2時間（美術館の利用者以外の者が利用する場合は、1時間）につき400円とし、これらの時間を超えるときは、30分につき200円を加算した額とする。
持込み電気器具用コンセント	1キロワットにつき 250円
持込み電気器具用コンセント（録音器具を持ち込む場合）	持込み器具1式につき 2,100円
持込み電気器具用コンセント（録画器具を持ち込む場合）	持込み器具1式につき 3,200円
持込み電気器具用コンセント（ミキシングセットを持ち込む場合）	持込み器具1式につき 5,200円

備考

- 1 ピアノの調律は、利用者が行うこと。
- 2 駐車時間に30分に満たない端数があるときは、これを30分とする。
- 3 持込み電気器具用コンセントを利用する場合の1キロワットとは、持込み電気器具の定格消費電力量の1キロワットをいい、当該定格消費電力量の合計量に1キロワットに満たない端数があるときは、これを1キロワットとする。

別表第4 (第11条関係)

附属設備	基準額
グランドピアノ	1台につき 8,400円
駐 車 場	車1台当たり駐車時間2時間（美術館の利用者以外の者が利用する場合は、1時間）につき400円とし、これらの時間を超えるときは、30分につき200円を加算した額とする。
持込み電気器具用コンセント	1キロワットにつき 250円
持込み電気器具用コンセント (録音器具を持ち込む場合)	持込み器具1式につき 2,100円
持込み電気器具用コンセント (録画器具を持ち込む場合)	持込み器具1式につき 3,200円
持込み電気器具用コンセント (ミキシングセットを持ち込む場合)	持込み器具1式につき 5,200円

備考

- 1 ピアノの調律は、利用者が行うこと。
- 2 駐車時間に30分に満たない端数があるときは、これを30分とする。
- 3 持込み電気器具用コンセントを利用する場合の1キロワットとは、持込み電気器具の定格消費電力量の1キロワットをいい、当該定格消費電力量の合計量に1キロワットに満たない端数があるときは、これを1キロワットとする。

別表第5 (第11条の2関係)

区 分	特別の観覧に係る料金の基準額 (1点1回につき)	
熟 覧	250円	
模 写 ・ 模 造	3,200円	
撮 影		学術研究を目的とする場合
	単色	250円
	原色	450円
原板使用	3,200円	

備考

- 1 屏風は、1双を1点とする。
- 2 1揃えをなす巻子は、3巻以内を1点とする。
- 3 対幅は、3幅以内を1点とする。
- 4 普通個別の美術品は、各個を1点とする。
- 5 撮影は、同一作品について原板3枚以内を1回とする。

別表第6 (第11条の2関係)

区 分	講座の受講に係る料金の基準額	
短 期 講 座	入門コース	3,200円
	応用コース	6,300円
中 期 講 座	入門コース	9,500円
	応用コース	12,500円
長 期 講 座	16,800円	
1 日 講 座	1,000円	

様式第1号 (第6条関係)

様式第1号 (第6条関係)

特別観覧許可申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所 (法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)
氏名 (法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話 _____ 番

次のとおり申請します。

品 目	点 数	所 有 者	備 考
観覧希望日時	年 月 日	時から	時まで
研究の方法	熟覧	模写	模造
研究の目的	撮影	原板使用	

様式第2号 (第7条関係)

様式第2号 (第7条関係)

講座受講許可申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住 所 _____
氏 名 _____
電 話 _____ 番

次のとおり申請します。

受 講 講 座 名

様式第3号 (第8条関係)

様式第3号 (第8条関係)

兵庫県立美術館利用許可申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所 (法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)
氏名 (法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話 _____ 番

次のとおり申請します。

利 用 目 的			
利 用 室 名			
附属設備の名称			
期 間	年 月 日 時から	年 月 日 時まで	
入 場 料	無 料	有 料	利用者数又は 推定入場者数
備 考	大 人	学 生	

様式第4号（第8条関係）

様式第4号（第8条関係）

兵庫県立美術館利便施設事業申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所（法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地）
 氏名（法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名）
 電話 番

次のとおり申請します。

利便施設の用途	
事業を行うとする利便施設	
事業を行うとする期間	年 月 日から 年 月 日まで
※ 使 用 料	円
※ 備 考	

(注) 1 ※印の欄は、申請者において記入しないでください。
 2 自動販売機の設置の事業を行うとする場合には、利便施設の用途の欄に、設置する自動販売機の台数を付記してください。

様式第5号（第8条関係）

様式第5号（第8条関係）

兵庫県立美術館利便施設事業内容変更承認申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所（法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地）
 氏名（法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名）
 電話 番

次のとおり申請します。

事 項	変 更 前	変 更 後
利便施設の用途		
事業を行う利便施設		
事業を行う期間	年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日から 年 月 日まで
変更の理由		

(注) 自動販売機の設置の事業を行う場合には、利便施設の用途の欄に、設置する自動販売機の台数を付記してください。

様式第6号（第14条関係）

様式第6号（第14条関係）

兵庫県立美術館観覧料等選付請求書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所（法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地）
 氏名（法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名）
 電話 番
 電子メール 番

次のとおり請求します。

許可の年月日及び番号	年 月 日 第 号
返還請求の内容	※選付金の内訳
利用等の日時	年 月 日から (日 時間) 年 月 日まで
既 納 付 額	円
返還を望むようとする理由	
※選 付 率	パーセント
※選 付 額	円

(注) 1 ※印の欄は、申請者において記入しないでください。
 2 領収書等納付したことを証する書類を添付してください。

C 兵庫県立美術館の管理に関する規程

（昭和58年4月1日）
 教育長訓令第5号）

改正 平成4年3月31日教育長訓令第3号
 平成14年3月29日教育長訓令第1号
 平成18年4月1日教育長訓令第3号

本 庁
 美 術 館

兵庫県立近代美術館の管理に関する規程を次のように定める。
 兵庫県立美術館の管理に関する規程

（趣旨）

第1条 この訓令は、兵庫県立美術館管理規則（昭和45年兵庫県教育委員会規則第18号。以下「規則」という。）第18条第1項の規定に基づき、兵庫県立美術館の管理に関して必要な事項を定めるものとする。

（権限の委任）

第2条 教育長は、規則第16条第1項の規定により委任された事務のうち、規則第5条及び第13条第2号に規定する事務以外の事務を館長に委任する。

附 則

この訓令は、公布の日から施行する。

附 則（平成4年3月31日教育長訓令第3号）

この訓令は、平成4年4月1日から施行する。

附 則（平成14年3月29日教育長訓令第1号）

この訓令は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成18年4月1日教育長訓令第3号）

この訓令は、公布の日から施行する。

D 兵庫県立美術館の運営にかかる有識者会議開催要綱

1 目的

兵庫県立美術館の運営のあり方等について、有識者等の意見を聴取するため、兵庫県立美術館の運営にかかる有識者会議（以下「有識者会議」という。）を開催する。

2 検討事項

- (1) 兵庫県立美術館の運営方針
- (2) 兵庫県立美術館の事業計画
- (3) 前各号に掲げるもののほか、兵庫県立美術館の運営に関し必要な事項

3 運営

- (1) 有識者会議は、別表に掲げる者をもって構成する。
- (2) 有識者会議の開催に係る委員の招集は兵庫県立美術館館長（以下「館長」という。）が行う。
- (3) 有識者会議の議事を進行するため、委員の互選により、座長を選任する。座長は、委員の承認を得て、委員の中から座長代理を指名することができる。
- (4) 座長代理は、座長に事故があるときはその職務を代理する。
- (5) 館長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に有識者会議への出席を求め、その意見を聴くことができる。

4 謝金・旅費

- (1) 委員が有識者会議に出席したときは、謝金及び旅費を支給する。
- (2) 前項の謝金の支給については、別に定める。
- (3) 第1項の額は、職員等の旅費に関する条例（昭和35年兵庫県条例第44号）の規定により算出した額に相当する額とする。

5 委任

この要綱に定めるもののほか、有識者会議の開催に関して必要な事項は、別に定める。

6 附則

- (1) この要綱は、令和2年10月11日から施行する。
- (2) この要綱は、令和3年11月1日から施行する。
- (3) この要綱は、令和4年10月6日から施行する。
- (4) この要綱は、令和5年3月31日限り、その効力を失う。

(別表)

(五十音順)

氏名	職名
足羽 與至子	一橋大学大学院社会学研究科教授
安藤 忠雄	建築家
家次 恒	株式会社シスメックス代表取締役会長兼社長CEO
井戸 敏三	公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構特別顧問
岩田 弘三	株式会社ロックフィールド会長
酒井 忠康	世田谷美術館館長 美術館連絡協議会理事長
高梨 柳太郎	株式会社神戸新聞社代表取締役社長
玉岡 かおる	作家
藪田 貫	兵庫県立歴史博物館館長

E 兵庫県立美術館作品収集会議開催要綱

1 目的

兵庫県立美術館（以下「美術館」という。）における美術作品の収集等専門的事項を適切に処理するため、兵庫県立美術館作品収集会議（以下「会議」という。）を開催する。

2 検討事項

- (1) 美術作品収集の検討に関する事。
- (2) その他美術作品に関する専門的事項に関する事。

3 組織及び運営

- (1) 会議は、別表に掲げる者をもって構成する。
- (2) 会議は座長を置く。座長は構成員の互選により選任する。座長は構成員の承認を得て、構成員の中から座長代理を指名することができる。
- (3) 座長代理は、座長に事故があるときは職務を代理する。
- (4) 会議の招集は、美術館館長（以下「館長」という。）が行う。
- (5) 会議は、構成員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。
- (6) 館長は、必要があるときは、構成員以外の者に会議への出席を求め、その意見を聴くことができる。

4 謝金・旅費

- (1) 構成員が会議に出席したときは、謝金及び旅費を支給する。
- (2) 謝金の支給については別に定める。
- (3) 旅費の額は、職員等の旅費に関する条例（昭和35年兵庫県条例第44号）の規定により算出した額に相当する額とする。
- (4) 3 (6) で出席を求めた者も構成員と同様の取扱とする。

5 補則

この要綱に定めるもののほか、会議の開催に関して必要な事項は館長が定める。

6 附則

- (1) この要綱は、平成31年4月1日から施行する。
- (2) この要綱は、令和5年3月31日限り、効力を失う。
- (3) この要綱の別表の一部改正は、令和3年4月1日から適用する。

別表

(五十音順)

氏名	職名
尾崎 信一郎	鳥取県博物館館長
加須屋 明子	京都市立芸術大学教授
島 敦彦	国立国際美術館長
菅谷 富夫	大阪中之島美術館長
不動 美里	姫路市立美術館副館長
拝戸 雅彦	愛知県美術館長
山野 英嗣	和歌山県立近代美術館長

F 兵庫県立美術館美術品取扱要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、美術館に美術品の寄託及び寄贈をしようとする場合並びに美術館が美術品の貸付け及び借入れをする場合に必要事項を定めるものとする。

2 以下各条の手続きは兵庫県財務規則に基づいてこれを行う。

(寄託の申出)

第2条 美術品の寄託をしようとする者は、美術品寄託申出書(様式第1号)を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

(寄託期間)

第3条 寄託期間は3年とする。ただし、館長が必要と認めるときは、これを短縮することができる。

(寄託品の預り及び返還)

第4条 館長は、美術品の寄託を受けたときは、寄託者に預り証(様式第2号)を公布する。

2 館長は、前項の寄託品を返還するときは、預り証と引換えに寄託者に引渡すものとする。

3 寄託品の返還を受けようとする者が寄託者の代理人であるときは、委任状その他これを証する書面を添えなければならない。

(寄託品の譲渡)

第5条 寄託者が寄託品を譲渡したときは、すみやかに預り証に所有権の移転を証する書面を添え、これを館長に提出しなければならない。

(預り証の再交付)

第6条 寄託者が預り証を亡失し、または損傷した場合は、その理由を記載し、損傷の場合にあってはその預り証を添え、すみやかに館長に再交付の申請をしなければならない。

(寄託品の保存等)

第7条 館長は、寄託品の展示及び保存その他の取扱いについては、美術館に所蔵する美術品に準じて行う。

2 館長は前項の取扱いについて、補修の必要を認めるときは寄託者に必要な指示を行うことがある。

(寄贈)

第8条 美術品の所有者は、美術品を寄贈しようとするときは寄贈申込書(様式第3号)を館長に提出しなければならない。

(寄贈の決定)

第9条 館長は、前項の申込みがあった場合は受入れの適否を決定し当該申込者に通知する。

(美術品の一時預り等)

第10条 館長は、受入れ適否を決定するため、美術品の一時預り、写真その他の資料の提出等を求めることがある。

(貸付け)

第11条 館長は、美術館に所蔵する美術品を公私立美術館又はこれに準ずる者(以下「美術館等」という。)に貸付けることができる。

(貸付けの申請)

第12条 美術品の貸付けを受けようとする美術館等は、美術品、借用の目的、借用期間、保存方法等を記載した申請書を館長に提出しなければならない。

(貸付けの許可)

第13条 館長は、前項の申込みがあった場合において、美術館の業務に支障がないと認めるときは、これを許可することができる。

2 前項の貸付期間は、2箇月をこえることができない。ただし特別の事情があると認めるときは、この限りでない。

(貸付け条件)

第14条 美術品を貸付ける場合の条件は、次の各号に定めるとおりとする。

- 1 貸付品の貸付期間中の保管は、貸付を受けた者の責任とする。
- 2 貸付に伴うすべての経費は、貸付を受けた者の負担とする。
- 3 貸付期間中に貸付品が亡失し、又は損傷した場合には貸付を受けた者が賠償の責めを負うものとする。

4 前各号に掲げるもののほか、館長は、必要があると認める条件を付けることができる。

(借用書の提出)

第15条 貸付けの許可を受けた者は、貸付けを受けるとき、館長に借用書を提出しなければならない。

(借入れ)

第16条 館長は、美術館が主催する展覧会に展示するため美術品の所有者の承認を得て美術品を借入れることができる。

第17条 美術品を借入れる場合の条件は、原則として次の各号に定めるとおりとする。

- 1 借入れた美術品の借入れ期間中の保管の責任を有する。
- 2 借入れ期間中に、借入れた美術品を亡失し、または損傷した場合は、その補償をする。ただし、天災その他不可抗力による場合はその限りではない。

3 借入れに基づくすべての経費を負担する。

4 所有者の承認を受けなければ、美術品の所蔵先を公表しない。

5 美術館で発行する展覧会目録、若しくは美術館に記録として保管するため、または報道機関に対して資料を提供する場合のほか、所有者の承認を得ないで写真の撮影及び複写等を行わないものとする。

(借用書の発行)

第18条 館長は、美術品を借入れたときは、所有者に借用書(様式第4号)を発行する。

(美術品の返還)

第19条 館長は、借入れた美術品を返還する場合は、借用書と引換えに所有者に美術品を返還する。

(補則)

第20条 この要綱に定めるもののほか、施行に関して必要な事項は、館長が教育長と協議して定めるものとする。

附 則

この要綱は、昭和45年10月5日から施行する。

附 則 (昭和53年8月25日改定)

1 この要綱の一部改正は昭和53年9月1日から施行する。

附 則 (平成14年4月1日改定)

1 この要綱の一部改正は平成14年4月1日から施行する。

様式第1号

年 月 日

美術品寄託申出書

兵庫県立美術館館長様

現住所
氏 名 〇
(電話)

次の美術品を寄託したいので申請します。

記

作品名

作家名

材 質

規 格

寄託期間 年 月 日から
年 月 日まで

備 考

様式第2号

兵美第 号

預 託 原 符

預 託 年 月 日

兵美第 号	預託発行 年 月 日	分 類
	預託却 年 月 日	
出品者 住所	兵庫県立美術館長 兵庫県立美術館出納員	
氏名		
<p style="text-align: center;">下記的美術品種にお預かりいたしました。</p> <p style="text-align: center;">記</p>		引継封印
		返却者印

様式第3号

年 月 日

寄 贈 申 込 書

兵庫県立美術館館長様

現住所
氏 名 〇

作品名

作家名

材 質

規 格

備 考

上記の美術品を県立美術館の所蔵品として寄贈したいので採納ください。

様式第4号

兵美第 号

借 用 書 原 符

借 用 書 年 月 日

兵美第 号	借用発行 年 月 日	分 類
	借用却 年 月 日	
出品者 住所	兵庫県立美術館長	
氏名		
<p style="text-align: center;">下記的美術品種かに借用了いたしました。</p> <p style="text-align: center;">記</p>		引継封印
		返却者印

G 美術情報システム運用管理規程

第1章 体制

(目的)

第1条 この規程は、兵庫県立美術館が開発、運用している美術情報システムの運用管理に関して必要な事項を定めるものとする。

(運用管理者)

第2条 美術情報システムの適正な運用を図るために、美術情報システムの運用管理者を置く。

2 運用管理者には兵庫県立美術館館長をもって充てる。

3 運用管理者は、美術情報システムの運用に関して、安全性及び信頼性を確保するため情報セキュリティ対策の実施手順（以下「実施手順」という。）を策定するものとする。

4 運用管理者は、兵庫県情報セキュリティ対策指針（以下「指針」という。）及び実施手順の遵守状況を適宜点検し、これらの実効性が保たれるよう必要な措置を講ずるものとする。

(利用責任者)

第3条 美術情報システムの適正な利用を確保するために、美術情報システムの利用責任者を置く。

2 利用責任者には兵庫県立美術館副館長をもって充てる。

3 利用責任者は、指針及び実施手順が遵守されるよう必要な措置を講ずるものとする。

(利用者)

第4条 美術情報システムの利用ができる者（以下「利用者」という。）は、兵庫県立美術館に勤務する職員、臨時職員、嘱託員、日々雇用職員及びその他運用管理者が認めた者とする。

2 利用者は、運用管理者及び利用責任者の指示に従い、美術情報システムの適切な利用を行わなければならない。

3 利用者は、不正アクセス行為の禁止等に関する法律（平成11年法律第128号）、個人情報の保護に関する条例（平成8年兵庫県条例第24号）及びその他関係法令を遵守し、これに従わなければならない。

第2章 美術情報システム用パソコンの運用管理

(美術情報パソコンの設置、返却等)

第5条 利用者は、美術情報システム用パソコン（以下「美術情報パソコン」）の運用管理について、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 人事異動等により美術情報パソコンの増設、移設、利用者変更又は不要になった場合は、速やかに利用責任者に報告するものとする。

(2) 美術情報パソコンにソフトウェアの追加、削除又は変更を行う場合、周辺機器を接続する場合は、利用責任者に協議するものとする。

(3) 利用責任者は、前項による協議があったときは、その適否について検討し、その結果を当該利用者に通知するものとする。

(美術情報パソコンの利用)

第6条 利用者は、美術情報パソコンの適切な管理に努めるほか、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 美術情報パソコンにソフトウェアを無断で追加、削除、変更又は複写しないこと。

(2) 利用責任者があらかじめ設定したIPアドレス、コンピュータ名、その他基本ソフトの設定を無断で変更しないこと。

- (3) 美術情報パソコンの磁気ディスク装置に作成したファイルのバックアップを行うこと。
- (4) 美術情報パソコンの利用者が変更となる場合、前利用者は作成したファイルを整理すること。
- (5) 美術情報パソコンの接続場所や接続方法を無断で変更しないこと。
- (6) その他美術情報パソコンや美術情報システムの利用に支障を及ぼす行為を行わないこと。

第3章 物理的セキュリティ対策

(機器の設置)

第7条 運用管理者は、美術情報システムの機器の設置について、次の各号に掲げる措置を講じるものとする。

- (1) 耐震対策として、美術情報パソコンを設置した室は免震構造を備えた鉄骨鉄筋コンクリート造とする。
- (2) 防火対策として、スプリンクラー、消火器を設置するものとする。
- (3) 防犯対策として、館内の通路、主な部屋への入退室は通報機能を備えた電気錠の入退室管理システムによるものとする。
- (4) 美術情報パソコンを設置した室は、中央監視室で制御する空調設備により室温の適正な管理を行うものとする。
- (5) 美術情報パソコンの操作は、利用者のID及びパスワードによることとし、利用者以外の者が容易に操作できないようにするものとする。

(情報処理室の設置管理)

第8条 運用管理者は、情報処理室（美術情報システムのサーバやネットワーク機器を設置し独立した室をいう。）について、次の各号に掲げる措置を講じるものとする。

- (1) 耐震対策として、情報処理室は免震構造を備えた鉄骨鉄筋コンクリート造とする。
- (2) 防火対策として、スプリンクラー、消火器を設置するものとする。
- (3) 防犯対策として、情報処理室への入退室は通報機能を備えた電気錠の入退室管理システムによるものとする。
- (4) 情報処理室は、独立した空調設備により室温の適正な管理を行うものとする。
- (5) 利用責任者は、美術情報担当職員、専任システムエンジニア及び利用責任者が特に認めた者以外の者については、情報処理室に入室させてはならない。
- (6) 前号の規定により利用責任者が特に認めた者が情報処理室へ入室しようとするときは、事前に、利用責任者の確認を得、美術情報担当職員又は専任システムエンジニアの立会いにより入室するものとする。なお、入退室時に入退室記録簿へ所要の事項を記入するものとする。
- (7) 情報処理室へ機器等を搬入する場合は、事前に、利用責任者へ許可申請書及び既存システムの安全性が確認できる作業計画書を提出するものとする。

第4章 人的セキュリティ対策

(情報資産の管理)

第9条 情報資産（美術情報システムの利用等に係るすべての電磁的に記録されたデータをいう。）の管理にあたって、利用者は次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) データのき損、滅失等に備えるため、利用者は、美術情報パソコンのデータのバックアップをバックアップフォルダ（職員共有パソコンのハードディスク）へ定期的に保管するものとする。
- (2) バックアップフォルダは、利用者毎にセキュリティが確保されたものとする。
- (3) 利用責任者の許可を得ず、美術情報システムで処理するデータ及びその複製を定められた場所から移動させてはならないものとする。
- (4) 退庁時及び長時間離席する場合は、使用する美術情報パソコン等の電源を切るものとする。
- (5) その他、自己の管理する情報が他に流出しないよう保護するものとする。

2 利用責任者は、サーバのデータをバックアップ装置へ保管し、データのき損、滅失等に備えるものとする。

- (1) 毎日1回、全データをバックアップ装置へ保管するものとする。
- (2) 毎月1回、バックアップ記録媒体を装置から取り出し、保管庫で収納、管理するものとする。

(記録媒体の管理)

第10条 情報資産をフロッピーディスク、MO等の記録媒体で管理する場合は、次の各号に掲げる措置を講じるものとする。

- (1) フロッピーディスク、MO等取り出し可能な記録媒体は、紛失や盗難、損傷の防止のために適切な管理を行うものとする。
- (2) 記録媒体は、施錠可能な場所に保管し、管理簿を設けるなど適切な管理を行うものとする。
- (3) 記録媒体が不要となった場合は、当該媒体に含まれる情報を記録媒体の初期化などにより、情報を復元できないように消去を行った上で廃棄するものとする。

(利用禁止行為)

第11条 利用者は、美術情報システムの利用について次の各号に掲げる行為を行ってはならない。

- (1) 業務に関連しない目的で美術情報システムを利用すること。
- (2) 法令又は公序良俗に反した利用を行うこと。
- (3) 他の利用者又は第三者の著作権、人権及びプライバシーを侵害する恐れのある利用を行うこと。
- (4) 情報の改ざん、き損及び滅失並びに虚偽の情報提供を行うこと。
- (5) 通信を阻害する行為及び情報資産に損害又は不利益を及ぼす利用を行うこと。
- (6) 職務上知り得た秘密を漏洩すること。

2 利用責任者は、前項に該当する利用が行われていると認める場合は当該利用者に対して美術情報システムの利用を停止することができる。

(ID及びパスワードの管理)

第12条 利用者は、自己の保有するIDとパスワードに関し、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 他の利用者のIDは使わないこと。
- (2) パスワードは十分な長さ（英数字8文字以上）とし、文字列はアルファベット、数字を混在させるなど容易に推定できないものとする。
- (3) パスワードは定期的に変更し、古いパスワードの再利用はしないこと。
- (4) パスワードを秘密にし、パスワードの照会等には一切応じないこと。

(5) パスワードの盗用や漏えいがあった場合は、直ちに利用責任者に連絡すること。

(6) その他、ID及びパスワードの適正な管理を行うこと。

(教育)

第13条 利用責任者は、すべての利用者が美術情報システム運用管理規定について理解を深め、遵守を徹底するよう、情報セキュリティ対策に関する研修と普及啓発を行うものとする。

(事故等の報告)

第14条 利用者は、情報資産の流出、漏えい、改ざん、美術情報システムの障害及び誤動作等の事故（以下「事故等」という。）を発見した場合には、直ちに利用責任者に報告し、その指示に従い必要な措置を講じるものとする。

2 美術情報パソコンに生じたソフトウェア障害の復旧については、原則として利用責任者が対応するものとする。

3 美術情報パソコンに生じたハードウェア障害の復旧については、原則として利用責任者が対応するものとする。

4 前項の規定に関わらず、利用者が適切な利用や管理を行わないために発生したハードウェア障害は利用者の負担により対応するものとする。

(外部委託に関する管理)

第15条 運用管理者は、美術情報システムの運用管理を外部委託事業者に委託するにあたり、遵守すべき事項を明記した契約を締結するものとする。

2 運用管理者は、外部委託事業者の責任者や業務に携わる社員の名簿を作成するものとする。

3 運用管理者は、身分証明書の提示を外部委託事業者に求めるなどにより、契約で定められた資格を有するものが作業に従事しているか確認を行うものとする。

第5章 技術的セキュリティ対策

(アクセス記録の取得等)

第16条 利用責任者は、インターネットサーバ、メールサーバ、ファイアウォールへのアクセス記録を取得し、ハードディスクに2年間保存するものとする。

2 利用責任者は、アクセス記録等を分析、監視するものとする。

3 利用責任者は、管理者権限（美術情報システムのあらゆる機能を制限なく使用できる権限）の許可を美術情報担当課長及び専任システムエンジニア（以下「サーバ管理者」）にのみ与えるものとする。

4 利用責任者は、サーバ管理者に、美術情報システムを管理、運用させるものとする。

(利用者の管理)

第17条 利用責任者は、美術情報システムの利用者登録、変更、抹消等、利用者の登録情報を適正に管理するものとする。

2 システムへのアクセスは、利用者の範囲を最小限とし、異なったアクセス権限（美術情報システムの機能を使用できる権限）を設定することにより、データベースの信頼性を確保するものとする。

(外部ネットワークとの接続)

第18条 美術情報システムと美術情報システム以外のネットワーク（以下「外部ネットワーク」）との接続は原則として禁止する。

2 運用管理者は、電子メールなど業務の効率化に必要な機能を提供するため、インターネットと接続するものとする。

3 外部からの美術情報システムへの不正アクセスを防止するた

め、ファイアウォールを運用するものとする。

(コンピュータウイルス対策)

第19条 コンピュータウイルスによるサーバへの被害を防止するため、全てのサーバにサーバ用ウイルス対策ソフトを導入するものとする。

(1) 新種ウイルスに対応できるように、最新のパターンファイルはサーバが自動的にダウンロードし、指定したサーバへ自動配信するものとする。

(2) 毎日1回、全データのウイルスチェックを行い、併せて、リアルタイムでのウイルスチェックを行うものとする。

2 コンピュータウイルスによる美術情報パソコンへの被害を防止するため、全ての美術情報パソコンにウイルスバスターを導入するものとする。

(1) 新種ウイルスに対応できるように、最新のパターンファイルはサーバが自動的にダウンロードし、美術情報パソコンへ自動配信するものとする。

(2) リアルタイムでのウイルスチェックにより、メール添付ファイルやフロッピーディスク等からのウイルス感染を防止するものとする。

(3) 美術情報パソコンでウイルスが発見された場合、専任システムエンジニアへウイルス検出メールが自動的に送信され、専任システムエンジニアが迅速に対応するものとする。

(管理情報)

第20条 運用管理者はネットワーク管理情報、ハードウェア管理情報、ソフトウェア管理情報を作成し、情報処理室において厳重に保管するものとする。

(1) ネットワーク管理情報として、システム構成図、ネットワーク体系図、IPアドレス管理簿等を作成、更新し、厳重に保管するものとする。

(2) ハードウェア管理情報として、機器名、型番、設置場所等を記録した管理簿を作成、更新し、厳重に保管するものとする

(3) ソフトウェア管理情報として、名称、利用パソコン等を記録した管理簿を作成、更新し、厳重に保管するものとする。

第6章 運用面の対策

(システムの監視)

第21条 利用責任者は、美術情報システムの円滑な運用を確保するため、サーバ、ネットワーク、データベース等の常時監視を行い、障害が起きた際は速やかに対応するものとする。

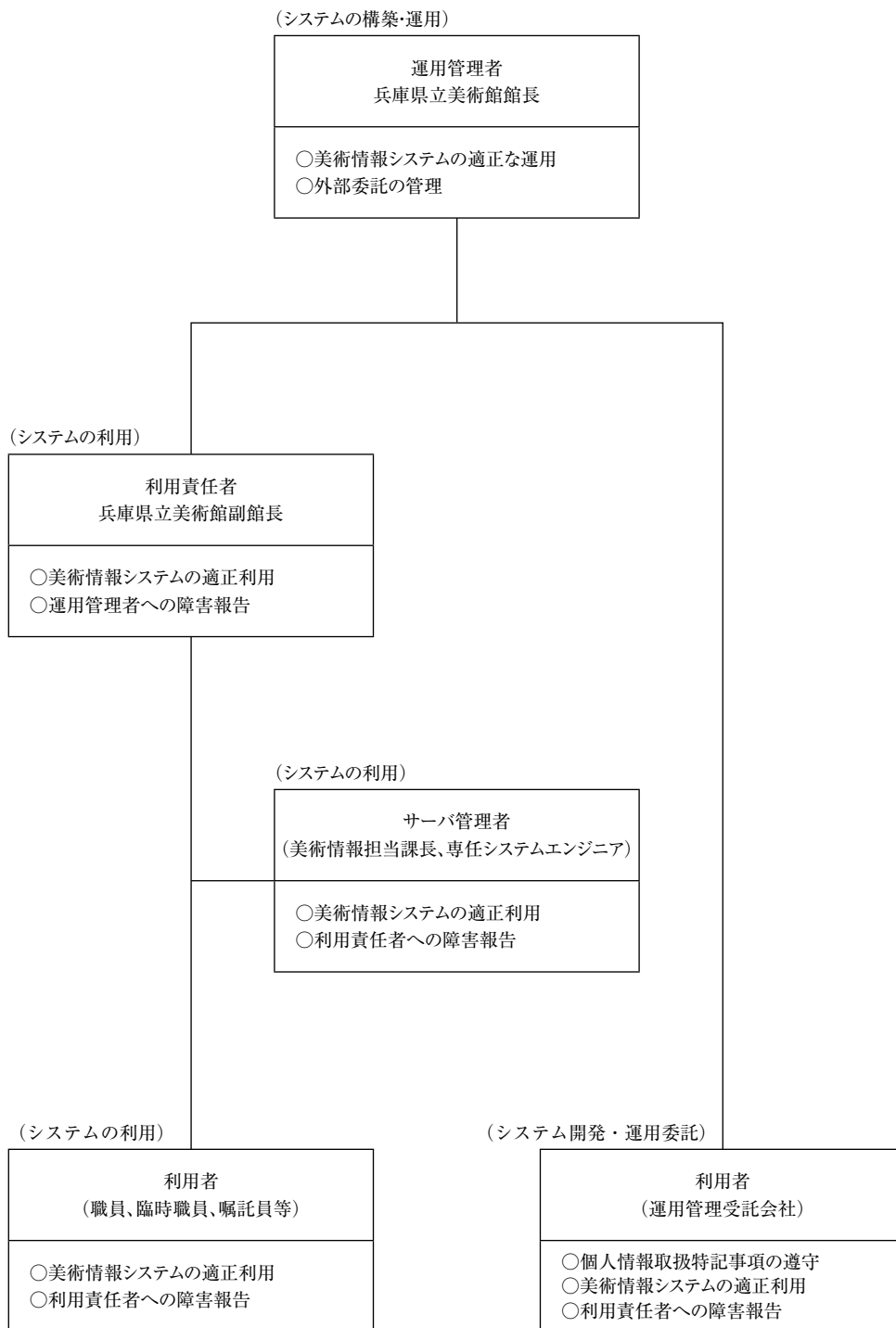
(連絡体制)

第22条 運用管理者は、災害等が発生した場合に備えて、緊急体制表を作成するものとする。

附則

この規定は、平成15年3月31日から適用する。

美術情報システム運用管理体制



Ⅱ 美術品等取得基金条例

(昭和46年3月25日)
条例第16号)

改正 平成11年10月8日条例第43号 平成14年3月27日条例第32号
平成15年3月17日条例第37号 平成17年3月28日条例第15号
平成19年2月28日条例第2号 平成19年3月16日条例第25号
令和5年3月1日条例第2号

美術品取得基金条例をここに公布する。

美術品等取得基金条例

題名改正〔平成15年条例37号〕

(設置)

第1条 兵庫県立美術館の美術品及び美術館資料、兵庫県立歴史博物館、兵庫県立人と自然の博物館及び兵庫県立考古博物館の博物館資料並びに兵庫陶芸美術館の陶芸美術品等（以下「美術品等」という。）を円滑に取得するため、美術品等取得基金（以下「基金」という。）を設置する。

一部改正〔平成14年条例32号・15年37号・17年15号・19年25号〕

(基金の額)

第2条 基金の額は、5,000万円とする。

- 2 基金から生ずる収入は、基金に積み立てるものとする。
- 3 必要があると認めるときは、予算の定めるところにより基金に追加して積み立てることができる。
- 4 前2項の場合において、基金の額は、積立額相当額を増加した額とする。

(運用)

第3条 知事は、基金をもって美術品等を取得することができる。

一部改正〔平成15年条例37号・令和5年2号〕

(管理)

第4条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他確実有利な方法により保管するものとする。

一部改正〔平成19年条例2号〕

(繰替運用)

第5条 知事は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用し、又は歳入歳出予算の定めるところにより、その歳入に繰り入れて運用することができる。

一部改正〔平成11年条例43号・19年2号・令和5年2号〕

(補則)

第6条 この条例に定めるもののほか、基金の管理に関して必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則（平成11年10月8日条例第43号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成14年3月27日条例第32号抄）

(施行期日)

- 1 この条例は、平成14年4月1日から施行する。（後略）

附 則（平成15年3月17日条例第37号）

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成17年3月28日条例第15号）

この条例は、兵庫陶芸美術館の設置及び管理に関する条例（平成17年兵庫県条例第14号）の施行の日から施行する。

附 則（平成19年2月28日条例第2号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成19年3月16日条例第25号）

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（令和5年3月1日条例第2号）

この条例は、令和5年3月31日から施行する。



委員及び職員名簿（令和4年度）

1. 有識者会議構成員名簿

委員	足羽 與志子
〃	安藤 忠雄
〃	家次 恒
〃	井戸 敏三
〃	岩田 弘三
〃	酒井 忠康
〃	高梨 柳太郎
〃	玉岡 かおる
〃	藪田 貫（五十音順）
〃	（令和4年10月6日現在）

2. 作品収集会議構成員名簿

構成員	尾崎 信一郎
〃	加須屋 明子
〃	島 敦彦
〃	菅谷 富夫
〃	不動 美里
〃	拝戸 雅彦
〃	山野 英嗣（五十音順）
〃	（令和3年4月1日現在）

3. 職員名簿

館長	長 蓑 豊
副館長	野村 孝
次長	奥野所 正樹
西宮分館長	山本 武司
館長補佐	飯尾 由貴子
館長補佐	木原 真紀子
〈総務部門〉	
総務課長	木原 真紀子（兼務）
主任	川野 晃
主任	山崎 大輔
事務職員	福本 万里子
事務職員	酒戸 那奈美
保安員	岡田 花佳（長期研修生）
保安員	千歳 周治
県政推進員	陰山 豊
課長（企画・広報担当）	中山 由恵
社会教育推進専門員	政岡 伸一
事務職員	柏 早苗
広報専門員	東原 れみ（長期研修生）
県政推進員	成松 佐知子
ジョブサポーター	丸山 文絵
ワークセンタースタッフ	上柳 貴義
課長（美術情報担当）	伊藤 美寿々
主任	松井 富廣
県政推進員	岸本 典子
県政推進員	林 恭子
	竿 下 みさき

〈企画・学芸部門〉

課長（教育支援・事業担当）	安東 裕達
指導主事	角田 晃一
教育事務推進専門員	椋田 千亜紀
主査・学芸員	遊 免 寛子
主査・学芸員	林 優 映
学芸員	武澤 里子
ミュージアムティーチャー	松上 仁子
ミュージアムティーチャー	加藤 香織
課長（特別展・国際交流担当）	西田 桐子
主査・学芸員	江上 ゆか子
主査・学芸員	鈴木 慈子
主査・学芸員	河田 亜也子
学芸員	安永 幸史
課長（常設展・コレクション収集管理担当）	岡本 弘毅
主査・学芸員	相良 周作
主査・学芸員	小林 公 公
主査・学芸員	橋本 こずえ
学芸員	尾崎 登志子
県政推進員	佐野 美由紀
課長（保存・修復担当）	飯尾 由貴子（兼務）
主査・学芸員	横田 直子
主任・学芸員	岩松 智義
県政推進員	当 廣 さくら
課長（近世日本・中国担当）	柏木 知子
学芸員	剣持 翔伍
アートコーディネーター	水内 眞
県政推進員	田 邊 美佐子

令和4年度職員動静

退職者（令和4年3月31日）

教育事務推進専門員	入江 誠
教育事務推進専門員	高橋 洋一
主任学芸員	出原 均
広報専門員	宇高 淑子
県政推進員	岸本 佐和子
企画展示事務員	横尾 直子
ワークセンタースタッフ	中野 育子
（令和4年11月30日）	
県政推進員	亀井 綾乃

転出者（令和4年3月31日）

館長補佐	鷲森 正人
総務課長	清水 武
課長（企画・広報担当）	細田 浩子
主任指導主事	里 知純
主任	石若 晶一
事務職員	村上 直人

建築概要

設計 建築／安藤忠雄建築研究所
 構造／木村俊彦構造設計事務所、金箱構造設計事務所
 設備／森村設計
 防災／安宅防災設計事務所
 監理／兵庫県土整備部まちづくり局管轄課・設備課、安藤忠雄建築研究所

工期 平成11年3月～平成13年9月
地区・地域 都市計画区域近隣商業地域準防火地域
建物規模 地下1階・地上4階
 美術館／鉄骨鉄筋コンクリート（免震構造）
 廃棄物保管庫／鉄筋コンクリート

敷地面積 19,000.00㎡
延床面積 28,076.15㎡
主な外部仕上 床／コンクリート平板ブロック貼り
 壁／アルミカーテンウォール、金属製パネル、自然石貼り
 屋根／FRP防水、一部トップライト+庇

《設備概要》
免震構造 積層ゴムアイソレータ／190台
 鋼棒ダンパー／173台
 鉛ダンパー／76台

受変電設備 受変電 受電電圧6,600Vトランス容量4,200KVA
 本線予備2回線受電
 非常用発電 ガスタービン6,600V 500KV
 地下オイルタンク20,000L

電気設備 中央監視 最大管理点数 3,170点（監視内容：受変電・一般照明・調光・空調動力）
 弱電通信 放送・電気時計・インターホン・便所呼出・TV共調・ITV・電話・映像LAN配管・情報配管・駐車管制
 防犯 CPUにて防犯および出入管理
 防災 総合操作盤 複合GR型 1,189点
 映像・音響・舞台照明 ミュージアムホール・レクチャールーム

空調設備 写真撮影 X線室照明設備
 熱源 1) 地域冷暖房 冷熱源2,900Kw 温熱源1,500Kw
 2) 空冷水蓄熱ユニット 700Kw×2台
 うち1台は熱回収型
 空調 空調機×50台
 収蔵庫・展示室系統に化学吸着フィルター
 外気取入れ系統に海塩粒子除外フィルター

衛生設備 排気・排煙 避圧ダクト 機械排煙4系統
 給水 上水系統 上水道本管からの一般給水（直圧給水方式）
 中水系統 雨水利用による便所洗浄水給水（加圧給水方式）
 排水 屋内分流、屋外合流方式 地下排水はポンプ排水
 給湯 電気温水器による個別局給湯方式
 消火 屋内消火栓、スプリンクラー、泡消火（駐車場）、窒素系ガス消火設備（中央監視室・収蔵庫・展示室）
 厨房器具 レストラン及びカフェ厨房

昇降機設備 昇降 荷物用エレベーター（3t）3台、
 乗用エレベーター 5台、
 人荷用エレベーター 4台 計12台

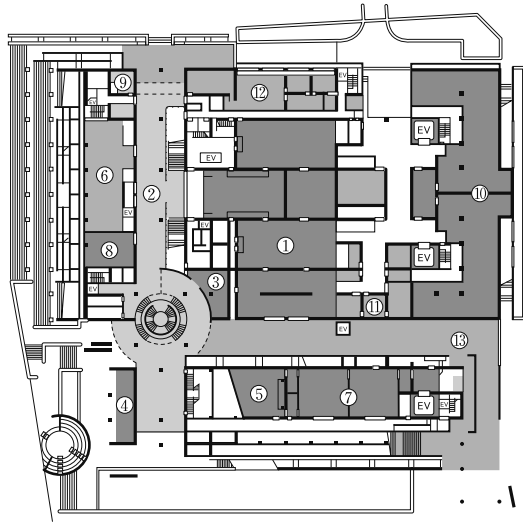
ガス設備 ガス 2階レストラン厨房（都市ガス）

各施設面積

区分	室名	階	面積(㎡)
展示部門	常設展示室1	1階	407.07
	常設展示室2	1階	186.88
	常設展示室3	1階	407.07
	常設展示室4	1階	306.45
	常設展示室5	1階	379.76
	常設展示室6	2階	464.9
	小磯良平記念室	2階	178.15
	金山平三記念室	2階	185.85
	企画展示室1	3階	610.39
	企画展示室2	3階	433.48
	企画展示室3	3階	610.39
	ギャラリー	3階	814.65
	第2展示棟	2～3階	614.74
普及部門	アトリエ1	1階	195.69
	アトリエ2	1階	195.69
	アトリエ準備室・講師控室等	1階	161.86
	ボランティアルーム	1階	42.98
	レクチャールーム	1階	131.43
	美術情報センター	1階	352.1
	ミュージアムホール 調整室	2階	335.6
	収蔵庫1	1階	624.13
	収蔵庫2	1階	624.13
	仮置室	1階	135.17
	収蔵庫前室	1階	84.26
	資材保管室	1階	51.36
	くん蒸室	1階	26.91
保管部門	木工室	1階	27.52
	搬入口・荷解場	1階	358.92
	収蔵庫3	2階	277.13
	収蔵庫3	2階	115.27
	収蔵庫前室	2階	52.08
	倉庫・資材保管庫	3階	165.89
	企画展示室前室	3階	96.58
	ギャラリー前室	3階	39.43
	搬入口	地下	90.56
	荷解場	地下	232.2
	エデュケーションルーム	2階	28.12
	研究室・準備室・資料室・作業室	2階	402.28
	客員研究室	2階	29.52
調査研究部門	修復室1	1階	56.94
	修復室2	1階	71.46
	修復事務室	1階	45.78
	X線室・操作室・現像室	1階	73.46
	館長室	1階	50.33
	副館長室	1階	35.33
	応接室	1階	44.16
	会議室	1階	95.11
	事務室	1階	148.66
	救護室	1階	15.94
	守衛室	1階	22.41
	情報処理室・閉架書庫等	1階	106.89
	倉庫	1階	172.22
中央監視室	地下	132.48	
倉庫	地下	358.11	
管理部門	ロッカースペース	1階	63.48
	エントランスホール・インフェメーション・チケットブース	1階	673.66
	ラウンジ・ホワイエ	1階	250.63
	カフェ	1階	93
	ミュージアムショップ	1階	97.98
	エレベーター・エレベーターホール	1階	567.98
	階段・廊下	1階	896.51
	空調機械室等	1階	195.08
	その他	1階	1068.44
	エレベーター・エレベーターホール	2階	224.92
	階段・廊下	2階	1035.49
	空調機械室	2階	101.85
	その他	2階	405.11
共用部門	レストラン	2階	350.8
	エレベーター・エレベーターホール	3階	95.7
	階段・廊下・回廊	3階	2100.43
	空調機械室	3階	279.87
	その他	3階	155.58
	エレベーター・エレベーター機械室	4階	186.16
	階段	4階	67.37
	空調機械室	4階	528.31
	その他	4階	4.05
	駐車場	地下	3363.69
	委託職員詰所	地下	65.3
	エレベーター・エレベーターホール	地下	197.39
	階段・廊下	地下	130.67
空調機械室等	地下	2960.77	
その他	地下	10.06	

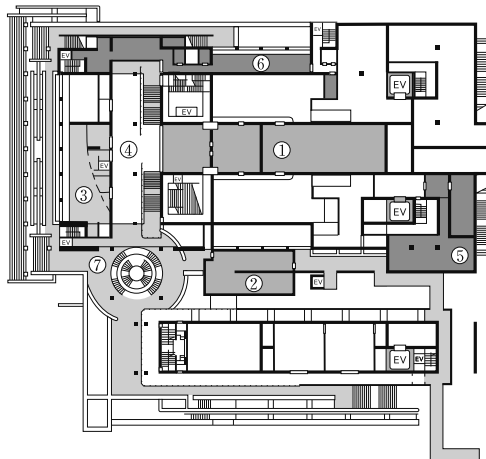
1F

- ① 常設展示室
- ② エントランスホール
- ③ ミュージアムショップ
- ④ カフェ
- ⑤ ミュージアムホール(250席)
- ⑥ 美術情報センター
- ⑦ アトリエ
- ⑧ レクチャールーム
- ⑨ ボランティアルーム
- ⑩ 収蔵庫
- ⑪ 修復機能施設
- ⑫ 管理部門施設
- ⑬ 屋外展示スペース



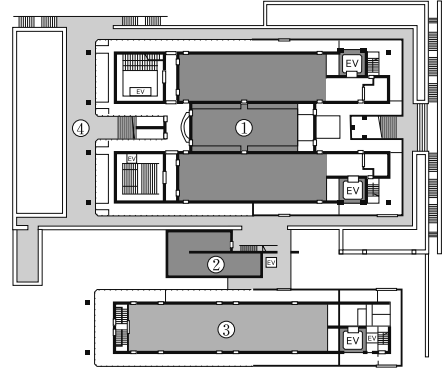
2F

- ① 常設展示室
(小磯良平記念室)
(金山平三記念室)
- ② Ando Gallery
- ③ レストラン
- ④ エントランスホール
- ⑤ 収蔵庫
- ⑥ 研究部門施設
- ⑦ 屋外展示スペース



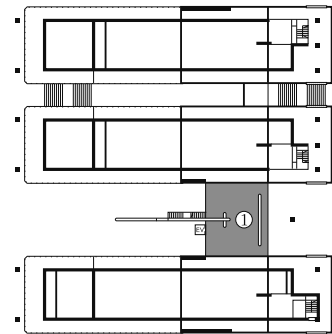
3F

- ① 企画展示室
- ② Ando Gallery
- ③ ギャラリー
- ④ 屋外展示スペース



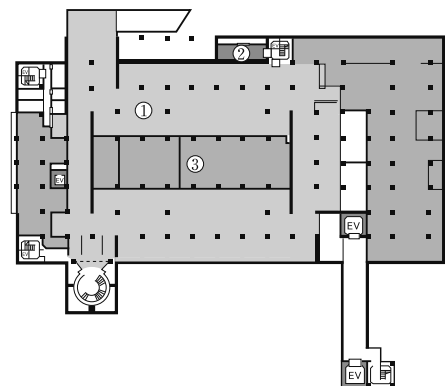
4F

- ① 屋外展示スペース



B1F

- ① 駐車場(80台)
- ② 中央監視室
- ③ 機械室



令和6年1月25日発行
05教①1-016A4

発行 **兵庫県立美術館**
神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1
電話 078-262-0901

印刷 **有限会社 リーストワーク**